V403SH 基本操作編

V403SH 基本操作編

This Manual includes an English Abridgement

V403SH
基本操作編

vodafone

マナーもいっしょに携帯しましょう。

はじめに

このたびは、「V403SH」をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- V403SHをご利用の前に、本書をご覧になり、正しくお取り扱いください。
- V403SHのボーダフォンライブ! に関する説明は付属のVodafone live!編をご参照ください。
- 本書をご覧いただいたあとは、大切に保管してください。
- 本書を万一紛失または損傷したときは、お問い合わせ先（☞P.16-20）までご連絡ください。
- ご契約の内容により、ご利用になれるサービスが限定されます。

V403SHは1.5GHzの周波数帯を利用し、ボーダフォンのネットワークに対応した仕様になっております。
V403SHは、日本国外ではご使用になれません。

ご注意

- 本書の内容の一部でも無断転載することは禁止されております。
- 本書の内容は将来、予告無しに変更することがございます。
- 本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審な点や記載漏れなどお気づきの点がございましたらお問い合わせ先（☞P.16-20）までご連絡ください。
- 乱丁、落丁はお取り替えいたします。

V403SH 取扱説明書 基本操作編

2006年２月　第１版
ボーダフォン株式会社

※ ご不明な点はお求めになられた
ボーダフォン携帯電話取扱店にご相談ください。

機種名：V403SH
製造元：シャープ株式会社

携帯電話・PHS事業者は、環境を保護し貴重な資源を再利用するために、お客様が不要となってお持ちになる電話機・電池・充電器をブランド・メーカーを問わず左記のマークのあるお店で回収し、リサイクルを行っています。

※ 回収した電話機・電池・充電器はリサイクルするためご返却できません。
※ プライバシー保護の為、電話機に記憶されているお客様の情報（アドレス帳・通信履歴・メール等）は事前に消去願います。

この印刷物は、再生紙を使用しています。

この印刷物は、植物性大豆油インキで印刷しています。

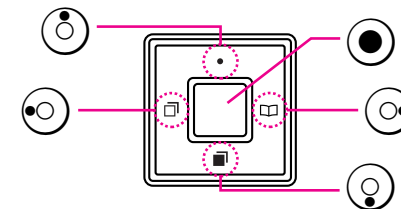
TINSJA177AFZZ
06B 95.0 YM KY364①

本書の見かた

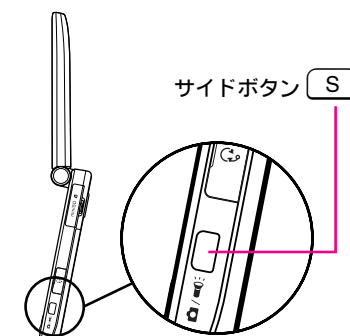
本書では、ことわりがない限り、V403SHを開いた状態で待受画面からの操作を中心に説明しています。
また、本書で記載されている画面は、実際の画面とは異なる場合があります。操作の目安としてご利用ください。

マルチガイドボタン

メニュー項目を選択するときやカーソルを移動するとき、画面をスクロールするときなどは、マルチガイドボタンを使用します。
本書では、マルチガイドボタンでの操作を右のように表記しています。

- 使用するボタンによっては、下のように表記していることもあります。
  - ■ や を押すとき ……………………
  - ■ や を押すとき ……………………
  - ■ を押すとき ……………………

サイドボタン

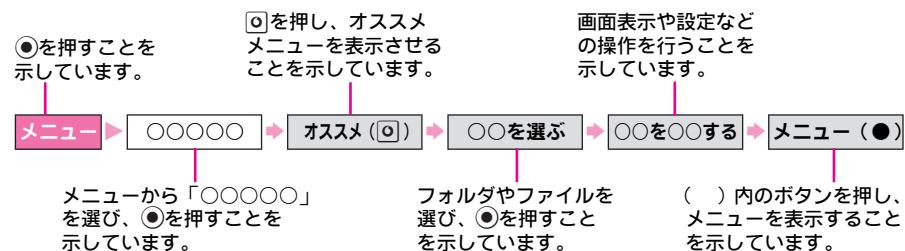
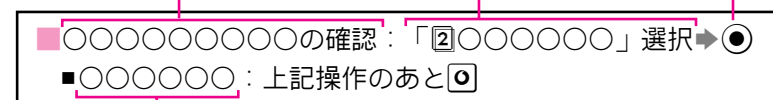
V403SHを閉じたまま使用するときなどは、本体右側面のサイドボタン（ ／ ボタン）を使用します。
本書では、サイドボタンを右のように表記しています。

- サイドボタンには「S」の刻印はありませんが、他のボタンと区別するため「S」と表記しています。

本書の表記

■本文中のマーク

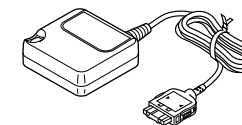
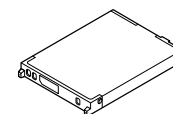
[O]：Vodafone live!編を示しています。

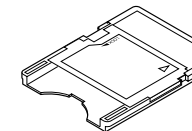
■メニュー操作

目的の操作に至るまでのメニュー操作（●で始まる操作）は、次のように表記しています。（白背景の四角はメニューで選択する項目、グレー背景の四角はメニュー選択以外の操作を示しています。）

■補足操作

お買い上げ品の確認

■電池パック（SHBAH1）※1

（1タイプ　リチウムイオンバッテリー）

■急速充電器（SHCQ01）※1

■miniSD™メモリカード（32Mバイト）★

（カスタムスクリーンのコンテンツ入り）

■miniSD™メモリカードアダプタ★

※1　オプション品としても取り扱いしております。
★ 試供品です。

主なオプション品

■シガーライター充電器（SHJH01）

■卓上ホルダー（SHEAH1）※2

※2　V403SH専用です。

●付属品／オプション品につきましては、お問い合わせ先（☞P.16-20）までご連絡ください。
●本書では、「miniSD™メモリカード」を、以降「メモリカード」と記載いたします。

目次

4 文字の入力方法

5 アドレス帳

6 カメラ機能

10 データ管理

11 赤外線通信

12 セキュリティ機能

13 その他の機能

13 その他の機能

14 オプションサービス

15 Abridged English Manual

16 付録

安全上のご注意

- ご使用の前に、「**安全上のご注意**」をよくお読みのうえ正しくお使いください。
  また、お読みになったあとは必要なときにご覧になれるよう、大切に保管してください。
- ここに示した説明事項は、お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- 本製品の故障、誤作動または不具合などにより、通話などの機会を逸したために、お客様、または第三者が受けられた損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

ご使用の前に

■絵表示について

この取扱説明書には、安全にお使いいただくためにいろいろな絵表示をしています。その表示を無視し、誤った取り扱いをすることによって生じる内容を次のように区分しています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

	危険	**誤った取り扱いをしたときに、人が死亡または重傷を負う恐れが高い内容を示しています。**
	警告	**誤った取り扱いをしたときに、人が死亡または重傷を負う恐れがある内容を示しています。**
	注意	**誤った取り扱いをしたときに、けがをしたり財産に損害を受ける恐れがある内容を示しています。**

■絵表示の意味

記号は	記号は	⚠記号は
してはいけないこと（禁止）を表しています。	しなければならないこと（指示）を表しています。	気をつける必要があることを表しています。

⚠危険

V403SH、電池パック、充電器の取り扱いについて（共通）

V403SHに使用する充電器および電池パック、卓上ホルダーは、必ずボーダフォンが指定したものを使用する
（☞P.iii）

指定品以外のものを使用すると、電池パックを漏液・発熱・破裂させる原因となります。また、充電器が発熱したり、故障・感電・火災の原因となります。

充電端子どうしを金属などで接触させない

充電端子を針金などの金属類（金属製のストラップなど）で接触させないでください。また、金属製のネックレスやヘアピンなどと一緒に持ち運んだり、保管しないでください。
電池パックの液が漏れたり、発熱・破裂・発火・感電により、やけどやけがの原因となります。専用ケースなどに入れて持ち運んでください。

電池パックの取り扱いについて

電池パックを充電するときや、使用する場合は、必ず次のことを守ってください。
正しく使用しないと、電池パックの液が漏れたり、発熱・破裂・発火により、やけどやけがの原因となります。

- 加熱したり、火の中へは投げ込まないでください。
- 分解・改造・破壊しないでください。
- 釘を刺したり、ハンマーでたたいたり、踏みつけたり、ハンダ付けをしないでください。
- 外傷、変形の著しい電池パックは使用しないでください。
- 充電するときは、専用の充電器以外は使用しないでください。
  （☞P.iii）
- 電池パックをV403SHに装着する場合、うまく装着できないときは、無理に装着しないでください。
- 火のそばや、ストーブのそば、炎天下など、高温の場所での充電・使用・放置はしないでください。
- 付属品の電池パックは、V403SH専用です。
  その他の機器には使用しないでください。

電池パックが漏液して液が目に入ったときは、こすらずに、すぐにきれいな水で十分に洗ったあと、直ちに医師の治療を受けてください。

目に障害を与える恐れがあります。

⚠警告

V403SH、電池パック、充電器の取り扱いについて（共通）

内部に物や水などを入れない

V403SHや充電器、卓上ホルダーの開口部から内部に金属類や燃えやすい物などを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子さまのいる家庭ではご注意ください。

風呂場や雨にあたる所などの、湿気の多い所では使用しない

火災・感電の原因となります。

水などの入った容器を近くに置かない

V403SHや充電器、卓上ホルダーの近くに花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器または小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合は、火災・感電の原因となります。

引火、爆発の恐れがある場所では使用しない

プロパンガス、ガソリンなど引火性ガスや粉塵の発生する場所で使用すると、爆発や火災の原因となります。

モバイルライトの発光部を人の目に近づけて点灯発光させない

視力障害の原因となります。
また、目がくらんだり驚いたりしてけがなどの事故の原因となります。

電子レンジや高圧容器に、電池パックやV403SH、充電器、卓上ホルダーを入れない

電池パックを漏液・発熱・破裂・発火させたり、V403SHや充電器、卓上ホルダーを発熱・発煙・発火させたり回路部品を破壊させる原因となります。

分解や改造はしない

- V403SHや充電器、卓上ホルダーのキャビネットは、開けないでください。感電やけがの原因となります。
  内部の点検・調整・修理は、ボーダフォンの故障受付窓口にご依頼ください。
- V403SHや充電器、卓上ホルダーを改造しないでください。火災・感電の原因となります。

内部に水や異物などが入ったときは

V403SHの電源を切って電池パックを取り外し、急速充電器はプラグをACコンセントから抜いて、シガーライター充電器はプラグをシガーライターソケットから抜いてボーダフォンの故障受付窓口にご連絡ください。
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

衝撃を与えない

V403SHや充電器、卓上ホルダーを持ち運ぶときは、落としたり、衝撃を与えないようにしてください。けがや故障の原因となります。
万一、V403SHや充電器、卓上ホルダーを落とすなどして、キャビネットを破損した場合は、電池パックを外して、ボーダフォンの故障受付窓口にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

異常が起きたら

万一、異常な音がしたり、煙が出たり、異臭がするなどの異常な状態に気がついたときは、V403SHの電源を切って電池パックを取り外し、急速充電器はプラグをACコンセントから抜いて、シガーライター充電器はプラグをシガーライターソケットから抜いてボーダフォンの故障受付窓口に修理をご依頼ください。
異常な状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。

⚠警告

V403SHの取り扱いについて

事故防止のために

- 自動車や自転車などの乗物を運転するときは、V403SHを絶対にご使用にならないでください。安全走行を損ない事故の原因となります。車などを安全な所に止めてからご使用ください。
  道路交通法により、運転中の携帯電話の使用は罰則の対象となります。（2004年11月1日改正施行）
- 自動車やバイク、自転車などの運転中は、スイッチ付イヤホンマイクを絶対に使わないでください。
  交通事故の原因となります。
- 歩行中は、周囲の音が聞こえなくなるほど、音量を上げすぎないでください。特に、踏切や横断歩道などでは、十分に気をつけてください。
  交通事故の原因となります。

メモリカード、miniSD™メモリカードアダプタを乳幼児の手の届く所に置かない

誤って飲み込む恐れがあります。万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

ストラップを持ってV403SHを振り回したり、投げない

本人や他人にあたり、けがなどの事故や故障および破損の原因となります。

航空機内では、V403SHの電源を切る

電波の影響で航空機の電子精密機器の故障の原因および安全に支障をきたす恐れがあります。

バイブレータや着信音の設定に注意する

心臓の弱い方は、設定にご注意ください。

屋外で使用中に、雷が鳴りだしたら、すぐに電源を切って安全な場所に移動する

落雷・感電の原因となります。

⚠警告

充電器の取り扱いについて

指定以外の電圧では使用しない

指定された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。
火災・感電の原因となります。

- 急速充電器
  AC100V
- シガーライター充電器
  DC12／24V

シガーライター充電器はプラスアース車には使用しない

シガーライター充電器は、マイナスアース車専用です。
プラスアース車には使用しないでください。火災の原因となります。

卓上ホルダーは自動車内で使用しない

卓上ホルダーを自動車内で使用しないでください。過大な温度と振動により、火災・故障の原因となることがあります。

充電器の取り扱いについて

- ぬれた手でプラグを抜き差ししないでください。感電の原因となります。
- タコ足配線はしないでください。発熱により火災の原因となります。
- コードを傷つけたり、無理に曲げたり、ねじったり、加工したりしないでください。また、重い物を乗せたり、加熱したり、引っぱったりすると、コードが破損し、火災・感電の原因となります。

接続コネクターの端子をショートさせない

接続コネクターの端子を金属類でショートさせないでください。
充電器が発熱したり、発火・感電の原因となります。

事故防止のために

シガーライター充電器は、運転に支障のない位置に取り付けてください。
取り付けが不十分な場合、落ちたりして、けがや事故の原因となります。

急速充電器コードやシガーライターコードが傷ついたときは（芯線の露出、断線など）

ボーダフォンの故障受付窓口に交換をご依頼ください。
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

雷が鳴りだしたら

安全のため早めに急速充電器のプラグをACコンセントから抜いておいてください。
火災・感電・故障の原因となります。

充電器、卓上ホルダーは、乳幼児の手の届かない所で使用・保管する

感電・けがの原因となります。

⚠警告

医用電気機器の近くでの取り扱いについて

ここで記載している内容は、「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末等の使用に関する指針」（電波環境協議会［平成９年４月］）に準拠、ならびに「電波の医用機器等への影響に関する調査研究報告書」（平成13年3月「社団法人　電波産業会」）の内容を参考にしたものです。

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着されている場合は、ペースメーカ等の装着部位から22cm以上離して携行および使用してください。

電波により、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器が誤動作するなどの影響を与える場合があります。

満員の電車など混雑した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、V403SHの電源を切るようにしてください。

電波により、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器が誤動作するなどの影響を与える場合があります。

医療機関の屋内では次のことを守って使用してください。

- 手術室、集中治療室（ICU）、冠状動脈疾患監視病室（CCU）には、V403SHを持ち込まない。
- 病棟内ではV403SHの電源を切る。
- ロビー等であっても、付近に医用電気機器がある場合は、V403SHの電源を切る。
- 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止等の場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従う。

自宅療養等医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合は、電波による影響について個別に医用電気機器メーカ等にご確認ください。

電池パックの取り扱いについて

- 充電の際に所定充電時間を超えても充電が完了しないときには、充電をやめてください。発熱・破裂・発火の原因となります。
- 電池パックが漏液したり、異臭がするときには直ちに火気より遠ざけてください。
  漏液した電解液に引火し、発火・破裂する原因となります。

電池パックの使用中や充電中または保管時に異臭を感じたり、発熱したり、変色・変形など、今までと異なることに気がついたときには、V403SHから取り外し、使用しないでください。
そのまま使用すると、電池パックを漏液・発熱・破裂・発火させる原因となります。

⚠注意

V403SH、電池パック、充電器の取り扱いについて（共通）

置き場所について

- ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。落ちたりして、けがや故障の原因となることがあります。
- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたるような場所に置かないでください。火災・事故の原因となることがあります。
- 冷気が直接吹きつける所へは置かないでください。
  露がつき、漏電・焼損の原因となることがあります。
- 直射日光が長時間あたる場所（特に密閉した自動車内）や暖房器具の近くには置かないでください。
  キャビネットが変形・変色したり、火災の原因となることがあります。
  また、電池パックが変形して、使用できなくなることがあります。
- 極端に寒い場所に置かないでください。故障や事故の原因となることがあります。
- 火気の近くに置かないでください。
  故障や事故の原因となることがあります。

使用場所について

- ほこりの多い所では使用しないでください。放熱が悪くなり、焼損・発火の原因となることがあります。
- 海辺や砂地など内部に砂の入りやすい所で使用しないでください。
  故障や事故の原因となることがあります。
- キャッシュカード、テレホンカードなどの磁気を利用したカード類をV403SHや充電器に近づけないでください。カードに記録されているデータが消えることがあります。

⚠注意

V403SHの取り扱いについて

真夏の自動車内など、高温になる場所には置かない

V403SHのキャビネットが熱くなり、やけどの原因となることがあります。

音量の設定について

音量の設定については、十分に気をつけてください。
思わぬ大音量が出て、耳を痛める原因となることがあります。
また、耳をあまり刺激しないように適度な音量でお楽しみください。

自動車内でご使用のとき

V403SHを自動車内で使用したときは、自動車の車種によって、まれに車両電子機器に影響を及ぼすことがあります。

皮膚に異常が生じた場合は、直ちに使用をやめ医師の診断を受ける

下記の箇所に金属などを使用しています。お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。

使用箇所	使用材料、表面処理
キャビネット（ディスプレイ側）	Mg合金／化成処理、焼付け塗装
キャビネット（操作ボタン側、サブディスプレイ側、電池パック側）、電池カバー	ABS樹脂／アクリル系UV硬化塗装処理（下地：アクリル系塗装）
ディスプレイ窓、カメラ窓	アクリル樹脂
モバイルライトカバー	アクリル樹脂／着色UV、蒸着
カメラ飾り	ABS樹脂／蒸着UVコート
背面飾り	PMMA／両面インモールド
マルチガイドボタン（カーソルキー部分）	PC樹脂／クロムメッキ
ボーダフォンライブ！ボタン／モバイルカメラ起動ボタン、メールボタン、電源／終了ボタン、開始ボタン、ダイヤルボタン、クリアボタン、スケジュール／メモ／A／aボタン、文字／マナー()ボタン、ファンクション（F）／誤動作防止ボタン、サイドボタン、電池パック、ネジカバー（ディスプレイ側、背面側）	PC樹脂
メモリカードスロットカバー、イヤホンマイク端子カバー	PC樹脂（アクリル系UV硬化塗装処理）／エラストマー樹脂
外部機器端子カバー	エラストマー樹脂
充電端子	ナイロン6T／BRASS、Auメッキ（下地：ニッケル、銅）
ネジ（ディスプレイ側、背面側）	SWCH12A／Niメッキ
赤外線ポート、スモールライト	ABS樹脂

⚠注意

充電器の取り扱いについて

急速充電器コードやシガーライターコードの取り扱いについて

- プラグを抜くときは、コードを引っぱらないでください。コードを引っぱるとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
  急速充電器やシガーライターのプラグを持って抜いてください。
- コードを熱器具に近づけないでください。コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
- ACコンセントやシガーライターソケットへの差し込みがゆるくぐらついていたり、コードやプラグが熱いときは使用を中止してください。
  そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。
- シガーライターソケットの中は、きれいにしておいてください。灰などで汚れているときは、プラグを接続しないでください。発熱によりやけどの原因となることがあります。

通電中は卓上ホルダーに長時間触らない

低温やけどの原因となります。

指定以外のヒューズは使用しない

シガーライター充電器のヒューズは、1A（アンペア）のものを使用してください。
指定以外のヒューズを使用したり、針金などで代用すると、火災・故障の原因となります。

風通しの悪い場所では使用しない

充電器や卓上ホルダーは風通しのよい状態でご使用ください。
布や布団で覆ったり、包んだりしないでください。
熱がこもり、キャビネットが変形し、火災の原因となることがあります。

エンジンが切れた状態では使用しない

シガーライター充電器をご使用になるときは、必ずエンジンをかけておいてください。エンジンを切ったまま使用すると、車のバッテリーを消耗させる原因となることがあります。

長期間ご使用にならないときは

安全のため、必ず急速充電器はプラグをACコンセントから抜いて、シガーライター充電器はプラグをシガーライターソケットから抜いて、V403SHを取り外してください。

お手入れのときは

安全のため、急速充電器はプラグをACコンセントから抜いて、シガーライター充電器はプラグをシガーライターソケットから抜いて行ってください。感電やけがの原因となることがあります。

シガーライター充電器のケーブル類の配線について

ケーブル類の配線は、運転または車の乗降に支障がないようにご注意ください。けがや事故の原因となることがあります。

⚠注意

電池パックの取り扱いについて

衝撃を与えたり、投げつけたりしないでください。
発熱・破裂・発火の原因となることがあります。

電池パックを直射日光の強い所や炎天下の車内などの高温の場所で使用したり、放置しないでください。
発熱・発火、電池パックの性能や寿命を低下させる原因となることがあります。

水や海水などにつけたり、ぬらさないでください。
電池パックの破損や性能・寿命を低下させる原因となることがあります。

電池パックが漏液して液が皮膚や衣類に付着したときには、すぐにきれいな水で洗い流してください。皮膚がかぶれたりする原因となることがあります。

不要になった電池パックは、一般のゴミと一緒に捨てないでください。端子にテープなどを貼り、個別回収に出すか、最寄りのボーダフォンショップへお持ちください。
電池を分別している市町村では、その規則に従って処理してください。

電池パックは乳幼児の手の届かない所に保管してください。けがなどの原因となることがあります。また、使用する際にも乳幼児が機器から取り外さないようにご注意ください。

- 電池パックの充電は、周囲温度5℃〜35℃の場所で行ってください。
  この温度範囲以外で充電すると、漏液や発熱したり、電池パックの性能や寿命を低下させる原因となることがあります。
- 電池パックをお子さまがご使用の場合は、保護者が取扱説明書の内容を教えてください。
  また、使用中においても、取扱説明書のとおりに使用しているかどうかをご注意ください。
- 電池パックをはじめてご使用の際に、異臭・発熱や、その他異常と思われたときは、使用しないで、ボーダフォンの故障受付窓口にご連絡ください。
- 電池パックを使い切った状態で、保管・放置はしないでください。
  また、電池パックを長期間保管・放置されるときは、半年に1回程度、電池パックの補充電を行ってください。そのままにしておくと、電池パックが使用できなくなります。

お願いとご注意

ご利用にあたって

- 事故や故障などによりV403SH／メモリカードに登録したデータ（アドレス帳・画像・サウンドなど）が消失・変化した場合の損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。大切なアドレス帳などのデータは、控えをとっておかれることをおすすめします。
- V403SHは、電波を利用しているため、特に屋内や地下街、トンネル内などでは電波が届きにくくなり、通話が困難になることがあります。また、通話中に電波状態の悪い場所へ移動すると、通話が急に途切れることがありますので、あらかじめご了承ください。
- V403SHを公共の場所でご利用いただくときは、周囲の人たちの迷惑にならないようにご注意ください。
- V403SHは電波法に定められた無線局です。したがって、電波法に基づく検査を受けていただくことがあります。あらかじめご了承ください。
- 一般の電話機やテレビ、ラジオ等をお使いになっている近くでV403SHを使用すると、雑音が入るなどの影響を与えることがありますので、ご注意ください。
- **傍受にご注意ください。**
  V403SHは、デジタル信号を利用した傍受されにくい商品ですが、電波を利用している関係上、通常の手段を超える方法をとられたときには第三者が故意に傍受するケースもまったくないとはいえません。この点をご理解いただいたうえで、ご使用ください。
  傍受（ぼうじゅ）とは
  無線連絡の内容を第三者が別の受信機で故意または偶然に受信することです。

自動車内でのご使用にあたって

- 運転中はV403SHを絶対にご使用にならないでください。
- V403SHをご使用になるために、禁止された場所に駐停車しないでください。
- V403SHを車内で使用したときは、自動車の車種によって、まれに車両電子機器に影響を与えることがありますので、ご注意ください。

航空機の機内でのご使用について

- 航空機の機内では、絶対にご使用にならないでください。（電源も入れないでください。）運航の安全に支障をきたす恐れがあります。

お取り扱いについて

- V403SHの電池パックを長い間外していたり、電池残量のない状態で放置したりすると、お客様が登録・設定した内容が消失または変化してしまうことがありますので、ご注意ください。なお、これらに関しまして発生した損害につきましては、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- V403SHは温度：5℃～35℃、湿度：35%～85%の範囲でご使用ください。
  極端な高温や低温環境、直射日光のあたる場所でのご使用、保管は避けてください。
- モバイルカメラ部分に、直射日光が長時間あたると、内部のカラーフィルターが変色して、画像が変色することがあります。
- V403SHを落下させたり衝撃を与えたりしないでください。

- お手入れの際は、乾いた柔らかい布でふいてください。
  また、アルコール、シンナー、ベンジンなどを用いると色があせたり、文字が薄くなったりすることがありますので、ご使用にならないでください。
- 雨や雪、湿気の多い場所でご使用になるときは、水にぬらさないよう十分ご注意ください。
- V403SHは精密部品で作られた無線通信装置です。
  絶対に分解、改造はしないでください。
- V403SHのディスプレイを堅い物でこすったり、傷つけないようご注意ください。
- V403SHを閉じるときは、ストラップなどを挟まないでください。ディスプレイが破損する原因となります。
- **V403SHは防水仕様にはなっていません。**
  水にぬらしたり、湿度の高い所に置かないでください。
  - 雨の日にバッグの外のポケットに入れたり、手に持って持ち歩かないでください。
  - エアコンの吹き出し口に置かないでください。急激な温度変化により結露し、内部が腐食する原因となります。
  - 洗面所などでは衣服に入れないでください。ポケットなどに入れて、身体をかがめたりすると、洗面所に落としたり、水でぬらす原因となります。
  - 海辺などに持ち出すときは、海水がかかったり直射日光があたらないように、バッグなどに入れてください。
  - 汗をかいた手で触ったり、汗をかいた衣服のポケットに入れないでください。手や身体の汗がV403SHの内部に浸透し、故障の原因となることがあります。
- **V403SHに無理な力がかかるような場所には置かないでください。**
  故障やけがの原因となります。
  - V403SHをズボンやスカートの前、または後ろのポケットに入れたまま、しゃがみこんだり、座席や椅子などに座らないでください。特に、厚い生地の衣服のときはご注意ください。
  - 荷物の詰まったカバンなどに入れるときは、重たい物の下にならないようにご注意ください。
- V403SHのイヤホンマイク端子に指定品以外のものは取り付けないでください。誤動作を起こしたり、V403SHが破損することがあります。
- 電池パックは、必ずV403SHの電源を切ってから取り外してください。
  データの登録やメールの送信等の動作中に電池パックを取り外すと、データが消失・変化・破損することがあります。

著作権等について

- 音楽、映像、コンピュータ・プログラム、データベースなどは著作権法により、その著作物および著作権者の権利が保護されています。こうした著作物を複製することは、個人的にまたは家庭内で使用する目的でのみ行うことができます。上記の目的を超えて、権利者の了解なくこれを複製（データ形式の変換を含む）、改変、複製物の譲渡、ネットワーク上での配信などを行うと、「**著作権侵害**」「**著作者人格権侵害**」として損害賠償の請求や刑事処罰を受けることがあります。本製品を使用して複製などをなされる場合には、著作権法を遵守のうえ、適切なご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。また、本製品にはカメラ機能が搭載されていますが、本カメラ機能を使用して記録したものにつきましても、上記と同様の適切なご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。

携帯電話機の比吸収率（SAR）について

この機種【V403SH】の携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準に適合しています。

この技術基準は、人体頭部のそばで使用する携帯電話機などの無線機器から送出される電波が人間の健康に影響を及ぼさないよう、科学的根拠に基づいて定められたものであり、人体側頭部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR：Specific Absorption Rate）について、これが2W/kg※の許容値を超えないこととしています。この許容値は、使用者の年齢や身体の大きさに関係なく十分な安全率を含んでおり、世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が示した国際的なガイドラインと同じ値になっています。

この携帯電話機【V403SH】のSARは、0.23W/kgです。この値は、国が定めた方法に従い、携帯電話機の送信電力を最大にして測定された最大の値です。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。また、携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。

SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。

総務省のホームページ　http://www.tele.soumu.go.jp/j/ele/index.htm
社団法人電波産業会のホームページ　http://www.arib-emf.org/initiation/sar.html
※技術基準については、電波法関連省令(無線設備規則第１４条の2)で規定されています。

「ボーダフォンのボディ SAR　ポリシー」について
＊ボディ (身体) SARとは：携帯電話機本体を身体に装着した状態で、携帯電話機にイヤホンマイク等を装着して連続通話をした場合の最大送信電力時での比吸収率（SAR）のことです。
＊＊比吸収率（SAR）: 6分間連続通話状態で測定した値を掲載しています。
ボーダフォングループでは、ボディ SARに関する技術基準として、米国連邦通信委員会（FCC）の基準および欧州における情報を掲載しています。詳細は「米国連邦通信委員会（FCC）の電波ばく露の影響に関する情報」「欧州における電波ばく露の影響に関する情報」をご参照ください。
＊＊＊身体装着の場合：一般的な携帯電話の装着法として身体から1.5センチに距離を保ち携帯電話機の背面を身体に向ける位置で測定試験を実施しています。無線ばく露要件を満たすためには、身体から1.5センチの距離に携帯電話を固定出来る装身具を使用し、ベルトクリップやホルスター等には金属部品の含まれていないものを選んでください。

ボーダフォンのホームページからも内容をご確認いただけます。
http://www.vodafone.jp/japanese/information/sar/

「米国連邦通信委員会（FCC）の電波ばく露の影響に関する情報」
米国連邦通信委員会の指針は、独立した科学機関が定期的かつ周到に科学的研究を行った結果策定された基準に基づいています。この許容値は、使用者の年齢や健康状態にかかわらず十分に安全な値となっています。
携帯電話機から送出される電波の人体に対する影響は、比吸収率（SAR: Specific Absorption Rate）という単位を用いて測定します。FCCで定められているSARの許容値は、1.6W/kgとなっています。
測定試験はFCCが機種ごとに定めた位置で実施され、下記のとおり本取扱説明書の記載に従って身体に装着した場合は0.120W/kgです。

身体装着の場合：この携帯電話機V403SHでは、一般的な携帯電話の装着法として身体から1.5センチに距離を保ち携帯電話機の背面を身体に向ける位置で測定試験を実施しています。FCCの無線ばく露要件を満たすためには、身体から1.5センチの距離に携帯電話を固定出来る装身具を使用し、ベルトクリップやホルスター等には金属部品の含まれていないものを選んでください。

上記の条件に該当しない装身具は、FCCの電波測定試験に準拠しない場合もあるので使用を避けてください。
電波比吸収率（SAR）に関するさらに詳しい情報をお知りになりたい方は下記のホームページを参照してください。

Cellular Telecommunications & Internet Association (CTIA) のホームページ
http://www.phonefacts.net (英文のみ)

「欧州における電波ばく露の影響に関する情報」
この携帯電話機V403SHは無線送受信機器です。本品は国際指針の推奨する電波の許容値を超えないことを確認しています。この指針は、独立した科学機関である国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が策定したものであり、その許容値は、使用者の年齢や健康状態にかかわらず十分に安全な値となっています。
携帯電話機から送出される電波の人体に対する影響は、比吸収率（SAR: Specific Absorption Rate）という単位を用いて測定します。携帯機器におけるSAR許容値は2W/kgで、身体に装着した場合のSARの最高値は0.084W/kg*です。

SAR測定の際には、送信電力を最大にして測定するため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。これは、携帯電話機は、通信に必要な最低限の送信電力で基地局との通信を行うように設計されているためです。
世界保健機構は、モバイル機器の使用に関して、現在の科学情報では人体への悪影響は確認されていないと表明しています。また、電波の影響を抑えたい場合には、通話時間を短くすること、または携帯電話機を頭部や身体から離して使用することが出来るハンズフリー用機器の利用を推奨しています。さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機構のホームページをご参照ください。
（http://www.who.int/emf）(英文のみ)

*測定試験は国際指針に基づいて実施されています。

MEMO

ご利用になる前に

代表的な機能

● ▒▒の利用には、メモリカードが必要です。

シンプルモード
初心者向けに機能を絞ったモードで、基本的な機能が簡単に利用できます。

P.2-16

いろいろな文字変換
絵文字変換、顔文字連携、近似予測変換、連携予測変換などが利用できます。

P.4-12

アドレス帳
最大500件（1件のアドレス帳につき電話番号とE-mailアドレス各3件）まで登録できます。

P.5-2

モバイルカメラ
内蔵のカメラで静止画や動画を撮影できます。モバイルライト撮影も可能です。

P.6-2

プリント指定（DPOF）
メモリカード内の静止画にプリント情報を設定し、ショップなどでプリントできます。

P.6-28

ポストカードメーカー
静止画に文字などを貼り付けてポストカードやカレンダーが作成できます。

P.6-30

画面表示設定／画面パターン設定
壁紙やマイキャラクタ、画面パターンなど、画面をお好みで設定できます。

P.7-2、P.7-5、P.7-11

カスタムスクリーン
V403SHの画面イメージなどを、一括で変更できます。

P.7-7

Language／言語選択
メニューや各種メッセージを英語表示に切り替えることができます。

P.7-14

ボイスレコーダー
V403SHで音声を録音／再生したり、録音した音声を着信音に設定できます。

P.9-2

データフォルダ
静止画や動画、メロディ、アニメなど、各種データをまとめて管理できます。

P.10-4

電子ブック
メモリカード内の電子書籍データ（XMDF形式など）を、閲覧できます。

P.10-37

メモリカード
静止画や動画、アドレス帳など、各種データをメモリカードに保存できます。

P.10-30

赤外線通信
赤外線を利用して、他の機器との間でデータをやりとりできます。

P.11-2

スケジュール
時間や期日の決まった予定を登録して、スケジュール管理を行えます。

P.13-13

世界時計
日本の時刻に加え、世界各地の都市の時刻を表示することができます。

P.13-28

ユースフルダイアリー
文字と画像を組み合わせた便利な日記を、最大400件まで登録できます。

P.13-23

バーコード
バーコードを読み取ったり、アドレス帳などからバーコードを作成できます。

P.13-29、P.13-34

ワンタッチメール
簡単メール宛先に登録した相手に、簡単な操作でスカイメールを送信できます。

別冊

ワンショットメール
待受時にV403SHを閉じたまま、簡単な操作でメールを送信できます。

別冊

ボーダフォンライブ!
メール、ウェブ、Vアプリ、ステーションの各機能を利用できます。

別冊

オプションサービス

転送電話サービス
かかってきた電話を指定した電話番号へ転送します。

P.14-3

留守番電話サービス
電話に出られないとき、相手からのメッセージをお預かりします。

P.14-4

割込通話サービス
通話中にかかってきた電話を受けられます。

P.14-6

三者通話サービス
3人で同時に通話したり、相手を切り替えながら通話できます。

P.14-7

各部の名称と機能

本体

1 ディスプレイ

2 ボーダフォンライブ! ボタン／モバイルカメラ起動ボタン

- 短押し：ウェブを利用するときや、画面左下のソフトキー（☞P.1-24）を利用するときに使用します。
- 長押し：モバイルカメラを起動するときに使用します。

3 開始ボタン

電話をかけるときや受けるときに使用します。

4 クリアボタン

入力した電話番号、文字などを削除するときや、各種メニューをキャンセルするときなどに使用します。

5 スケジュール／メモ／A／aボタン

スケジュールを登録／表示するときや、通話内容／音声を録音／再生するときに使用します。また、画像表示サイズを切り替えるときにも使用します。
文字入力時には、大文字⇔小文字を切り替えるときなどに使用します。

6 ダイヤルボタン

- 短押し：電話番号や文字の入力に使用します。
- 長押し：いろいろな機能を呼び出すとき（ショートカット）に使用します。

補足

P.1-4～P.1-6の操作方法は代表的なものを記載しています。モバイルカメラの動作など詳しい操作方法については、各機能を参照してください。

7 ✱ボタン

メール表示中は、次の（日時の新しい）メールを表示するときに使用します。
また、文字入力画面では、絵文字リストを表示するときに使用します。

8 赤外線ポート

赤外線通信でデータを送受信するときに使用します。

9 レシーバー（受話口）

相手の声がここから聞こえます。

10 マルチガイドボタン

メニュー項目の選択や決定、カーソルの移動、画面をスクロールするときなどに使用します。

1 リダイヤル／ノートパッドメモリボタン

- 短押し：以前かけた電話番号に再度かけるときや前の画面に戻るときに使用します。
- 長押し：ノートパッドメモリを呼び出すときに使用します。

2 ショートカットガイドボタン

- 短押し：ダイヤルボタンを長く（1秒以上）押したときに呼び出せる機能のガイドを表示します。
- 長押し：受話音量調節に使用します。

3 アドレス帳ボタン

- 短押し：アドレス帳に登録した電話番号を呼び出すときや機能を選択するときに使用します。
- 長押し：アドレス帳を登録するときに使用します。

4 ファンクション（F）／誤動作防止ボタン

- 短押し：各機能を利用するときに他のボタンと組み合わせて使用します。また、モバイルカメラで撮影するときに使用します。
- 長押し：誤動作防止を設定するときに使用します。

5 着信履歴ボタン

- 短押し：かかってきた電話の履歴を表示するときに使用します。
- 長押し：受話音量調節に使用します。

11 メールボタン

- 短押し：メールを利用するときや、画面右下のソフトキー（☞P.1-24）を利用するときに使用します。
- 長押し：でか文字モードを設定／解除するときに使用します。

12 電源／終了ボタン

- 短押し：通話を終了するときや着信時の応答保留、メニューの設定中止などに使用します。
- 長押し：電源を入れるときや切るときに使用します。

13 文字／マナー（マナーマーク）ボタン

- 短押し：文字の種類を変えたり、アドレス帳を新規登録するときに使用します。
- 長押し：マナーモードを設定／解除するときに使用します。

14 #ボタン

メール表示中は、前の（日時の古い）メールを表示するときに使用します。また、文字入力画面では、記号リストを表示するときに使用します。

15 マイク（送話口）

お客様の声をここから伝えます。

16 ストラップ取り付け穴
市販のストラップを取り付ける穴です。

17 スモールライト
充電中、着信中に点灯／点滅します。

18 接写切替スイッチ
接写モード（「」）と通常モード（「」）を切り替えるときに使用します。

19 外部機器端子
急速充電器やシガーライター充電器などを接続する端子です。通常は端子キャップを閉じてお使いください。

20 メモリカードスロット
メモリカードを挿入する場所です。

21 イヤホンマイク端子
スイッチ付イヤホンマイクなどを接続する端子です。通常は端子キャップを閉じてお使いください。

22 サイドボタン
- 短押し：モバイルカメラで撮影するときに使用します。
- 長押し：サイドキー設定（☞P.13-3）で設定した機能を利用するとき（V403SHを閉じているとき）や、モバイルカメラを起動するとき（V403SHを開いているとき）に使用します。

23 スピーカー
着信音がここから聞こえます。また、スピーカーホン／スピーカー受話中に相手の声がここから聞こえます。

24 サブディスプレイ
着信のお知らせなどが表示されます。

25 内蔵アンテナ
この部分にアンテナが内蔵されています。

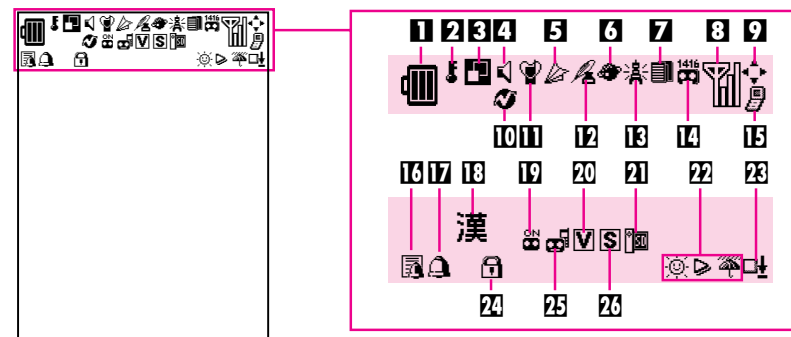
26 モバイルカメラ（レンズカバー）
ここからの画像を撮影します。

27 ミラー
お客様の顔を撮影するときなどの目安として使用できます。

28 モバイルライト
電話がかかってくると点滅します。モバイルカメラでは、モバイルライト撮影時に点灯します。また、待受中にはスポットライトとして利用できます。

29 電池カバー

注意 内蔵アンテナ部分は、手で触れたり覆わないようにしてお使いください。また、シールなどを貼らないでください。通話品質が悪くなります。

ディスプレイ

1 （電池レベル表示）
電池残量の目安を表示します。

（スポットライト表示）
スポットライト点灯時は「」と「」が交互に表示されます。

2 （シークレットモード表示）
シークレットモードのときに表示されます。シークレットデータを呼び出したときは点滅して表示されます。

3 ／（等倍表示／拡大表示）
画像やメール画面、ウェブ画面の画像表示サイズを表示します。

4 （スピーカーホン表示）
スピーカーホンで通話しているときに表示されます。

（スピーカー受話表示）
スピーカー受話で通話しているときに表示されます。

（回線接続表示）
ウェブ通信しているときなどに表示されます。

（ステーションメニュー手動更新表示）
ステーションのメニューを手動で更新しているときにグレーで表示されます。

5 （メール受信表示）
スカイメールなどを受信すると表示されます。

6 （ウェブ受信表示）
ウェブで情報を受信すると表示されます。

7 （通信レポート受信表示）
メールの通信レポートを受信したときに表示されます。

8 （電波状態表示）
電波の強さが表示されます。の棒の数が多いほど、電波の状態が良好です。
：強　：中　：弱　：微弱　：圏外

（赤外線通信中表示）
赤外線通信中に表示されます。

9 （スクロール表示）
画面の続きがあるときに表示されます。

10 （Vアプリ起動中表示）
Vアプリを起動しているときに表示されます。

（Vアプリ一時停止中表示）
一時停止しているVアプリがあるときに表示されます。

11 （マナーモード表示）
マナーモードが設定されているときに表示されます。

12 （ロングメール受信表示）
ロングメールなどを受信すると表示されます。

⑬ （ステーション受信表示）
ステーションの更新情報を受信すると赤色で表示されます。

⑭ （メッセージお預かり表示）
留守番電話センターに伝言メッセージが保存されているときに表示されます。

（オフラインモード表示）
オフラインモードに設定したときに表示されます。

⑮ （本体表示）／（メモリカード表示）
データの保存先が表示されます。

⑯ ／（スケジュール表示）
スケジュールが登録されている日に、まだ設定時刻になっていないスケジュール（アラームON時：／アラームOFF時：）があるときに表示されます。

⑰ （アラーム表示）
アラームが設定されているときに表示されます。

⑱ 入力モード表示
入力できる文字の種類や入力方法が表示されます。

⑲ （留守表示）
簡易留守録が設定されているときに表示されます。

⑳ （バイブレータ表示）
通常着信時にバイブレータが設定されているときに表示されます。

㉑ （メモリカード状態表示）
メモリカードの状態が表示されます。

（シンプルモード表示）
シンプルモードが設定されているときに表示されます。

㉒ など（お天気アイコン表示）
現在いるエリアの天気が表示されます。（別途ご契約が必要です。）

㉓ （誤動作防止表示）
誤動作防止が設定されているときに表示されます。

㉔ （ダイヤル操作禁止表示）
ダイヤル操作禁止が設定されているときに表示されます。

㉕ （録音表示）
簡易留守録の用件が録音されているときに表示されます。

㉖ （サイレント表示）
通常着信時の着信音量を、「**サイレント**」にしているときに表示されます。

（ステップ表示）
通常着信時の着信音量を、「**ステップ**」にしているときに表示されます。

注意

液晶ディスプレイは非常に精密度の高い技術で作られていますが、常時明るく見える画素や暗く見える画素もありますのでご了承ください。

補足

- バイブレータと着信音量は、通常着信、ボーダフォンライブ! の各着信に設定できますが、画面に表示されている「」、「」、「」は、通常着信時の設定状態を示します。
- 壁紙を設定（☞P.7-2）しているときは、画面のマーク表示を消すことができます。（マーク表示設定：☞P.7-2）

サブディスプレイ

- それぞれのマークの意味は、ディスプレイと同様です。（☞P.1-7〜P.1-8）

1 （電池レベル表示）
通常は「」が表示されます。電話や情報着信時、アラーム動作時には、「」、「」、「」、「」、「」、「」の各マークと、着信や動作を示すメッセージが表示されます。

（スポットライト表示）
スポットライト点灯時は、「」と「」が交互に表示されます。

2 （電波状態表示）

3 （インフォメーションあり表示）
不在着信、簡易留守録の用件、メール受信などがあるときに表示されます。
- サイドキー設定の待受時の動作（☞P.13-3）を「**詳細表示**」にしているときは、「」が表示されているときに、Sを長く（1秒以上）押すと、着信の種類に応じたマークが表示されます。

（オフラインモード表示）

4 時間表示
現在の時刻が表示されます。ストップウォッチやキッチンタイマーの動作中は、動作を表すマークと現在の時間が交互に表示されます。

補足

V403SHを閉じているときにSを押すと、サブディスプレイのパネル照明が点灯します。［サブディスプレイの照明設定（☞P.7-13）を「OFF」にしているときは、点灯しません。］

電池パックと充電器のお取り扱い

電池パックと充電器をご利用になる前に

はじめてお使いになるときや、長時間ご使用にならなかったときは、必ず充電してお使いください。

電池パックの寿命について

- **指定品以外の充電器で充電しないでください。指定品以外の充電器を使用すると、充電制御回路が不適だったり、充電制御回路が内蔵されていない場合があり、電池パックを劣化させるばかりか、非常に危険な状態（発火、発熱など）になる可能性があります。また、V403SHが故障することがあります。**
- 極端な低温／高温の状態では、使用／保存しないでください。極端な温度の状態では、劣化が進行し、本来の容量が得られなくなります。
  ※推奨使用温度：５℃～35℃
- 電池パックは消耗品です。電池パックを完全に充電しても使用できる時間が極端に短くなったときは、交換時期です。新しい電池パックをお買い求めください。

充電を行うときは

- 充電器を電池パックの充電以外に使用しないでください。
- 電池パックの金属部分（充電端子）を針金などの金属類でショートさせると大電流が流れて発熱したり、破損しますので、取り扱いにはご注意ください。
- 充電が始まるとスモールライトが赤色点灯します。（電源OFF時に充電する場合は、スモールライトが点灯するまでにしばらく時間がかかることがあります。）
- 充電時間は約115分です。
  - **■常温（電源OFF時）での充電時間の目安です。周囲温度によって充電時間は異なります。**
- 充電中、充電器や電池パックがあたたかくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。
- 充電器を使用中、ご家庭のテレビやラジオなどに雑音が入る場合は、充電器をご家庭のテレビやラジオから雑音の入らない場所まで遠ざけてください。

充電時のご注意

- 電池パックやV403SH、充電器の金属部分（充電端子）が汚れると、接触が悪くなり、電源が切れたり、充電できなくなることがあります。汚れたら、乾いたきれいな綿棒で清掃をしてからご使用ください。
- 次のような場所でのご使用は避けてください。
  - ■極端な高温や低温環境
  - ■湿気、ほこり、振動の多い場所
  - ■直射日光のあたる場所
- 電池パックを使い切った状態で、保管・放置はしないでください。
  また、電池パックを長期間保管・放置されるときは、半年に１回程度、電池パックの補充電を行ってください。
  そのままにしておくと、電池パックが使用できなくなることがあります。
- 電池パック単体を持ち運ぶときは、袋などに入れてください。

- 電池パック単体で充電することはできません。
- V403SHに電池パックを取り付けた状態で充電してください。電源を入れて、待受状態でも充電することができます。電源を入れて充電した場合、充電中は「▮」が点滅します。充電が完了すると、点灯に変わります。
- **V403SHを開いた状態でも充電することができます。**

完全に充電したときの利用可能時間

連続通話時間	約140分
連続待受時間	約450時間
連続操作時間	約290分

※ 上記の各利用可能時間は、パネル明るさ調整を「**明るさ４**」（お買い上げ時）にしているときの時間です。

- 連続通話時間とは、充電を満たした新品の電池パックを装着し、最大パワー送信およびバッテリーセーブ機能「OFF」を設定のうえ、電波が正常に受信できる静止状態から算出した平均的な計算値です。
- 連続待受時間とは、充電を満たした新品の電池パックを装着し、V403SHを閉じた状態で通話や操作をせず、電波が正常に受信できる静止状態から算出した平均的な計算値です。電波の届きにくい場所（ビル内、車内、カバンの中など）や、圏外表示の状態での待受では、ご利用時間が約半分以下になることがあります。また、使用環境（充電状態、気温など）によっては、ご利用可能時間が変動することがあります。
- 連続操作時間とは、通話をしないで連続してボタンを押し続けたときの利用可能時間です。
- 電池パックの利用可能時間は電波が安定した状態で算出した当社計算値です。

電池パックの持ちについて

次のような使用や操作をされた場合は、電池パックの消耗が早いため、電池パックの利用可能時間が短くなります。

- **使用環境**
  - ■極端な低温／高温の状態で使用／保存されているとき（５℃～35℃の温度範囲でお使いください。）
  - ■V403SHや電池パック、充電器の充電端子が汚れているとき（充電端子が汚れていると、接触が悪くなり正常に充電できなくなります。）
  - ■電波の弱い場所で通話しているときや圏外表示で待受にしているとき（なるべく電波状態の良い環境でお使いください。）
- **操作**
  - ■Vアプリを起動しているとき
  - ■ステーションを使用しているとき
  - ■モバイルカメラ撮影／バーコード読み取りを多く使用したとき
  - ■モバイルライト撮影を多く使用したとき
  - ■動画を再生したとき
  - ■スポットライトを多く使用したとき
  - ■メール作成などの連続したボタン操作（照明の点灯時間が長くなる）を多くしたとき
  - ■ボイスレコーダーを録音／再生したとき
  - ■赤外線通信を多く使用したとき
  - ■V403SHを頻繁に開閉したとき
- **設定**
  - ■パネル照明やキー照明の点灯時間を長く設定したとき
  - ■壁紙にアニメーションを設定したとき
  - ■スクリーンアニメを設定したとき
  - ■パネルセーブが働かないように設定したとき
  - ■パネル照明を明るくなるように調整したとき

電池パックの消耗を軽減するには

次の機能の設定を変更していただくと、電池パックの消耗を軽減することができます。

- 照明設定（☞P.7-12）
- サブディスプレイの照明設定（☞P.7-13）
- モバイルライト（☞P.6-19）やスポットライトの継続点灯時間（☞P.13-38）
- パネルセーブ（☞P.13-35）

電池が切れたら

電池交換のメッセージが表示され、電池アラーム音が「ピピピ…」と鳴り、約20秒後に電源が切れます。（20秒以内に充電を開始したときは、電源は切れません。）

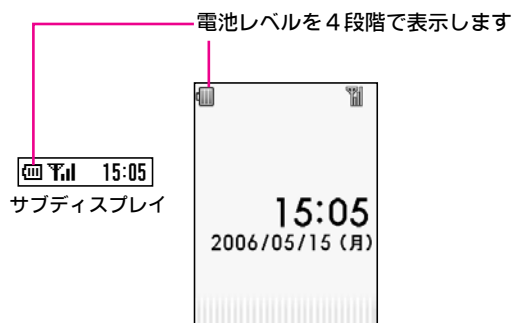
電池アラーム音が鳴っているときにを押すと、電池アラーム音は止まります。電池パックを充電してください。

（マナーモード設定中は、電池アラーム音は鳴りません。）

- 通話中に電池が切れたときは、電池アラーム音「ピピ」と断続音が約５秒間隔で鳴ります。約20秒後に通話が切れ、そのあと電源が切れます。電池パックを充電してください。

不要になった電池パックは

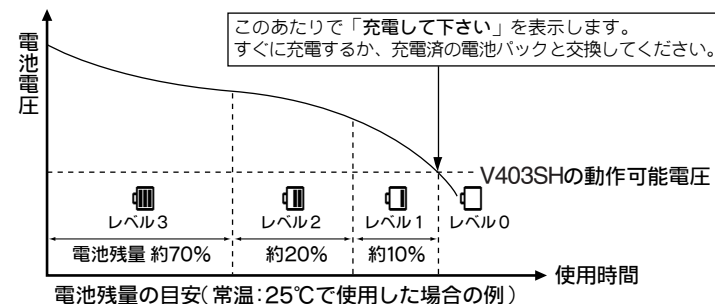
- 不要になった電池パックは、一般のゴミと一緒に捨てないでください。
  端子にテープなどを貼り、個別回収に出すか、最寄りのボーダフォンショップへお持ちください。
  電池を分別している市町村の場合は、その規則に従って処理してください。

電池レベル表示の確認

- 電池残量が不足すると、電池アラーム音が鳴り、充電することをおすすめする確認メッセージが表示されます。このときは、電池アラーム音が鳴り、約20秒後に電源が切れます。

■電池レベル表示について

電池レベル表示は、ご使用の時間経過とともに次のように変化します。

画面の電池レベル表示と案内表示をご確認のうえ、充電または電池パック交換の目安にしてください。

- 下記の電池レベル表示はあくまでも電池残量の目安です。

■ご使用の温度条件によって上図の電池レベル表示は次のように変化します

低温下では、レベル１が早めに表示されます。

高温下では、レベル１が遅めに表示されます。

注意 電池レベル表示がレベル１になると、ボイスレコーダーの録音など、利用できない機能があります。

スモールライト／電池レベル表示

スモールライト（☞P.1-6⑰）や電池レベル表示は、次のような状態をお知らせします。

■電源が入っているとき

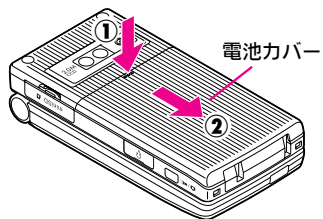
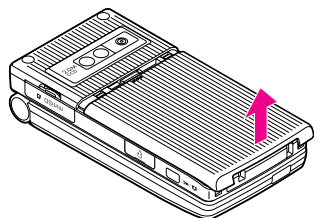
スモールライト	電池レベル表示（▥）	状態
消灯	点滅	周囲温度が５℃〜35℃以外
赤色点滅	点滅	電池パックの寿命、異常
赤色点灯	点滅	充電中
消灯	点灯	充電完了

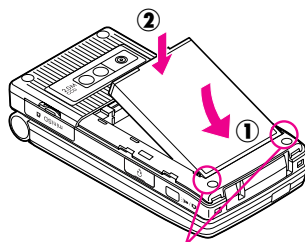
■電源が切れているとき

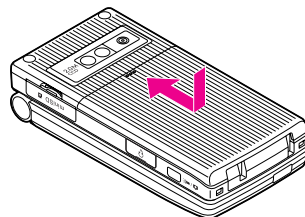
スモールライト	電池レベル表示（▥）	状態
赤色点滅	消灯	電池パックの寿命、異常
赤色点灯	消灯	充電中
消灯	消灯	充電完了

電池パックを取り付ける／取り外す

取り付ける

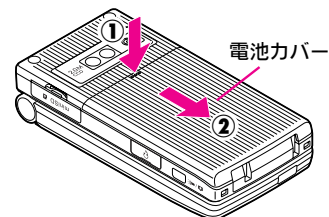
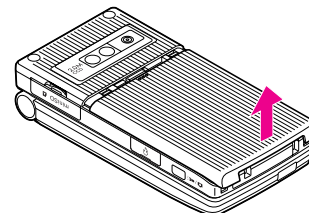
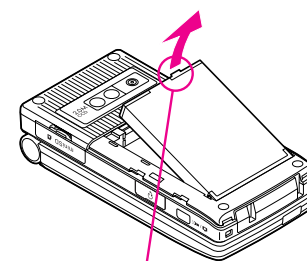
1 電池カバーを矢印の方向に押しながらスライドする。

2 矢印の方向に持ち上げ、取り外す。

3 電池パックを取り付ける。

- 印刷面を上にして、本体のくぼみに電池パックの先を合わせて取り付けます。

4 電池カバーを取り付ける。

- 電池カバーとキャビネットとのすき間ができないように電池カバーを押しながらスライドさせます。

取り外す

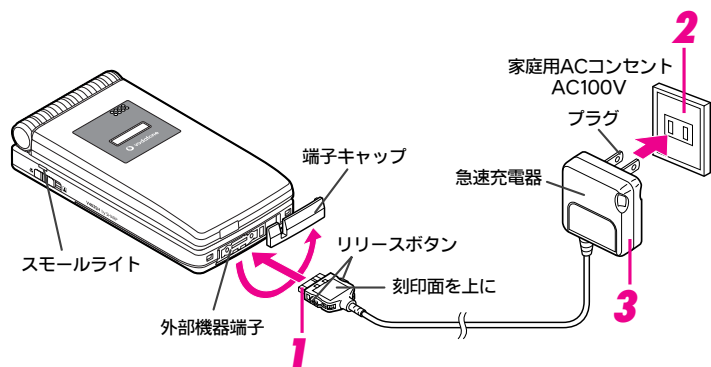
- 必ず、V403SHの電源を切った状態で行ってください。
- V403SHを操作したすぐあとは、電池パックを取り外さないでください。

1 電池カバーを矢印の方向に押しながらスライドする。

2 矢印の方向に持ち上げ、取り外す。

3 電池パックを持ち上げ、取り外す。

- この部分に指をかけ、電池パックを持ち上げます。

補足

V403SHは、リチウムイオン電池を使用しています。
リチウムイオン電池はリサイクル可能な貴重な資源です。
- リサイクルは、お近くのモバイル・リサイクル・ネットワークのマークのあるお店で行っています。
- リサイクルのときは、次のことにご注意ください。火災・感電の原因となります。
  - ■ショートさせない。
  - ■分解しない。

急速充電器を利用して充電する

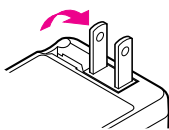
●必ず、付属の急速充電器を使用してください。

1 外部機器端子の端子キャップを開き、急速充電器の接続コネクターをV403SHに差し込む。

●接続コネクターを差し込むときは、両側のリリースボタンを押さえながら、しっかりと差し込んでください。

2 プラグを家庭用ACコンセントに差し込む。

●充電が始まります。［充電時間：約115分］（スモールライト赤色点灯：☞P.1-13）

●スモールライトが消灯すれば、充電は完了です。

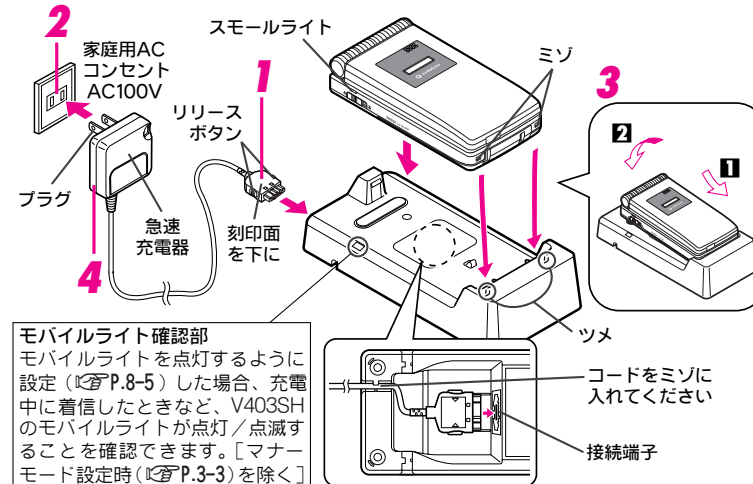
●ACコンセントに差し込む前に、プラグを起こしてください。（ご使用後は、プラグを倒して保管してください。）

3 充電が完了したら…
V403SHから接続コネクターを抜き、プラグをACコンセントから抜く。

●接続コネクターを抜くときは、両側のリリースボタンを押さえながらまっすぐに引き抜いてください。

●このあと、V403SHの端子キャップを元に戻してください。

注意　急速充電器を携帯するときなど、コードを強くひっぱったり、折り曲げたり、ねじったりしないでください。断線の原因となります。

卓上ホルダーを利用して充電する

●必ず、付属の急速充電器、指定の卓上ホルダーを使用してください。

1 急速充電器の接続コネクターを、卓上ホルダーの接続端子に差し込む。

●「カチッ」と音がするまでしっかりと差し込んでください。

●卓上ホルダーの接続端子は裏側にあります。

2 プラグを家庭用ACコンセントに差し込む。

●ACコンセントに差し込む前に、プラグを起こしてください。（ご使用後は、プラグを倒して保管してください。）

3 V403SHに電池パックを取り付け、卓上ホルダーに置く。

●1のようにV403SHのミゾを卓上ホルダーのツメに合わせ、2の矢印の方向に「カチッ」と音がするまで押し下げてください。

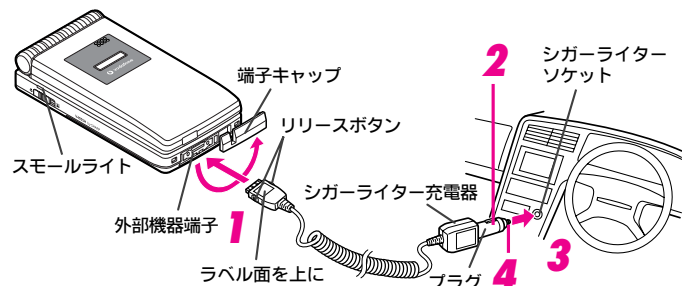
●充電が始まります。［充電時間：約115分］（スモールライト赤色点灯：☞P.1-13）

●スモールライトが消灯すれば、充電は完了です。

4 充電が完了したら…
V403SHを卓上ホルダーから取り外し、プラグをACコンセントから抜く。

補足　卓上ホルダーの操作方法などについては、卓上ホルダーの取扱説明書を参照してください。

シガーライター充電器を利用して充電する

●必ず、指定のシガーライター充電器を使用してください。

1 外部機器端子の端子キャップを開き、シガーライター充電器の接続コネクターをV403SHに差し込む。

●接続コネクターを差し込むときは、両側のリリースボタンを押さえながら、しっかりと差し込んでください。

2 シガーライターソケットにプラグを差し込む。

3 車のエンジンをかける。

●充電が始まります。［充電時間：約115分］（スモールライト赤色点灯：☞P.1-13）

●スモールライトが消灯すれば、充電は完了です。

4 充電が完了したら…
V403SHから接続コネクターを抜き、プラグをシガーライターソケットから抜く。

●接続コネクターを抜くときは、両側のリリースボタンを押さえながらまっすぐに引き抜いてください。

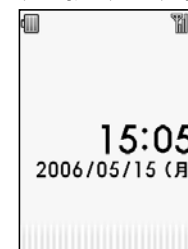
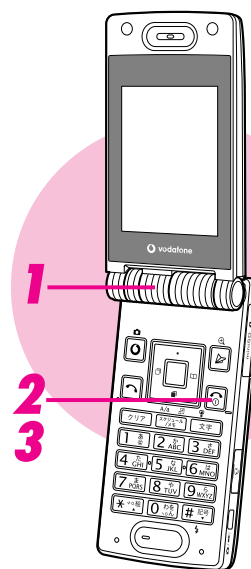
●このあと、V403SHの端子キャップを元に戻してください。

●このシガーライター充電器はマイナスアース車専用です。（12V、24V両用）プラスアース車では使用しないでください。
●シガーライター充電器の電源は、自動車のキースイッチに連動しますが、自動車の種類によっては連動しないことがあります。自動車から離れるときは、電源が切れていることを確認してください。
●シガーライター充電器を卓上ホルダーに接続しないでください。故障の原因となることがあります。
●炎天下で高温になった自動車内では、充電しないでください。
●自動車を運転するときは、V403SHを絶対にお使いにならないでください。

●シガーライター充電器の操作方法などについては、シガーライター充電器の取扱説明書を参照してください。
●シガーライター充電器を使って充電するときは、V403SHを固定させるため、車載ホルダーを利用することをおすすめします。

電源を入れる／切る

1 V403SHを開く。

2 ⓞを長く（1秒以上）押す。

ディスプレイが点灯し、起動画面が表示されたあと、上のような「待受画面」が表示されます。

3 電源を切るときは、ⓞを長く（2秒以上）押す。

終了画面が表示されたあと、ディスプレイが消灯します。

はじめてお使いになるとき

■ 起動画面が表示されたあと、時刻設定の確認画面が表示されることがあります。このときは、次の操作を行います。

「1YES」選択➡◉➡時刻設定画面へ（☞P.1-21）

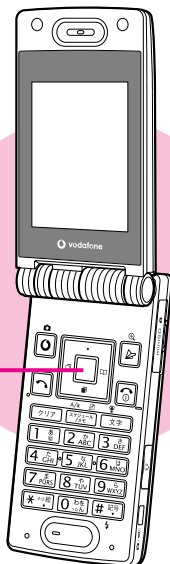
■時刻を設定しないとき：「2NO」選択➡◉➡時刻未設定の待受画面へ

●本書では、ことわりがない限り、時刻が設定されている状態での操作を説明しています。

電源を入れたときや、切ったときに画面が一瞬暗くなりますが、故障ではありません。

●V403SHを閉じたままで、メールなど ボーダフォンライブ! の着信も自動的に受けられます。
●V403SHを開いたまま操作をしない状態が続くと、電池パックの消耗を抑えるため、自動的に画面表示が消えます。（パネルセーブ：☞P.13-35）

誤ってボタンが押されるのを防ぐ（誤動作防止）

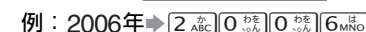
持ち運ぶときなどに、誤ってボタンを押さないように設定します。

誤動作防止を設定する

1 ◉を長く（1秒以上）押す。

「」が表示され、誤動作防止が設定されます。

注意　誤動作防止設定中の「110」などの緊急電話発信については、P.2-3を参照してください。

補足　誤動作防止設定中は
- 電話がかかってきたときは、一時的に誤動作防止が解除され、エニーキーアンサーの各ボタン（☞P.2-6）を押して電話に出られます。通話終了後には、再び誤動作防止が設定されます。
- ⓪を長く（2秒以上）押しても、電源は切れません。

誤動作防止を解除する

1 誤動作防止が設定されている待受中に、◉を長く（1秒以上）押す。

「」が消え、誤動作防止が解除されます。

日付／時刻の設定

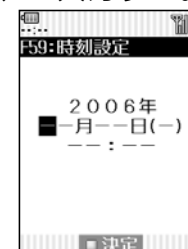
メニュー ▶ ファンクション ▶ 時計／アラーム機能

1 「9 時刻設定」を選び、◉を押す。

2 年（西暦）を入力する。

例：2006年➡2 0 0 6

3 月・日を入力する。

例：5月15日➡0 5 1 5

4 時・分を入力する。

時刻は24時間制で入力します。

例：午後3時5分➡1 5 0 5

5 ◉を押す。

設定した時刻の「0秒」から動き始め、時刻設定が終了して、待受画面に戻ります。
曜日は自動的に設定されます。

カーソルについて

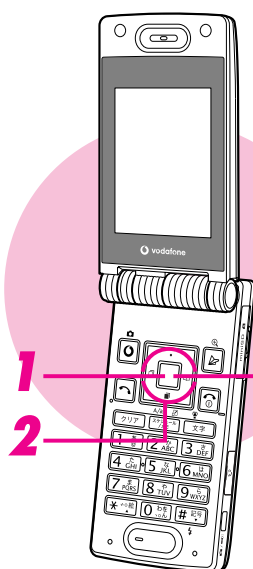
■ 文字入力時に表示される「■」および、メニューを選択するときの色帯の部分を「**カーソル**」といいます。文字入力時のカーソルは、を押すと1文字単位で、を押すと1行単位で移動できます。文字の入力や修正は、カーソル位置に対して行われます。

注意　設定した時刻は、電池パックを交換するときにも保持されますが、約1ヵ月程度電池パックを外しているか、空の状態で放置していると、記憶が消えることがあります。そのときは、西暦／日付／時刻を再設定してください。

補足
- 西暦／日付／時刻を合わせていないとき、着信履歴やリダイヤルなどの日時表示は「--/-- --:--」と表示されます。
- 待受画面に表示される時計の表示方法を設定したり、カレンダーを表示することもできます。（☞P.7-3）
- 通話中も日付／時刻の設定が行えます。

機能の呼び出し方

インデックスメニューから機能を呼び出す

V403SHのいろいろな操作は、「**インデックスメニュー**」と呼ばれる画面で行います。

1 ●**を押す。**

インデックスメニューが表示されます。

2 ◎**でメニュー項目を選ぶ。**

- オススメメニューの表示：[O]
- Vアプリライブラリの表示：[✎]

3 ●**を押す。**

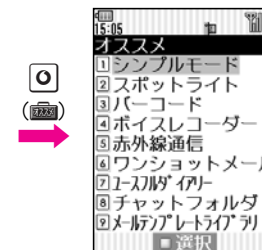
選んだメニュー項目の画面が表示されます。

■インデックスメニューの項目

ツール	スケジュールや電卓、アラームなど、便利な機能が利用できます。
モバイルカメラ	モバイルカメラメニューが表示され、静止画／動画の撮影やバーコード読み取りなどが行えます。
設定	ディスプレイや音の設定をはじめ、いろいろな設定を行えます。
カスタムスクリーン	保存されているカスタムスクリーンが表示され、カスタムスクリーンキーのダウンロードや設定が行えます。
ファンクション	ファンクションメニュー（☞P.1-23）が表示され、各機能の設定や確認を行えます。
電話	アドレス帳の登録／検索や、リダイヤル／着信履歴の確認などを行えます。
Vodafone live!	メールやウェブ、Vアプリ、ステーションなどの通信サービスが利用できます。
データ確認	V403SHに保存したデータを確認できます。
メモリカード	メモリカードメニューが表示され、メモリカード関連の機能が利用できます。

オススメメニューについて

■ インデックスメニューで、[O]（[カメラ]）を押すと、オススメメニューが表示されます。
オススメメニューには、新しく追加された機能やおすすめの機能が集められています。

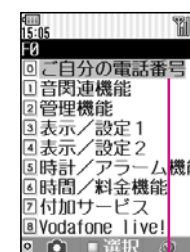
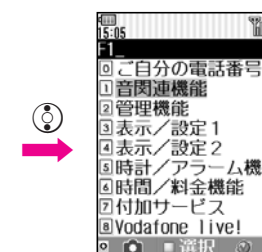
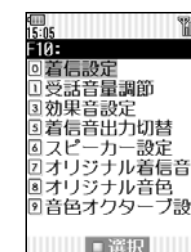
インデックスメニュー

オススメメニュー

ファンクションメニューから機能を呼び出す

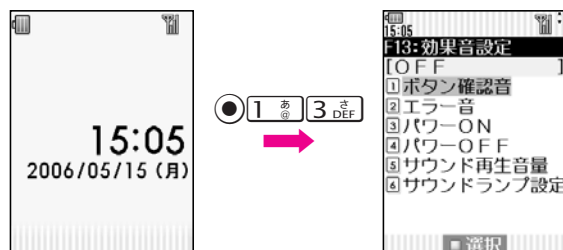
インデックスメニューで「**ファンクション**」を選び、●を押すと、ファンクションメニューが表示されます。

ファンクションメニューでは、大分類の下に各機能が分類されており、それぞれの機能に固有の番号がつけられています。（☞P.16-2）

■大分類を選ぶ

◎で大分類を選んだあと、●を押します。

選択した項目は色帯付きで表示されます（カーソル）

＜大分類＞

＜各機能＞

■番号を直接指定して機能を選ぶ

待受画面で◉（インデックスメニュー表示）→「**大分類の番号**」→「**機能の番号**」の順に押すと、該当する機能の操作ができるようになります。

待受画面に戻す

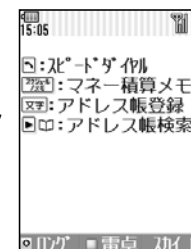
■ 機能を呼び出したあとやメニューを表示したあとなどに、各画面で⌂を押すと、待受画面（☞P.1-19）に戻ります。
- 確認画面が表示されたときは、「1YES」を選び◉を押すと待受画面に戻ります。

ソフトキーの使い方

各メニュー画面や操作画面では、最下行にボタン操作を示すガイダンスが表示されることがあります。

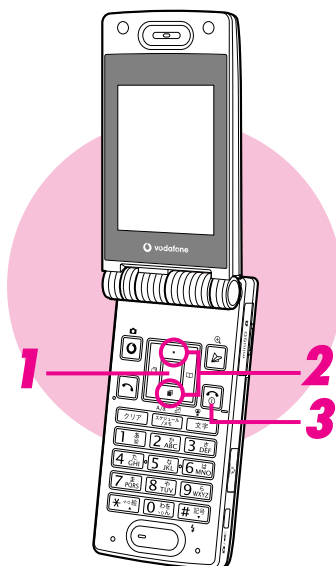
- オリジナル着信音の入力画面などで表示される「文字」は、文字を押したときの動作を示します。

クイックオペレーション

待受画面で数字を入力すると、数字のケタ数に応じて利用できる機能が画面に表示されます。
（右の画面は数字を1ケタ入力したときの例です。）
この状態で、機能名の前に表示されるボタン（スピードダイヤルでは↰）を押すと、その機能が操作できるようになります。

機能 ＼ 入力する数字のケタ数	1	2	3	4	5～6	7～12	13～24
スピードダイヤル：☞P.5-14	○	○	×	×	×	×	×
マネー積算メモ：☞P.13-37	○	○	○	○	○	×	×
アドレス帳登録：☞P.5-3	○	○	○	○	○	○	○
アドレス帳検索※1：☞P.5-12	○	×	×	×	×	×	×
簡易電卓：☞P.13-36	○	○	○	○	○	○	×
簡単メール送信※2：☞◎P.3-15	○	×	×	×	×	×	×
リピートアラーム設定※3：☞P.13-7	×	×	×	○	×	×	×
スケジュール表示※4：☞P.13-18	×	×	×	○	×	×	×

※1　アカサタナ検索が利用できます。
※2　ダイヤル後◎（**ロング**）または✎（**スカイ**）を押してください。また、あらかじめ簡単メール宛先（☞◎P.3-14）を設定しておく必要があります。
※3　設定する時刻を24時間制の4ケタで入力します。（すでに5件のリピートアラームが登録されているときはエラーメッセージが表示されます。）
また、アラームは「**リピートOFF**」で登録されます。（☞P.13-7）
※4　表示する月・日を4ケタで入力します。入力した日のカレンダー（当日を含む1年以内）が表示されますので、スケジュールの登録を行ってください。

機能の操作方法を確認する（ガイド機能）

ファンクションメニューから操作できる機能以外の操作方法を確認します。

メニュー ▶ ファンクション ▶ 表示／設定１

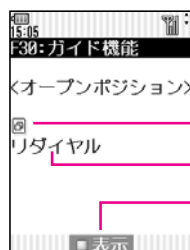
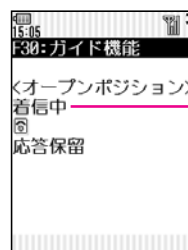
1 「0ガイド機能」を選び、●を押す。

ガイド機能画面（スポットライト点灯の操作説明）が表示されます。

2 ◎を押す。

別の機能の操作説明が表示されます。

3 確認を終了するときは、☎を押す。

■**ガイド機能画面の見かた**

暗証番号

V403SHのご使用にあたっては、「**操作用暗証番号**」と「**交換機用暗証番号**」が必要になります。

操作用暗証番号

「9999」もしくはご契約時にお決めいただいた４ケタの番号です。

V403SHの各機能を操作するときに使用します。

- 入力した操作用暗証番号は「*」で表示されます。
- 操作用暗証番号を間違えて入力したときは、番号間違いの確認メッセージが表示されます。操作をやり直してください。
- 「**操作用暗証番号**」はV403SHの操作で変更できます。（☞P.12-2）

交換機用暗証番号

お客様がご契約時に申し込み書に記入された４ケタの番号です。

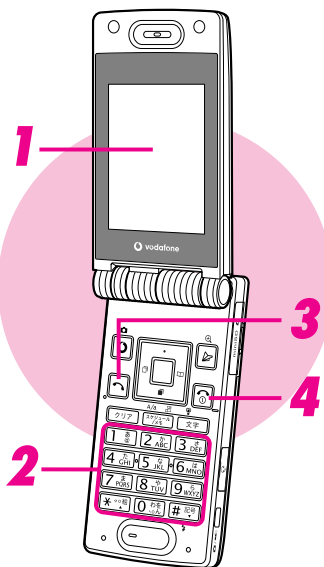
オプションサービスを一般電話から操作するときや、「**ウェブの有料情報**」の申し込みの際に必要な番号です。

- 「**交換機用暗証番号**」はV403SHの操作では変更できません。「**交換機用暗証番号**」を変更するときは、所定の手続きが必要となります。
  詳しくは、お問い合わせ先（☞P.16-20）までご連絡ください。

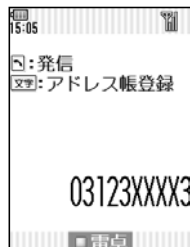
- 「**操作用暗証番号**」や「**交換機用暗証番号**」は、お忘れにならないようご注意ください。いずれの暗証番号も万一お忘れになったときは、所定の手続きが必要になります。詳しくは、お問い合わせ先（☞P.16-20）までご連絡ください。
- 「**操作用暗証番号**」や「**交換機用暗証番号**」は、他人に知られないようご注意ください。他人に知られ悪用されたときは、その損害について当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

MEMO

基本的な操作のご案内

電話をかける

1 電源が入っていることを確認する。

●電波状態（☞P.1-7）を確認してください。
●画面に「圏外」、「」、「」、「」が表示されているときは、ご利用になれません。（☞P.16-8）

2 市外局番からダイヤルする。

●同一市内へ電話するときでも、必ず市外局番からダイヤルしてください。

電話番号の通知／非通知を設定する

●電話番号の前に次の数字を付けてダイヤルします。
■通知する……1 8 6
■通知しない…1 8 4

3 電話番号を確認し、を押す。

電話番号を間違えたら

●で、カーソル「＿」を移動したあと クリア を押すと、カーソル位置の番号が消えます。
●クリア を長く（1秒以上）押すと、数字がすべて消え、待受画面に戻ります。
●を押したあとで間違いに気付いたら、を押して電話を切り、かけ直してください。

相手が話し中のとき

●を押していったん電話を切り、しばらくしてからかけ直してください。

4 通話を終了するときは、を押す。

●V403SHを閉じても、通話は切れます。
V403SHを閉じても、通話が切れないようにできます。（クローズ終話設定：☞P.2-3）

通話中にV403SHを閉じたときの動作を設定する（クローズ終話設定）

■ 通話中にV403SHを閉じたときの動作を設定します。
●➡「ファンクション」選択➡●➡「1音関連機能」選択➡●➡「0着信設定」選択➡●➡「1通常着信」選択➡●➡「7クローズ終話設定」選択➡●➡「1ON」／「2OFF」選択➡●

ON	電話は切れます。	OFF	こちらの声が相手に聞こえなくなります。

●お買い上げ時には、「ON」に設定されています。

注意
●通話時にマイク（☞P.1-5⑮）をふさいでいると、相手にこちらの声が聞こえなくなります。
●内蔵アンテナ部分（☞P.1-6㉕）には、触れないようにしてください。通話品質が悪くなります。
●体の向きや通話している場所によっては、通話品質が悪くなります。

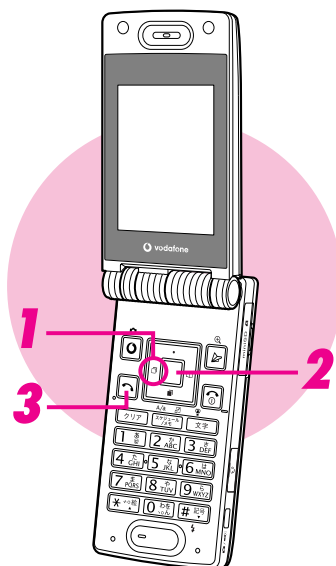
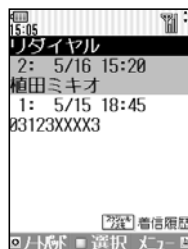
補足
●通話後、自動的に通話時間や通話料金の目安を表示することもできます。（☞P.2-19、P.2-20）
●累積の通話時間（☞P.2-19）や通話料金（☞P.2-20）の目安を確認することもできます。
●スピーカーを使って通話することもできます。（☞P.8-22）
●国際電話をかけるときは、「**サービスガイドブック**」を参照してください。

緊急電話「110」、「119」、「118」発信について

V403SHの各機能を利用して発信の制限などを設定しているとき、緊急電話発信の利用は次のようになります。

誤動作防止（☞P.1-20）	発信不可	簡易ロック（☞P.12-3）	発信可
オフラインモード（☞P.3-7）	発信不可	ダイヤル禁止（☞P.12-4）	発信可
ダイヤル操作禁止（☞P.12-2）	発信可		

以前かけた電話番号にもう一度かける（リダイヤル）

以前かけた電話番号を呼び出して簡単に電話をかけられます。
●最新の20件まで記憶しています。

1 ◎（□）を押す。

記憶している電話番号と日時が、新しいものから順に一覧表示されます。
●V403SHのアドレス帳に登録されているときは、相手の名前が表示されます。

2 電話番号または名前を選び、◉を押す。

3 ⌒を押す。
表示されている電話番号に発信されます。

補足
●同じ電話番号に２回以上の電話をかけたときは、最後にかけた日時だけが、記憶されます。
●シークレットデータの名前は、シークレットモード以外では表示されません。
●電源を切っても、リダイヤルの記憶は消えません。
●20件を超えたときは、古いものから消去されます。個別に消去することもできます。（☞P.2-14）

番号を付加して電話をかける

あらかじめ番号を登録し、アドレス帳の電話番号の先頭に付けて発信します。国際電話専用の「**国際発信**」と、184 や186 などお好みの番号を登録できる「**セット発信**」があります。

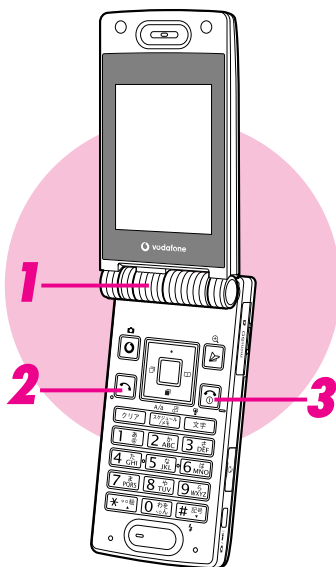
プリセット登録　国際発信またはセット発信用の番号を登録します。

お買い上げ時 国際発信：0046010、セット発信：なし

メニュー ▶ ファンクション ➡ 付加サービス ➡ プリセット登録
「1国際発信登録」／「2セット発信登録」選択➡◉➡番号入力➡◉
■ 登録されている番号を変更する：「1国際発信登録」／「2セット発信登録」選択➡◉➡クリア（１秒以上）➡番号入力➡◉
●「**国際発信**」は７桁以内、「**セット発信**」は６桁以内で入力します。

国際発信／セット発信　プリセット登録した番号を付加して電話をかけます。

メニュー ▶ 電話 ➡ アドレス帳検索
アドレス帳呼び出し（☞P.5-11操作２〜３）➡◉（メニュー）➡「国際発信」／「セット発信」選択➡◉

電話を受ける

1 着信中に、V403SHを開く。

相手が電話番号を通知してきたときは、電話番号が表示されます。
- V403SHのアドレス帳に登録しているときは、相手の名前が表示されます。
- 電話番号が通知されてこなかったときは、相手の電話番号や名前は表示されません。

簡易留守録設定中に着信があると
- 応答メッセージが流れたあと、録音が始まります。（☞P.13-5）

2 ⌒を押す。
- 次のボタンを押しても、電話を受けられます。（エニーキーアンサー）
  0〜9、＊、＃、スケジュール/メモ、クリア、O、✉、◎、◎

■ 電話に出られないときの機能：☞P.2-8〜P.2-9

3 通話を終了するときは、⌂を押す。
- V403SHを閉じても、通話は切れます。
  V403SHを閉じても、通話が切れないようにできます。（クローズ終話設定：☞P.2-3）

補足
- 着信内容と時刻は最新の20件まで記憶されており、あとで確認できます。（☞P.2-14）
- アドレス帳やオーナー情報に登録されていない電話番号から着信があったとき、着信時の動作を約３秒間遅らせられます。（ワンコールサイレント：☞P.2-10）
- 着信音の音量やパターン、モバイルライトやスモールライトの点滅パターンは変更できます。（☞P.8-2）

着信時の着信音量を調節する

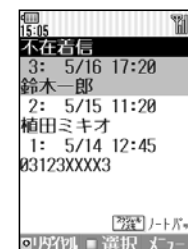
■ 着信中に、次の操作を行います。
　◎（小さくする）／◎（大きくする）
- 上記の操作で着信音量を調節すると、通常着信の着信音量設定（☞P.8-2）に反映されます。
- マナーモード設定中（☞P.3-3）は、調節できません。

着信音量を一時的にサイレントにする（クイックサイレント）

■ 着信中に、次の操作を行います。
　文字

■ サイドキー設定の着信時の動作（☞P.13-3）を「2クイックサイレント」にしているときは、着信中にSを長く（１秒以上）押すと、クイックサイレントが行えます。（V403SHを閉じているときだけ）

かけてきた相手にかけ直す（着信履歴）

発信者番号を通知してかかってきた電話は、その番号を利用して電話をかけられます。
- 最新の20件まで記憶しています。

1 ◎（■）を押す。

記憶している電話番号と日時が、新しいものから順に一覧表示されます。
- V403SHのアドレス帳に登録されているときは、相手の名前が表示されます。

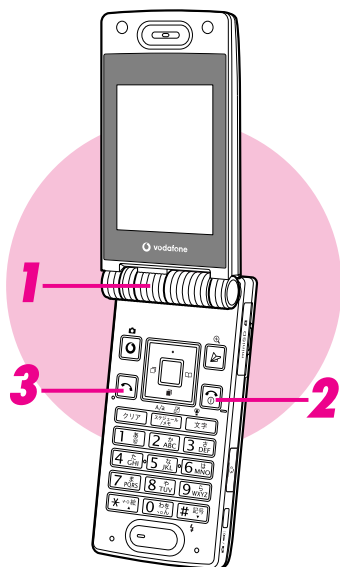
2 電話番号または名前を選び、◉を押す。

3 ⌒を押す。
表示されている電話番号に発信されます。

補足
- シークレットデータの名前は、シークレットモード以外では表示されません。
- 電源を切っても、着信履歴の記憶は消えません。
- 20件を超えたときは、古いものから消去されます。個別に消去することもできます。（☞P.2-14）

電話に出られないとき

着信を保留にする（応答保留）

相手にアナウンスを流し、電話を保留にします。

1 着信中に、V403SHを開く。

2 ⓞを押す。

約５秒間、応答保留音が鳴り、そのあと無音状態になります。

●着信音を「**サイレント**」にしているときは、応答保留音は鳴りません。

3 電話に出られる状態になったら、⌒を押す。

●エニーキーアンサーの各ボタン（☞P.2-6）を押しても電話に出られます。

注意

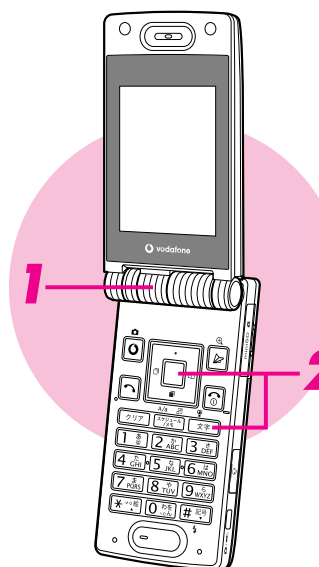
●応答保留中にⓞを押すかV403SHを閉じると、応答保留中の電話は切れます。［クローズ終話設定（☞P.2-3）を「OFF」にしているときは、電話は切れません。］
●応答保留中に相手が電話を切ると、電話は切れます。

V403SHを閉じたまま応答保留／着信拒否する

■ サイドキー設定の着信時の動作（☞P.13-3）を「**応答保留**」または「**着信拒否**」にしているときは、着信中にⓈを長く（１秒以上）押すと、応答保留／着信拒否が行えます。

メッセージを録音する（簡易留守録）

かかってきた電話を簡易留守録で応答し、相手のメッセージを録音します。

●この操作を行うと、その着信に限り留守録音します。常に簡易留守録を設定しておくこともできます。（☞P.13-4）

1 着信中に、V403SHを開く。

2 着信音が鳴っている間に、◉［文字］の順に押す。

応答文が流れたあと、録音が始まります。

■ 録音されたメッセージを聞く：◉［スケジュール/メモ］

注意

録音ができない（簡易留守録が設定できない）状態（☞P.13-4）のときは、操作できません。

留守番電話サービスについて

■ 留守番電話サービスを開始しておくと、電波の届かない場所にいるときや通話中など、電話に出られないときに、留守番電話センターに転送し、伝言メッセージをお預かりすることができます。（☞P.14-4）

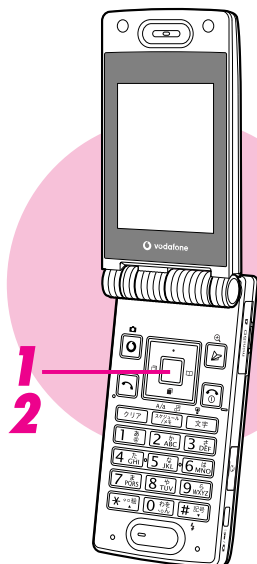
■ 留守番電話サービスを停止しているときでも、次の操作を行うと、着信中に留守番電話センターに転送できます。

◉➡ⓞ

●サイドキー設定の着信時の動作（☞P.13-3）を「Ⓢ**留守電センター転送**」にしているときは、着信中にⓈを長く（１秒以上）押すと、留守番電話センターに転送できます。（V403SHを閉じているときだけ）

●関東・甲信／東海／関西地域でご契約され、関東・甲信／東海／関西地域でご利用の場合に有効となります。

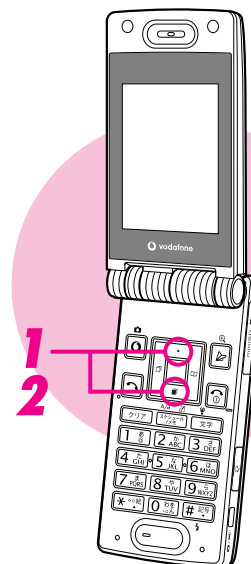
迷惑電話を防止する

アドレス帳やオーナー情報に登録されていない電話番号から電話がかかってきたとき、着信時の動作を約3秒間遅らせるかどうかを設定します。
●お買い上げ時には、「OFF」に設定されています。

1 「6ワンコールサイレント」を選び、●を押す。

2 「1ON」または「2OFF」を選び、●を押す。

通話中の操作

受話音量を調節する

レシーバー（受話口）から聞こえる相手の声の大きさを、5段階で調節できます。
●変更した音量は、電源を切っても保持されます。
●お買い上げ時には、「音量5」に設定されています。

1 通話中に、◎を押す。

2 ◎（小さくする）または◎（大きくする）を押す。

押すたびに受話音量を調節できます。
●約5秒間そのままにしておくか ● を押すと、設定されます。

通話前に受話音量を設定する

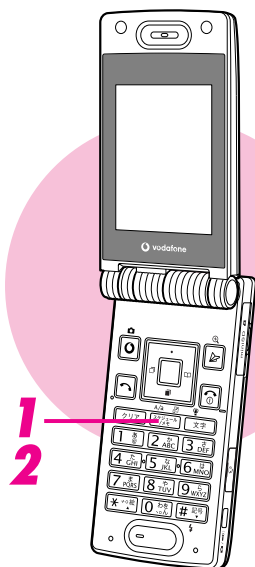
■ 次の操作を行うと、通話前に受話音量を設定しておくことができます。
●➡「ファンクション」選択➡●➡「1音関連機能」選択➡●➡「1受話音量調節」選択➡●➡◎（受話音量選択）
●約5秒間そのままにしておくか●を押すと、設定されます。

通話中に相手の声を録音する（音声メモ）

1 通話中に、[スケジュール/メモ]を長く（1秒以上）押す。

録音が始まります。

2 録音を終了するときは、もう1度[スケジュール/メモ]を押す。

- 電源を切っても録音内容は消えません。
- 音声メモの再生方法や消去方法は、簡易留守録と同様です。（☞P.13-5、P.13-6）

注意 クローズ終話設定（☞P.2-3）を「ON」にしているとき、音声メモ録音中にV403SHを閉じると、電話が切れ、録音も終わります。（このときは、残りの録音可能時間は表示されません。）

数字のメモを登録する（ノートパッドメモリ）

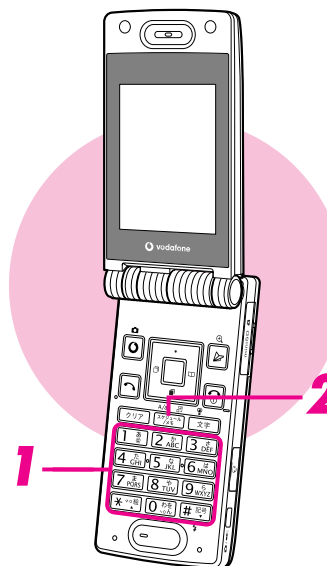
通話中に入力した数字を、最大3件まで登録できます。相手から聞いた電話番号などを控えるときに便利です。

- 1件につき、最大24ケタまで登録できます。（数字0〜9、＊、＃）
- すでに3件登録されている状態で登録すると、古いものから順に消去されます。
- 登録した番号を、アドレス帳に登録することもできます。

1 通話中に、数字を入力する。

2 [スケジュール/メモ]を押す。

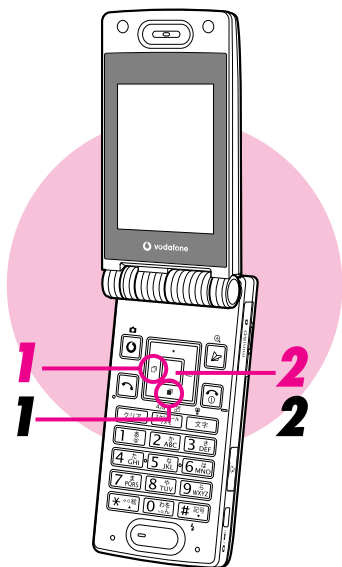
ノートパッドメモリに登録されます。

- 通話中に着信があったり、通話を終了したときなどは、自動的に登録されます。

ノートパッドメモリの確認 登録したノートパッドメモリを確認します。

メニュー ▶ 電話

「[6]ノートパッド」選択➡●

- 新しいものから順に表示されます。
- [発信]を押すと、表示されている番号に電話をかけられます。
- ノートパッドメモリがないときは、確認メッセージが表示されます。
- リダイヤルがあるときは、[◎][O]（**ノートパッド**）の順に押しても、ノートパッドメモリを表示できます。
  - 確認の終了：[終話]
  - アドレス帳への登録：ノートパッドメモリ選択➡[メール]（**メニュー**）➡「**アドレス帳登録**」選択➡●➡P.5-4〜P.5-5
  - ノートパッドメモリの消去：ノートパッドメモリ選択➡[メール]（**メニュー**）➡「**一件消去**」／「**全消去**」選択➡●➡「[1]YES」選択➡●

リダイヤル／着信履歴の確認

リダイヤルを確認する

1 ◉（□）を押す。

記憶している電話番号と日時が、新しいものから順に一覧表示されます。

●V403SHのアドレス帳に登録されているときは、相手の名前が表示されます。

●リダイヤルがないときは、着信履歴が表示されます。

2 電話番号または名前を選び、◉を押す。

■ 表示されている電話番号に電話をかける：⌒

■ 待受画面に戻る：⌂

着信履歴を確認する

1 ◉（■）を押す。

記憶している電話番号と日時が、新しいものから順に一覧表示されます。

●V403SHのアドレス帳に登録されているときは、相手の名前が表示されます。

2 電話番号または名前を選び、◉を押す。

■ 表示されている電話番号に電話をかける：⌒

■ 待受画面に戻る：⌂

リダイヤル／着信履歴の消去 リダイヤル／着信履歴を消去します。

メニュー ▶ 電話

「4リダイヤル」／「5着信履歴」選択➡◉➡✉（メニュー）➡「一件消去」／「全消去」選択➡◉➡「1YES」選択➡◉

着信履歴に表示されるもの

着信通話	かかってきた電話に出たもの
不在着信	かかってきた電話に出なかったもの（ワンコールサイレントを含む）
応答保留	応答保留から切断されたもの
簡易留守	簡易留守録で録音されたもの
留守転送	かかってきた電話を留守番電話センターに転送したもの（着信留守電転送）
着信拒否	かかってきた電話を拒否したもの
公衆電話	公衆電話からかかってきたもの
非通知設定	相手が電話番号を通知してこなかったもの

不在時のお知らせ表示

かかってきた電話に出なかったときは、画面に着信日時と次のようなお知らせが表示されます。

簡易留守録あり	簡易留守：○件	簡易留守／	簡易留守：○件
不在着信あり	不在着信：○件	不在着信あり	不在着信：○件

●◉を押すたびに着信日時の新しいものから順に、◉を押すたびに着信日時の古いものから順に表示されます。

●⌒を押すと、表示されている電話番号に電話をかけることができます。

●確認を終了するときは、⌂を押します。

●着信内容を確認しないで、不在時のお知らせ表示を消すときは、⌂を押します。

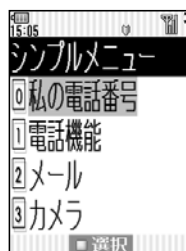
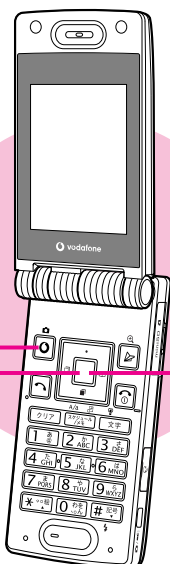
●不在時のお知らせ表示を消したあとは、着信履歴の操作で不在時の着信内容を確認できます。

●着信拒否は、着信拒否として記憶されます。

●簡易留守録については、P.13-4を参照してください。

シンプルモード

シンプルモードを利用すれば、インデックスメニューに基本的な機能（私の電話番号、電話機能、メール、カメラ、機能設定、シンプルモード解除）だけが表示されるようになります。

●それぞれの機能内の操作も、基本的なものだけに限定されます。（☞P.2-17～P.2-18）

シンプルモードを設定／解除する

シンプルモードを設定する

1 ◉0（オススメ）の順に押す。

2「1シンプルモード」を選び、◉を押す。

3「1ON」を選び、◉を押す。

●電源を切っても、シンプルモードは解除されません。

シンプルモードを解除する

1 ◉を押す。

2「5シンプルモード解除」を選び、◉を押す。

3「1YES」を選び、◉を押す。

●次の各機能が設定されているときに、シンプルモードの設定を行うと、それぞれの機能の解除確認画面が表示されます。「1YES」を選び、◉を押すと、各機能が解除され、シンプルモードが設定されます。

- ■オフラインモード※1（☞P.3-7）
- ■メモリ使用禁止※1※2（☞P.12-3）
- ■ダイヤル禁止※1※2（☞P.12-4）
- ■指定着信許可※1※2（☞P.12-5）
- ■指定着信拒否※1※2（☞P.12-5）
- ■シークレットモード※2（☞P.12-6）
- ■リピートアラーム※1（☞P.13-7）
- ■自動電源ON／OFF※1（☞P.13-11、P.13-12）
- ■スケジュール（アラームONのとき）※1（☞P.13-13）
- ■一時停止中のVアプリ（☞ 0 P.10-6）

※1 シンプルモードを解除すると元の設定に戻ります。

※2 操作用暗証番号の入力が必要です。

●着信パターンにデータフォルダ内のファイルが設定されているとき、通常着信は「着信パターン1」、メール着信は「効果音 メール」に変更されます。

シンプルモード設定時の操作

メニュー操作

待受画面で◉を押すと、シンプルモードメニューが表示されます。メニューの項目は次のとおりです。

0私の電話番号	V403SHの電話番号を表示できます。（オーナー情報は確認できません。）
1電話機能	アドレス帳の登録や検索、着信音設定、マナーモード、簡易留守、留守番サービスの設定が行えます。（☞下記）
2メール	メールの確認や返信、転送、再送、編集、消去、作成が行えます。（☞P.2-18）
3カメラ	モバイルカメラで撮影したり、撮影したデータを確認できます。（☞P.2-18）
4機能設定	ダイヤル操作禁止、簡易ロック、壁紙設定、文字の太さ、簡易電卓、アラーム、時刻設定、即時表示の各機能を設定したり、使用できます。（☞P.2-18）
5シンプルモード解除	シンプルモードを解除できます。（☞P.2-16）

各項目のサブメニューは次のとおりです。

■1電話機能

1アドレス帳登録			アドレス帳を登録できます。（☞P.5-4） ●名前、ヨミ、電話番号1～3、メールアドレス1～3が登録できます。
2アドレス帳検索			アカサタナ検索でアドレス帳の呼び出しが行えます。（☞P.5-13） ●アカサタナ検索以外の検索方法は利用できません。
3着信音設定	1通常着信	1着信パターン	電話がかかってきたときの着信パターンを設定できます。（☞P.8-3）
		2着信音量	電話がかかってきたときの着信音量を設定できます。（☞P.8-2）
	2メール着信	1着信パターン	メール着信時の着信パターンを設定できます。（☞P.8-3）
		2着信音量	メール着信時の着信音量を設定できます。（☞P.8-2）
4マナーモード			マナーモードを設定／解除できます。（☞P.3-3）
5簡易留守	1簡易留守設定		簡易留守録を設定／解除できます。（☞P.13-4）
	2録音再生		録音されたメッセージを再生できます。（☞P.13-5）
6留守番サービス	1設定		留守番電話サービスを設定（開始）できます。（☞P.14-4）
	2解除		留守番電話サービスを解除（停止）できます。（☞P.14-4）
	3留守録再生		伝言メッセージを再生できます。（☞P.14-5）

■2メール

1メール ボックス	1受信メール	受信メールを確認できます。(☞P.4-2)
	2送信メール	送信メールを確認できます。(☞P.4-2)
2メール作成		スカイメールを送信できます。(☞P.3-3)

●シンプルモード設定時は、メール設定での設定は無効となります。

■3カメラ

1写真撮影	写メールモードまたは壁紙モードで、静止画を撮影できます。(☞P.6-8) ●撮影した静止画をメールに添付して送信することもできます。(☞P.6-25〜P.6-26) ●モードを切り替えるときは、(サイズ)を押します。
2写真を見る	データフォルダに登録されている静止画を確認できます。(☞P.10-8)

●撮影サイズは横120×縦160ドット(写メールモード)または横240×縦320ドット(壁紙モード)です。また、カメラ設定など、メニュー操作は行えません。

■4機能設定

1ダイヤル操作禁止	操作用暗証番号を入力しないとV403SHを操作できないようにします。(☞P.12-2)
2簡易ロック	簡易ロックを設定/解除できます。(☞P.12-3)
3壁紙設定	壁紙を設定/解除できます。(☞P.7-2)
4文字の太さ	画面に表示される文字の太さを設定できます。(☞P.7-6)
5簡易電卓	簡易電卓を利用できます。(☞P.13-36)
6アラーム	次の操作でアラームを設定/解除できます。 「1ON」選択➡●➡時刻入力➡●➡「1ON/2OFF」選択(スヌーズ設定)➡●➡「1毎日」/「2平日(月〜金)」/「3OFF」選択(曜日設定)➡●➡(完了) ■アラーム設定の解除:「2OFF」選択➡●
7時刻設定	日付/時間を設定できます。(☞P.1-21)
8即時表示	通話後の、通話時間/通話料金表示を設定/解除できます。(☞P.2-19、P.2-20)

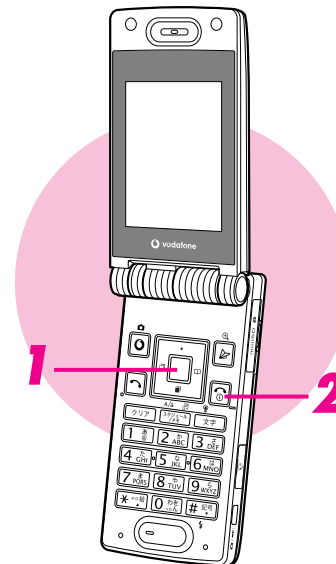
メニュー以外の操作

シンプルモード設定時、待受画面からはシンプルモードメニュー以外に次の操作が行えます。

◎	リダイヤルの表示(☞P.2-4)
◎	アドレス帳の検索(アカサタナ検索)(☞P.5-13)
◎	着信履歴の表示(☞P.2-7)
●(長押し)	誤動作防止の設定/解除(☞P.1-20)
文字(長押し)	マナーモードの設定/解除(☞P.3-3)
●文字	簡易留守録の設定/解除(☞P.13-4)

●上記以外のボタンを押しても、電話の発信以外の機能は動作しません。
●シンプルモード設定中は、ダイヤルボタンでのショートカットやクイックオペレーション(☞P.1-25)を使用することはできません。

通話時間表示

直前(前回)の通話時間および累積通話時間の目安を確認します。
●電話をかけたときと電話がかかってきたときの両方を表示します。

メニュー ➡ ファンクション ➡ 時間/料金機能

1 「3通話時間」を選び、●を押す。

累積通話時間を確認する:「2累積通話時間」選択➡●

2 確認を終了するときは、を押す。

累積通話時間の消去 累積の通話時間の目安を消去します。

メニュー ➡ ファンクション ➡ 時間/料金機能 ➡ 累積通話時間

●➡操作用暗証番号(4ケタ)入力➡「1YES」選択➡●

通話時間の即時表示 通話後、自動的に通話時間の目安を表示させるかどうかを設定します。

お買い上げ時 OFF

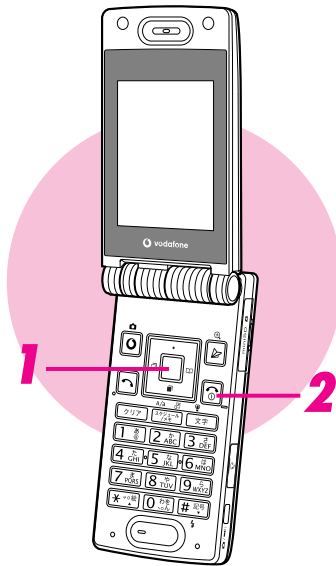
メニュー ➡ ファンクション ➡ 時間/料金機能 ➡ 即時表示

「1ON」/「2OFF」選択➡●

●通話料金も自動的に表示されます。

補足
●電源を切っても、直前の電話の通話時間や累積通話時間の記憶は消えません。
●着信中や相手を呼び出している時間は計算されません。(応答保留中は計算されます。)

通話料金表示

直前（前回）の通話料金および累積通話料金の目安を確認します。

メニュー ▶ ファンクション ▶ 時間／料金機能

1 「1通話料金」を選び、●を押す。

■ 累積通話料金を確認する：「0累積通話料金」選択➡●

2 確認を終了するときは、⊙を押す。

累積通話料金の消去 累積の通話料金の目安を消去します。

メニュー ▶ ファンクション ▶ 時間／料金機能 ▶ 累積通話料金

●➡操作用暗証番号（４ケタ）入力➡「1YES」選択➡●

通話料金の即時表示 通話後、自動的に通話料金の目安を表示するかどうかを設定します。

お買い上げ時OFF

メニュー ▶ ファンクション ▶ 時間／料金機能 ▶ 即時表示

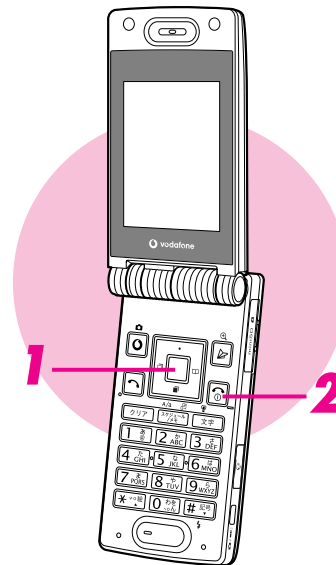
「1ON」／「2OFF」選択➡●

- 通話中転送を行ったときは、通話料金は表示されません。
- 通話時間も自動的に表示されます。

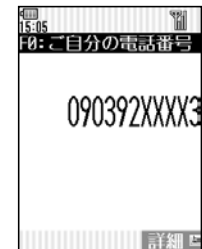
- 電源を切っても、直前の電話の通話料金や累積通話料金の記憶は消えません。
- 直前の通話が着信通話のときなどは、「-------円」と表示されます。
- オプションサービスの三者通話サービスを利用したときは、合算した通話料金が表示されます。
- 電波が弱くなって通話が切断されたときなど（サービスエリア内からサービスエリア外へ移動したときや、トンネル内などに入ったとき）は、通話料金は表示されません。

電話番号とプロフィールの確認

お客様のV403SHの電話番号を確認します。

- V403SHにオーナー情報（プロフィール）として名前、ヨミ、電話番号、E-mailアドレス、郵便番号、パーソナルデータ、フォト設定が登録できます。
- オーナー情報を利用して、バーコードを作成できます。（☞P.13-34）
- V403SHの電話番号の変更や消去はできません。

メニュー ▶ ファンクション

1 「0ご自分の電話番号」を選び、●を押す。

■ オーナー情報（プロフィール）の確認：⊡（詳細）➡操作用暗証番号（４ケタ）入力

- オーナー情報画面の見かたは、アドレス帳と同様です。（☞P.5-12）

2 確認を終了するときは、⊙を押す。

オーナー情報の登録／編集 オーナー情報を登録／編集します。

メニュー ▶ ファンクション ▶ ご自分の電話番号 ▶ 詳細（⊡）

操作用暗証番号（４ケタ）入力➡●➡「修正」選択➡●➡P.5-15「アドレス帳を修正する」操作４～６

■ オーナー情報の消去：操作用暗証番号（４ケタ）入力➡●➡「消去」選択➡●➡「1YES」選択➡●

■ オーナー情報のコピー：操作用暗証番号（４ケタ）入力➡◎（項目選択）➡●➡「コピー」選択➡●➡P.4-17「コピー（複写）／カット（切り取り）／ペースト（貼り付け）を行う」操作５以降

■ フォト設定の画像はコピーできません。

MEMO

マナーモード

マナーについて

携帯電話をお使いになるときは、周囲への気配りを忘れないようにしましょう。
- 劇場や映画館、美術館などでは、周囲の人たちの迷惑にならないように電源を切っておきましょう。
- レストランやホテルのロビーなど、静かな場所では周囲の人たちの迷惑にならないように気をつけましょう。
- 新幹線や電車の中などでは、車内のアナウンスや掲示に従いましょう。
- 街の中では、通行の妨げにならない場所で使いましょう。

マナーを守るための機能

■ **マナーモード**：☞P.3-3
着信音やボタン確認音を鳴らさないよう、簡単な操作で設定できます。
また、マナートークモード、簡易留守録を同時に設定できます。
電話がかかってくると振動でお知らせします。（マナー設定中の動作は変更できます。）

■ **バイブ設定**：☞P.8-4
電話がかかってきたときやメールを受信したときなどに、振動でお知らせします。

■ **音量調節**：☞P.8-2、[O]P.12-2
「**サイレント**」にすると、電話がかかってきたときの音などを鳴らさないようにできます。また、ウェブの情報画面表示中やVアプリ動作中の音も鳴らさないようにできます。

■ **マナートークモード**：☞P.3-5
通話中にマイクの感度を上げて、小さな声で話しても伝わるようにします。

■ **メール着信音、ウェブ着信音、ステーション着信音の各設定**：☞P.8-2
「**サイレント**」にすると、メールやウェブ、ステーションの情報が届いたときの音を鳴らさないようにできます。

■ **オフラインモード**：☞P.3-7
電源を入れたままで電波の送受信を停止して、電話をかけたり受けたりできないようにします。メールの送受信やウェブ、ステーションの利用などもできなくなります。

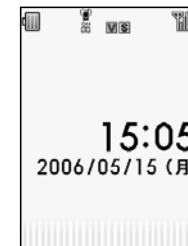
■ **簡易留守録**：☞P.13-4
電話に出られないときに、相手の用件をV403SHに録音できます。

マナーモード設定

マナーモードを設定／解除する

マナーモードを設定する

1 [文字]を長く（1秒以上）押す。

「」が表示され、マナーモードが設定されます。

- マナー設定変更（☞P.3-4）の内容に応じて次のマークが表示されます。

	留守表示	V	バイブレータ
S	サイレント		ステップ

マナーモードを解除する

1 [文字]を長く（1秒以上）押す。

「」が消え、マナーモードが解除されます。

ウェブの情報画面やメールの画面（リスト画面、メッセージ画面など）、Vアプリ利用中でも設定／解除できます。

マナーモードに設定すると

■ ボタン確認音、エラー音、パワーON／パワーOFF時の効果音や警告音が鳴らなくなります。ただし、割込通話中や切替通話中の警告音は鳴ります。

■ マナーモードを設定しても、モバイルカメラ撮影時のシャッター音やセルフタイマー音は鳴ります。

■ ボイスレコーダー再生中の音声が、スピーカーから鳴らなくなります。（イヤホンマイクから聞くことはできます。）

■ 簡易留守録、着信音量、バイブレータ、ランプ設定、マナートークモード、サウンド再生音量、アラーム音量、アラームバイブレータ、Vアプリ再生音量、Vアプリバイブレータが自動的に設定されます。

■ 簡易留守録の録音中は、相手の声がレシーバー（受話口）から聞こえます。

マナーモードの設定内容を変更する

マナーモード設定時に、自動的に設定される機能（簡易留守録、着信音量、バイブレータ、ランプ設定、マナートークモード、サウンド再生音量、アラーム音量、アラームバイブレータ、Vアプリ再生音量、Vアプリバイブレータ）を変更します。

●お買い上げ時の設定は、次のとおりです。

簡易留守録	ON	サウンド再生音量	サイレント
着信音量	すべてサイレント	アラーム音量	サイレント
バイブレータ	すべてON	アラームバイブレータ	ON
ランプ設定	スモールライト	Vアプリ再生音量	サイレント
マナートークモード	ON	Vアプリバイブレータ	ON

簡易留守録
簡易留守録を利用するかどうかを設定します。

メニュー▶ファンクション▶表示／設定２▶マナー設定変更▶簡易留守録

「1ON」／「2OFF」選択▶●

着信音量
着信音量を設定します。

メニュー▶ファンクション▶表示／設定２▶マナー設定変更▶着信音量

「1通常着信」〜「6配信確認」選択▶●▶「1サイレント」／「2ステップ」／「3音量１」選択▶●

●「サイレント」にすると、スピーカーから音は鳴らなくなりますが、イヤホンからは「音量１」で鳴ります。

着信音量を「ステップ」に設定すると

■ 着信設定の着信音量（☞P.8-2）やアラーム設定のアラーム音量調節（☞P.13-15）を「サイレント」に設定していると、音量は「サイレント」になります。また「音量１」〜「音量５」に設定していると、設定されている音量までの「ステップ」になります。（例：「音量３」に設定しているとき：「音量１」→「音量２」→「音量３」）

バイブレータ
着信を振動でお知らせするかどうかを設定します。

メニュー▶ファンクション▶表示／設定２▶マナー設定変更▶バイブレータ

「1通常着信」〜「6配信確認」選択▶●▶「1ON」／「2OFF」選択▶●

バイブレータを「ON」に設定すると

■ 着信設定のバイブ設定（☞P.8-4）やアラーム設定のバイブ設定（☞P.13-15）を「OFF」または「SMAF連動」に設定していても、「ON」として動作します。

ランプ設定
着信時のランプの動作を設定します。

メニュー▶ファンクション▶表示／設定２▶マナー設定変更▶ランプ設定

「1通常動作」〜「3OFF」選択▶●

●変更できる内容は次のとおりです。

通常動作	着信設定（☞P.8-2）などで設定されている内容に従います。
スモールライト	スモールライトが点滅します。
OFF	すべて点滅しません。

マナートークモード
マナートークモードのON／OFFを設定します。

メニュー▶ファンクション▶表示／設定２▶マナー設定変更▶マナートークモード

「1ON」／「2OFF」選択▶●

●「ON」にすると、マイクの感度が上がり、通話中に小さな声で話しても伝わるようになります。（「」点滅）

補足　マナートークモードを設定していなくても、通話中に［文字］を長く（１秒以上）押すと、マナートークモードの設定ができます。通話を終了すると、マナートークモードは解除されます。

サウンド再生音量
サウンド再生音量を設定します。

メニュー▶ファンクション▶表示／設定２▶マナー設定変更▶サウンド再生音量

（音量調節）▶●

アラーム音量	アラーム音量を設定します。

メニュー ▶ ファンクション ▶ 表示／設定２ ▶ マナー設定変更 ▶ アラーム音量
（音量調節）▶◉

アラーム バイブレータ	アラーム動作時に振動でお知らせするかどうかを設定します。

メニュー ▶ ファンクション ▶ 表示／設定２ ▶ マナー設定変更 ▶ アラームバイブレータ
「1ON」／「2OFF」選択▶◉

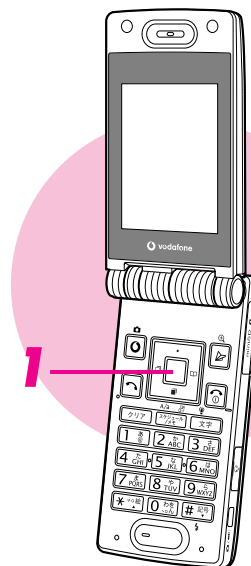
Vアプリ再生音量	Vアプリ再生音量を設定します。

メニュー ▶ ファンクション ▶ 表示／設定２ ▶ マナー設定変更 ▶ Vアプリ再生音量
「1サイレント」／「2音量１」選択▶◉

Vアプリ バイブレータ	Vアプリバイブレータを設定します。

メニュー ▶ ファンクション ▶ 表示／設定２ ▶ マナー設定変更 ▶ Vアプリバイブレータ
「1ON」／「2OFF」選択▶◉

電波の送受信を停止する

オフラインモードに設定すると、電源を切らずに、電波の送受信を停止できます。
- 電話の発着信、メールの送受信、ウェブなど、電波のやりとりを行う機能は利用できません。
- お買い上げ時には、「OFF」に設定されています。

オフラインモードを設定する

メニュー ▶ ファンクション ▶ 表示／設定１ ▶ オフラインモード

1 「1ON」を選び、◉を押す。

「」が表示され、オフラインモードが設定されます。

オフラインモードを解除する

メニュー ▶ ファンクション ▶ 表示／設定１ ▶ オフラインモード

1 「2OFF」を選び、◉を押す。

「」が消え、オフラインモードが解除されます。

補足
- オフラインモード設定中の「110 」などの緊急電話発信については、P.2-3を参照してください。
- ネットワーク接続型のVアプリを一時停止しているとき（P.10-6）にオフラインモードを設定しようとすると、ネット ワーク接続不可の確認画面が表示されます。確認画面で、「1YES」を選び、◉を押すと、オフラインモードが設定されます。（オフラインモードを解除するまで、ネットワークには接続できません。）
- オフラインモード設定中、V403SHを閉じたり、パネルセーブが動作したときは、スモールライトが点滅します。

MEMO

文字の入力方法

文字入力について

ひらがな、漢字、カタカナ（全角／半角）、英数字（全角／半角）、記号（全角／半角）、絵文字が入力できます。また文字の入力方法には、かな入力方式とポケベル入力方式（☞P.4-10）があります。

- ここでは、「**ポケベル入力方式で入力する**」（☞P.4-10）を除き、かな入力方式での操作を中心に説明します。また、ことわりがない限り、文字入力画面での操作を説明しています。

文字入力モード

文字入力モードは、文字入力画面で[文字]を押して切り替えます。このあと[文字]を押すたびに、入力できる文字（入力モード）が次のように切り替わります。

漢→ア→ｱ→A→A→1→絵→漢・・・

選択できる入力モード

漢	漢字（ひらがな）	A	半角英数字（大／小文字）
ア	全角カタカナ	a	半角英数字（小／大文字）
ｱ	半角カタカナ	1	半角数字
A	全角英数字（大／小文字）	絵	絵文字コード
a	全角英数字（小／大文字）	区	区点コード

- 入力モード切替中は、◎を押しても切り替わります。
- 「a」、「a」は、大文字⇔小文字を切り替えると表示されます。（☞下記）

大文字⇔小文字を切り替える

■ かな入力方式では、全角英数字入力モード、半角英数字入力モードで[スケジュール/メモ]を押すと、大文字⇔小文字が切り替わります。また、ポケベル入力方式（☞P.4-10）では全角入力モード、半角入力モードで[スケジュール/メモ]を押すと大文字⇔小文字が切り替わります。

漢ア ｱ A A 1絵 ⇔[スケジュール/メモ]⇔ 漢ア ｱ a A 1絵

絵文字コード入力モードと区点コード入力モードを切り替える

■ [o]を押すと次の順に切り替わります。
絵文字コード１→絵文字コード２→絵文字コード３→絵文字コード４→絵文字コード５→絵文字コード６→区点コード→絵文字コード１…

- 絵文字コード番号（１～６）は、画面下部で確認できます。

- 変換できる漢字は、区点全文字（6355文字）です。
- アドレス帳のヨミ入力やE-mailアドレス入力のときなどは、入力できる文字（入力モード）が制限されます。

ダイヤルボタンの割り当て

１つのボタンには複数の文字が割り当てられており、ボタンを押す回数によって表示される文字が切り替わります。

例：全角カタカナ入力モードで[1]を３回押すと、「ウ」が表示されます。

- 文字入力中に[↶]を押すと、表示される文字を逆順に切り替えることができます。（半角数字入力モード、絵文字コード入力モード、区点コード入力モードを除く）

例：「い」を表示しているときに[↶]を押すと、「あ」が表示されます。

ボタン	漢字（ひらがな）［全角］	カタカナ［全角／半角］	英数字［全角／半角］	数字［半角］	絵文字コード1～6／区点コード
[1]	あいうえお ぁぃぅぇぉ	アイウエオ ァィゥェォ	@. ／_—1 □（スペース）	1	1
[2]	かきくけこ	カキクケコ	ABCabc2	2	2
[3]	さしすせそ	サシスセソ	DEFdef3	3	3
[4]	たちつてとっ	タチツテトッ	GHIghi4	4	4
[5]	なにぬねの	ナニヌネノ	JKLjkl5	5	5
[6]	はひふへほ	ハヒフヘホ	MNOmno6	6	6
[7]	まみむめも	マミムメモ	PQRSpqrs7	7	7
[8]	やゆよゃゅょ	ヤユヨャュョ	TUVtuv8	8	8
[9]	らりるれろ	ラリルレロ	WXYZwxyz9	9	9
[0]	わをんー、。↲（改行）	ワヲンー、。↲（改行）	,. 0 ↲（改行）	0	0
[*]	゛゜／履歴／記号入力（全角）／絵文字入力（全角）※1	゛゜-※2	E-mailアドレス用／URL用変換（半角）※3	*-P（ポーズ）※4	――――
[#]	履歴／記号入力（全角）※5／絵文字入力（全角）			#	――――
◎上	変換（前候補）	カーソル上移動			
◎下	変換（後候補）	カーソル下移動 ↲（改行）			
◎左	カーソル左移動				
◎右	カーソル右移動				
[文字]	文字入力モードの切り替え				
[スケジュール/メモ]	小文字／大文字変換（変換できる文字で有効）		小文字／大文字変換+大文字／小文字入力モードの切り替え	――――	――――
[クリア] 短押し	１文字消去／変換中止	１文字消去			入力済コード消去／１文字消去
[クリア] 長押し	全文字消去				
[↶]	最大64文字まで復元※6				
●	決定				
[o]	音訓変換	――――			絵文字1～6／区点コードの切り替え
[✎]	カナ英数字変換	――――			絵文字１～６のリスト表示※7

※1　変換中の文字があるときは入力できません。
※2 「-」は半角カタカナ入力モード選択時だけ入力できます。
※3　E-mailアドレス、URLの一部が画面に表示され入力できます。
※4 「-」や「P（ポーズ）」は、電話番号入力時だけ入力できます。
※5　半角カタカナ入力モードと半角英数字入力モード選択時は半角で入力されます。
※6　[クリア]（短押し）で消去した文字は、直後に[↶]を連続して押すと、最大64文字まで復元できます。
※7　リスト表示は、区点コード入力モードでは利用できません。

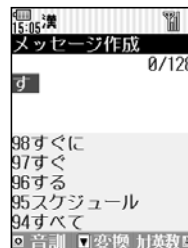
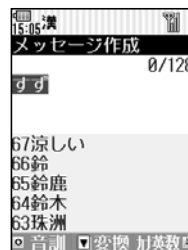
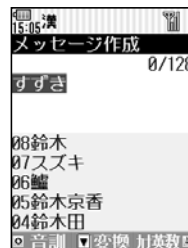
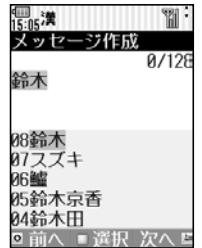
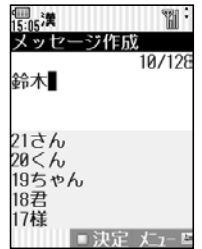
文字の入力方法

漢字／ひらがな／カタカナを入力する

ここでは、漢字（ひらがな）入力モードで「**鈴木**」と入力する方法を例に説明します。
●カタカナは、全角カタカナ入力モードまたは半角カタカナ入力モードで入力します。
漢字（ひらがな）入力モードでひらがなを入力し、変換候補から選んで入力することもできます。

1 漢字（ひらがな）入力モードで、[3]を3回押す。
ひらがなを1文字入力するたびに、変換候補が表示されます。

2 [→]を押す。
●同じボタンを使って次の文字を入力するときは、ボタンを長く（1秒以上）押しても、次の文字（そのボタンに割り当てられている最初の文字）が入力できます。

3 [3]を3回押したあと、[＊]を押す。

4 [2]を2回押す。
●ひらがなをそのまま入力するときは、このあとP.4-5操作6へ進みます。

5 [↓]（変換）を押したあと、[↕]で文字を選ぶ。
●漢字変換では、最後に変換した漢字が優先してリストに表示されます。（学習機能）
■ 他の変換候補画面：[✎]（次へ）／[O]（前へ）
■ 変換の中止：[クリア]
■ 目的の漢字に変換できないとき：☞下記

6 [●]を押す。

近似予測変換と連携予測変換について

■ 漢字変換では、次の便利な変換機能が利用できます。

近似予測変換	ひらがなを1〜5文字入力するたびに、入力した文字で始まる変換候補が表示されます。専用の辞書を持っており、一般的によく使われる単語が登録されています。
連携予測変換	文字を確定すると、これまでの文字入力／変換履歴から推測して、確定した文字に続くと思われる文字の候補が自動的に表示されます。

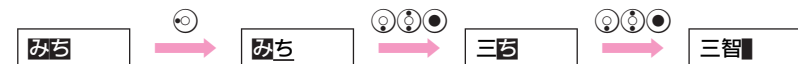
●お買い上げ時には、両方の変換機能が利用できるように設定されています。個別に利用を停止することもできます。（☞P.4-14）
●予測変換で優先度を下げたい候補の種類（人名や地名など）を設定することもできます。（☞P.4-14）

ユーザー辞書について

■ よく使う単語は、ユーザー辞書に登録しておくと、変換候補に表示できるようになります。（☞P.4-15）

■目的の漢字に変換できないとき

上記操作5のあと、[クリア]を押し文字入力画面にカーソルを戻したあと、[→]で変換の対象となる文字の区切りを変えて変換し直します。

例：「み」と「ち」の区切りを変えて変換し直すとき

■複数の変換の対象を一度に採用するとき

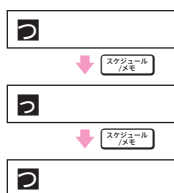
文字を変換したあと、[●]を押す代わりに[スケジュール/メモ]を押します。
例：「西山大輔」と変換するとき

西山大輔

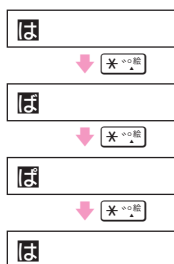
小文字（っ、ッなど）を入力する

ひらがなやカタカナの「**あいうえおつやゆよ**」を小文字に変換します。

1 文字を入力し、[スケジュール/メモ]を押す。

- 小文字にできない文字では、[スケジュール/メモ]を押しても変わりません。

だく点（゛）／半だく点（゜）を入力する

1 文字を入力し、[＊]を押す。

- 漢字（ひらがな）入力モードや全角カタカナ入力モードでは、「**か行**」、「**さ行**」、「**た行**」は1回押すとだく点が付き、2回押すと元に戻ります。また、「**は行**」は1回押すとだく点が付き、2回押すと半だく点が付き、3回押すと元に戻ります。
- だく点や半だく点を付けられない文字では、[＊]を押しても変わりません。

補足 半角カタカナ入力モードのとき

- [＊]を1回押すとだく点が、2回押すと半だく点が半角1文字分で入力されます。
- だく点や半だく点を消去するときは、[クリア]を押します。

スペースを入力する

1 ◎を押す。

- 英数字入力モードでは、[1]を7回押してスペースを入力することもできます。

改行する

- メールの本文や、テキストメモ、掲示板のメッセージ入力などで有効となります。

1 文末で、◎を押す。

- 文の途中で改行するときは、改行する位置で[0]を数回押して「↲」を表示させます。漢字（ひらがな）入力モードでは、このあと◉を押します。
- [0]を押す回数は入力モードによって異なります。（☞P.4-3）

英数字を入力する

全角英数字入力モード（大文字／小文字）または半角英数字入力モード（大文字／小文字）で入力します。半角数字は、半角数字入力モードでも入力できます。

- 全角英数字入力モード、半角英数字入力モードで[スケジュール/メモ]を押すと、大文字⇔小文字が切り替わります。
- 同じボタンを使って次の文字を入力するときは、ボタンを長く（1秒以上）押すと、次の文字（そのボタンに割り当てられている最初の文字）が入力できます。

記号／絵文字／顔文字などを入力する

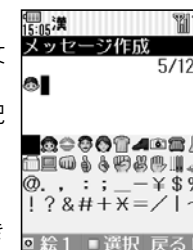
記号／絵文字を入力する

1 記号変換が可能なモードで、[#]または[＊]を押す。

これまで入力した記号や絵文字が、新しいものから順に一覧表示されます。（履歴リスト）

- お買い上げ時または記号／絵文字の履歴を消去したとき（☞下記）、履歴リストは「－」と表示されます。

2 ◎で記号／絵文字を選び、◉を押す。

- 1つの記号／絵文字を入力したあとも、続けて他の記号／絵文字を入力できます。
- 他の記号／絵文字の入力：[#]（押すたびに履歴リスト→記号リスト1～3、絵文字リスト6～1の順に切替）
  - 逆順でリストを切り替える：[＊]
  - [0]を押しても、リストを切り替えられます。
  - ◎を押すと、記号／絵文字リストの隠れている部分を表示できます。

3 絵文字の入力を解除し、文字を入力するときは、[メニュー]（戻る）を押す。

記号／絵文字の履歴を消去する

■ 文字入力画面で、次の操作を行います。
[メニュー]（メニュー）➡「[9]入力／変換設定」選択➡◉➡「[7]絵／記号履歴リセット」選択➡◉➡「[1]実行」選択➡◉
- 文字入力画面に戻る：上記操作のあと[クリア]➡[クリア]

■ 絵文字コード入力モードでは、記号／絵文字履歴は消去できません。

絵文字コード入力モードで絵文字を入力する

■ 絵文字をコードで入力するときは、文字入力画面で、次の操作を行います。

絵文字コード（２ケタ：☞ P.17-7〜P.17-10）入力

■絵文字コードを修正する：２ケタ目を押す前に[クリア]

■ 絵文字をリストから入力するときは、文字入力画面で、次の操作を行います。

（リスト）➡絵文字選択➡◉

●絵文字リストは、[0] を押すたびに絵文字リスト１〜６→履歴リストの順に切り替わります。

●全角のモードで操作したときは全角記号が、半角のモードで操作したときは半角記号が入力できます。（絵文字はモードにかかわらず、すべて全角です。）
●半角記号を入力したときは、履歴リストには残りません。
●漢字（ひらがな）入力モードで、「**きごう**」と入力し（**変換**）を押すと、一部の記号を入力できます。
●漢字（ひらがな）入力モードで、「**はーと**」や「**はな**」などの言葉を入力しを押すと、関連する絵文字が変換候補として表示されることがあります。（絵文字変換）

顔文字を入力する

1 （メニュー）を押す。

2 「[8]顔文字」を選び、◉を押す。

●このあと、２ケタの数字（01〜50）を入力すると、入力した番号の顔文字が確認できます。

3 顔文字を選び、◉を押す。

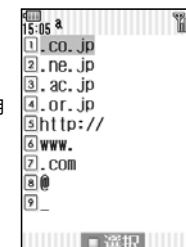
絵文字１〜６入力モードでは、顔文字は入力できません。

●漢字（ひらがな）入力モードで、「**かお**」と入力し（**変換**）を押すと、上記の操作で入力できる（表示される）顔文字以外の顔文字も入力できます。
また、「**わーい**」や「**うーん**」などの顔の表情を表す言葉を入力し（**変換**）を押しても、顔文字が入力できます。
●「**嬉しい**」や「**悲しい**」など、感情を示す言葉を入力／採用すると、関連する顔文字が変換候補として表示されることがあります。（顔文字連携）
この顔文字連携が働かないように設定することもできます。（☞P.4-14）

E-mailアドレス／URLの一部を簡単に入力する

1 英数字入力モードで、[＊]を押す。

2 文字を選び、◉を押す。

●全角／半角モードにかかわらず、E-mailアドレス、URLは半角で入力されます。

アドレス帳のデータを入力する

文字入力中にアドレス帳を呼び出し、登録している電話番号やE-mailアドレスなどの文字列を作成中の文章に挿入できます。

●利用できる項目は、「名前」、「電話番号１〜３」、「E-mailアドレス１〜３」、「パーソナルデータ」です。

1 （メニュー）を押す。

2 [0]（[TEL]）を押す。

3 利用するアドレス帳を呼び出す。

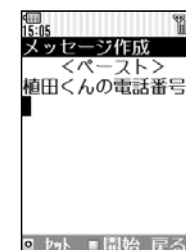
■ アドレス帳呼び出し方法：☞P.5-11操作２〜３

4 で項目を選び、◉を押す。

選んだ項目の内容が記憶されます。

5 で文字列を挿入する位置を選ぶ。

6 ◉を押す。

記憶されていた文字列が挿入されます。

文字入力中にオーナー情報を呼び出す

■ 文字入力画面で、次の操作を行います。

（メニュー）➡「[ｸｲｯｸﾒﾓ]各種情報入力」選択➡◉➡「[1]オーナー情報入力」選択➡◉➡操作用暗証番号（４ケタ）入力

●呼び出したオーナー情報内の電話番号やE-mailアドレスを利用するときは、上記操作４〜６と同様に操作します。

区点コードで入力する

目的の文字が変換候補に表示されないときや、読み方のわからない文字を入力するときは、区点コードで文字を入力できます。

1 区点コード入力モードで、区点コード（4ケタ：☞P.16-9 ～ P.16-12）を入力する。

ポケベル入力方式で入力する

1 [メニュー]（メニュー）を押す。

2「9入力／変換設定」を選び、◉を押す。

3「1入力方式」を選び、◉を押す。

4「2ポケベル」を選び、◉を押す。

ポケベルコードで入力できる状態に切り替わります。

■ かな入力方式に戻す：「1かな」選択➡◉

5 ポケベルコード（2ケタ：☞P.4-11）を入力する。

●ポケベル入力方式は、かな入力方式に切り替えるまで継続します。

ポケベル方式で文字入力モードを切り替える

■ ポケベル入力方式では、文字入力画面で[文字]を押すたびに、次のように切り替わります。

全角大文字入力モード（「P」反転）→半角大文字入力モード（「P」反転）→絵文字コード1～6（「絵」反転）／区点コード入力モード（「区」反転）

●絵文字コード1～6と区点コード入力モードは、0を押すと切り替わります。

補足

●ポケベル入力方式では、カナ英数字変換はできません。

●だく点、半だく点の入力は、ポケベルコード一覧（☞P.4-11）を参照してください。

ポケベルコード一覧

●空欄は、空白を示します。（何も入力されません。）

●■部分は、文字入力後[スケジュール/メモ]を押すたびに、大文字⇔小文字が切り替わります。

全角大文字モード

1ケタ目（最初に押すボタン） ＼ 2ケタ目（次に押すボタン）	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
1	あ	い	う	え	お	A	B	C	D	E
2	か	き	く	け	こ	F	G	H	I	J
3	さ	し	す	せ	そ	K	L	M	N	O
4	た	ち	つ	て	と	P	Q	R	S	T
5	な	に	ぬ	ね	の	U	V	W	X	Y
6	は	ひ	ふ	へ	ほ	Z	？	！	―	／
7	ま	み	む	め	も	￥	＆		☎	※1
8	や	（	ゆ	）	よ	＊	＃	スペース	♥	※2
9	ら	り	る	れ	ろ	1	2	3	4	5
0	わ	を	ん	゛	゜	6	7	8	9	0

全角小文字モード

1ケタ目（最初に押すボタン） ＼ 2ケタ目（次に押すボタン）	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
1	ぁ	ぃ	ぅ	ぇ	ぉ	a	b	c	d	e
2						f	g	h	i	j
3						k	l	m	n	o
4			っ			p	q	r	s	t
5						u	v	w	x	y
6						z				
7										※1
8	ゃ		ゅ		ょ					※2
9										
0				、	。					

半角大文字モード

1ケタ目（最初に押すボタン） ＼ 2ケタ目（次に押すボタン）	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
1	ｱ	ｲ	ｳ	ｴ	ｵ	A	B	C	D	E
2	ｶ	ｷ	ｸ	ｹ	ｺ	F	G	H	I	J
3	ｻ	ｼ	ｽ	ｾ	ｿ	K	L	M	N	O
4	ﾀ	ﾁ	ﾂ	ﾃ	ﾄ	P	Q	R	S	T
5	ﾅ	ﾆ	ﾇ	ﾈ	ﾉ	U	V	W	X	Y
6	ﾊ	ﾋ	ﾌ	ﾍ	ﾎ	Z	?	!	-	/
7	ﾏ	ﾐ	ﾑ	ﾒ	ﾓ	¥	&		☎	※1
8	ﾔ	(	ﾕ	)	ﾖ	*	#	スペース	♥	※2
9	ﾗ	ﾘ	ﾙ	ﾚ	ﾛ	1	2	3	4	5
0	ﾜ	ｦ	ﾝ	ﾞ	ﾟ	6	7	8	9	0

半角小文字モード

1ケタ目（最初に押すボタン） ＼ 2ケタ目（次に押すボタン）	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
1	ｧ	ｨ	ｩ	ｪ	ｫ	a	b	c	d	e
2						f	g	h	i	j
3						k	l	m	n	o
4			ｯ			p	q	r	s	t
5						u	v	w	x	y
6						z				
7										※1
8	ｬ		ｭ		ｮ					※2
9										
0				,	.					

※1　[7][0]の順に押すと、改行が入力されます。（改行は、メールの本文や、テキストメモ、掲示板のメッセージ入力などで有効となります。）

※2　[8][0]の順に押すと、大文字モード（左表）と小文字モード（右表）が切り替わります。

●「♥」、「☎」は半角2文字分となります。

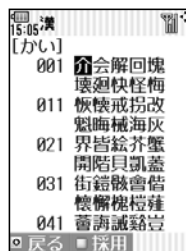
いろいろな変換機能

音訓変換を利用する

通常の漢字変換で入力する漢字が見つからないときは、漢字の読みを入力して１文字ずつ変換します。

1 **漢字（ひらがな）入力モードで、ひらがなを入力する。**

2 **[O]（音訓）を押す。**

3 **漢字を選び、◉を押す。**

１文字変換を利用する

一度、通常の変換方法で入力した漢字は、次回入力するときに最初の１文字を入力するだけで、漢字に変換できます。

例：以前に「鈴木」を変換したとき

鈴木

●１文字変換で記憶される件数は、同じ見出し語（１文字）に対して、最大20件です。記憶可能な件数を超えると、古い１文字変換の記憶から順に消去されます。

カナ英数字変換を利用する

漢字（ひらがな）入力モードのまま、カタカナや英字、数字が入力できます。

1 **ひらがなを入力し、[✎]（カナ英数）を押す。**

●「AM」と入れるときは、[2][6]の順に押したあと、[✎]（**カナ英数**）を押します。

2 **◎で文字を選び、◉を押す。**

●英字は次のように変換されます。（小文字やだく点、半だく点付きも同様です。）

あ	@	い	.	う	／	え	＿	お	スペース
か	A	き	B	く	C	け	スペース	こ	スペース
さ	D	し	E	す	F	せ	スペース	そ	スペース
た	G	ち	H	つ	I	て	スペース	と	スペース
な	J	に	K	ぬ	L	ね	スペース	の	スペース
は	M	ひ	N	ふ	O	へ	スペース	ほ	スペース
ま	P	み	Q	む	R	め	S	も	スペース
や	T	ゆ	U	よ	V	―	―	―	―
ら	W	り	X	る	Y	れ	Z	ろ	スペース
わ	,	を	.	ん	スペース	ー（長音）、。改行			スペース

●数字は次のように変換されます。（小文字やだく点、半だく点付きも同様です。）

■あ行…１　■か行…２　■さ行…３　■た行…４　■な行…５　■は行…６　■ま行…７
■や行…８　■ら行…９　■わ／を／ん／ー（長音）／、／。／改行…０

ワンタッチ変換を利用する

押したボタンに割り当てられている、すべてのひらがなの組み合わせを利用して、漢字に変換できます。目的のひらがなを入力するために、何度も同じボタンを押す必要がなくなります。

●ひらがな以外を入力しているときは、ワンタッチ変換できません。

例：「微妙」を入力するとき

通常の変換	[6][6][＊]（び）[7][7]（み）[8][8][8][8][8][8]（ょ）[1][1][1]（う）◎（変換）
ワンタッチ変換	[6][＊]（ば）[7]（ま）[8]（や）[1]（あ）◎（ワンタッチ変換）

1 **ひらがなを入力し、◎を押す。**

カーソルが緑色に変わります。

●ワンタッチ変換状態（緑色のカーソル）で◎を押すと、変換の対象となる文字の区切りを変えられます。このときも以降の変換はワンタッチ変換となります。

■通常変換に戻す：[クリア]➡◎（通常変換）

2 **◎で文字を選び、◉を押す。**

ワンタッチ変換では、これまでによく変換した文字列が優先してリストに表示されます。（主に名詞に対応しています。）

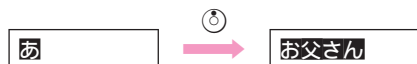
推測頭出し変換

１文字だけ入力してワンタッチ変換すると、その行の文字（「あ」を入力すると「あ」「い」「う」「え」「お」）で始まる言葉が、操作した時間帯に応じて表示されます。
例：「あ」を入力したとき

5:00〜10:59	11:00〜16:59	17:00〜22:59	23:00〜4:59
朝一番 朝帰り 行ってきます いってらっしゃい ⋮	あちぃ〜 後でね いただきま〜す♪ 移動中 ⋮	遊ぼう 明日 急いで行くよ 今どこ？ ⋮	アウチ！！ ありがとう いえーい！！！ 行こうね ⋮

●表示される言葉は、時間帯ごとにあらかじめ登録されています。
●時刻が設定されていないときは、操作した時間帯にかかわらず11:00〜16:59の内容が表示されます。

ワンタッチ１文字学習

以前にワンタッチ変換した文字列の先頭の１文字を入力してワンタッチ変換したときは、以前の変換結果が最初に表示されます。
例：以前に「あたあさわ」でワンタッチ変換し、「お父さん」を採用していたとき

その他の文字変換関連機能

変換方法の設定 近似予測変換、連携予測変換、顔文字連携を利用するかどうかを設定します。

お買い上げ時 ON（利用する）

（メニュー）➡「9入力／変換設定」選択➡●➡「2近似予測」／「3連携予測」／「4顔文字連携」選択➡●➡「1ON」（利用する）／「2OFF」（利用しない）選択➡●

予測候補優先度低 予測変換で優先度を下げたい候補の種類を設定します。

（メニュー）➡「9入力／変換設定」選択➡●➡「5予測候補優先度低」選択➡●➡種類選択➡●➡0（完了）

●複数の種類を選択するときは、0（完了）を押す前に、種類を選び●を押す操作をくり返します。

学習辞書リセット これまでによく変換した文字列の変換履歴を消去します。

（メニュー）➡「9入力／変換設定」選択➡●➡「6学習辞書リセット」選択➡●➡「1実行」選択➡●

●ユーザー辞書に登録している単語は消去されません。

辞書の登録／追加

よく使う言葉をユーザー辞書に登録する

よく使う言葉（単語）に見出し語をつけて、最大100件まで登録できます。
登録した単語は、見出し語を入力して漢字変換すると、変換候補に表示されます。
●同じ見出し語は５件まで登録できます。

ユーザー辞書の登録 ユーザー辞書に新しい単語を登録します。

メニュー ▶ ファンクション ➡ 表示／設定２ ➡ ユーザー辞書 ➡ 新規登録

単語入力➡●➡見出し語入力➡●

●単語は最大全角15文字（半角30文字）まで、見出し語はひらがなで最大８文字まで入力できます。

ユーザー辞書の編集 登録したユーザー辞書を修正／削除します。

メニュー ▶ ファンクション ➡ 表示／設定２ ➡ ユーザー辞書 ➡ 辞書編集

ユーザー辞書を修正する

単語選択➡●➡単語修正➡●➡見出し語修正➡●➡「1上書登録」／「2新規登録」選択➡●

ユーザー辞書を１件ずつ消去する

消去する単語選択➡（メニュー）➡「2消去」選択➡●➡「1YES」選択➡●

ユーザー辞書をすべて消去する

（メニュー）➡「3全消去」選択➡●➡「1YES」選択➡●

ダウンロードした辞書を追加する

ウェブなどでダウンロードした日本語変換用の辞書を２件使用できます。専門用語などの辞書をダウンロードして使用すると、その辞書に登録されている用語が文字の変換候補に表示されるようになります。
●辞書ファイルの入手方法などについては、シャープオリジナルサイト「Space Town」（☞ 0 P.8-2）でご案内しています。

ダウンロード辞書の設定 ダウンロードした辞書ファイルを使用します。

メニュー ▶ ファンクション ➡ 表示／設定２ ➡ ユーザー辞書 ➡ ダウンロード辞書

番号選択➡●➡辞書ファイル選択➡●

■ ダウンロード辞書設定済の番号への登録：番号選択➡●➡（メニュー）➡「1変更」選択➡●➡辞書ファイル選択➡●➡「1YES」選択➡●

辞書ライブラリから辞書ファイルを設定する

■ 次の操作を行います。

◉➡「ファンクション」選択➡◉➡「4 表示／設定２」選択➡◉➡「3 ユーザー辞書」選択➡◉➡「3 ダウンロード辞書」選択➡◉➡「3 辞書ライブラリ」選択➡◉➡辞書ファイル選択➡✉（メニュー）➡「1 ダウンロード辞書登録」選択➡◉➡番号選択➡◉

■辞書ファイル設定済の番号への登録時：「1 YES」／「2 NO」選択➡◉

ダウンロード辞書の解除 ダウンロード辞書の使用を解除します。

メニュー ▶ ファンクション ▶ 表示／設定２ ▶ ユーザー辞書 ▶ ダウンロード辞書

使用を解除する番号選択➡◉➡✉（メニュー）➡「2 設定解除」選択➡◉

文字の編集

指定した文字を削除する

1 ◎で削除する文字を選び、クリアを押す。

カーソル上の１文字が消えます。

● クリアで消去した文字は、直後に↩を連続して押すと、最大64文字まで復元できます。（↩を押して復元途中に、↩以外のボタンを押すと、それ以上の復元はできません。）

木の下 ⬇ クリア 木下

注意 クリアを長く（１秒以上）押すと、すべての文字が消えます。このときは↩を押しても、消去した文字は復元できません。

入力した文字を修正する

1 クリアで不要な文字を削除する。

2 正しい文字を入力する。

美紀子 ⬇ クリア 美子 ⬇ 美樹子

コピー（複写）／カット（切り取り）／ペースト（貼り付け）を行う

連続した文字列を、最大全角約3000文字（半角約6000文字）までコピー（複写）／カット（切り取り）して、他の場所にペースト（貼り付け）します。

●メニューに「ペースト」が表示される画面に、ペーストできます。

1 ✉（メニュー）を押す。

2 「1 コピー」または「2 カット」を選び、◉を押す。

3 コピー／カットする文字列の最初の文字を選び、◉を押す。

文字列の開始位置が指定されます。（画面下部中央に「終了」が表示されます。）

■ 開始位置の再指定：クリア

4 コピー／カットする文字列の最後の文字を選び、◉を押す。

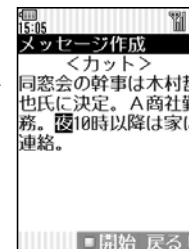
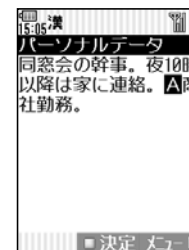
●カットすると、指定した文字列が元の画面から消去されます。

カット例

5 ペースト先の画面を表示し、✉（メニュー）を押す。

6 「3 ペースト」を選び、◉を押す。

7 ペーストする位置を選び、◉を押す。

記憶している文字列が挿入されます。

カーソル前後の文字をまとめて消去する

カーソルの位置を基準にして、それより前または後の文字を、まとめて消去します。

1 ✉（メニュー）を押す。

2 「6 カーソル後消去」または「7 カーソル前消去」を選び、◉を押す。

3 ◎でカーソルを移動し、◉を押す。

テキストメモ

よく使う文章をテキストメモとして登録しておくと、メールの本文入力などで利用できます。
文字入力中に登録することもできます。（☞下記）

- 最大20件まで登録できます。
- 1件のテキストメモに登録できる文字数は、最大全角約64文字（半角約128文字）です。
- テキストメモを最大件数まで登録すると、新規作成できません。不要なテキストメモを消去（☞下記）したあと、作成してください。
- テキストメモを利用して、バーコードを作成できます。（☞P.13-34）
- お買い上げ時には、「**記号絵文字**」が10件登録されています。これらの記号絵文字を編集した内容を登録することもできます。

メニュー ▶ データ確認

1 「7テキストメモ」を選び、●を押す。

あらかじめ登録されている記号絵文字のタイトルや、登録した文章の最初の部分が表示されます。

■ テキストメモの確認：テキストメモ選択➡●

2 登録する番号を選び、●を押す。

■ 登録済の番号選択時：✉（メニュー）➡「2編集」選択➡●

3 文章を入力し、●を押す。

テキストメモに登録されます。

- 続けて他のテキストメモを登録するときは、操作2～3をくり返します。

メールやアドレス帳などの文字入力画面から登録する

■ 文字入力画面で、次の操作を行います。
✉（メニュー）➡「4テキストメモ登録」選択➡●➡登録する最初の文字選択➡●➡登録する最後の文字選択➡●➡登録する番号選択➡●

テキストメモの編集

テキストメモを修正／消去します。

メニュー ▶ データ確認 ➡ テキストメモ

テキストメモを修正する

テキストメモ選択➡✉（メニュー）➡「2編集」選択➡●➡内容修正➡●

テキストメモを1件ずつ消去する

テキストメモ選択➡✉（メニュー）➡「4消去」選択➡●➡「1YES」選択➡●

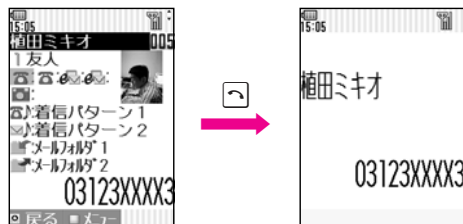
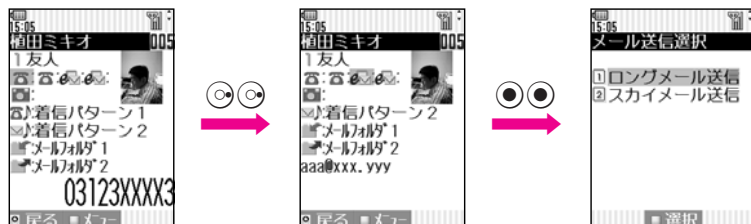
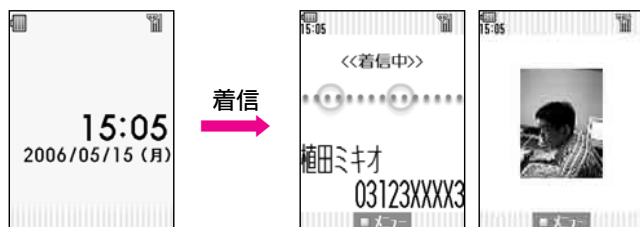
- テキストメモ01～10を消去したときは、お買い上げ時の状態に戻ります。

アドレス帳

アドレス帳について

よく電話をかけたり、メールをやりとりする相手の名前や電話番号、E-mailアドレスなどをアドレス帳に登録しておけば、簡単な操作で電話をかけたり、メールを送信することができます。

●アドレス帳に登録している相手から電話があったときには、相手の名前や写真などが表示されます。

■アドレス帳から電話をかける

■アドレス帳からメールを送信する

■電話などの着信があると

大切なデータを失わないために

アドレス帳に登録した電話番号や名前は、電池パックを長い間外していたり、電池残量のない状態で放置したりすると、消失または変化してしまうことがあります。また、事故や故障でも同様の可能性があります。大切なアドレス帳などは、控えをとっておくことをおすすめします。なお、アドレス帳が消失または変化した場合の損害につきましては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

アドレス帳を誤って消去したり､他人が使用できないように設定することができます。（メモリ使用禁止：P.12-3）

アドレス帳登録

アドレス帳に登録できる項目

●アドレス帳には、000～499番まで最大500件登録できます。
●アドレス帳を利用して、バーコードを作成できます。（P.13-34）
●登録できる項目と内容は、次のとおりです。

項目		内容
:名前		最大全角８文字（半角16文字）まで入力できます。 漢字、ひらがな、カタカナ（全角／半角）、英数字（全角／半角）、絵文字が登録できます。
:ヨミ		名前を入力すると、入力した文字がカタカナ、英数字、記号で自動的に入力されます。最大半角10文字（だく点、半だく点含む）まで入力できます。
:電話番号		アドレス帳１件につき、最大３件の電話番号を登録できます。
:E-mailアドレス		アドレス帳１件につき、最大３件のE-mailアドレスを登録できます。それぞれ最大半角60文字まで入力できます。
:グループ		アドレス帳を、最大10種類のグループ（グループ０～グループ９）に分けて管理できます。グループ名を登録／変更したり、グループごとに着信音を設定できます。
:パーソナルデータ		登録した相手の個人情報を、最大全角30文字（半角60文字）まで入力できます。
:シークレット設定		他人に見られたくないアドレス帳を、シークレットデータとして登録できます。
:フォト設定		画像をアドレス帳に登録できます。登録した相手から電話がかかってきたときやメールが届いたときに、登録した画像が表示されます。
オプション設定	指定着信音	登録した相手から電話がかかってきたときの着信パターンなどを設定できます。
	メールコール	登録した相手からメールが届いたときの着信パターンなどを設定できます。
	ピクチャーコール／メール	着信時に、フォト設定に登録している画像を表示するかどうかを設定します。
	メールフォルダ	送受信したメールを、設定したフォルダに自動的に振り分けます。

アドレス帳編集中に着信があると

■ 編集中の内容は一時的に記憶（保護）されています。編集を継続するときは、通話終了後に、次の操作を行います。
◉➡「1YES」選択➡◉

アドレス帳の基本的な登録方法

メニュー ▶ 電話 ▶ アドレス帳登録

15:05
植田ミキオ
ｳｴﾀﾞ ﾐｷｵ PHOTO
:<未登録>
:<未登録>
:□名称なし
:<未登録>
:OFF
:<未登録>
オプション設定
取消 選択 登録

アドレス帳入力画面

1 相手の名前を入力する。

2 ◉を押す。

「 :」の行に、名前に入力した文字（漢字の読み）が半角カタカナで自動的に入力されます。

- ワンタッチ変換、コピー／貼り付けなどで入力したときや、絵文字を入力したときは、ヨミは入力されません。
- カタカナ、英字、数字、記号を入力したときは、入力した文字が半角で自動的に表示されます。

■ ヨミの変更：「 :」選択➡◉➡ヨミ入力➡◉
■ 登録の中止：O（取消）➡「1YES」選択➡◉

3 「☎:」を選び、◉を押す。

4 電話番号を入力する。

- 一般電話のときは、市外局番も必ず入力してください。

■ 電話番号の修正：◎でカーソルを間違った数字に移動➡クリアで数字消去➡正しい数字入力［クリアを長く（1秒以上）押すと、数字がすべて消えます。］
■ 電話番号の区切り（「-」）の入力：＊（2回）
 ▪「-」も電話番号の1ケタとしてカウントされます。
■ ポーズ（「P」）とプッシュトーンの入力：＊（3回）➡ダイヤルボタンで数字など入力
 ▪「P」1つにつき、約1秒のポーズが入力されます。ポーズ以降に入力した数字などは、プッシュトーンとして送信できます。（☞P.13-2）

5 ◉を押す。

6 マークを選び、◉を押す。

■ 複数の電話番号の登録：「☎:<未登録>」選択➡◉➡操作4～6をくり返す

7 「 :」を選び、◉を押す。

8 E-mailアドレスを入力する。

9 ◉を押す。

10 マークを選び、◉を押す。

■ 複数のE-mailアドレスの登録：「 :<未登録>」選択➡◉➡操作8～10をくり返す
■ グループの設定：「 :」選択➡◉➡グループ選択➡◉
■ パーソナルデータの入力：「 :」選択➡◉➡パーソナルデータ入力➡◉
■ フォトの設定：☞P.5-6
■ シークレットの設定：☞P.5-7

11 ✉（登録）を押す。

メモリ番号（1件ごとのアドレス帳に付けられている固有の番号）の入力画面が表示されます。

12 メモリ番号（3ケタ：000～499）を入力する。

1件分のアドレス帳が登録されます。

■ スイッチ付イヤホンマイクを使った発信（☞P.13-39）用：メモリ番号000を入力
■ スピードダイヤルを使った発信（☞P.5-14）用：メモリ番号000～099を入力

空いているメモリ番号に自動登録する

■ ＊を押すと、空いているメモリ番号の中で最も小さいメモリ番号へ登録されます。
■ 百の位、十の位の数字を押したあと＊を押すと、空きメモリ番号を探す範囲を指定できます。

▪ **百の位だけを指定する（数字を1ケタ入力後➡＊）**
3＊と押すと、300～399の最も小さいメモリ番号へ登録されます。

▪ **十の位までを指定する（数字を2ケタ入力後➡＊）**
21＊と押すと、210～219の最も小さいメモリ番号へ登録されます。

- V403SHとメモリカードの間で、アドレス帳をやりとりできます。（☞P.10-36）
- 赤外線通信機能を利用すれば、他の機器との間でアドレス帳をやりとりできます。（☞P.11-2）

こんな表示が出たときは

画面表示	理由	操作
メモリNoXXX○○に上書しますか?	指定したメモリ番号がすでに使われています。	上書きするときは、「1YES」を選び、◉を押します。他のメモリ番号に登録するときは、「2NO」を選び、◉を押してから、他のメモリ番号を入力してください。空いているメモリ番号に登録するときは、上記を参照してください。
これ以上登録できません	空いているメモリ番号がありません。	不要なメモリ番号に上書きするか、不要なアドレス帳を消去してください。（☞P.5-15）
シークレットデータが登録されています	シークレットデータとして登録されているメモリ番号を指定しています。	シークレットモード（☞P.12-6）に設定すると、書き換えられます。

アドレス帳に画像を登録する（フォト）

アドレス帳に登録した相手から電話がかかってきたときやメールが送られてきたとき、登録した画像（静止画／アニメーション）を表示することができます。

フォトを設定する

- 以下の操作は、アドレス帳入力画面（☞P.5-4）で行います。

1「📷:」を選び、◉を押す。

2 *データフォルダの画像を登録する*

1「①データフォルダ」を選び、◉を押す。

2 データフォルダから画像を選び（☞P.10-8）、◉を押す。
- 画像のサイズによっては、選択できないことがあります。

3 ◉を押す。
アドレス帳入力画面（☞P.5-4）に戻ります。他の項目を入力し、アドレス帳の登録を完了してください。

画像を撮影して登録する

1「②モバイルカメラ起動」を選び、◉を押す。

2「①写メールモード」または「②壁紙モード」を選び、◉を押す。

3 画像を画面に表示する。

4 ◉を押す。
静止画が撮影されます。

5 もう一度◉を押す。
静止画がデータフォルダに登録され、アドレス帳入力画面（☞P.5-4）に戻ります。他の項目を入力し、アドレス帳の登録を完了してください。

着信時に画像を表示する

- 以下の操作は、アドレス帳入力画面（☞P.5-4）で行います。
- お買い上げ時には、「OFF」に設定されています。

1「オプション設定」を選び、◉を押す。

2「③ピクチャーコール／メール」を選び、◉を押す。

3「①ON」を選び、◉を押す。
■ 着信時に画像を表示しない：「②OFF」選択➡◉

4 ⓞ（完了）を押す。
アドレス帳入力画面（☞P.5-4）に戻ります。他の項目を入力し、アドレス帳の登録を完了してください。

注意

データフォルダ内の画像を登録しているときに、次の操作を行うと、ピクチャーコール／メールは解除されます。
■画像の消去／メモリカードへ移動

シークレットデータに設定する

- 以下の操作は、アドレス帳入力画面（☞P.5-4）で行います。

1「🔑:」を選び、◉を押す。

2「①ON」を選び、◉を押す。
アドレス帳入力画面（☞P.5-4）に戻ります。他の項目を入力し、アドレス帳の登録を完了してください。
- 登録後は、シークレットモードにしないと、シークレットデータは確認できません。（☞P.12-6）

シークレットデータを解除する

■ シークレットモード（☞P.12-6）にしたあと、次の操作を行います。
アドレス帳呼び出し（☞P.5-11操作１～３）➡◉➡「修正」選択➡◉➡「🔑:」選択➡◉➡「②OFF」選択➡◉➡P.5-15操作6～8

注意

操作用暗証番号を知らない人でも偶然番号が合い、シークレットデータを見られることも考えられます。重大な秘密などの記録用としてではなく、便利な機能としてお使いになることをおすすめします。

補足

シークレットモードにしていないときは、シークレットデータの相手から電話がかかってきたり、メールが送られてきても、相手の名前やフォト設定されている画像は表示されません。（指定着信音、メールコールの設定も無効となります。）
また、リダイヤルや着信履歴、受信メールボックスの画面でも表示されません。
ただし、シークレットデータとして登録する前のリダイヤルや着信履歴の名前は、表示されます。

リダイヤル／着信履歴の電話番号を登録する

メニュー ▶ 電話

1「4リダイヤル」または「5着信履歴」を選び、●を押す。

2 電話番号を選び、✉（メニュー）を押す。

3「アドレス帳登録」を選び、●を押す。

4 *新しいアドレス帳に登録する*

1「1新規登録」を選び、●を押す。

2 名前を入力し、●を押す。
自動的に電話番号が入力され、アドレス帳入力画面（☞P.5-4）が表示されます。他の項目を入力し、アドレス帳の登録を完了してください。

登録済のアドレス帳に追加登録する

1「2追加登録」を選び、●を押す。

2 追加登録するアドレス帳を選ぶ。（☞P.5-11操作２～３）
●すでに３件の電話番号を登録しているときは、追加登録できません。

3 マークを選び、●を押す。
アドレス帳入力画面（☞P.5-4）が表示されます。他の項目を入力し、アドレス帳の登録を完了してください。

発信者番号が通知されていないときは、アドレス帳に登録できません。
また、追加登録する場合、追加するアドレス帳にすでに電話番号が３件登録されているときも、アドレス帳に登録できません。

受信メール（☞ⓞP.4-7）やノートパッドメモリ（☞P.2-13）からも追加登録できます。

アドレス帳の登録件数を確認する

メニュー ▶ ファンクション ➡ 表示／設定１

1「1メモリ確認」を選び、●を押す。
アドレス帳に登録されている件数が表示されます。

アドレス帳登録時のオプション設定

オプション設定では、指定着信音やメールコール、ピクチャーコール／メール（☞P.5-6）、メールフォルダの設定ができます。

●１件のアドレス帳に複数の電話番号／E-mailアドレスが登録されているときは、オプション設定の一括設定／個別設定が行えます。

一括設定	１件のアドレス帳内の複数の電話番号／E-mailアドレスに、オプション設定を一括で設定します。すでに個別設定が行われているときは、あとで設定した一括設定が優先されます。
個別設定	１件のアドレス帳内のそれぞれの電話番号／E-mailアドレスに、オプション設定を個別に設定します。すでに一括設定が行われているときは、あとで設定した個別設定が優先されます。

オプション設定の基本操作

●以下の操作は、アドレス帳入力画面（☞P.5-4）で行います。

1「オプション設定」を選び、●を押す。
オプション設定の画面が表示されます。

オプション設定の画面

2 項目を選び、●を押す。

3 *一括設定する*

1「1一括設定」を選び、●を押す。

個別設定する

1「2個別設定」を選び、●を押す。

2 電話番号またはE-mailアドレスを選び、●を押す。

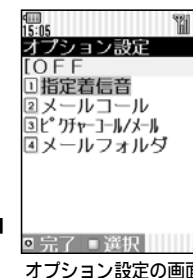
3「1ON」を選び、●を押す。

■ 個別設定の解除 :「2OFF」選択➡●➡ⓞ（完了）

各設定を解除する

1「3OFF」を選び、●を押す。
オプション設定の画面に戻ります。
■ 設定の終了 : ⓞ（完了）

4 各オプションの操作を行う。（☞P.5-10）
設定完了後、アドレス帳入力画面（☞P.5-4）に戻ります。他の項目を入力し、アドレス帳の登録を完了してください。

ボーダフォン携帯電話以外の電話番号にメールコール、メールフォルダを設定しても、設定は無効となります。ボーダフォン携帯電話以外の相手先にメールコール、メールフォルダを設定するときは、E-mailアドレスに対して行ってください。

オプションを設定する

●以下の操作は、オプション設定の画面（☞P.5-9）で行います。

指定着信音／メールコール 登録した相手から電話がかかってきたときや、メールが送られてきたときの着信パターンなどを設定します。

着信パターンを設定する

「1指定着信音」／「2メールコール」選択➡◉➡一括設定／個別設定選択（☞P.5-9操作３）➡「1着信パターン」選択➡◉➡着信パターン選択（☞P.8-3操作１～３）➡O（完了）➡O（完了）

■ 個別設定時：上記操作のあとO（完了）

バイブレータを設定する

「1指定着信音」／「2メールコール」選択➡◉➡一括設定／個別設定選択（☞P.5-9操作３）➡「2バイブ設定」選択➡◉➡「1ON」／「2OFF」／「3SMAF連動」選択➡◉➡O（完了）➡O（完了）

■ 個別設定時：上記操作のあとO（完了）

バイブパターンを設定する

「1指定着信音」／「2メールコール」選択➡◉➡一括設定／個別設定選択（☞P.5-9操作３）➡「3バイブパターン」選択➡◉➡バイブパターン選択➡◉➡O（完了）➡O（完了）

■ 個別設定時：上記操作のあとO（完了）

ランプを設定する

「1指定着信音」／「2メールコール」選択➡◉➡一括設定／個別設定選択（☞P.5-9操作３）➡「4ランプ設定」選択➡◉➡ランプ設定（☞P.8-5操作１～３）➡O（完了）➡O（完了）

■ 個別設定時：上記操作のあとO（完了）

着信呼出時間を設定する（メールコールだけ）

「2メールコール」選択➡◉➡一括設定／個別設定選択（☞P.5-9操作３）➡「5着信呼出時間」選択➡◉➡呼出時間入力（01～99秒）➡◉➡O（完了）➡O（完了）

■ 個別設定時：上記操作のあとO（完了）

●着信パターンにデータフォルダ内のファイルを設定しているときに、次の操作を行うと、着信パターンは「**着信パターン１**」（指定着信音）／「**効果音 メール**」（メールコール）に変更されます。

■ファイルの消去／メモリカードへ移動

●シークレットデータの場合、シークレットモードに設定していないときは、指定着信音／メールコールは動作しません。

メールフォルダ 登録した相手から届いたメールや送信したメールを、指定したメールフォルダに自動的に振り分けます。

「4メールフォルダ」選択➡◉➡「1受信メール自動振分け」／「2送信メール自動振分け」選択➡◉➡一括設定／個別設定選択（☞P.5-9操作３）➡メールフォルダ選択➡◉➡O（完了）➡O（完了）

■ 個別設定時：上記操作のあとO（完了）

アドレス帳の利用

アドレス帳から電話をかける

ここでは、お買い上げ時の設定である「**メモリNo 検索**」を利用したアドレス帳の使い方を説明します。

●他の検索方法を利用するときは、P.5-13を参照してください。

●シークレットデータを使って電話をかけるときは、シークレットモードにしておいてください。（☞P.12-6）

1 ◎（📖）を押す。

2 ◎（検索）を押すか、メモリ番号を入力する。

アドレス帳リスト

●◎（検索）を押したときは、メモリ番号の若い順にアドレス帳リストが表示されます。

●メモリ番号を入力したときは、入力したメモリ番号を含むアドレス帳リストが表示されます。

■ 他のアドレス帳の利用：◎（アドレス帳選択）

3 ◎でアドレス帳を選び、◉を押す。

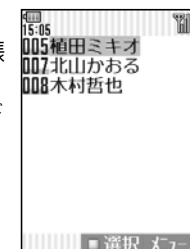
アドレス帳の内容が表示されます。

（アドレス帳詳細画面：☞P.5-12）

■ 複数の電話番号登録時：◎（電話番号選択）

4 ⌒を押す。

発信されます。

メモリ使用禁止（☞P.12-3）を「ON」にしているときは、アドレス帳は利用できません。

アドレス帳詳細画面

1 相手の名前
2 グループ名
3 登録データ
- ■電話番号（☎:電話／☎:自宅／:携帯電話／☎:会社）
- ■E-mailアドレス（✉:インターネット／✉:携帯電話）
- ■パーソナルデータ（:）
- ■フォト設定（:）

4 着信音またはメールコールに設定している着信音色
☎♪: 指定着信音／✉♪:メールコール
5 自動振り分けに設定しているメールフォルダ名
:受信メールフォルダ／
:送信メールフォルダ
6 メモリ番号
7 フォト設定に登録済の画像
8 電話番号またはE-mailアドレス

補足 登録データを◎で選択すると、登録内容が表示されます。（パーソナルデータ、フォトは別画面で表示されます。）

アドレス帳の検索方法を切り替える

アドレス帳の検索方法

メモリNo検索	指定したメモリ番号のアドレス帳を表示します。
アカサタナ検索	指定した「ヨミ」の行のアドレス帳を表示します。
グループ検索	指定したグループ内のアドレス帳を表示します。
読み検索	入力した「ヨミ」で始まるアドレス帳を表示します。

●お買い上げ時には、「**メモリNo検索**」に設定されています。

検索方法を切り替える

1 ◎（📖）を押す。
前回利用した検索方法の画面が表示されます。

2 ☑（メニュー）を押す。

3 検索方法を選び、◉を押す。
選んだ検索方法の画面が表示されます。
●このあと各検索方法でアドレス帳を呼び出すことができます。（☞下記）

各検索方法を利用する

●以下の操作は待受画面からの操作です。検索方法を切り替えた直後（上記操作3のあと）に操作するときは、◎（📖）を押す必要はありません。

メモリNo検索 メモリ番号を入力してアドレス帳を表示します。

■あらかじめ検索方法を「**メモリNo検索**」にしておいてください。（☞P.5-12）

◎（📖）➡3ケタのメモリ番号（000～499）入力➡アドレス帳選択➡◉

■ 電話をかける：上記操作のあと⌒

アカサタナ検索 「ヨミ」の行を指定してアドレス帳を表示します。

■あらかじめ検索方法を「**アカサタナ検索**」にしておいてください。（☞P.5-12）

◎（📖）➡ヨミの行指定➡アドレス帳選択➡◉

■ 電話をかける：上記操作のあと⌒

●ヨミの行を指定するボタンは、次のとおりです。

ア行	1	カ行	2	サ行	3	タ行	4
ナ行	5	ハ行	6	マ行	7	ヤ行	8
ラ行	9	ワ行	0	その他	#		

■英字、数字、記号または「**ヨミ**」が入力されていないアドレス帳のときは、「**その他**」となります。

グループ検索 グループを選択してアドレス帳を表示します。

■あらかじめ検索方法を「**グループ検索**」にしておいてください。（☞P.5-12）

◎（📖）➡グループ選択➡◉➡アドレス帳選択➡◉

■ 電話をかける：上記操作のあと⌒

読み検索 「:」に登録した「ヨミ」を入力してアドレス帳を表示します。

■あらかじめ検索方法を「**読み検索**」にしておいてください。（☞P.5-12）

◎（📖）➡ヨミ（最大半角10文字まで）入力➡◉➡アドレス帳選択➡◉

■ 電話をかける：上記操作のあと⌒

スピードダイヤルで電話をかける

メモリ番号000～099に登録したアドレス帳は、簡単な操作で発信できます。

- シークレットデータを使って電話をかけるときは、シークレットモードに設定しておいてください。（☞P.12-6）
  通常モードのままで操作すると、確認メッセージが表示されたあと、待受画面に戻ります。

1 *メモリ番号000～009に登録した相手にかける*

1 アドレス帳のメモリ番号の下１ケタの数字（０～９）を押す。

メモリ番号010～099に登録した相手にかける

1 アドレス帳のメモリ番号の下２ケタの数字（10～99）を押す。

2 ［発信］を押す。

相手の名前と電話番号が表示され、発信されます。

- メモリ番号000～099のアドレス帳に登録されていないときは、電話番号未登録の確認メッセージが表示されたあと、待受画面に戻ります。
- 複数の電話番号が登録されているときは、１番目に登録されている電話番号が発信されます。

メモリ使用禁止（☞P.12-3）を「ON」にしているときは、スピードダイヤルは使用できません。

アドレス帳リストに画像を表示する

アドレス帳のフォト設定に登録されている画像を、アドレス帳リストの画面に表示します。

アドレス帳リスト表示（メモリNo検索時）

フォト付アドレス帳リスト表示（メモリNo検索時）

1 ○（📖）○（検索）の順に押す。

2 ［✉］（メニュー）を押す。

3 「フォト付表示」を選び、◉を押す。

フォト設定に登録されている画像が表示されます。

■ リスト表示に設定：「**リスト表示**」選択➡◉

アドレス帳の編集

アドレス帳を修正する

1 ○（📖）を押したあと、修正するアドレス帳を呼び出す。

2 ◉を押す。

3 「修正」を選び、◉を押す。

アドレス帳入力画面（☞P.5-4）が表示されます。

4 項目を選び、◉を押す。

選んだ項目が修正できるようになります。

- このあと、アドレス帳の登録時と同様の操作で修正を行います。（☞P.5-4）
- 名前を修正したとき、「**ヨミ**」は自動的に修正されません。必要に応じて、「**ヨミ**」も修正してください。

5 修正が終われば、◉を押す。

- 続けて他の項目を修正するときは、操作４～５をくり返します。

■ 操作の中止：［○］（**取消**）➡「［1］YES」選択➡◉

6 ［✉］（登録）を押す。

7 ◉を押す。

8 「［1］YES」を選び、◉を押す。

変更した内容が元のメモリ番号に登録されます。

■ 別のメモリ番号で登録：「［2］NO」選択➡◉➡メモリ番号入力／［＊］

アドレス帳を消去する

1 ○（📖）を押したあと、消去するアドレス帳を呼び出す。

2 ◉を押す。

3 「消去」を選び、◉を押す。

4 「［1］YES」を選び、◉を押す。

指定着信音やメールコール、ピクチャーコール／メールが登録されているアドレス帳を消去しても、データフォルダ内のメロディやオリジナル着信音、ボイスファイル、画像は消去されません。

グループ設定

アドレス帳で使用するグループ名を変更したり、グループごとに着信音（通常着信／メール着信）などを設定できます。

●指定着信音やメールコールを設定しているとき（☞P.5-10）は、グループ着信の設定は無効となります。

グループ名を変更する

メニュー ▶ ファンクション ➡ 表示／設定１ ➡ グループ設定 ➡ グループ名変更

1 グループを選び、◉を押す。

2 グループ名を入力する。

●最大全角５文字（半角10文字）まで入力できます。

3 ◉を押す。

●続けて別のグループ名を変更するときは、操作１～３をくり返します。

グループ着信音を設定する

●お買い上げ時には、すべてのグループが「OFF」に設定されています。

メニュー ▶ ファンクション ➡ 表示／設定１ ➡ グループ設定 ➡ グループ着信

1 グループを選び、◉を押す。

2「1通常着信」または「2メール着信」を選び、◉を押す。

3「1着信設定」を選び、◉を押す。

4「1ON」を選び、◉を押す。

■ 着信設定の解除：「2OFF」選択➡◉（操作完了）

5「2着信パターン」～「6着信呼出時間」のいずれかを選び、◉を押す。

●「6着信呼出時間」は、メール着信のときだけ設定できます。

■ 着信パターンの設定方法や注意点：☞P.8-3

■ バイブレータ／ランプの設定方法や注意点：☞P.8-4～P.8-5

■ 着信呼出時間の設定方法：☞P.8-5

補足　着信設定を「OFF」にしているときは、通常着信音の設定に従います。

カメラ機能

カメラについて

V403SH内蔵の2.0メガピクセルモバイルカメラを利用して、静止画や動画が撮影できます。詳しくは、「**静止画撮影モード**」(☞P.6-6)/「**動画撮影モード**」(☞P.6-11)を参照してください。

カメラ利用時のご注意

- 撮影前に、レンズカバー(☞P.1-6㉖)が汚れていないかご確認ください。レンズカバーに指紋や油脂が付くと、ピントが合わなくなります。
- 手ぶれにご注意ください。画像がぶれる原因となります。V403SHが動かないようにしっかり持って撮影するか、安定した場所においてセルフタイマー(☞P.6-14)で撮影してください。
- カメラは非常に精密度の高い技術で作られていますが、常時明るく見える画素や暗く見える画素もありますので、ご了承ください。
- V403SHを暖かい場所に長時間置いていたあとで、撮影したり画像を登録したときは、画質が劣化することがあります。
- カメラ部分に直射日光が長時間あたると、内部のカラーフィルターが変色して、画像が変色することがあります。

カメラ撮影中の撮影音について

■ カメラ撮影時には、一定の音量でシャッター音が鳴ります。
- マナーモードの設定にかかわらず、撮影時の音(シャッター音やセルフタイマー音)は鳴ります。音量も変更できません。

■ 静止画撮影時のシャッター音のパターンは、変更できます。

自動終了について

■ モバイルカメラ起動後、画像を撮影する前に約5分間何も操作しないでおくと、自動的に終了し、待受画面に戻ります。

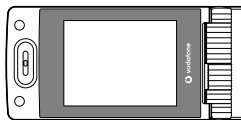
静止画撮影直後/動画撮影中に着信があると

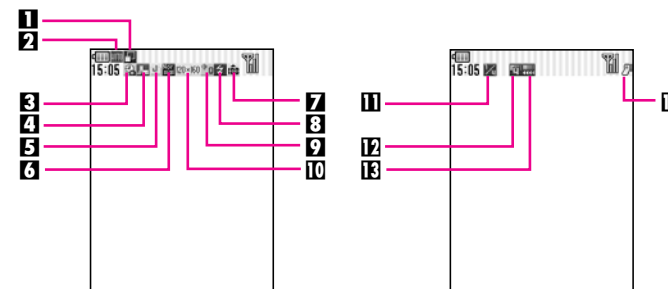
■ 撮影した静止画は一時的に記憶(保護)されています。撮影後の画面に戻るときは、通話終了後に、次の操作を行います。

◉➡「①YES」選択➡◉

■ 撮影中の動画は保護されません。

デジタルカメラモード撮影時のご注意

■ デジタルカメラモードで撮影した静止画は、パソコンなど他の機器で確認したとき、90度回転した横長の静止画となります。デジタルカメラモードで撮影するときは、V403SHを右図のように横向きに持って撮影することをおすすめします。

カメラ利用中の画面表示

静止画や動画の撮影時には、撮影内容を表すマークが画面に表示されます。
- ここでは、カメラモードにかかわらず、静止画や動画の撮影時に表示されるすべてのマークを説明しています。詳しくは、各表示のページを参照してください。

1 画像表示(☞P.6-18)
 :等倍/ :2倍

2 シーン別撮影表示(☞P.6-20)
 :オートモード/ :夜景モード/ :スポーツモード/ :文字モード

3 セルフタイマーON表示(☞P.6-14)

4 カメラモード表示(☞P.6-22)
 :写メールモード/ :壁紙モード/ :デジタルカメラモード/
 :アクションスナップモード

5 保存形式表示(☞P.6-21)
 :JPEGハイカラー/ :PNGノーマル256色/ :PNGソフト256色

6 画質表示(☞P.6-21)
 :ノーマル/ :ファイン

7 登録可能件数表示(☞P.6-7、P.6-11)
- 100件以上撮影(登録)可能なときは、「 」が表示されます。
- 5件以下になると、背景が赤く表示されます。

8 モバイルライトON表示(☞P.6-19)
 :通常/ :オート/ :接写

9 明るさ表示(☞P.6-20)
-2 -1 0 +1 +2
暗い ⇦標準⇨ 明るい

10 撮影サイズ表示(☞P.6-20)/**マイク表示**(☞P.6-21)

11 連写枚数表示
 〜 :「**撮影済または表示中の枚数**」/「**連写枚数**」を表します。
 :分割画像を確認中に表示されます。

12 連写モード表示(☞P.6-16)
 :4枚連写ON/ :9枚連写ON/ :25枚高速連写ON

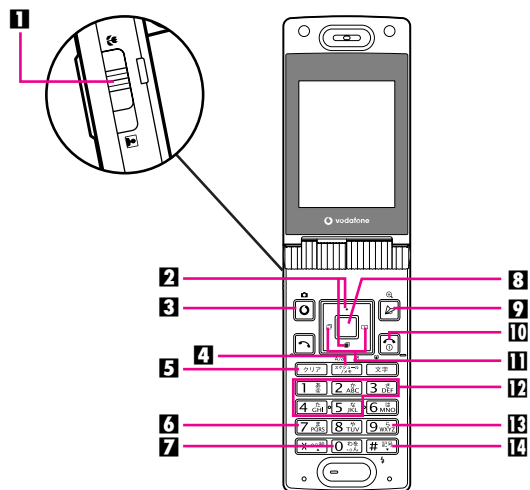
13 連写スピード表示
 :速い/ :やや速い/ :普通/ :やや遅い/ :遅い/ :マニュアル

14 登録先表示(☞P.6-22)
 :本体(V403SH)/ :メモリカード

接写切替確認画面について

■ モバイルカメラを起動すると、接写切替スイッチの確認画面が表示されます。この確認画面は、次の操作を行うと、表示しないように設定できます。
　◉➡「モバイルカメラ」選択➡◉➡「6接写切替確認表示」選択➡◉➡「1ON」（表示）／「2OFF」（非表示）選択➡◉
■ 接写切替確認表示は、各カメラモード共通の設定です。いずれかのモードで設定を変更すると、すべてのカメラモードに反映されます。
●バーコード読み取りも共通です。（表示されるメッセージは異なります。）

カメラ機能で使用するボタン

●利用できるボタン操作は、画面に表示できます。（キー操作ガイド：☞P.6-23）

1 接写切替スイッチ
スライドさせて切り替えます。
●被写体との距離は、接写モード（「🌷」）では約10cm程度、通常モード（「👤」）では約40cm以上を目安にしてください。

2 明るさ調整（☞P.6-20）
◎（明るくなる）／◎（暗くなる）

3 カメラ起動
待受画面で長く（1秒以上）押すと、前回使用していたモードでモバイルカメラが起動します。（お買い上げ時「**写メールモード**」）
●静止画撮影モードで押すと、表示が切り替わります。

4 表示切替（☞P.6-18）

5 撮影のやり直し

6 瞬間ズーム（等倍）

7 撮影サイズ切替（☞P.6-20）
写メールモード／デジタルカメラモードで撮影前、押すたびに撮影サイズが切り替わります。

8 シャッター

9 メニュー表示

10 カメラ終了

11 ズーム
◎（ズームダウン）、◎（ズームアップ）

12 カメラモード切替（☞P.6-22）
カメラモード起動後に押すと、次のモードに切り替わります。

1	写メールモード（☞P.6-6）	4	アクションスナップモード（☞P.6-11）
2	壁紙モード（☞P.6-6）	5	バーコード読み取り（☞P.13-29）
3	デジタルカメラモード（☞P.6-6）		

13 瞬間ズーム（最大）

14 モバイルライト（☞P.6-19）
押すたびに、「ON（**通常撮影用**）」（「⚡」点灯）→「ON（**オート撮影用**）」（「⚡」点灯）→「ON（**接写撮影用**）」（「⚡」点灯）→「OFF」の順に切り替わります。

待受画面で次のボタンを長く（1秒以上）押すと、各モードでカメラが起動します。

4	写メールモード	6	デジタルカメラモード
5	壁紙モード	7	アクションスナップモード

静止画の撮影

静止画撮影モード

写メールモード
メール添付や壁紙登録が可能
連写、装飾撮影なども可能

メール添付や壁紙登録など、
V403SHで利用する静止画を
手軽に撮影するとき

壁紙モード
V403SHの画面に合った
サイズで撮影可能
撮影した静止画を分割して
メールに添付することが可能

V403SHの壁紙に
利用する静止画を
よりきれいに撮影するとき

デジタルカメラモード
最大横1632×縦1224ドットの
大きな静止画が撮影可能
メモリカード経由で
パソコンなどに取り込み可能
DPOFに対応、V403SHで
プリントアウトの指定が可能

パソコンで加工／印刷するなど、
いろいろな用途に利用できる
静止画を撮影するとき

- V403SHのデジタルカメラモードで撮影した静止画は、DCFに対応しています。DCFは、（社）電子情報技術産業協会（JEITA）で主として、デジタルスチルカメラの画像ファイルなどを、関連機器間で簡便に利用しあえる環境を整えることを目的に標準化された規格『Design rule for Camera File system』の略称です。
ただし、「**DCF規格**」は、機器間の完全な互換性を保証するものではありません。
- DPOF（Digital Print Order Format）とは、デジタルカメラで撮影した中から、プリントする画像や枚数などの設定情報をメモリカードなどの記録媒体に記録するためのフォーマットです。

パソコンなど他の機器で静止画を編集するとき

- ■ V403SHのデジタルカメラモードで撮影した画像は、DCFに対応しています。
- ■ デジタルカメラモードの画像をパソコンで加工／編集するときは、メモリカード内の元ファイルをパソコンのハードディスクなどにコピーしたあと、コピーしたファイルを操作することをおすすめします。
- ■ V403SHで撮影した静止画をパソコンで加工／編集して上書き保存すると、自動的にDCF規格（☞P.6-6）以外のファイルとなってしまい、V403SHで画像を再表示できなくなることがあります。

静止画撮影モードの機能比較

	写メールモード	壁紙モード	デジタルカメラモード
撮影サイズ	横120×縦160ドット（QQVGA） 横120×縦128ドット	横240×縦320ドット（QVGA）	横1632×縦1224ドット※1 横1280×縦960ドット（Quad-VGA）※1 横1024×縦768ドット（XGA）※1 横640×縦480ドット（VGA）※1
登録先	V403SHまたはメモリカードのデータフォルダ（ピクチャー）		V403SHまたはメモリカードのデジタルカメラフォルダ（DCIM）
画質	—	ノーマル／ファイン	
ズーム	1～10.2倍	1～5.1倍	横1632×縦1224ドット：なし 横1280×縦960ドット：1～1.3倍 横1024×縦768ドット：1～1.6倍 横640×縦480ドット：1～2.5倍
ロングメール添付	写メールサイズ	壁紙サイズ／写メールサイズ／分割	サムネイルのみ
ファイル形式	JPEGファイル／PNGファイル	JPEGファイル	
登録可能件数（目安）	約1650ファイル※2	約550ファイル※2	約200ファイル※2

※1　デジタルカメラモードで撮影すると、指定したサイズの静止画とサムネイルが同時に保存されます。
※2　お買い上げ時の状態（撮影サイズ、画質）で撮影し、V403SHに登録したときの画像数です。

サムネイルとは

- ■ 撮影した静止画を横120×縦160ドットに縮小したものです。

- V403SH のデータフォルダのメモリは、V アプリライブラリやアクションスナップフォルダなどと共有しているため、他のデータの登録状況によって、撮影（登録）できる画像数は少なくなります。
- メモリの使用状況を確認するときは、P.6-24を参照してください。

静止画のファイル名

写メールモード／壁紙モード	撮影（登録）日時のファイル名が付きます。（例：2006年05月15日午後12時34分に撮影→「06-05-15_12-34」）
デジタルカメラモード	「VFSH0001」、「VFSH0002」…の順に、ファイル名が付きます。

●写メールモード／壁紙モードのファイル名は、変更できます。（☞P.10-11）

注意 デジタルカメラモードで撮影した静止画のファイル名は、V403SHでは変更できません。パソコンなどでファイル名を変更すると、V403SHで静止画が表示できなくなることがあります。ファイル名は変更しないことをおすすめします。

静止画を撮影する

メニュー ▶ モバイルカメラ

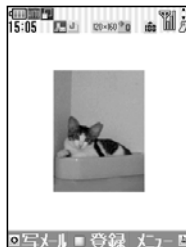
1 **「①写メールモード」、「②壁紙モード」、「③デジタルカメラモード」のいずれかを選び、◉を押す。**

2 **画像を画面に表示する。**

■ カメラ機能で使用するボタン：☞P.6-4
■ 各種撮影方法：☞P.6-18

3 **Sまたは◉を押す。**

シャッター音が鳴ったあと、撮影した静止画が表示されます。

■ 撮影のやり直し：クリア➡「①YES」選択➡◉
■ 画像編集：☞P.10-17〜P.10-25
■ メモリカードへの登録：（メニュー）➡「登録先」選択➡◉➡「②メモリカード」選択➡◉
（登録先を再度変更するまで、メモリカードに登録されます。）
■ メール添付：◎（写メール）➡P.3-3操作2以降

4 **静止画を登録するときは、◉を押す。**

撮影した静止画が登録されます。撮影前の状態に戻りますので、続けて撮影できます。

5 **モバイルカメラを終了するときは、を押す。**

補足 **登録していない静止画があるとき**
終了するかどうかの確認画面が表示されます。
「①YES」を選び、◉を押すと、撮影した静止画を登録せずに、待受画面に戻ります。「②NO」を選び、◉を押すと、撮影後の画面に戻ります。

撮影後にできること

●以下の操作は、上記操作3の静止画撮影直後の状態で行います。

アドレス帳登録 写メールモードまたは壁紙モードで撮影した静止画をアドレス帳に登録します。

（メニュー）➡「アドレス帳登録」選択➡◉➡「①新規登録」／「②追加登録」選択➡◉

■ 追加登録するアドレス帳に静止画が登録されているとき：「①YES」選択➡◉

●アドレス帳入力画面（☞P.5-4）が表示されます。他の項目を入力し、アドレス帳の登録／修正を完了してください。

サムネイル登録 デジタルカメラモードで撮影したサムネイル（横120×縦160ドットの静止画）だけを、データフォルダのピクチャーフォルダに登録します。

（メニュー）➡「サムネイル登録」選択➡◉

サムネイル90度回転 デジタルカメラモードで撮影したサムネイル（横120×縦160ドットの静止画）を回転し、画像の向きを変えて登録できます。

（メニュー）➡「サムネイル90度回転」選択➡◉

●さらに回転するときは、（回転）を押します。
■ 回転後のサムネイル登録：◉

静止画撮影で利用できる機能

撮影前

撮影前に（メニュー）を押すと、次の機能が利用できます。
●デジタルカメラモードでは、「特殊撮影設定」の項目はありません。

表示切替		画面の表示を切り替えます。（☞P.6-18）
モバイルライト設定		モバイルライトの点灯（方法）／点灯時間／点灯カラーを設定します。（☞P.6-19）
撮影サイズ設定※1		撮影する静止画のサイズを設定します。（☞P.6-20）
シーン別撮影		シャッターを撮影環境に合わせて設定します。（☞P.6-20）
画質設定※2		画質を設定します。（☞P.6-21）
特殊撮影設定	タイマー設定	セルフタイマーを設定します。（☞P.6-14）
	連写設定※3	連写モードや連写スピードを設定します。（☞P.6-16）
	フレーム設定※3	画像にフレームを付けて撮影します。（☞P.6-15）
	エフェクト撮影※3	画面の装飾効果を確認しながら静止画を撮影します。（☞P.6-16）
	ソフトフォーカス※4	メール添付しやすい静止画にするかどうかを設定します。（☞P.6-20）
オプション設定	シャッター音設定	撮影時のシャッター音を設定します。（☞P.6-18）
	保存形式変更※4	静止画の保存形式（色数）を設定します。（☞P.6-21）
	登録先	静止画の登録先（V403SH／メモリカード）を設定します。（☞P.6-22）
	オートリセット設定	モバイルカメラを終了するとき、設定内容をリセットするかどうかを設定します。（☞P.6-22）
データ消去		V403SH／メモリカード内の静止画を消去します。（☞P.6-24）
キー操作ガイド		現在の撮影モードで利用できるボタン操作を画面に表示します。（☞P.6-23）
明るさ設定		明るさを調整します。（☞P.6-20）
カメラモード選択		モバイルカメラの撮影モードを設定します。（☞P.6-22）

※1 写メールモード／デジタルカメラモードで利用できます。
※2 壁紙モード／デジタルカメラモードで利用できます。
※3 写メールモード／壁紙モードで利用できます。
※4 写メールモードで利用できます。

撮影直後（静止画登録前）

撮影直後（登録前）に（メニュー）を押すと、次の機能が利用できます。

■写メールモード／壁紙モード

表示切替	画面の表示を切り替えます。（☞P.6-18）
保存形式変更※1	静止画の保存形式（色数）を設定します。（☞P.6-21）
画像編集	撮影した静止画を編集します。（☞P.10-17～P.10-25）
画質設定※2	画質を設定します。（☞P.6-21）
登録先	静止画の登録先（V403SH／メモリカード）を設定します。（☞P.6-22）
メール添付	撮影した静止画をメールに添付します。（☞P.6-25）
アドレス帳登録	撮影した静止画をアドレス帳に登録します。（☞P.6-8）
データ消去	V403SH／メモリカード内の静止画を消去します。（☞P.6-24）

※1　写メールモードで利用できます。
※2　壁紙モードで利用できます。

■デジタルカメラモード

1表示切替	画面の表示を切り替えます。（☞P.6-18）
2サムネイル登録	サムネイルだけを登録します。（☞P.6-9）
3サムネイル90度回転	サムネイルを90度に回転して表示します。（☞P.6-9）
4画質設定	画質を設定します。（☞P.6-21）
5登録先	静止画の登録先（V403SH／メモリカード）を設定します。（☞P.6-22）
6サムネイルメール添付	サムネイルをメールに添付します。（☞P.6-27）
7データ消去	V403SH／メモリカード内の静止画を消去します。（☞P.6-24）

動画の撮影

動画撮影モード

アクションスナップモード
撮影後V403SHだけで
再生が可能
音声録音、ズーム撮影
セルフタイマー撮影も可能

いろいろな記録用として、
手軽に動画を撮影するとき

動画を撮影するときは、なるべくカメラから1.5mまでの距離で、明るい状態で撮影することをおすすめします。

●動画の撮影／再生の技術には「MPEG-4」が使われています。

This product is licensed under the MPEG-4 Visual Patent Portfolio License for the personal and non-commercial use of a consumer to (i) encode video in compliance with the MPEG-4 Video Standard ("MPEG-4 Video") and/or (ii) decode MPEG-4 Video that was encoded by a consumer engaged in a personal and non-commercial activity and/or was obtained from a licensed video provider. No license is granted or implied for any other use.
Additional information may be obtained from MPEG LA. See http://www.mpegla.com.
This product is licensed under the MPEG-4 Systems Patent Portfolio License for encoding in compliance with the MPEG-4 Systems Standard, except that an additional license and payment of royalties are necessary for encoding in connection with (i) data stored or replicated in physical media which is paid for on a title by title basis and/or (ii) data which is paid for on a title by title basis and is transmitted to an end user for permanent storage and/or use. Such additional license may be obtained from MPEG LA, LLC.
See http://www.mpegla.com for additional details.

■アクションスナップモード

撮影サイズ	横120×縦88ドット
登録先	V403SHまたはメモリカードのアクションスナップフォルダ
最長録画時間（1回あたり）	60秒（画質：ノーマル）、40秒（画質：ファイン）
画質	ノーマル／ファイン
ズーム	1～10.2倍
ロングメール添付	不可
ファイル形式	MPEG形式［撮影（登録）日時のファイル名が付きます。］
登録可能件数（目安）	約11ファイル※

※ お買い上げ時の状態（マイク設定、画質）で60秒間撮影し、V403SHに登録したときの画像数です。

●アクションスナップフォルダのメモリは、Vアプリライブラリなどと共有しているため、他のデータの登録状況によって、撮影（登録）できる動画数は少なくなります。
●メモリの使用状況を確認するときは、P.6-24を参照してください。

動画を撮影する

メニュー ▶ モバイルカメラ ➡ アクションスナップモード

1 画像を画面に表示する。

■ カメラ機能で使用するボタン：☞P.6-4
■ 各種撮影方法：☞P.6-18

2 Sまたは◉を押す。

撮影開始音が鳴ったあと、動画の撮影が始まります。（撮影開始まで、しばらく時間がかかることがあります。）

●マイク設定を「ON」にしているときは、マイクから50cm程度の距離を目安に撮影してください。

補足

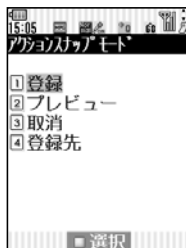
撮影前にメモリが不足しているとき

空き容量不足の確認メッセージが表示され、撮影前の状態に戻ります。不要な画像を消去（☞P.6-24）すると、撮影できます。

3 撮影を終了するときは、Sまたは◉を押す。

撮影終了音が鳴ったあと、動画の撮影が終わります。

●撮影可能時間が経過したときは、自動的に終了します。

■ 撮影した動画の再生：「2プレビュー」選択➡◉
■ 撮影のやり直し：「3取消」選択➡◉➡「1YES」選択➡◉
■ メモリカードへの登録：「4登録先」選択➡◉➡「2メモリカード」選択➡◉
（登録先を再度変更するまで、メモリカードに登録されます。）

4 動画を登録するときは、「1登録」を選び、◉を押す。

撮影した動画が登録されます。撮影前の状態に戻りますので、続けて撮影できます。

5 モバイルカメラを終了するときは、⌂を押す。

補足

登録していない動画があるとき

終了するかどうかの確認画面が表示されます。

●「1YES」を選び、◉を押すと、撮影した動画を登録せずに、待受画面に戻ります。
●「2NO」を選び、◉を押すと、撮影後の画面に戻ります。

動画撮影で利用できる機能

撮影前

撮影前に（メニュー）を押すと、次の機能が利用できます。

項目		説明
1表示切替		画面の表示を切り替えます。（☞P.6-18）
2モバイルライト設定		モバイルライトの点灯（方法）／点灯時間／点灯カラーを設定します。（☞P.6-19）
3画質設定		画質を設定します。（☞P.6-21）
4タイマー設定		セルフタイマーを設定します。（☞P.6-14）
5マイク設定		音声録音を設定します。（☞P.6-21）
6オプション設定	1登録先	動画の登録先（V403SH／メモリカード）を設定します。（☞P.6-22）
	2オートリセット設定	モバイルカメラを終了するとき、設定内容をリセットするかどうかを設定します。（☞P.6-22）
7データ消去		V403SH／メモリカード内の動画を消去します。（☞P.6-24）
8キー操作ガイド		現在の撮影モードで利用できるボタン操作を画面に表示します。（☞P.6-23）
9明るさ設定		明るさを調整します。（☞P.6-20）
◆カメラモード選択		モバイルカメラの撮影モードを設定します。（☞P.6-22）

撮影直後（動画登録前）

撮影直後（登録前）にはメニュー画面が自動的に表示され、次の機能が利用できます。

項目	説明
1登録	撮影した動画を登録します。（☞P.6-12）
2プレビュー	撮影した動画を再生します。（☞P.6-12）
3取消	撮影をやり直します。（☞P.6-12）
4登録先	動画の登録先（V403SH／メモリカード）を設定します。（☞P.6-22）

便利な撮影方法

セルフタイマーで撮影する（タイマー設定）

写メールモード	○	壁紙モード	○
デジタルカメラモード	○	アクションスナップモード	○

静止画や動画の撮影に、セルフタイマーを利用できます。
●以下の操作は、P.6-8操作２の静止画撮影前、またはP.6-12操作１の動画撮影前の状態で行います。
●お買い上げ時には、「**タイマー OFF**」に設定されています。

1 **（メニュー）を押す。**
●デジタルカメラモード／アクションスナップモードは、このあと操作３へ進みます。

2 **「5特殊撮影設定」を選び、◉を押す。**

3 **「タイマー設定」を選び、◉を押す。**
■ タイマー動作までの時間変更（お買い上げ時「10秒」）:「**2時間設定**」選択➡◉➡時間選択➡◉

4 **「1タイマー ON」を選び、◉を押す。**
「」が表示され、タイマーが設定されます。
■ セルフタイマーの解除：「**1タイマー OFF**」選択➡◉（操作完了）

5 **画像を画面に表示し、◉を押す。**
タイマー音が鳴り、タイマーが動作します。
●設定した時間後、静止画を撮影したときは撮影後の画像が表示され、動画を撮影したときは録画が始まります。
●タイマー動作中◉を押すと、その時点で撮影され、タイマーは解除されます。
■ 撮影のやり直し：タイマー動作中に（**取消**）
▪タイマーが解除されないまま、撮影できる状態に戻ります。

6 ***静止画を登録する***
1 静止画を登録するときは、◉を押す。
タイマーは解除され、通常の静止画撮影画面に戻ります。

動画を登録する
1 撮影を終了するときは、◉を押す。
2 動画を登録するときは、「1登録」を選び、◉を押す。
タイマーは解除され、通常の動画撮影画面に戻ります。

7 **カメラを終了するときは、を押す。**

注意
●タイマー動作中に着信やアラーム動作があると、カメラは終了します。このとき、タイマーは解除されます。
●タイマー動作中は、次の操作はできません。
▪明るさの調整、モバイルライトの点灯、撮影モードの変更、撮影サイズの切替

フレームを付けて撮影する（フレーム設定）

写メールモード	○	壁紙モード	○
デジタルカメラモード	×	アクションスナップモード	×

●ウェブなどで入手した画像（透過PNG形式の画像）も、フレームとして利用できます。
●エフェクト撮影（☞P.6-16）とは併用できません。
●以下の操作は、P.6-8操作２の静止画撮影前の状態で行います。操作後、撮影画面に戻りますので、P.6-8操作３以降を行ってください。

1 **（メニュー）を押す。**

2 **「5特殊撮影設定」を選び、◉を押す。**

3 **「3フレーム設定」を選び、◉を押す。**

4 ***あらかじめ登録されているフレームを利用する***
1「1固定フレーム」を選び、◉を押す。
2 フレームを選び、◉を押す。
選んだフレームの付いた画像が表示されます。
■ フレームの変更：（**前へ**）／（**次へ**）
3 ◉を押す。

オリジナルフレームを利用する
1「2オリジナル」を選び、◉を押す。
●選択できない画像は、利用できません。
2 フレームを選び、◉を押す。
選んだフレームの付いた画像が表示されます。
■ フレームの変更：（**戻る**）➡操作**1**からやり直す
3 ◉を押す。
●壁紙モードで、横240×縦320ドットよりも小さいフレームを選択すると、フレームは拡大して表示されます。

カスタムスクリーンを利用する（カスタムスクリーン設定中だけ）
1「3カスタムスクリーン」を選び、◉を押す。
2 ◉を押す。
選んだフレームの付いた画像が表示されます。
■ フレームの変更：（**戻る**）➡操作**1**からやり直す

フレームを解除する
1「4OFF」を選び、◉を押す。

補足
連写モードで撮影すると、すべての静止画にフレームが付きます。

画面の装飾効果を確認しながら静止画を撮影する（エフェクト撮影）

写メールモード	○	壁紙モード	○
デジタルカメラモード	×	アクションスナップモード	×

- フレーム撮影（☞P.6-15）とは併用できません。
- ソフトフォーカス（☞P.6-20）を「ON」にしていても、エフェクト撮影で撮影した静止画に効果はありません。
- 以下の操作は、P.6-8操作２の静止画撮影前の状態で行います。操作後、撮影画面に戻りますので、P.6-8操作３以降を行ってください。

1 （メニュー）を押す。

2 「5特殊撮影設定」を選び、◉を押す。

3 「4エフェクト撮影」を選び、◉を押す。

4 「1ON」を選び、◉を押す。

■ エフェクト撮影の解除：「2OFF」選択➡◉（操作完了）

5 装飾の種類を選び、◉を押す。

■ 装飾の種類変更：（前へ）／（次へ）

6 ◉を押す。

静止画を連続して撮影する（連写設定）

写メールモード	○	壁紙モード	○
デジタルカメラモード	×	アクションスナップモード	×

撮影前に連写モードを設定しておくと、静止画を連続して撮影できます。

- 連写モードでは、１枚目のシャッター（Sまたは◉）を押すと、あとは一定間隔で自動的に残りの回数分撮影されます。
- 連写モードの種類と利用できる撮影モードは、次のとおりです。

連写モード	概　　要	写メールモード※	壁紙モード
４枚連写ON	４枚の静止画を連続して撮影し、４枚の静止画と分割画像を作成します。	○	○
９枚連写ON	９枚の静止画を連続して撮影し、９枚の静止画と分割画像を作成します。	○	○
25枚高速連写ON	25枚の静止画を連続して撮影し、25枚の静止画と分割画像を作成します。	○	×

※ 保存形式を、JPEG形式にしておいてください。（保存形式変更：☞P.6-21）

- ４枚連写／９枚連写では、設定した回数分シャッターを押す「**マニュアル**」にすることもできます。
- 以下の操作は、P.6-8操作２の静止画撮影前の状態で行います。

1 （メニュー）を押す。

2 「5特殊撮影設定」を選び、◉を押す。

3 「2連写設定」を選び、◉を押す。

■ 連写スピードを変更する（お買い上げ時「**普通**」）：「**連写スピード設定**」選択➡◉➡スピード選択➡◉

4 「1４枚連写ON」、「2９枚連写ON」、「325枚高速連写ON」（写メールモード）のいずれかを選び、◉を押す。

■ 連写モードの解除：「OFF」選択➡◉（操作完了）

5 画像を画面に表示し、Sまたは◉を押す。

設定したスピードで連写撮影されます。

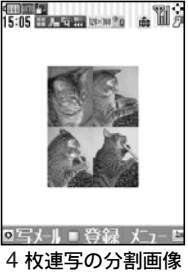
- 手動（マニュアル）で撮影するとき（4枚連写／9枚連写）は、残りの回数分操作５をくり返してください。

■ 連写の中止：連写撮影中に（停止）
- 連写スピードを「**速い**」にしているときや、25枚高速連写撮影では、操作できません。
- 中止前に撮影した枚数分の連写画像の登録：上記操作のあと◉

■ 連写の取消（マニュアル時）：（取消）➡「1YES」選択➡◉（途中まで撮影した画像は消去されます。）

6 連写が終われば、分割画像が表示される。

４枚連写の分割画像

■ 連写画像内の静止画の確認：
■ 連写画像内の静止画を１枚ずつ登録：（画像選択：分割画像も可能）➡（**メニュー**）➡「2**表示画像のみ登録**」選択➡◉
■ 連写画像内の静止画のメール送信：➡（**メニュー**）➡「**表示画像のみ添付**」選択➡◉（画像サイズによっては、選択メニューが表示されます。）

7 画像を登録するときは、◉を押す。

分割画像と設定した回数分の静止画をまとめた連写画像が登録され、連写モードのままで、元のカメラモードに戻ります。

8 カメラを終了するときは、を押す。

注意
- 暗い所で撮影すると、明るい所で撮影するよりも連写スピードが遅くなることがあります。
- モバイルライト点灯時は、連写スピードが遅くなることがあります。

■撮影直後に利用できる機能

画像登録前に（**メニュー**）を押すと、次の機能が利用できます。

表示切替	画面の表示を切り替えます。（☞P.6-18）
表示画像のみ登録	表示している静止画を選んで登録します。（☞上記）
画質設定※	画質を設定します。（☞P.6-21）
登録先	静止画の登録先（V403SH／メモリカード）を設定します。（☞P.6-22）
表示画像のみ添付	表示している静止画をメールに添付します。（☞上記）
データ消去	V403SH／メモリカード内の静止画を消去します。（☞P.6-24）

※ 壁紙モードで利用できます。

各種撮影方法

撮影時の状態に合わせて撮影方法を変更できます。

- 撮影モードによって利用できる機能は異なります。各機能にある表でご確認のうえ、ご利用ください。
- 以下の操作は、P.6-8操作２の静止画撮影前、またはP.6-12操作１の動画撮影前の状態で行います。操作後、撮影画面に戻りますので、P.6-8操作３／P.6-12操作２以降を行ってください。

表示切替　撮影時の画面表示を大きくしたり、マークの表示を消します。

写メールモード	○	壁紙モード	○
デジタルカメラモード	○	アクションスナップモード	○

お買い上げ時 写メールモード：等倍、アクションスナップモード：２倍

（メニュー）➡「1表示切替」選択➡◉

- カメラモードを切り替えたり、モバイルカメラを終了するたびに、お買い上げ時の設定に戻ります。

シャッター音設定　静止画撮影時のシャッター音を設定します。

写メールモード	○	壁紙モード	○
デジタルカメラモード	○	アクションスナップモード	×

お買い上げ時 パターン１

（メニュー）➡「オプション設定」選択➡◉➡「1シャッター音設定」選択➡◉➡パターン選択➡◉

- シャッター音設定は、静止画撮影モード共通の設定です。いずれかのモードで設定を変更すると、すべての静止画撮影モードに反映されます。
  - シャッター音確認：パターン選択時に0（♪再生）
    - ■再生の停止：上記操作のあと、再生中に0（停止）

- シャッター音の音量は変更できません。
- 連写撮影時のシャッター音は固定です。ここでの設定は、反映されません。

モバイルライト設定　モバイルライトの点灯（方法）／点灯時間／点灯カラーを設定します。

写メールモード	○	壁紙モード	○
デジタルカメラモード	○	アクションスナップモード	○※

※アクションスナップモードでは、「オート」は利用できません。

お買い上げ時 OFF／１分／ライチフルーツ（白色系統）

モバイルライトの点灯（方法）を設定する

（メニュー）➡「2モバイルライト設定」選択➡◉➡「通常」～「OFF」選択➡◉

- 設定できる点灯方法は、次のとおりです。

通常	モバイルライトが点灯します。静止画撮影時には、さらに強い光で発光します。
オート（静止画限定）	周囲の明るさによって、自動的にモバイルライトが点灯します。シャッターを押したときには、さらに強い光で発光します。
接写	撮影時も同じ光量のまま、モバイルライトが点灯します。

継続点灯時間を設定する

（メニュー）➡「2モバイルライト設定」選択➡◉➡「点灯設定」選択➡◉➡「1継続点灯時間」選択➡◉➡点灯時間選択➡◉

点灯カラーを設定する

（メニュー）➡「2モバイルライト設定」選択➡◉➡「点灯設定」選択➡◉➡「2点灯カラー」選択➡◉➡カラー選択➡◉

モバイルライトを人の目に近づけて点灯させたり、発光部を直視したりしないでください。また、発光方向を確認してからご使用ください。

モバイルライトの点灯時間を短くすると、電池パックの消耗を軽減できます。

各種画像の設定

画像の明るさや画質など、撮影する画像に関する設定を変更できます。

- 撮影モードによって利用できる機能は異なります。各機能にある表でご確認のうえ、ご利用ください。
- 以下の操作は、P.6-8操作２の静止画撮影前、またはP.6-12操作１の動画撮影前の状態で行います。操作後、撮影画面に戻りますので、P.6-8操作３／P.6-12操作２以降を行ってください。（ソフトフォーカス設定後は、撮影画面に戻る操作を行うと、撮影画面に戻ります。）

明るさ設定

静止画や動画の明るさを調整します。

写メールモード	○	壁紙モード	○
デジタルカメラモード	○	アクションスナップモード	○

お買い上げ時 0（標準）

（メニュー）➡「明るさ設定」選択➡◉➡明るさ選択➡◉

- モバイルカメラを終了するたびに、お買い上げ時の設定に戻ります。

ソフトフォーカス

写メールモードで撮影するとき、ロングメール添付に便利な圧縮しやすい静止画にするかどうかを設定します。

写メールモード	○	壁紙モード	×
デジタルカメラモード	×	アクションスナップモード	×

お買い上げ時 OFF

（メニュー）➡「5特殊撮影設定」選択➡◉➡「5ソフトフォーカス」選択➡◉➡「1ON」／「2OFF」選択➡◉

■ 撮影画面に戻る：上記操作のあと0（戻る）➡0（戻る）

撮影サイズ設定

静止画の撮影サイズを変更します。

写メールモード	○	壁紙モード	×
デジタルカメラモード	○	アクションスナップモード	×

お買い上げ時 写メールモード：120×160、デジタルカメラモード：480×640

（メニュー）➡「3撮影サイズ設定」選択➡◉➡サイズ選択➡◉

シーン別撮影

静止画を撮影するとき、撮影環境に合わせて設定を変更できます。

写メールモード	○	壁紙モード	○
デジタルカメラモード	○	アクションスナップモード	×

お買い上げ時 オートモード

（メニュー）➡「シーン別撮影」選択➡◉➡撮影環境選択➡◉

- 設定できる撮影環境は、次のとおりです。

オートモード	周りの環境に応じて自動的に調整します。
夜景モード	夜景など光の少ない場所での撮影に適しています。
スポーツモード	スポーツなど動きの多い被写体の撮影に適しています。
文字モード	白と黒などコントラストがはっきりとした被写体の撮影に適しています。

画質設定

撮影前に画質を設定します。

写メールモード	×	壁紙モード	○
デジタルカメラモード	○	アクションスナップモード	○

お買い上げ時 ノーマル

（メニュー）➡「画質設定」選択➡◉➡画質選択➡◉

「ノーマル」より「ファイン」の方が画像はきれいになります。ただし、ファイル容量が大きくなるため、登録可能画像数や録画可能時間は減ります。

保存形式変更

写メールモードで撮影するとき、静止画の保存形式（色数）を変更できます。

写メールモード	○	壁紙モード	×
デジタルカメラモード	×	アクションスナップモード	×

お買い上げ時 JPEG（ハイカラー）

撮影前に保存形式を変更する

（メニュー）➡「6オプション設定」選択➡◉➡「2保存形式変更」選択➡◉➡形式（色数）選択➡◉

撮影後（登録前）に保存形式を変更する

（メニュー）➡「2保存形式変更」選択➡◉➡形式（色数）選択➡◉

- 「PNGソフト256色」は誤差拡散処理を行うため、「PNGノーマル256色」に比べてなめらかな画像となります。
- データフォルダに登録したあとで、保存形式を変換することもできます。（☞P.10-25）

PNG形式にしているとき、連写撮影（☞P.6-16）はできません。また、PNG形式で撮影すると、確認メッセージが表示され登録できないことがあります。このときは、JPEG形式に変更してください。

マイク設定

動画の撮影時に、音声も同時に録音するかどうかを設定します。

写メールモード	×	壁紙モード	×
デジタルカメラモード	×	アクションスナップモード	○

お買い上げ時 ON

（メニュー）➡「5マイク設定」選択➡◉➡「1ON」／「2OFF」選択➡◉

「ON」にするとファイル容量が大きくなるため、録画可能時間は減ります。

その他の設定

画像の登録先を変更するなど、撮影方法や画像に関する設定以外にも、いろいろな機能が利用できます。

●撮影モードによって利用できる機能は異なります。各機能にある表でご確認のうえ、ご利用ください。

●以下の操作は、P.6-8操作２の静止画撮影前、またはP.6-12操作１の動画撮影前の状態で行います。操作後、撮影画面に戻りますので、P.6-8操作３／P.6-12操作２以降を行ってください。（キー操作ガイド／オートリセット設定は、確認の終了操作を行うと、撮影画面に戻ります。）

カメラモード選択 モバイルカメラの撮影モードを切り替えます。

写メールモード	○	壁紙モード	○
デジタルカメラモード	○	アクションスナップモード	○

（メニュー）➡「カメラモード選択」選択➡◉➡カメラモード選択➡◉

●カメラモードを変更すると、以降は、前回の終了時に利用していたモードでカメラが起動するようになります。

登録先 画像の登録先を「本体」（V403SH）または「メモリカード」に設定します。

写メールモード	○	壁紙モード	○
デジタルカメラモード	○	アクションスナップモード	○

お買い上げ時 本体

（メニュー）➡「オプション設定」選択➡◉➡「登録先」選択➡◉➡「１本体」／「２メモリカード」選択➡◉

■ デジタルカメラモード以外で「本体」選択時：上記操作のあと、フォルダ選択➡◉

オートリセット設定 モバイルカメラを終了したときに、撮影方法／画像に関する設定などをお買い上げ時の状態に戻すかどうかを設定します。

写メールモード	○	壁紙モード	○
デジタルカメラモード	○	アクションスナップモード	○

お買い上げ時 OFF（リセットしない）

（メニュー）➡「オプション設定」選択➡◉➡「オートリセット設定」選択➡◉➡「１ON」／「２OFF」選択➡◉

■ 確認の終了：上記操作のあと（戻る）➡（戻る）

●オートリセットは、各カメラモード共通の設定です。いずれかのモードで設定を変更すると、すべてのカメラモードに反映されます。

「シャッター音設定」は、お買い上げ時の状態には戻りません。

キー操作ガイド 現在の撮影モードで利用できるボタン操作を画面に表示します。

写メールモード	○	壁紙モード	○
デジタルカメラモード	○	アクションスナップモード	○

（メニュー）➡「キー操作ガイド」選択➡◉

●を押すと、隠れている操作内容を表示できます。

■ 確認の終了：上記操作のあと（戻る）➡（戻る）

撮影した画像の確認

静止画の確認

メニュー ▶ データ確認 ▶ データフォルダ ▶ モバイルカメラ

1 「写メール／壁紙データ」または「デジタルカメラデータ」を選び、◉を押す。

■ デジタルカメラデータ選択時：フォルダ選択➡◉

■ メモリカード内の静止画の確認：（メニュー）➡「メモリカードへ切替」選択➡◉

写メールデータ

2 静止画を選び、◉を押す。

静止画が表示されます。

■ 別の静止画の確認：クリア

静止画表示中に（メニュー）を押すと、その画像に対して利用できる機能が表示されます。

デジタルカメラデータの静止画について

■ 画面のサイズに合わせて縮小された「サムネイル表示」で表示されます。横640×縦480ドットの静止画は、次の操作を行うと、原寸で表示することができます。

（メニュー）➡「５実画像表示」選択➡◉

●を押すと、上下左右にスクロールできます。

●◉を押すと、時計まわりに90度ずつ静止画が回転します。

連写画像を確認する

■ 次の操作を行います。

◉➡「データ確認」選択➡◉➡「１データフォルダ」選択➡◉➡連写フォルダ選択➡◉➡連写画像選択➡◉

■ 連写画像を選んだ状態または表示している状態で次の操作を行うと、表示間隔を短くできます。

（メニュー）➡「早送り表示」選択➡◉

動画の確認

メニュー ▶ データ確認

1 「アクションスナップフォルダ」を選び、◉を押す。

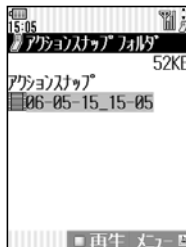
■ メモリカード内の動画の確認：✉（メニュー）➡「メモリカードへ切替」選択➡◉

2 動画を選び、◉を押す。

動画が再生されます。再生が終わると、自動的に停止します。

■ 別の動画の確認：上記操作のあと⊙（戻る）

■ 再生音量の調節：◎（上げる）／◎（下げる）

■ 停止後の再生：✉（再生）

メモリ使用状況を確認する

メニュー ▶ データ確認

1 「9メモリ使用状況」を選び、◉を押す。

各メモリの使用状況（％）が表示されます。

メモリが一杯のとき

静止画の撮影後の登録時に、空き容量不足の確認メッセージが表示されることがあります。このときは、次の操作を行い他の画像を消去すると、撮影した静止画を登録できます。

1 ✉（メニュー）を押す。

2 「データ消去」を選び、◉を押す。

3 フォルダを選び、◉を押す。

4 消去する画像を選び、◉を押す。

5 「1YES」を選び、◉を押す。

静止画のメール添付

写メールモードで撮影した静止画を添付する

撮影した静止画を、撮影直後の画面から直接ロングメールに添付して送信します。

- 連写画像を添付するときは、分割画像を含め、◎で添付する静止画を選んでから操作してください。
- 撮影した静止画を登録したあとは、データフォルダの操作で送信します。（☞P.10-9）

1 写メールモードで静止画を撮影する。

■ 静止画の撮影方法：☞P.6-8操作1～3

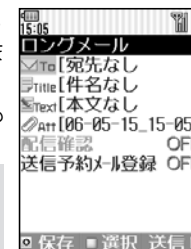
2 撮影直後（登録前）の状態で、⊙（写メール）を押す。

静止画が登録されたあと、ロングメールの作成画面が表示されます。（静止画はあらかじめ添付されています。）

データフォルダに登録せず、送信するように設定しておくこともできます。（撮影画像自動登録：☞⊙P.6-3）

簡単メール宛先が登録されているとき

- 登録されている相手先の一覧が表示されます。送信する相手を選び、◉を押すと、ロングメールの作成画面が表示されます。（☞⊙P.3-3）
- 簡単メール宛先の登録方法：☞⊙P.3-14

簡単メール宛先に登録されていない相手に送信するとき

「0<宛先入力>」を選び、◉を押します。

3 宛先など他の項目を入力し、ロングメールを送信する。（☞⊙P.3-3操作2以降）

モバイルカメラ撮影後、直接ロングメールに添付したときは、メールの件名の入力可能文字数は最大全角20文字（半角カタカナ44文字、半角英数46文字）となります。また添付した静止画を消去／変更したり、添付ファイルの追加はできません。

送信先が添付した静止画を受信できるかなど、あらかじめご確認ください。

相手機種のサービス対応状況については、「ボーダフォンライブ! ガイドブック」を参照してください。

壁紙モードで撮影した静止画を添付する

写メールサイズ／壁紙サイズで添付する

1 壁紙モードで静止画を撮影する。
■ 静止画の撮影方法：☞P.6-8操作1～3

2 撮影直後（登録前）の状態で、◎（写メール）を押す。

3「1写メールサイズで添付」または「2壁紙サイズで添付」を選び、◉を押す。
静止画が登録されたあと、ロングメールの作成画面が表示されます。（静止画はあらかじめ添付されています。）
●データフォルダに登録せず、送信するように設定しておくこともできます。（撮影画像自動登録：☞◎P.6-3）
■ 簡単メール宛先登録時：☞P.6-25

4 宛先など他の項目を入力し、ロングメールを送信する。（☞◎P.3-3操作2以降）

画像を4分割して添付する

●画像分割メールを送信すると、4通分のロングメール料金がかかります。

1 壁紙モードで静止画を撮影する。
■ 静止画の撮影方法：☞P.6-8操作1～3

2 撮影直後（登録前）の状態で、◎（写メール）を押す。

3「3画像分割メール添付」を選び、◉を押す。
静止画が登録されたあと、メールの宛先選択画面が表示されます。（静止画はあらかじめ添付されています。）
●データフォルダに登録せず、送信するように設定しておくこともできます。（撮影画像自動登録：☞◎P.6-3）
■ 簡単メール宛先登録時：☞P.6-25

4 宛先を選択または入力する。（☞◎P.3-4操作3～4）
分割された画像を添付した4通のメールが、送信トレイに保存されます。
●送信トレイに保存された4通のメールには、それぞれ件名に「**画像分割メール左上**」、「**画像分割メール右上**」、「**画像分割メール左下**」、「**画像分割メール右下**」が自動的に入力されています。

5 *送信トレイに保存したロングメールを送信する*
1「1YES」を選び、◉を押す。
●このあと、送信トレイからメールを送信します。（☞◎P.4-18）

送信トレイへの保存だけを行う
1「2NO」を選び、◉を押す。

モバイルカメラ撮影後、直接ロングメールに添付したときは、メールの件名の入力可能文字数は最大全角20文字（半角カタカナ44文字、半角英数46文字）となります。また添付した静止画を消去／変更したり、添付ファイルの追加はできません。

送信先が添付した静止画を受信できるかなど、あらかじめご確認ください。
相手機種のサービス対応状況については、「**ボーダフォンライブ! ガイドブック**」を参照してください。

デジタルカメラモードで撮影した静止画のサムネイルを添付する

1 デジタルカメラモードで静止画を撮影する。
■ 静止画の撮影方法：☞P.6-8操作1～3

2 撮影直後（登録前）の状態で、✉（メニュー）を押す。

3「6サムネイルメール添付」を選び、◉を押す。
静止画が登録されたあと、ロングメールの作成画面が表示されます。（静止画はあらかじめ添付されています。）
●デジタルカメラフォルダに登録せず、送信するように設定しておくこともできます。（撮影画像自動登録：☞◎P.6-3）
■ 簡単メール宛先登録時：☞P.6-25

4 宛先など他の項目を入力し、ロングメールを送信する。（☞◎P.3-3操作2以降）

モバイルカメラ撮影後、直接ロングメールに添付したときは、メールの件名の入力可能文字数は最大全角20文字（半角カタカナ44文字、半角英数46文字）となります。また添付した静止画を消去／変更したり、添付ファイルの追加はできません。

送信先が添付した静止画を受信できるかなど、あらかじめご確認ください。
相手機種のサービス対応状況については、「**ボーダフォンライブ! ガイドブック**」を参照してください。

静止画のプリント指定（DPOF）

DPOF（「Digital Print Order Format」の略称）とは、デジタルカメラで撮影した静止画のプリント指定形式です。V403SHのデジタルカメラモードで撮影したメモリカード内の静止画の中から、プリントする静止画とその枚数を指定しておけば、DPOF対応のデジタルカメラプリントショップやプリンタで、指定した情報に沿ってプリントを行えます。

●ウェブなどから入手した静止画はプリント指定できません。
●操作中にメモリカードの容量が不足すると、容量不足の確認メッセージが表示されます。このときは、いったん操作を終了し、不要なファイルを削除したあとやり直してください。
●プリント時の操作など詳しくは、プリントする機器の操作説明書を参照してください。

プリントする静止画と枚数を指定する

●メモリカード内のすべての静止画（DCF 形式）に同じプリント枚数を指定することもできます。（枚数一括指定：☞P.6-29）

メニュー ▶ メモリカード ➡ プリント指定（DPOF）

1 フォルダを選び、◉を押す。
選んだフォルダ内の静止画のサムネイルが表示されます。（この画面がプリントの指定画面となります。）

2 ◈で静止画を選び、✎（枚数）を押す。

3 プリント枚数（01～99枚）を入力し、◉を押す。
●最大99枚まで指定できます。
■ 指定の解除：「00」入力➡◉

4 操作２～３をくり返し、静止画と枚数を指定する。

5 ⓞ（戻る）を押す。
プリントが指定されます。

6 プリント指定が終われば、ⓞ（完了）を押す。

●他のデジタルカメラなどで設定されたプリント指定（DPOF）は、V403SHでは変更できません。
●他のデジタルカメラなどで設定されたプリント指定(DPOF)がある場合に、V403SHで新しくプリント指定を行ったときは、以前設定されていたプリント指定は消去されます。
●デジタルカメラプリントショップまたはプリンタによっては、機能が一部制限されることがあります。
●プリント指定する画像数が多いと、プリント指定に時間がかかることがあります。
●パソコンなどでメモリカード内の画像を削除したり名前を変更すると、プリント指定が正しく行われなくなります。このときは、枚数一括解除（☞P.6-29）を行ったあとプリント指定し直してください。

DPOFの便利な機能

枚数一括指定	デジタルカメラフォルダ内のすべての静止画（DCF形式）に同じプリント枚数を指定します。

お買い上げ時 0 枚

メニュー ▶ メモリカード ➡ プリント指定（DPOF）➡ DCIM

「1枚数一括指定」選択➡◉➡プリント枚数（01～99枚）入力➡◉

●最大99枚まで指定できます。
■ 枚数一括指定の解除：「2枚数一括解除」選択➡◉➡「1実行」選択➡◉

日付付加指定	デジタルカメラフォルダ内の静止画をプリントするときに、日付を付けるかどうかを設定します。

お買い上げ時 OFF（付けない）

メニュー ▶ メモリカード ➡ プリント指定（DPOF）➡ DCIM ➡ 日付付加指定

「1ON」（付ける）／「2OFF」（付けない）選択➡◉

インデックスプリント指定	静止画の画像一覧を並べたインデックスプリントが、必要かどうかを設定します。

お買い上げ時 OFF（不要）

メニュー ▶ メモリカード ➡ プリント指定（DPOF）➡ DCIM ➡ インデックスプリント指定

「1ON」（必要）／「2OFF」（不要）選択➡◉

指定状況確認	印刷画像数や総印刷枚数などのプリントの指定状況を確認します。

メニュー ▶ メモリカード ➡ プリント指定（DPOF）➡ DCIM

「5指定状況確認」選択➡◉

ポストカード／カレンダー作成

デジタルカメラモードで撮影した静止画に、文字やカレンダースタンプを貼り付けて、オリジナルのポストカードやカレンダーを作成します。

- 作成したポストカード／カレンダーは、新しい画像として、デジタルカメラフォルダに登録されます。（登録後の操作は、デジタルカメラモードで撮影した静止画と同様です。）
- ポストカードメーカーで作成した画像は、再圧縮されるため、画質が変わることがあります。

ポストカードを作成する

メニュー ▶ データ確認 ▶ デジタルカメラフォルダ ▶ フォルダを選ぶ

1 静止画を選び、◉を押す。
- 静止画を選び、✉（メニュー）を押しても操作できます。このときは操作３へ進みます。

■ 静止画表示中の画像回転：◉（押すたびに「横」⇔「縦」90度回転）

2 ✉（メニュー）を押す。

3 「ポストカードメーカー」を選び、◉を押す。

4 「1テキスト」を選び、◉を押す。

5 文字を入力し、◉を押す。
- 最大全角90文字（全角18文字×５行）まで、入力できます。
- 動く絵文字を利用しても、ポストカードメーカーで作成した画像では動きません。

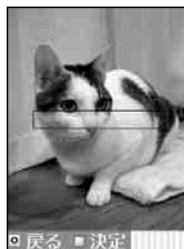
6 文字色の種類を選び、◉を押す。

■ 文字を縁取らない：「0縁どり設定」選択➡◉➡「2OFF」選択➡◉

7 文字サイズを選び、◉を押す。
テキスト貼付位置が枠で表示されます。

8 ✣で貼付位置を選び、◉を押す。
画像確認画面が表示されます。

9 ◉を押す。

10 「1本体」または「2メモリカード」を選び、◉を押す。

ポストカードを登録すると、サムネイル（☞P.6-7）も同時に登録されます。ただし、利用する静止画のサイズによっては、サムネイルの一部が黒く塗られることがあります。

カレンダーを作成する

メニュー ▶ データ確認 ▶ デジタルカメラフォルダ ▶ フォルダを選ぶ

1 静止画を選び、◉を押す。
- 静止画を選び、✉（メニュー）を押しても操作できます。このときは操作３へ進みます。

■ 静止画表示中の画像回転：◉（押すたびに「横」⇔「縦」90度回転）

2 ✉（メニュー）を押す。

3 「ポストカードメーカー」を選び、◉を押す。

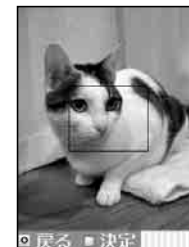
4 「2カレンダー」を選び、◉を押す。

5 「1１ヶ月（小）」または「2２ヶ月」を選び、◉を押す。
現在月が表示されます。

6 カレンダーの表示月を入力し、◉を押す。
カレンダー表示位置が枠で表示されます。

7 ✣で貼付位置を選び、◉を押す。
画像確認画面が表示されます。

8 ◉を押す。

9 「1本体」または「2メモリカード」を選び、◉を押す。

- カレンダーの曜日色は、カレンダー表示形式の「曜日色設定」（☞P.7-3）やスケジュールの「祝日設定」（☞P.13-19）の内容が反映されます。
- カレンダーを登録すると、サムネイル（☞P.6-7）も同時に登録されます。ただし、利用する静止画のサイズによっては、サムネイルの一部が黒く塗られることがあります。

壁紙設定

あらかじめ登録されている内蔵画像や、モバイルカメラで撮影した静止画、ウェブなどで入手した画像やアニメーションを、待受画面の壁紙として利用します。
- 画像の種類やデータ内容によっては、壁紙に利用できないことがあります。
- お買い上げ時には、「OFF」に設定されています。

メニュー ▶ ファンクション ▶ 表示／設定２ ▶ 画面表示設定 ▶ 壁紙設定

1 「1ON」を選び、◉を押す。
壁紙を解除する：「2OFF」選択➡◉（操作完了）

2 *内蔵画像を利用する*
1「1アニメ モビール」～「6イラスト 夕暮れ」のいずれかを選び、◉を押す。
2 ◉を押す。

オリジナル画像を利用する
1「7オリジナル」を選び、◉を押す。
オリジナル画像設定時：（変更）
■すでに登録されていたオリジナル画像を変更すると、元のオリジナル画像は上書きされます。（画像をデータフォルダに登録せずに、ウェブなどから直接壁紙に設定していたときは、画像は消去されます。）

2 データフォルダから画像を選び（☞P.10-8）、◉を押す。
画像サイズの変更：（メニュー）➡「1拡大縮小」選択➡◉➡（拡大／縮小）
分割画像の設定：（メニュー）➡「2分割画像作成」選択➡◉➡「2」～「4」選択➡◉➡データフォルダから画像選択➡◉➡◉➡（完了）

3 ◉を押す。

待受画面のマーク表示（マーク表示設定）を消す

■壁紙を設定しているときの待受画面のマーク（電波状態表示や電池残量表示）は、次の操作で消すことができます。
◉➡「ファンクション」選択➡◉➡「表示／設定２」選択➡◉➡「0画面表示設定」選択➡◉➡「5マーク表示設定」選択➡◉➡「2OFF」選択➡◉
■「マーク表示設定」を「OFF」にしているときは、待受画面でを押すと、マークが表示されます。（約５秒間）
- 壁紙を設定していないときや待受画面以外では、マーク表示設定にかかわらずマークが表示されます。

カスタムスクリーン設定時に壁紙を設定すると

■設定した内容が優先されます。（カスタムスクリーンは解除されません。）
壁紙をカスタムスクリーンに戻すときは、操作２で次の操作を行います。
「8カスタムスクリーン」選択➡◉➡◉

- データフォルダやウェブから、画像を壁紙に設定することもできます。
- Vアプリ待受を設定しているときは、壁紙を設定しても表示されないことがあります。
- 壁紙を「ON」にすると、「OFF」にしているときに比べて、電池パックの利用可能時間が短くなります。（アニメーションを選んだときや複数の画像を設定すると、さらに短くなります。）
- カレンダー（☞下記）を「**スタンプ表示（大）**」または「**スタンプ+スケジュール表示**」にすると、壁紙は表示されません。
- アニメーションを選んでも、待受画面で約15秒間何も操作しないときは、静止画像になることがあります。
- アニメーション中は、カレンダー（☞下記）を「**1ヶ月表示（大）**」～「**6ヶ月表示**」にしていても、カレンダーは表示されません。また、時計を「**時計大**」にしていても、「**時計小**」で表示されます。

時計／カレンダー表示設定

待受画面に表示される時計／カレンダーの表示形式を設定します。

時計の表示形式を設定する

- お買い上げ時には、「**時計大**」に設定されています。

メニュー ▶ ファンクション ▶ 時計／アラーム機能 ▶ 時計表示設定

1 「1時計大」または「2時計小」を選び、◉を押す。
時計を表示しない：「4OFF」選択➡◉

「4OFF」を選ぶと、カレンダー（☞下記）も表示されなくなります。

カレンダーの表示形式を設定する

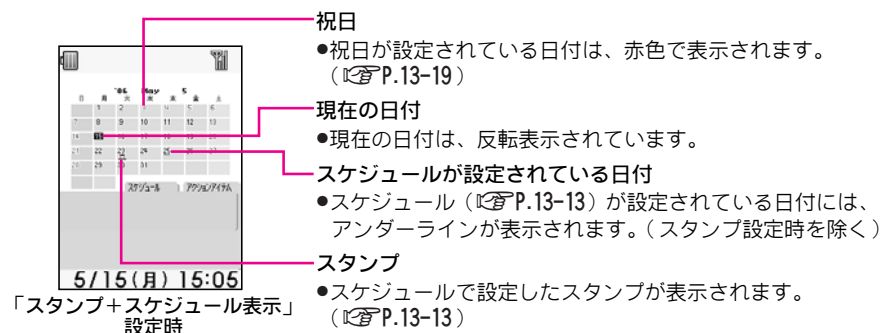
- １ヶ月表示（「**スタンプ表示（大）**」、「**スタンプ+スケジュール表示**」、「**大**」、「**小**」）／２ヶ月／４ヶ月／６ヶ月表示の７種類から選べます。
- 「**スタンプ表示（大）**」を選ぶと、１ヶ月表示（大）のカレンダーに、スケジュールで登録したスタンプを表示できます。また、「**スタンプ+スケジュール表示**」を選ぶと、スケジュール内容も合わせて表示できます。
- 「１ヶ月表示（小）」、「２ヶ月表示」は、表示位置を変更できます。

メニュー ▶ ファンクション ▶ 時計／アラーム機能 ▶ 時計表示設定

1 「3カレンダー」を選び、◉を押す。
カレンダーを表示しない：「4OFF」選択➡◉
■「4OFF」を選ぶと、時計（☞上記）も表示されなくなります。

2 「1スタンプ表示（大）」～「7６ヶ月表示」のいずれかを選び、◉を押す。
「4１ヶ月表示（小）」、「5２ヶ月表示」選択時：表示位置指定➡◉
カレンダー曜日色の設定：「8曜日色設定」選択➡◉➡曜日選択➡◉➡色選択➡◉

カレンダーの見かた

「スタンプ＋スケジュール表示」設定時

●Ⓢを押すと前の月のカレンダーが、Ⓢを押すと次の月のカレンダーが表示されます。Ⓢを押し続けると、表示される月が連続して変わります。（「２ヶ月表示」はひと月ずつ順に、「４ヶ月表示」、「６ヶ月表示」はふた月ずつ順に送られます。）［クリア］を押すと、現在日のカレンダー表示に戻ります。
●カレンダー表示中にⓢを押し一時的にカレンダー表示を消すと、Ⓢ（キー長押しのガイド）やⓈ（着信履歴の確認）を行うことができます。
このあとカレンダー表示に戻るときは、再度ⓢを押します。

補足
- 壁紙を「ON」にしているときは、壁紙の画像の上にカレンダーが表示されます。ただし、カレンダーを「**スタンプ表示（大）**」または「**スタンプ＋スケジュール表示**」にしているときは壁紙は、表示されません。
- 壁紙でアニメーションが動作しているときは、アニメーション終了後、カレンダーが表示されます。
- Vアプリ待受を設定しているときは、カレンダーが表示されないことがあります。

マイキャラクタ設定

電源ON／OFF時やアラーム動作時、着信中に、モバイルカメラで撮影した画像やウェブなどで入手した画像などを表示します。
●お買い上げ時には、すべて「OFF」に設定されています。

メニュー ▶ ファンクション ➡ 表示／設定２ ➡ 画面表示設定 ➡ マイキャラクタ

1 **表示場面を選び、●を押す。**

2 **「1キャラクタ１」、「2キャラクタ２」、「3オリジナル」のいずれかを選び、●を押す。**

●「1キャラクタ１」または「2キャラクタ２」を選んだときは、このあと操作５へ進みます。
■ マイキャラクタ設定の解除：「5OFF」選択➡●（操作完了）
■ オリジナル選択時の画像の変更：✉（**変更**）
 ■すでに登録されていたオリジナル画像を変更すると、元のオリジナル画像は上書きされます。（画像をデータフォルダに登録せずに、ウェブなどから直接マイキャラクタに設定していたときは、画像は消去されます。）

3 **データフォルダから画像を選び（☞P.10-8）、●を押す。**

選んだ画像とサイズを示す枠が表示されます。
●利用できない画像は表示されません。

パワー ON	横240×縦260ドット	着信	横240×縦80ドット
パワー OFF	横240×縦260ドット	アラーム	横240×縦100ドット

4 **Ⓢで画像の表示範囲を選ぶ。**

●画像サイズや種類によっては、表示範囲を選べないことがあります。
■ 画像の変更：［クリア］➡操作３からやり直す

5 **●を押す。**

マイキャラクタが設定されます。

カスタムスクリーン設定時にマイキャラクタを設定すると

■ 設定した内容が優先されます。（カスタムスクリーンは解除されません。）
マイキャラクタをカスタムスクリーンに戻すときは、操作２で次の操作を行います。
「4**カスタムスクリーン**」選択➡●➡●

注意
- マイキャラクタの「3**着信**」を「3**オリジナル**」に設定している場合に、アドレス帳のピクチャーコール／メールを登録している相手から電話番号が通知されて電話がかかってきたときは、マイキャラクタの設定は無効となります。
- 着信パターンにアニメーション付きの着信音を設定しているときは、マイキャラクタの設定は無効となります。

インデックスメニュー設定

インデックスメニューの表示方法を内蔵データまたはカスタムスクリーンに設定できます。

●カスタムスクリーンを設定（☞P.7-9）しているときだけ、操作できます。
●お買い上げ時には、「パターン１」に設定されています。

メニュー ▶ ファンクション ▶ 表示／設定２ ▶ 画面表示設定 ▶ インデックスメニュー設定

1 「1パターン１」または「2カスタムスクリーン」を選び、●を押す。

文字サイズ（フォント）変更

画面に表示される文字の太さや、画面ごとの文字の大きさを変更します。

●お買い上げ時には、太さは「文字３」、大きさはすべて「中」に設定されています。

メニュー ▶ ファンクション ▶ 表示／設定２ ▶ 画面表示設定

1 ***太さを設定する***

1「3文字表示設定」を選び、●を押す。

2「1文字１」～「4文字４」のいずれかを選び、●を押す。

大きさを設定する

1「4文字サイズ設定」を選び、●を押す。

2「1メニュー／アドレス帳／メール」、「2メール本文表示中」、「3ウェブ閲覧中」のいずれかを選び、●を押す。

3 文字サイズを選び、●を押す。

ワンタッチで文字を大きくする（でか文字モード）

■ 待受画面で、次の操作を行います。

（１秒以上）

●でか文字モードが設定され、以降各画面での文字サイズが次のようになります。（文字の太さや書体は変わりません。）

メニュー／アドレス帳／メール	大	メール本文表示中	大

●でか文字モードを解除するときは、待受画面でを長く（１秒以上）押します。

■ でか文字モードを設定する前の文字サイズに戻ります。ただし、でか文字モード設定中に文字サイズを一部変更していたときは、変更後のサイズで表示されます。

■ でか文字モード設定中に文字サイズをすべて変更したときは、その時点ででか文字モードは解除されます。（変更後のサイズで表示されます。）

この製品では、シャープ株式会社が液晶画面で見やすく、読みやすくなるよう設計したLCフォントが搭載されています。LCフォント／LCFONT及びLCロゴマークは、シャープ株式会社の登録商標です。

カスタムスクリーン設定

カスタムスクリーンについて

V403SHの各画面表示や着信音を、キャラクタなどの統一イメージに一括して変更することができます。

●付属のメモリカードには、カスタムスクリーン（有料のものと無料のものがあります）が数種類保存されています。
●有料のカスタムスクリーンは、カスタムスクリーンキーを購入（ダウンロード）することで、利用できるようになります。（☞P.7-8）
カスタムスクリーンキーには、有効期限が設定されている場合もあります。
●カスタムスクリーンは、パソコンを使ってインターネットサイト「**カスタモ**」（http://www.custamo.com/）からダウンロードすることもできます。
●設定までの流れは次のとおりです。

カスタムスクリーンが保存されているメモリカードをV403SHに取り付ける（☞P.10-31）

V403SHでカスタムスクリーンキーを購入する（有料データだけ：☞P.7-8）

V403SHでカスタムスクリーンを設定する（☞P.7-9）

ご利用にあたっては、カスタムスクリーンの提供サイトの情報（カスタムスクリーンの料金や有効期限などの詳細）を必ずご確認ください。

●内蔵のカスタムスクリーン（「**ミッキー＆フレンズ**」）は、V403SHでカスタムスクリーンを設定するだけで利用できます。
●付属のメモリカードに保存されているカスタムスクリーンを消去してしまったときは、パソコンを利用して下記のインターネットサイトからダウンロードすることができます。
■ カスタモ　http://www.custamo.com/

カスタムスクリーンを入手する

付属のメモリカードに保存されている以外のカスタムスクリーンを利用したいときは、パソコンを使ってインターネットからダウンロードします。

- 付属のメモリカード、またはV403SHでフォーマットした市販のメモリカードが必要です。

1 カスタムスクリーンの提供サイトから、カスタムスクリーンをダウンロードする。

- 必ず、提供サイトの情報をご確認ください。

2 ダウンロードしたカスタムスクリーンを、メモリカードに保存する。

- メモリカードの次のフォルダに保存してください。また、ファイル名などは変更しないでください。
  - ■PRIVATE/SDJPHONE/SH_ﾌｫﾙﾀﾞ/ｶｽﾀﾑｽｸﾘｰﾝ

補足 市販のメモリカードを使用するときは、V403SHでフォーマットしたあと、次の操作を行ってください。
◉➡「カスタムスクリーン」選択➡◉
■この操作を行うと、メモリカード内に「**カスタムスクリーン**」フォルダが作成されます。

カスタムスクリーンキーを購入する

- カスタムスクリーンが保存されているメモリカードをV403SHに取り付けた状態で、次の操作を行いカスタムスクリーンキー（有料）をダウンロードしてください。
- ダウンロード中は、絶対にメモリカードを取り外さないでください。
- カスタムスクリーンキーのダウンロードはウェブを利用します。電波状態のよい所で操作してください。
- カスタムスクリーンキーの料金や有効期限などについては、カスタムスクリーンの提供サイトでご確認ください。

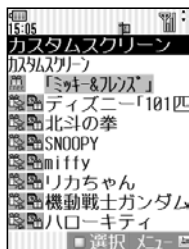
1 ◉を押したあと、「カスタムスクリーン」を選び、◉を押す。

利用できるカスタムスクリーンが表示されます。

- カスタムスクリーンの種類とマークの意味は、次のとおりです。

有料カスタムスクリーン	カスタムスクリーンキーダウンロード済：※1
	カスタムスクリーンキー未ダウンロード：※2
無料カスタムスクリーン	

※1 V403SHに取り付けられているメモリカード内にカスタムスクリーンがあるときは「」が、ないときは「」が並んで表示されます。
※2 V403SHに取り付けられているメモリカード内にカスタムスクリーンがあるときは、「」が並んで表示されます。

■カスタムスクリーンの情報確認：カスタムスクリーン選択➡（**メニュー**）➡「**プロパティ**」選択➡◉

2 カスタムスクリーンキーをダウンロードするカスタムスクリーンを選び、◉を押す。

- 「」が表示されているカスタムスクリーンを選んでください。

3 を2回押し、「キーダウンロード（3/3）」の画面を表示する。

4 （YES）を押す。

ウェブに接続され、カスタムスクリーンキーダウンロードの画面が表示されます。

- カスタムスクリーンキーダウンロードの画面では、次の内容などが確認できます。
  - ■カスタムスクリーンキーの料金　■お支払方法
  - ■利用規約　■カスタムスクリーンキーに関するお問い合わせ先

■操作の中止：（NO）

5 利用規約などの内容を十分確認したうえで、画面の内容に従い、カスタムスクリーンキーをダウンロードする。

6 ダウンロード完了後、「1YES」を選び、◉を押す。

カスタムスクリーンが設定されたあと、待受画面に戻ります。

カスタムスクリーンを設定する

無料またはカスタムスクリーンキーダウンロード済のカスタムスクリーンを設定します。

- カスタムスクリーン設定中（P.7-10操作3のあと待受画面に戻るまで）は、絶対にを押さないでください。設定が途中で中断し、カスタムスクリーンの一部だけが設定された状態となります。
- カスタムスクリーンが保存されているメモリカードを、V403SHに取り付けておいてください。内蔵のカスタムスクリーン（「**ミッキー＆フレンズ**」）を利用するときは、メモリカードを取り付ける必要はありません。

1 ◉を押したあと、「カスタムスクリーン」を選び、◉を押す。

利用できるカスタムスクリーンが表示されます。

■カスタムスクリーンの解除：設定中のカスタムスクリーン選択➡（**メニュー**）➡「**カスタムスクリーン解除**」選択➡◉➡「1YES」選択➡◉
■カスタムスクリーンの確認：カスタムスクリーン選択➡（**メニュー**）➡「1**プレビュー表示**」選択➡◉
　■確認の終了：上記操作のあと（**戻る**）

2 カスタムスクリーンを選び、◉を押す。

- 「」または「」が表示されているカスタムスクリーンを選んでください。
- 現在取り付けられているメモリカードに入っていないカスタムスクリーンには、「」が表示されます。（カスタムスクリーンキー購入後に、カスタムスクリーンを消去した、メモリカードをフォーマットした、違うメモリカードを取り付けているなど）
  このときは、利用するカスタムスクリーンが保存されているメモリカードを取り付けない限り、「」が表示されているカスタムスクリーンは設定できません。

3 「①YES」を選び、◉を押す。

カスタムスクリーンが設定されたあと、待受画面に戻ります。

設定中のカスタムスクリーンの有効期限が切れると

■ 待受画面に有効期限切れのメッセージが表示され、カスタムスクリーンが自動的に解除されます。

補足　メモリカード内のカスタムスクリーンを設定したあと、メモリカードを取り外したり、他のメモリカードを取り付けても、カスタムスクリーンは解除されません。

カスタムスクリーンの消去　カスタムスクリーンとカスタムスクリーンキーを消去します。

メニュー ▶ カスタムスクリーン

有料のカスタムスクリーンを消去する

カスタムスクリーン選択➡（メニュー）➡「消去」選択➡◉➡「コンテンツ」／「カスタムスクリーンキー」／「両方」選択➡◉➡「①YES」選択➡◉

●「両方」を選ぶと、カスタムスクリーンとカスタムスクリーンキーの両方が消去されます。

無料のカスタムスクリーンを消去する

カスタムスクリーン選択➡（メニュー）➡「消去」選択➡◉➡「①YES」選択➡◉

WEBアクセス　カスタムスクリーン提供元のサイトに接続します。

メニュー ▶ カスタムスクリーン

カスタムスクリーン選択➡（メニュー）➡「WEBアクセス」選択➡◉

●カスタムスクリーンに提供元のサイト情報がないときは、「WEBアクセス」が表示されなかったり、選択できません。

画面パターン設定

メニューやリスト画面の背景パターンを変更したり、電池レベル／電波状態表示を変えるなど、画面表示をアレンジできます。

●変更できる内容とお買い上げ時の設定は、次のとおりです。

設定項目	内容	お買い上げ時の設定
電池レベル	画面上部の電池レベル表示を設定します。	アイコン1
電波状態	画面上部の電波状態表示を設定します。	アイコン1
ボタンマーク	メニュー項目の行頭に表示されるマークを設定します。	ボタンマーク1
ピクト行背景	画面上部のマークが表示される行の背景を設定します。	ピクト行背景1
タイトル色	メニュー画面やリスト画面のタイトル行の色を設定します。	タイトル色1
ガイドボタン	画面下部のソフトキーを設定します。	ガイドボタン1

メニュー ▶ ファンクション ▶ 表示／設定2 ▶ 画面パターン設定

1 設定項目を選び、◉を押す。

2 設定内容を選び、◉を押す。

●続けて他の項目を設定するときは、操作1～2をくり返します。

■ マークの確認（電池レベル、電波状態選択時）：（表示）

■確認の終了：上記操作のあと（戻る）

■ オリジナル選択時（電池レベル、電波状態選択時）：フォルダ選択➡◉➡画像選択➡◉➡◉

■すでにオリジナル設定時：（変更）➡フォルダ選択➡◉➡画像選択➡◉➡◉

■画像によっては、で画像を移動できるものもあります。

カスタムスクリーン設定時に各項目の内容を設定すると

■ 設定した内容が優先されます。（カスタムスクリーンは解除されません。）

各設定項目をカスタムスクリーンに戻すときは、操作2で次の操作を行います。

「カスタムスクリーン」選択➡◉

●「カスタムスクリーン」が表示されない設定項目では、操作できません。

ディスプレイ／ボタンの照明設定

画面やボタンの照明の点灯時間を変更したり、点灯しないようにします。
- 1日の中で特定の時間帯だけ点灯するようにも設定できます。
  このときは、あらかじめ現在時刻を合わせておいてください。（☞P.1-21）
- お買い上げ時には、「ON」（15秒）に設定されています。

メニュー ▶ ファンクション ➡ 表示／設定1 ➡ 照明設定

1 画面の照明を設定する

1 「1パネル照明ON／OFF」を選び、◉を押す。

ボタンの照明を設定する

1 「2キー照明ON／OFF」を選び、◉を押す。

2 点灯時間を変更する

1 「1ON」を選び、◉を押す。

2 点灯時間（01～99秒）を入力し、◉を押す。
点灯時間が設定されます。

点灯しないようにする

1 「2OFF」を選び、◉を押す。
- 「OFF」にしても、モバイルカメラ起動中はパネル照明が点灯します。

点灯する時間帯を設定する

1 「3点灯時間帯」を選び、◉を押す。

2 開始時刻と終了時刻（各4ケタ）を入力し、◉を押す。
開始時刻から終了時刻までの間、パネル照明とキー照明が点灯します。

3 点灯時間（01～99秒）を入力し、◉を押す。

補足
- 時刻を設定していないときは、点灯時間帯の設定は反映されません。
- パネル照明やキー照明の点灯時間を短くすると、電池パックの消耗を軽減できます。

パネル明るさ調整 画面の照明の明るさを調整します。（4段階）

お買い上げ時 明るさ4

メニュー ▶ ファンクション ➡ 表示／設定1 ➡ 照明設定 ➡ パネル明るさ調整

◎（明るさ選択）➡◉
- ボタン照明の明るさは調整できません。

車載時設定 シガーライター充電器で充電するとき、画面やボタンの照明を点灯するかどうかを設定します。

お買い上げ時 OFF

メニュー ▶ ファンクション ➡ 表示／設定1 ➡ 照明設定 ➡ 車載時設定

「1ON」／「2OFF」選択➡◉

サブディスプレイ設定

サブディスプレイON／OFF サブディスプレイのON（表示する）／OFF（表示しない）を設定します。

お買い上げ時 ON

メニュー ▶ ファンクション ➡ 表示／設定1 ➡ サブディスプレイ設定 ➡ サブディスプレイON/OFF

「1ON」／「2OFF」選択➡◉

照明設定 サブディスプレイ照明の点灯時間や点灯する時間帯を設定します。

■サブディスプレイON／OFFを「ON」にしているときに設定できます。
お買い上げ時 点灯時間：15秒、点灯時間帯：17:00～6:00

メニュー ▶ ファンクション ➡ 表示／設定1 ➡ サブディスプレイ設定 ➡ 照明設定

点灯時間を設定する

「1ON」選択➡◉➡点灯時間（01～99秒）入力➡◉
- 点灯しないようにする：「2OFF」選択➡◉

点灯時間帯を設定する

「3点灯時間帯」選択➡◉➡開始時刻（4ケタ）入力➡終了時刻（4ケタ）入力➡◉➡点灯時間（01～99秒）入力➡◉
- 開始時刻と終了時刻までの間、サブディスプレイ照明が点灯します。

濃度調整 サブディスプレイの液晶濃度を調整します。（9段階）

■サブディスプレイON／OFFを「ON」にしているときに設定できます。
お買い上げ時 濃度5

メニュー ▶ ファンクション ➡ 表示／設定1 ➡ サブディスプレイ設定 ➡ 濃度調整

◎（濃度選択）➡◉

相手表示設定 着信時に相手の電話番号（名前）を表示するかどうかを設定します。

■サブディスプレイON／OFFを「ON」にしているときに設定できます。
お買い上げ時 ON

メニュー ▶ ファンクション ➡ 表示／設定1 ➡ サブディスプレイ設定 ➡ 相手表示設定

「1ON」／「2OFF」選択➡◉

その他のディスプレイ関連機能

日本語／英語切替（Language）

画面の表示を日本語または英語に設定します。

お買い上げ時 日本語

メニュー ▶ ファンクション ➡ 表示／設定１ ➡ Language

「1日本語」／「2English」選択➡●

ウェイクアップ

電源を入れたときに、画面にメッセージを表示します。

お買い上げ時 OFF

メニュー ▶ ファンクション ➡ 表示／設定２ ➡ 画面表示設定 ➡ ウェイクアップ

「1ON」選択➡●➡内容入力➡●

- 最大全角８文字（半角16文字）まで入力できます。
- ■ ウェイクアップの解除：「2OFF」選択➡●

ボーダフォンライブ！アニメ

メール送受信時や情報受信時にアニメーションを表示するかどうかを、表示場面ごとに設定します。

お買い上げ時 すべてON

メニュー ▶ ファンクション ➡ 表示／設定２ ➡ アニメーション設定 ➡ ボーダフォンライブ！アニメ

「1 メール送信」～「8 ウェブ起動」選択➡●➡「1ON」／「2OFF」選択➡●

- カスタムスクリーン設定時には、カスタムスクリーンのアニメーションが表示されます。
- 設定しているカスタムスクリーンで対応していない場面では、内蔵のアニメーションが表示されます。（対応状況については、カスタムスクリーンの提供サイトなどでご確認ください。）

メール背景アニメ

メール本文表示時に、アニメーションを表示するかどうかを設定します。

お買い上げ時 ON

メニュー ▶ ファンクション ➡ 表示／設定２ ➡ アニメーション設定 ➡ メール背景アニメ

「1ON」／「2OFF」選択➡●

スクリーンアニメ

V403SHを開いたまま、操作しない状態で一定時間以上経過したとき、アニメーションを表示します。

お買い上げ時 OFF

メニュー ▶ ファンクション ➡ 表示／設定２ ➡ アニメーション設定 ➡ スクリーンアニメ

内蔵アニメーションを利用する

「1ON」選択➡●➡「1アニメーション選択」選択➡●➡「1アニメーション１」／「2アニメーション２」選択➡●➡●

ウェブなどで入手したアニメーションを利用する

「1ON」選択➡●➡「1アニメーション選択」選択➡●➡「3オリジナル」選択➡●➡画像選択➡●➡●

スクリーンアニメを表示するまでの時間を設定する

「1ON」選択➡●➡「2起動時間」選択➡●➡時間選択➡●

スクリーンアニメを解除する

「2OFF」選択➡●

- スクリーンアニメに利用できるアニメーションは、E-アニメータ（.nva）だけです。
- スクリーンアニメ表示中に何かボタンを押すと、スクリーンアニメは停止します。
- 待受画面やモバイルカメラ起動中などV403SHの動作状態や操作内容によっては、スクリーンアニメが表示されないことがあります。

カスタムスクリーン設定時にスクリーンアニメを設定すると

■ 設定した内容が優先されます。（カスタムスクリーンは解除されません。）
スクリーンアニメをカスタムスクリーンに戻すときは、「1アニメーション１」などの選択時に、次の操作を行います
「4カスタムスクリーン」選択➡●➡●

補足：スクリーンアニメを「ON」にすると、「OFF」にしているときに比べて、電池パックの利用可能時間が短くなります。

お知らせランプ設定

着信があったときや、アラームが動作したときなどに、スモールライトを点滅させるかどうかを設定します。

お買い上げ時 すべてランプ表示なし

メニュー ▶ ファンクション ➡ 表示／設定２ ➡ お知らせランプ設定

着信の種類選択➡●➡「1ランプ表示あり」／「2ランプ表示なし」選択➡●

- スモールライトの点滅は、着信をお知らせする確認画面が表示されている間続きます。
- オフラインモード設定中、V403SHを閉じたりパネルセーブが動作したときは、ここでの設定にかかわらず、スモールライトが点滅します。

MEMO

音の設定

着信設定

着信音のパターンや音量、バイブレータの動作、ランプの点滅パターン、着信音の鳴る時間を設定します。着信の種類とお買い上げ時の設定は、次のとおりです。

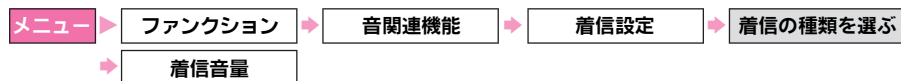
		通常着信	メール着信	ウェブ着信	ステーション着信	受信完了通知	配信確認
着信パターン		着信パターン1	効果音 メール	効果音 ウェブ	効果音 ステーション	着信パターン5	効果音 レポート
着信音量		音量5	音量5	音量5	音量5	音量1	音量5
バイブ設定		OFF					
バイブパターン		バイブ1	バイブ2	バイブ3	バイブ4	バイブ5	バイブ2
ランプ設定		モバイルライト	スモールライト				
	モバイルライト／カラーパターン	マスカット（緑色系統）	―				
	モバイルライト／スモールライト点滅パターン	パターン1					
着信呼出時間		―	10秒	10秒	10秒	1秒	10秒

●「受信完了通知」とは、次のようなときの動作です。
- ■メールサーバーからメッセージの続きやメールリストを取得したとき
- ■メールサーバーのメッセージを消去したとき
- ■ステーションのメインリストや位置情報履歴を手動で更新したとき

●「配信確認」とは、サービスセンターから通信レポートを受信したときの動作です。
●設定した内容は、電源を切っても保持されます。

●マナーモード設定中は、マナー設定変更（☞P.3-4）の設定が優先されます。
●着信と連動するタイプのVアプリをVアプリ待受に設定していると、着信設定で設定している着信パターンやバイブパターンとは異なる動作をすることがあります。

着信音量を設定する

メニュー ▶ ファンクション ➡ 音関連機能 ➡ 着信設定 ➡ 着信の種類を選ぶ ➡ 着信音量

1 ◎で音量を選ぶ。

●「音量5」が最大です。「**ステップ**」にすると、約3秒ごとに、「**音量1**」〜「**音量5**」の順に段々と音が大きくなります。

■ 音量の確認：◎（♪再生）
- ■再生の停止：上記操作のあと、再生中に◎（停止）

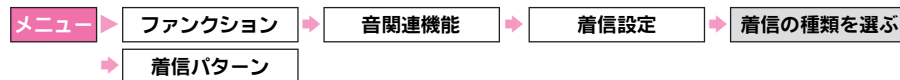
2 ◉を押す。

通常着信を「**ステップ**」にすると「図」が、「**サイレント**」にすると「図」が待受画面に表示されます。

サブディスプレイがある面を下にして置くと、スピーカーがふさがれるため、着信音量が小さく聞こえます。待受時は、サブディスプレイ面を上にして置くことをおすすめします。

着信パターンを設定する

あらかじめ登録されているパターンやメロディ、作成したオリジナル着信音、ボイスファイルなどから選べます。
●あらかじめ登録されているメロディは、V403SHの画面表示でご確認ください。

メニュー ▶ ファンクション ➡ 音関連機能 ➡ 着信設定 ➡ 着信の種類を選ぶ ➡ 着信パターン

1 *あらかじめ登録されているパターンやメロディを利用する*

❶「1固定パターン」または「2固定メロディ」を選び、◉を押す。

データフォルダに登録したメロディを利用する

❶「3データフォルダ」を選び、◉を押す。

録音したボイスファイルを利用する

❶「4ボイスフォルダ」を選び、◉を押す。

●メモリカード内のサウンドは、利用できません。
●ボイスファイルは、「**受信完了通知**」には利用できません。
●ファイル名が全角12文字（半角24文字）を超えるファイルは、利用できません。
●メロディやサウンドなどの内容によっては、着信音として利用できないことがあります。

2 メロディやサウンドなどを選ぶ。

■ パターンやメロディの再生：◎（♪再生）
- ■再生の停止：上記操作のあと、再生中に◎（停止）
- ■マナーモード設定中や着信音量を「**ステップ**」／「**サイレント**」にしているときでも、「**音量1**」で再生されます。

バイブ設定（☞P.8-4）を「**SMAF連動**」にしているときにメロディを再生すると、メロディ内のバイブレータが動作することがあります。

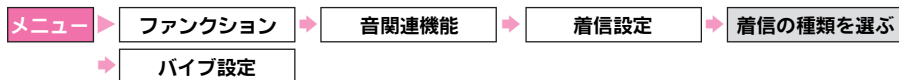
3 ◉を押す。

カスタムスクリーン設定時に着信パターンを設定すると

■ 設定した内容が優先されます。（カスタムスクリーンは解除されません。）
着信パターンをカスタムスクリーンに戻すときは、操作1で次の操作を行います。
「5カスタムスクリーン」選択➡◉

着信パターンに設定したデータフォルダ内のファイルを消去すると、着信パターンはお買い上げ時の状態に戻ります。

着信をバイブレータでお知らせする（バイブ設定）

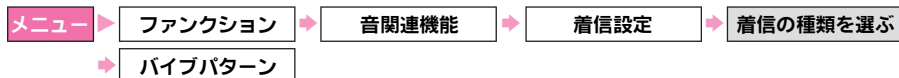
メニュー▶ファンクション➡音関連機能➡着信設定➡着信の種類を選ぶ
➡バイブ設定

1 「①ON」を選び、◉を押す。

■ バイブレータの解除：「②OFF」選択➡◉
■ SMAF連動の設定：「③SMAF連動」選択➡◉

「③SMAF連動」は、着信パターンに設定したメロディ（SMAFファイル）にバイブレータが設定されている場合、メロディ内のバイブレータ設定に従って動作させるときに選びます。
バイブレータが設定されていないメロディ（SMAFファイル）には無効となります。

バイブ設定を「ON」にしている場合、V403SHを机の上などに置いておくと、着信があったとき振動により落下することがあります。充電するときは、落下防止のためにもバイブ設定を「OFF」にすることをおすすめします。

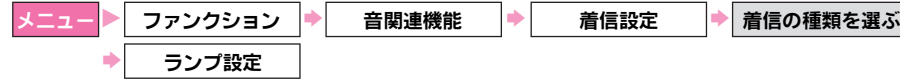
バイブパターンを設定する

メニュー▶ファンクション➡音関連機能➡着信設定➡着信の種類を選ぶ
➡バイブパターン

1 バイブパターンを選び、◉を押す。

●設定できるバイブパターンは、次のとおりです。

バイブパターン	動作
バイブ1	「0.75秒振動→0.75秒停止」のくり返し
バイブ2	「0.25秒振動→0.25秒停止→0.25秒振動→1秒停止」のくり返し
バイブ3	「1秒振動→2秒停止」のくり返し
バイブ4	「1秒振動→1秒停止→1秒振動→2秒停止」のくり返し
バイブ5	「0.5秒振動→0.5秒停止→0.5秒振動→1秒停止」のくり返し

モバイルライト／スモールライトを設定する

メニュー▶ファンクション➡音関連機能➡着信設定➡着信の種類を選ぶ
➡ランプ設定

1 ***モバイルライトを設定する***

❶「①モバイルライト」を選び、◉を押す。

❷カラーパターンを選び、◉を押す。

スモールライトを設定する

❶「②スモールライト」を選び、◉を押す。

●スモールライトは、固定色（緑色）です。

点滅しないようにする

❶「③OFF」を選び、◉を押す。

各着信設定画面に戻ります。（操作完了）

2 点滅パターンを選ぶ。

■ 点滅パターンの確認：0（点灯）
■ 点滅の停止：上記操作のあと、点滅中に0（停止）

●設定できる点滅パターンは、次のとおりです。

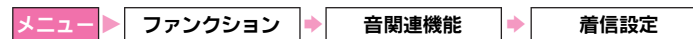
点滅パターン	動作
パターン1	「0.75秒点灯→0.75秒消灯」のくり返し
パターン2	「0.25秒点灯→0.25秒消灯→0.25秒点灯→1秒消灯」のくり返し
パターン3	「1秒点灯→2秒消灯」のくり返し
パターン4	「1秒点灯→1秒消灯→1秒点灯→2秒消灯」のくり返し
パターン5	「0.5秒点灯→0.5秒消灯→0.5秒点灯→1秒消灯」のくり返し
SMAF連動	SMAFに連動（モバイルライトで設定可能）

「⑥SMAF連動」は、着信パターンに設定したメロディ（SMAFファイル）にランプが設定されている場合、メロディ内のランプ設定に従って動作させるときに選びます。

3 ◉を押す。

着信呼出時間を設定する

●通常着信では設定できません。

メニュー▶ファンクション➡音関連機能➡着信設定

1 着信の種類（「①通常着信」を除く）を選び、◉を押す。

2 「⑥着信呼出時間」を選び、◉を押す。

3 呼出し時間（01～99秒）を入力し、◉を押す。

効果音設定

効果音設定は、操作の種類ごとに設定します。操作の種類とお買い上げ時の設定は、次のとおりです。

	ボタン確認音	エラー音	パワー ON	パワー OFF	サウンド再生音量	サウンドランプ設定
設定	ON	ON	ON	ON	音量5	スモールライト
サウンド選択	プッシュトーン	効果音 エラー音	効果音 オープニング1	効果音 エンディング1		
サウンド音量	音量中	音量中	音量5	音量5		
サウンド時間	0.05秒	0.5秒	3秒	3秒		

●「パワー ON」は電源を入れたとき、「パワー OFF」は電源を切ったときを意味します。
●「サウンド再生音量」はデータフォルダのサウンドや、メールに添付されたサウンド、ウェブ上のサウンドなどの再生音量を意味します。
●「サウンドランプ設定」はサウンドを再生したときのランプの点灯方法を意味します。
●設定した各種効果音設定は、電源を切っても保持されます。

効果音のパターンを設定する

●音を鳴らないようにすることもできます。

1 「1ボタン確認音」、「2エラー音」、「3パワー ON」、「4パワー OFF」のいずれかを選び、◉を押す。

2 「1ON」を選び、◉を押す。
■ 効果音を鳴らないようにする：「2OFF」選択➡◉（操作完了）

3 「1サウンド選択」を選び、◉を押す。

4 *あらかじめ登録されているパターンやメロディを利用する*
1「1固定パターン」または「2固定メロディ」を選び、◉を押す。
データフォルダに登録したメロディを利用する
1「3データフォルダ」を選び、◉を押す。

●メモリカード内のサウンドは、利用できません。
●ファイル名が全角12文字(半角24文字)を超えるファイルは、利用できません。
●メロディやサウンドなどの内容によっては、効果音として利用できないことがあります。

「ピッ」という音にする（ボタン確認音）
1「4プッシュトーン」を選び、◉を押す。
効果音のパターンが設定されます。（操作完了）

5 メロディやサウンドなどを選ぶ。
■ パターンの確認：o（♪再生）
■再生の停止：上記操作のあと、再生中にo（停止）

6 ◉を押す。
■ 効果音の音量設定：「2サウンド音量」選択➡◉➡◈（音量調節）➡◉
■ 効果音の時間設定：「3サウンド時間」選択➡◉➡時間選択（ボタン確認音／エラー音選択時）／時間（01〜10秒）入力（パワー ON／パワー OFF選択時）➡◉

カスタムスクリーン設定時に効果音を設定すると

■ 設定した内容が優先されます。（カスタムスクリーンは解除されません。）
効果音をカスタムスクリーンに戻すときは、P.8-6操作4で次の操作を行います。
「4カスタムスクリーン」選択➡◉
●「4カスタムスクリーン」が表示されない効果音では、操作できません。

効果音に設定したデータフォルダ内のファイルを消去すると、効果音のパターンはお買い上げ時の状態に戻ります。

サウンド再生音量／サウンドランプを設定する

サウンド再生音量／サウンドランプ設定 サウンド再生時の音量やランプの点灯方法を設定します。

お買い上げ時☞P.8-6

メニュー ▶ ファンクション ▶ 音関連機能 ▶ 効果音設定

サウンド再生音量を設定する
「5サウンド再生音量」選択➡◉➡◈（音量調節）➡◉

サウンドランプを設定する
「6サウンドランプ設定」選択➡◉➡「1モバイルライト」／「2スモールライト」／「3OFF」選択➡◉
■ モバイルライト選択時：上記操作のあと、カラーパターン選択➡◉

「サウンドランプ設定」の点滅パターンは固定です。変更することはできません。（モバイルライト選択時：「SMAF連動」、スモールライト選択時：「パターン1」）

着信用ボイス録音

V403SHで録音した音声を、着信音やアラーム音として利用できます。
●録音できる時間は、最長30秒です。
●録音した音声は、ボイスフォルダに登録されます。

メニュー ▶ ファンクション ▶ 音関連機能 ▶ オリジナル着信音 ▶ 着信用ボイス録音

1 タイトルを入力し、◉を押す。
●全角12文字（半角24文字）以内で、必ず入力してください。
●入力したタイトルは、自動的にファイル名として登録されます。

2 ◉を押す。
録音が始まります。

3 録音を終了するときは、◉を押す。
●録音可能時間が経過したときは、自動的に録音が終了し、登録されます。

録音中に着信があると

■ 録音は中止されます。このとき、途中までの録音内容は消去されます。

録音内容を確認する

■ 操作３のあと、次の操作を行います。
ボイスファイル選択➡◉
▪再生の停止：上記操作のあと、再生中に ⓪（**停止**）

ボイスファイルを着信音に設定する

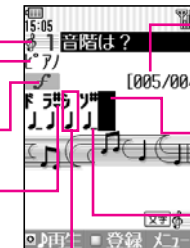
■ 操作３のあと、次の操作を行います。
ボイスファイル選択➡（**メニュー**）➡「**着信音設定**」**選択➡◉➡着信の種類選択➡◉**
●「**受信完了通知**」には、利用できません。

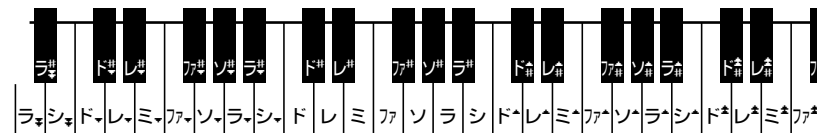
オリジナル着信音

オリジナル着信音について

V403SHでメロディを作り、着信音として利用したり、ロングメールに添付して送信できます。
●１曲あたり95音×32和音または190音×16和音、380音×８和音のいずれかまで入力できます。
●オリジナル着信音は、データフォルダのメロディフォルダ（☞P.10-4）に登録されます。

オリジナル着信音はSJM形式で保存されます。オリジナル着信音をシャープ製 ボーダフォンライブ！ パケット対応機以外の相手機種に送信するときは、メロディ形式またはSMAF形式に変換したあと、送信してください。（☞ P.3-9）
（受信側の相手機種によっては、変換したファイルを再生できないことがあります。）

オリジナル着信音作成画面

入力できる音の高さ

約４オクターブ入力できます。（半音も使えます。）

入力できる音符／休符

音符	休符	長　さ	音符	休符	長　さ
𝅝	𝄻	全音符（休符）	𝅗𝅥.	𝄼.	付点２分音符（休符）
𝅘𝅥𝅯	𝄿	16分音符（休符）			全音３連符（休符）
♪	𝄾	８分音符（休符）			16分３連符（休符）
♪.	𝄾.	付点８分音符（休符）			８分３連符（休符）
♩	𝄽	４分音符（休符）			４分３連符（休符）
♩.	𝄽.	付点４分音符（休符）			２分３連符（休符）
𝅗𝅥	𝄼	２分音符（休符）			

設定できる音色

128種類の基本音色と、61種類の拡張音色があります。
●お客様が作成したオリジナル音色を、音色ごとに８種類登録できます。
●それぞれの音色の音程（オクターブ）も変更できます。（音色オクターブ設定：P.8-22）

作成の流れ

1 オリジナル着信音のタイトルを入力する
●ここで入力したタイトルが、着信音選択時に表示されます。
●全角12文字（半角24文字）以内で、必ず入力してください。

2 曲のテンポを指定する
●「速い」、「普通」、「やや遅い」、「遅い」のいずれかを選びます。
●テンポの目安は、次のとおりです。（「♩」の数は１分間に鳴る４分音符の数です。）

1 速い	♩=150	3 やや遅い	♩=107
2 普通	♩=125	4 遅い	♩=94

3 和音数を指定する
●「８和音」、「16和音」、「32和音」のいずれかを選びます。

4 メロディ（旋律１ ）を１音ずつ入力する
●音の高さやオクターブ、長さなどを順に入力します。（P.8-11～P.8-12）
半音や３連符の入力も可能です。
●入力中に 0（♪再生）を押すと、それまで入力したすべての旋律のメロディが流れます。また スケジュール/メモ を押すと、表示している旋律のメロディがカーソルのある位置まで流れます。音量は、サウンド再生音量（P.8-7）と連動します。
マナーモード設定中でも、0（♪再生）や スケジュール/メモ を押すとメロディが流れます。（マナー設定変更のサウンド再生音量を「サイレント」にしていても、「音量１」で流れます。）
●入力中に メニュー（メニュー）を押すと、入力中の旋律の音色や強弱を設定できます。

5 ハーモニー（旋律２ 、旋律３ …旋律32 ）を入力する
●文字 を押すと、他の旋律の入力画面に切り替わります。
●入力方法は、旋律１と同様です。

6 メロディの音色を設定する
●お買い上げ時には、すべての旋律が「ピアノ」に設定されています。
●あらかじめ登録されている音色やオリジナル音色（P.8-17）から選びます。
●旋律１と旋律17、旋律２と旋律18、旋律３と旋律19…旋律16と旋律32は、それぞれ同じ音色となります。

7 メロディの強弱を設定する
●お買い上げ時には、すべての旋律が「強い」に設定されています。
●旋律ごとに「強い」、「普通」、「弱い」のいずれかを選びます。
●旋律１と旋律17、旋律２と旋律18、旋律３と旋律19…旋律16と旋律32は、それぞれ同じ強弱となります。

8 入力したメロディを登録する
●すべて入力できれば、登録します。
●着信パターン（P.8-3）で、データフォルダに登録したオリジナル着信音を選べば、着信音として利用できます。

メロディの入力方法

１音ごとに次の手順で入力します。
●旋律１～旋律32とも、同様の操作で入力します。

1 音の高さや休符を指定する
下表のボタンを使用します。

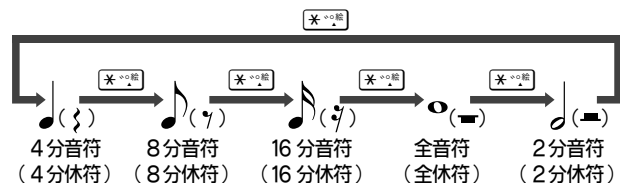
ド	レ	ミ	ファ	ソ	ラ	シ	休符
1	2	3	4	5	6	7	0

＜音の高さの指定＞
●上記のボタンを１回押すと、４分音符が指定されます。同じボタンをくり返し押すと、同じ音で１オクターブ上または下の音が順番に選択できます。

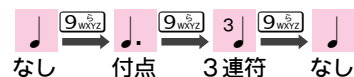
●音が指定された状態で を押すと、半音ずつ上または下に高さが変わります。

＜休符の入力＞
●0 を押します。「休」が表示され、４分休符が入力されます。

2 音符や休符の種類を指定する

[*]または[#]をくり返し押します。[#]を押すと、逆の順に切り替わります。

<付点付きの音符や3連符の指定>

●音符を選んだあと、[9]を押します。

付点が利用できるのは、2分音符（2分休符）、4分音符（4分休符）、8分音符（8分休符）です。

●3連符は3つ続けて入力してください。

例）

注意　3つ続いていない3連符が入力されているメロディは、正しく再生できなかったり、ロングメールに添付できないことがあります。
また、音の高さが極端に違う3連符が入力されているメロディも、ロングメールに添付できないことがあります。

<スラーの指定>

●音符を選んだあと、[8]を押します。音符の右に「_」が表示され、次の音となめらかにつながるようになります。

■これで、1つの音の指定は終了です。

次の音を入力するときは、◎でカーソルを1つ右に進めたあと、P.8-11操作1からくり返します。

●音符が入力されていない位置にカーソルがあるとき、◎を押すと、直前の音符と同じ音符が入力できます。

注意
●同じ音階（高さ）の音を複数の旋律で同時に鳴らしたときは、正しく再生されないことがあります。
●同時に多くの旋律を鳴らすと、ひずみや音割れを起こすことがあります。

補足　メロディを入力するとき、ボタンを押すと指定した音が鳴ります。ただし、マナーモード設定中は鳴りません。

オリジナル着信音を作成する

●データフォルダ内のメモリが一杯のときは、オリジナル着信音を登録できません。不要なファイルを消去（☞P.10-12）したあと、作成してください。

1 タイトルを入力し、◉を押す。

●全角12文字（半角24文字）以内で、必ず入力してください。

●入力したタイトルは、自動的にファイル名として登録されます。

2 テンポ（☞P.8-10）を選び、◉を押す。

3 和音数を選び、◉を押す。

4 音の高さや休符を指定する。（☞P.8-11）

5 音符や休符の種類を指定する。（☞P.8-12）

6 1つの音が入力できれば、◎を押す。

カーソルが1つ右に移動し、次の音が入力できます。

7 操作4〜6をくり返し、音を順に入力する。

●このあと[メニュー]（メニュー）を押すと、操作9「音色設定」と操作14「強弱設定」をここで行うこともできます。

■ すべての旋律のメロディの再生：[0]（♪再生）
　■再生の停止：上記操作のあと、再生中に[0]（停止）

■ 表示中の旋律のメロディを再生（カーソル位置まで）：[スケジュール/メモ]
　■再生の停止：上記操作のあと、再生中に[0]（停止）

■ 他の旋律のメロディ入力：[文字]（押すたびに旋律切替）

8 すべての音が入力できれば、◉を押す。

●音色や強弱を設定しないときは、このあとP.8-14操作19へ進み、作成したオリジナル着信音を登録してください。

■ 入力済のメロディ修正：「2修正」選択➡◉➡P.8-15操作3以降

9 「3音色設定」を選び、◉を押す。

10 旋律を選び、◉を押す。

11 ◎で音色のジャンルを選び、◎で音色を選ぶ。

●オリジナル音色を選ぶときは、「オリジナル（FM）」または「オリジナル（WT）」を選んでください。

■ 音色の確認：[メニュー]（確認）
　■再生の停止：上記操作のあと、再生中に[メニュー]（停止）

12 ◉を押す。

●続けて他の旋律を設定するときは、操作10〜12をくり返します。

■ 作成したメロディ再生：[0]（♪再生）
　■再生の停止：上記操作のあと、再生中に[0]（停止）

13 [メニュー]（戻る）を押す。
●強弱を設定しないときは、このあと操作19へ進みます。

14「④強弱設定」を選び、◉を押す。

15 旋律を選び、◉を押す。

16「①強い」～「③弱い」のいずれかを選ぶ。
■ メロディの強弱の確認：[0]（♪再生）
▪再生の停止：上記操作のあと、再生中に[0]（停止）

17 ◉を押す。
●続けて他の旋律を設定するときは、操作15～17をくり返します。
■ 設定したメロディの確認：[0]（♪再生）
▪再生の停止：上記操作のあと、再生中に[0]（停止）

18 [メニュー]（戻る）を押す。

19「①登録」を選び、◉を押す。

オリジナル着信音作成中に着信があると

■ 作成中の内容は一時的に記憶（保護）されています。作成を継続するときは、通話終了後、次の操作を行います。
◉➡「①YES」選択➡◉

スピーカーから聞こえる音は、実際の楽器の音色とは異なることがあります。
また、音色や音階によっては、聞こえる音量が異なったり、ひずんだように聞こえることがあります。

多くの旋律に16分音符のような短い音符や３連符を多く入力すると、[0]（♪再生）を押しても再生できないことがあります。また、◉（登録）を押したときも確認メッセージが表示され、登録できないことがあります。
このときは、旋律の数を減らしたり、短い音符を長い音符に変更したり、３連符を普通の音符に変更するとエラーを解消できます。

オリジナル着信音を修正する

●データフォルダ内のメモリが一杯のときは、修正したオリジナル着信音を登録できません。不要なファイルを消去（☞P.10-12）したあと、修正してください。

メニュー ▶ ファンクション ➡ 音関連機能 ➡ オリジナル着信音 ➡ データフォルダ

1 オリジナル着信音を選び、[メニュー]（メニュー）を押す。
●オリジナル着信音には「🎹」が表示されています。
■ メモリカード内のサウンドの修正：[メニュー]（メニュー）➡「メモリカードへ切替」選択➡◉

2「⑤データ編集」を選び、◉を押す。
■ 音色の修正：「⑥音色設定」選択➡◉➡P.8-13操作10～P.8-14操作13（操作完了）
■ 強弱の修正：「⑦強弱設定」選択➡◉➡P.8-14操作15～18（操作完了）

3 タイトルを修正し、◉を押す。

4 テンポを選び、◉を押す。

5 和音数を選び、◉を押す。

6 修正する音に、カーソルを移動する。
■ 他の旋律の修正：[文字]

和音数を変更すると

■ 和音数を変更するときに、データの一部が失われる旨の確認画面が表示されることがあります。このときは、次の操作を行うと、和音数が変更されます。（下記表参照）
「①YES」選択➡◉
▪変更の中止：「②NO」選択➡◉

元の和音	変更後の和音	消去される内容
８和音	16和音	各旋律の191音目以降の音
８和音	32和音	各旋律の96音目以降の音
16和音	32和音	各旋律の96音目以降の音
16和音	８和音	旋律９～16
32和音	８和音	旋律９～32
32和音	16和音	旋律17～32

■ 和音数を変更すると、音色が変わることがあります。

7 *音を変更する*

1 ◎で音の高さを、#/*/8/9のいずれかで音符や休符の種類を変更する。（☞P.8-12）

●1～7で音の高さを変えたり、音符⇔休符の変更はできません。

音を追加する

1 **追加する音を入力する。**

カーソル位置に、新しく入力した音が追加されます。

●入力できる音数（☞P.8-9）を超えると、追加できません。

音を消去する

1 **クリアを押す。**

カーソル位置の1音が消去されます。

■ すべての音を消去する：クリア（1秒以上）

■ カーソル後／前の連続したメロディの消去：✉（メニュー）➡「6 カーソル後消去」／「7カーソル前消去」選択➡◉➡◉

コピー（複写）／カット（切り取り）／ペースト（貼り付け）を行う

1 **✉（メニュー）を押す。**

2 **「3コピー」または「4カット」を選び、◉を押す。**

3 **コピー／カットするメロディの最初の音を選び、◉を押す。**

4 **コピー／カットするメロディの最後の音を選び、◉を押す。**

カットすると、指定したメロディが元の画面から消去されます。

5 **ペースト先を表示する。**

●他のメロディにペーストするときは、コピー／カット元の編集を中止するか登録したあと、ペースト先を表示させてください。

6 **✉（メニュー）を押す。**

7 **「5ペースト」を選び、◉を押す。**

8 **ペーストする位置で、◉を押す。**

8 **修正が終われば、◉を押す。**

■ 音色や強弱の修正：☞P.8-13操作9～P.8-14操作18

9 **「1登録」を選び、◉を押す。**

10 **「2上書登録」を選び、◉を押す。**

修正したオリジナル着信音が登録されます。

「1新規登録」を選び◉を押すと、修正前のメロディは変更されず、新しいメロディとして登録できます。

オリジナル着信音を消去する

メニュー ▶ ファンクション ▶ 音関連機能 ▶ オリジナル着信音 ▶ データフォルダ

1 **オリジナル着信音を選び、✉（メニュー）を押す。**

2 **「消去」を選び、◉を押す。**

3 **「1YES」を選び、◉を押す。**

オリジナル音色

オリジナル音色について

新しく音色を作り、オリジナル着信音などの音色として利用できます。

●8和音用／16和音用、32和音用、WT音源それぞれ、8種類まで登録できます。

作成の流れ

オリジナル音色は、FM音源のしくみを利用し「**アルゴリズム**」、「**オペレータ**」、「**エフェクト周波数**」の動作（パラメータ）を設定することにより、お好みの音色を作成するものです。

●あらかじめ登録されている音色、または新しく作成したオリジナル音色を利用します。

●実際に音色を再生しながら、オリジナル音色を作成してください。

●WT音源の音色も作成できます。

1 **和音の種類を選ぶ**

●「8,16和音用」、「32和音用」、「WT音源」のいずれかを選びます。

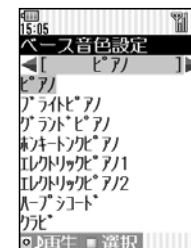
2 **オリジナル音色の登録先を選ぶ**

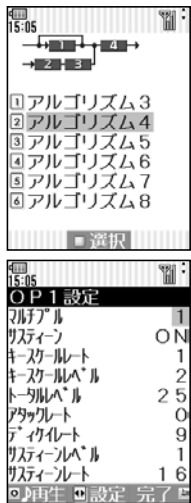
3 **オリジナル音色の名前を入力する**

●ここで入力した名前が、音色選択時に表示されます。

●最大全角6文字（半角12文字）まで入力できます。

4 **ベースになる音色を選ぶ**

●あらかじめ登録されている音色から選びます。

5 アルゴリズムを選ぶ

●8,16和音は6種類、32和音は2種類のアルゴリズムから選びます。
●WT音源では、アルゴリズムの設定はありません。

6 各オペレータのパラメータを設定する

●8,16和音は4種類、32和音は2種類のオペレータから選びます。
●選んだ音色のパラメータが自動的に設定されています。
●でパラメータを選び、で内容を変更します。
●設定中に（♪再生）を押すと、音色が流れます。

OP1設定
ﾏﾙﾁﾌﾟﾙ 1
ｻｽﾃｨｰﾝ ON
ｷｰｽｹｰﾙﾚｰﾄ 1
ｷｰｽｹｰﾙﾚﾍﾞﾙ 2
ﾄｰﾀﾙﾚﾍﾞﾙ 25
ｱﾀｯｸﾚｰﾄ 0
ﾃﾞｨｹｲﾚｰﾄ 9
ｻｽﾃｨｰﾝﾚﾍﾞﾙ 1
ｻｽﾃｨｰﾝﾚｰﾄ 16
♪再生 設定 完了

7 エフェクト周波数や基本オクターブなどを設定する

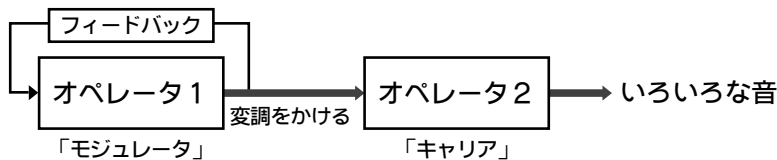
8 音色を登録する

●設定が完了すれば、登録します。
●登録したオリジナル音色は、オリジナル着信音などの音色として利用できます。

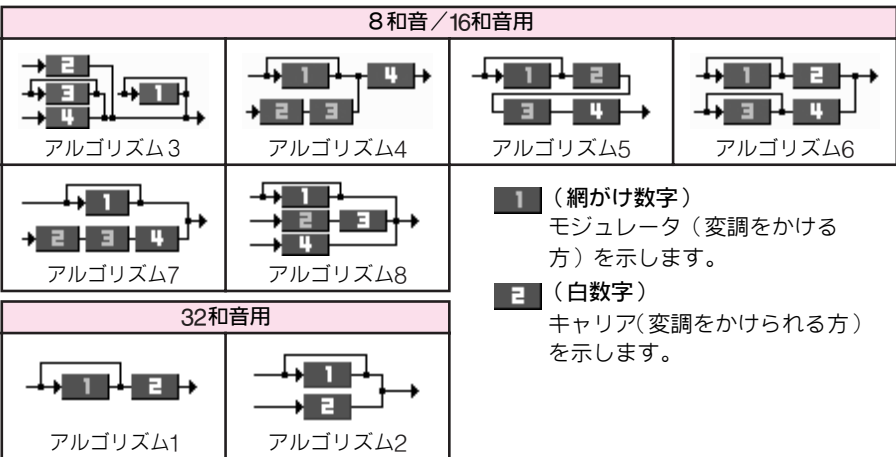
WT音源について

■ 楽器などの音色の波形データを記録したものを読み出して利用する形式の音源です。原音に近い音色を着信音として利用できます。

FM音源

「**オペレータ**」と呼ばれる1つの正弦波を発生させる機能を組み合わせることで、いろいろな音色を合成します。
オペレータの組み合わせ方法を「**アルゴリズム**」といいます。
オペレータはこのアルゴリズムの違いにより、「**モジュレータ**」（変調をかける方）、「**キャリア**」（変調をかけられる方）として動作します。

●各オペレータには、マルチプルやサスティーンといった様々な動作（パラメータ）を設定することができます。
●特定のオペレータに対して、フィードバックを設定することで、より幅広い音色を作ることができます。

アルゴリズムの設定

オペレータの組み合わせを設定します。8和音／16和音用は6種類、32和音用は2種類の組み合わせから選びます。

●選んだアルゴリズムにより、機能するオペレータが変化します。
●WT音源では、アルゴリズムの設定はありません。

オペレータの設定

オペレータに設定できるパラメータの意味と設定内容は次のとおりです。
●和音数によっては、設定できるパラメータの項目が制限されることがあります。

パラメータ	意　味
マルチプル（13段階）	音色に最も影響を与えるパラメータで、キャリアの値が大きいと高い音になります。モジュレータの値を変えることでいろいろな音色を設定できます。
サスティーン（ON／OFF）	1音符の発音長（1つの音符の長さ）終了後もそのまま音を伸ばすかどうかを設定します。ピアノ、打楽器系などで余韻を残す音を作りたいときは、「ON」にしてください。
キースケールレート（2段階）	自然楽器では、高い音になればなるほど音の立ち上がりや立ち下がりが早くなります。「2」にすると、より強調されます。
キースケールレベル（4段階）	自然楽器では、高い音になればなるほど、音量が小さくなるものがあります。この度合いをキースケールレベルをかけないものを含めて、4段階から選択します。
トータルレベル（64段階）	**（1）キャリア** この値が大きくなると音量も大きくなります。 音量を抑えたい伴奏などは小さい値にし、それ以外は最大「64」にすることをおすすめします。 **（2）モジュレータ** この値が大きくなると明るい、きらびやかな音色になります。 逆に値が小さくなると柔らかい音色になります。通常はこの値を目安として「40」～「64」の範囲にすると、音色の変化を楽しめます。

パラメータ	意　味
アタックレート（15段階）	音が出始めてから最大音量になるまでの時間を設定します。 時間を長くすると音が出ないことがありますので、この時間を長くする音色を使用するときは長い音符にしたり、テンポを遅くするようにしてください。
ディケイレート（16段階）	最大音量になったあと、サスティーンレベル（持続音量、減衰開始音量）まで音量が下がる時間を設定します。
サスティーンレベル（16段階）	持続音では持続して出る音量を表し、減衰音では減衰を開始する音量を表します。この値が大きいほど音量は大きくなります。
サスティーンレート（16段階）	サスティーンレベルに達してからの減衰を設定します。値が小さいほどサスティーンレベルを持続する時間が長くなります。また、「16」にすると持続音、それ以外では減衰音となります。
リリースレート（16段階）	持続音では音符の長さの発音を終了してから音が出なくなるまでの時間を表し、減衰音では減衰開始から音が出なくなるまでの時間を表します。 この時間が短いほど早く鳴り終わります。 余韻が必要な音色では時間を長くしてください。
KEYOFF無視（ON／OFF）	ドラムなどの減衰音では「ON」にすることにより、音が急に途切れる現象を防ぐことができます。
波形選択（29種類）	基本となる波形を選択します。
ビブラート（４段階／OFF）	音程の変化（ビブラート）を有効にするかどうかを設定します。
AM変調（４段階／OFF）	音の強さの変化（トレモロ）を有効にするかどうかを設定します。
フィードバック（8段階）	フィードバックされるオペレータを選択します。

補足　リリースレートが大きい持続音は、音符の次に休符があっても、鳴り続けます。

その他の設定

パラメータ	意　味
エフェクト周波数（４段階）	音程の変化（ビブラート）および音の強さの変化（トレモロ）の揺れの周期を設定します。数字が大きくなるほど、周期が短くなります。
基本オクターブ（４段階）	音色の音程（オクターブ）を設定します。
パンポット（31段階）	音の左右の定位を設定します。L（左）、R（右）の組み合わせで設定し、数字が大きいほど、左または右によった音になります。
サスティーン（ON／OFF）	音をのばすかどうかを設定します。
ビブラート倍率（４段階／OFF）	ビブラートの倍率を設定します。また、ビブラートを無効にすることもできます。

●WT音源では、「**基本オクターブ**」、「**サスティーン**」、「**ビブラート倍率**」の設定はありません。

オリジナル音色を作成する

メニュー ▶ ファンクション ▶ 音関連機能 ▶ オリジナル音色

1 **「1 8,16和音用」、「2 32和音用」、「3 WT音源」のいずれかを選び、◉を押す。**
すでに名前を変更して音色を設定しているときは、変更された名前が表示されます。

2 **登録先を選び、◉を２回押す。**
●名前を変更しないときは、◉を１回押したあと、操作４へ進みます。

3 **名前を入力し、◉を押す。**
●最大全角６文字（半角12文字）まで入力できます。

4 **「ベース音色設定」を選び、◉を押す。**

5 **◉でベースとなる音色のジャンルを選び、◉で音色を選ぶ。**
■ 音色の確認：[O]（♪再生）
▪再生の停止：上記操作のあと、再生中に[O]（停止）

6 **◉を押す。**

7 **「音色設定」を選び、◉を押す。**
●アルゴリズムを変更しないときは、このあと操作10へ進みます。

8 **「アルゴリズム」を選び、◉を押す。**
設定できるアルゴリズムが表示されます。

9 **利用するアルゴリズムを選び、◉を押す。**
●オペレータを変更しないときは、このあと操作14へ進みます。

10 **OP1などのオペレータ（☞P.8-18）を選び、◉を押す。**
ベース音色のパラメータが、あらかじめ設定されています。

11 **◉でパラメータを選び、◉で内容を変更する。**
■ パラメータの内容：☞P.8-19〜P.8-20

12 **操作11をくり返し、必要なパラメータをすべて変更する。**
■ 変更後の音色の確認：[O]（♪再生）
▪再生の停止：上記操作のあと、再生中に[O]（停止）

13 **◉または[完]（完了）を押す。**

14 **「エフェクト周波数」を選び、◉を押す。**

15 **ビブラート／トレモロの周期を選び、◉を押す。**
エフェクト周波数設定完了の確認メッセージが表示されます。

16 **「基本オクターブ」を選び、◉を押す。**

17 **音色の音程を選び、◉を押す。**

18「パンポット」を選び、で値を選ぶ。

19「サスティーン」を選び、で「ON」または「OFF」を選ぶ。

20「ビブラート倍率」を選び、で倍率を選ぶ。

21 （完了）を押す。

22 すべての設定が終われば、（完了）を押す。

●続けて別のオリジナル音色を作成するときは、P.8-21操作2以降をくり返します。

その他の音関連機能

スピーカー設定

スピーカーを利用した通話時の動作を設定します。

お買い上げ時 OFF

メニュー ▶ ファンクション ▶ 音関連機能 ▶ スピーカー設定

「1スピーカーホン」／「2スピーカー受話」選択▶

通常の着信に戻す：「3OFF」選択▶

●「スピーカー受話」にすると、こちらの声は相手に届きませんので、通話はできません。

スピーカーを利用して通話する

■ ダイヤル前や発信後／着信中／通話中に、を長く（1秒以上）押します。

●「スピーカーホン」にしているときは「」が、「スピーカー受話」にしているときは「」が表示されます。

●「OFF」にしているときは、通常の通話となります。

●通話中にスピーカーを利用した通話を解除するときは、を長く（1秒以上）押します。

■ 通話を終了すると、スピーカーを利用した通話も解除されます。

注意

●スイッチ付イヤホンマイクなどの利用中は、スピーカーを利用した通話はできません。

●「スピーカーホン」にして電話をかけると、呼出音がスピーカーから聞こえないことがあります。また、周りの騒音が大きいときなどは、会話が聞こえにくくなることがあります。

音色オクターブ設定

音色の音程（オクターブ）を、音色ごとに設定します。

メニュー ▶ ファンクション ▶ 音関連機能 ▶ 音色オクターブ設定

でジャンル、で音色選択▶▶音程選択▶

音色や音程の確認：（♪再生）

■再生の停止：上記操作のあと、再生中に（停止）

●オリジナル音色の音程は、「基本オクターブ」（P.8-21操作16〜17）で変更してください。

ボイスレコーダー

音声の録音

V403SHのマイクを利用して、メモリカードに音声を録音します。
- 1フォルダあたり最大100ファイルまで録音して登録できます。
- 通話中の音声の録音はできません。

録音時のご注意

■ご利用の前に、電池残量をご確認ください
- 電池レベル表示が「▭」以下のときは録音できません。また、録音中に電池残量が不足すると、録音が中止されます。

■音声データは、メモリカードに保存されます

■録音中はオフラインモードにすることをおすすめします（☞P.9-4）
- 録音中に電話の着信やメールの受信があると、録音が正常に行えないことがあります。（オフラインモードにすると、電話の発着信やメールの受信などはできなくなります。）

■録音中は、絶対にメモリカードを取り外さないでください
- 録音データが消えたり、メモリカードが故障する原因となります。

注意
- お客様が録音したものは、個人で楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
- 録音した内容は、事故や故障によって、消失または変化してしまうことがあります。なお、データが消失または変化した場合の損害につきましては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 録音したデータを、別のメモリカードなど他のメディアにデジタル録音（コピー）することはできません。

録音時間

データが何も保存されていないメモリカードの録音時間の目安は、次のとおりです。

メモリカード容量	録音モード	録音時間
64Mバイト	ノーマル	約8時間
	ファイン	約4時間

- 録音できる時間は、メモリカードの容量や録音モードの設定によって異なります。

音声録音画面

1 録音中表示（赤色）
2 動作状態表示
REC●：録音中／STOP■：停止中
3 現在の録音経過時間
4 録音可能な残り時間
録音を終了する（録音した音声を登録する）か、録音中に[マーク]（マーク）を押すと変化します。
5 録音モード表示（☞P.9-5）
NORMAL：ノーマル／FINE：ファイン
6 マイク感度表示（☞P.9-5）
会議用／口述用
7 登録フォルダ
8 タイトル

録音する

メニュー ▶ オススメ（◎）➡ ボイスレコーダー

「②録音モード」を選び、◉を押す。

オフラインモードの設定画面が表示されます。

- 録音中に着信があると録音は停止します。通常はオフラインモードにする（操作２で「②NO」を選ぶ）ことをおすすめします。
- すでにオフラインモード（☞P.3-7）を「ON」にしているときは、操作３へ進みます。

補足 **はじめて録音するときや前回登録したフォルダが消去されているとき**
録音した音声の登録先は、自動的に「**フォルダ１**」に設定されます。

2 「①YES」または「②NO」を選び、◉を押す。

録音画面が表示されます。

- 登録先の変更：✎（**メニュー**）➡「①**フォルダ選択**」選択➡◉➡フォルダ選択➡◉
- 新しいフォルダの作成：✎（**メニュー**）➡「①**フォルダ選択**」選択➡◉➡✎（**メニュー**）➡「②**フォルダ作成**」選択➡◉➡フォルダ名入力➡◉
  - このあと、作成したフォルダを選び、◉を押すと、録音した音声の登録先として指定されます。

◉を押す。

録音が始まります。（録音中はスモールライトが確認点灯します。）

- 録音中に✎（**マーク**）を押すと、以降の音声を別ファイルに分割できます。

注意
- 録音中は、V403SHに衝撃を与えないでください。雑音や音とびの原因となります。
- メモリカードに音声が大量に保存されているときは、録音開始までにしばらく時間がかかることがあります。

4 録音を終了するときは、◉を押す。

録音した音声が登録されます。

- もう一度◉を押すと、録音を再開できます。このときは、別のファイルとして同じフォルダに登録されます。
- 操作２で「②NO」を選びオフラインモードにしていたときは、録音モードを終了すると、自動的にオフラインモードは解除されます。

補足
- V403SHで録音した音声データには、自動的に録音日時のタイトルが付きます。タイトルは、あとで変更することができます。（☞P.9-8）
- オフラインモードが設定されていない状態で録音中に着信があると、録音が自動的に終了したあと、設定されている着信音が鳴り、着信をお知らせします。（途中までの録音内容は保護されています。）
- 録音中にアラーム時刻になっても、アラームは動作しません。（録音が継続されます。）このときは、ボイスレコーダー終了後にアラームが動作します。

音声録音に関する設定

- 以下の操作は、P.9-4操作２のあとの録音画面で行います。

マイク感度設定	広い場所に適した「**会議用**」または対面打合せなどに適した「**口述用**」に設定します。

お買い上げ時 会議用

✎（**メニュー**）➡「②**マイク感度設定**」選択➡◉➡「①**会議用**」／「②**口述用**」選択➡◉

- ご使用の目安は、「**会議用**」でV403SHのマイクから２ｍ前後、「**口述用**」で20～30cmです。（いずれも、一度試しに録音することをおすすめします。）

録音モード設定	録音モードを「**ノーマル**」または「**ファイン**」に設定します。

お買い上げ時 ファイン

✎（**メニュー**）➡「④**録音モード設定**」選択➡◉➡「①**ノーマル**」／「②**ファイン**」選択➡◉

- 「**ファイン**」にすると音質は良くなりますが、ファイル容量が大きくなるため、録音可能時間は短くなります。

データ消去	録音した音声を１件ずつ消去します。

✎（**メニュー**）➡「③**データ消去**」選択➡◉➡音声選択➡◉➡「①**YES**」選択➡◉

音声の再生

音声再生画面

1 再生中表示（緑色）
2 動作状態表示
PLAY ▸：再生中／STOP ■：停止中
3 現在の再生経過時間
4 再生モード表示（☞P.9-8）
1 ：1件再生／ ALL ：全件再生
5 再生音量制限表示（TRAIN：☞P.9-8）
TRAIN：再生音量制限「ON」
●何も表示されないときは、「OFF」です。
6 再生音量（☞P.9-7）
7 フォルダ名
8 ファイル名

再生する

●再生音は、V403SHのスピーカーから聞こえます。

メニュー ▶ オススメ（◎）▶ ボイスレコーダー

1 「1再生モード」を選び、◉を押す。

再生画面が表示されます。

■ 別の音声の再生：☐（メニュー）➡「ボイスフォルダ」選択➡◉➡音声選択➡◉

補足 **はじめて再生するときや前回再生したフォルダが消去されているとき**
ボイスフォルダ画面が表示されます。このあと、次の操作を行い、再生する音声を指定します。
フォルダ選択➡◉➡音声選択➡◉

2 ◉を押す。

再生が始まります。

■ 再生音量の調節：◎（上げる）／◎（下げる）
■TRAIN（再生音量制限：☞P.9-8）を「ON」にしているときは、「音量4」より大きくはなりません。

再生中に電話やメールの着信があると

■ 電話がかかってきたときや、ステーションから緊急情報が届いたときは、再生は停止し、設定されている着信音が鳴り、着信をお知らせします。
■ メール着信があったときは、再生を継続したまま、着信をお知らせします。（再生画面の上部に、メールを受信した旨のメッセージが表示されます。）

再生中にできること

再生中の音声をはじめから再生する	◎を押します。 くり返し押すと、前の音声を再生します。
次の音声を再生する	◎を押します。
早送りする	◎を押し続けます。※1 ボタンから手を離すと、その時点から再生します。※2
早戻しする	◎を押し続けます。※1 ボタンから手を離すと、その時点から再生します。※2
一時停止する	◉（停止）を押します。 もう一度◉を押すと、再生が再開します。

※1　停止中は操作できません。
※2　1件再生にしているときは、ファイルをまたいでの早送り、早戻しはできません。

ボイスフォルダ画面での操作

再生画面で次の操作を行うと、ボイスフォルダ画面が表示されます。

（メニュー）➡「ボイスフォルダ」選択➡◉

ボイスフォルダ画面では、次の操作が行えます。

フォルダの作成	◎➡（メニュー）➡「フォルダ作成」選択➡◉➡フォルダ名入力➡◉
フォルダ名の変更	◎➡フォルダ選択➡（メニュー）➡「フォルダ名変更」選択➡◉➡フォルダ名入力➡◉
ファイル名の変更	音声選択➡（メニュー）➡「ファイル名変更」選択➡◉➡ファイル名入力➡◉
ファイルの消去	音声選択➡（メニュー）➡「消去」選択➡◉➡「1YES」選択➡◉

音声再生に関する設定

●以下の操作は、P.9-7操作１のあとの再生画面（再生停止中）で行います。

再生設定 指定した音声だけ再生するか、同じフォルダ内の音声を連続再生するかを設定します。

お買い上げ時 1件再生

（メニュー）➡「2各種設定」選択➡◉➡「1再生設定」選択➡◉➡「1１件再生」／「2全件再生」選択➡◉

再生音量制限（TRAIN） 再生音量の上げすぎを防ぐため、音量を「音量４」より大きくならないように設定します。

お買い上げ時 OFF

（メニュー）➡「2各種設定」選択➡◉➡「2TRAIN」選択➡◉➡「1ON」選択➡◉

「音量５」に設定されている状態で、TRAINを「ON」にすると、自動的に「音量４」に切り替わります。ただし、このあとTRAINを「OFF」にしても、「音量５」には戻りません。

データ分割 再生中に指定した位置または一時停止している位置で、ファイルを２つに分割します。

■分割する音声の再生中または一時停止中に操作してください。

（メニュー）➡「3データ分割」選択➡◉➡「1YES」選択➡◉

- 音声の先頭および末尾から約20秒程度の間は、データ分割はできません。
- メモリカードの空き容量によっては、分割できないことがあります。
- V403SH以外でフォーマットしたメモリカードを使用すると、データ分割したファイルが正しく再生されないことがあります。

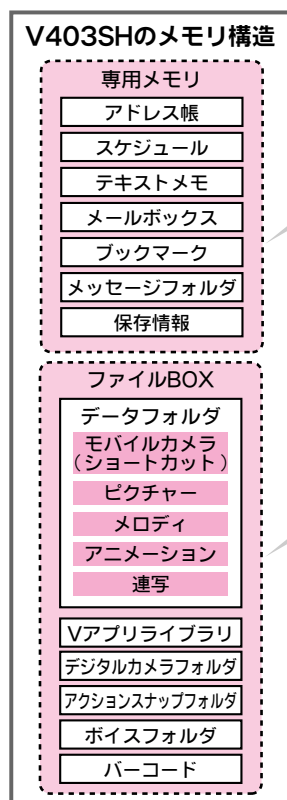
データ管理

miniSD™はSDアソシエーションの商標です。

V403SHのメモリ管理方法

V403SH（本体）のメモリ管理方法について

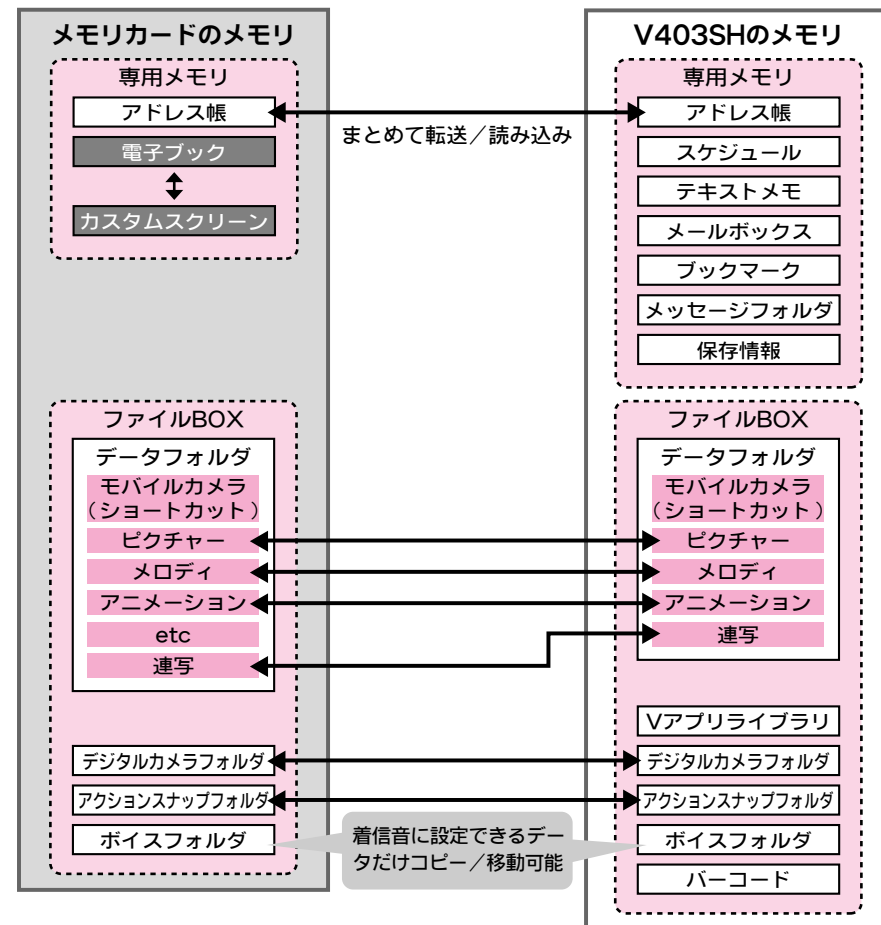
V403SHのメモリには、アドレス帳やメッセージなど、各機能別のデータが保存されている「**専用メモリ**」と、ファイルの種類別にデータを管理する「**ファイルBOX**」があります。

- V403SHでデータを作成または入手すると、利用した機能やファイル形式によって専用メモリまたはファイルBOXに自動的に振り分けて保存されるようになっています。
- V403SHのファイルBOXには、最大約８Mバイトまで登録できます。

ファイルBOXのメモリ使用状況を確認する

■ 次の操作を行います。
◉➡「データ確認」選択➡◉➡「9メモリ使用状況」選択➡◉

メモリカードのメモリ管理方法について

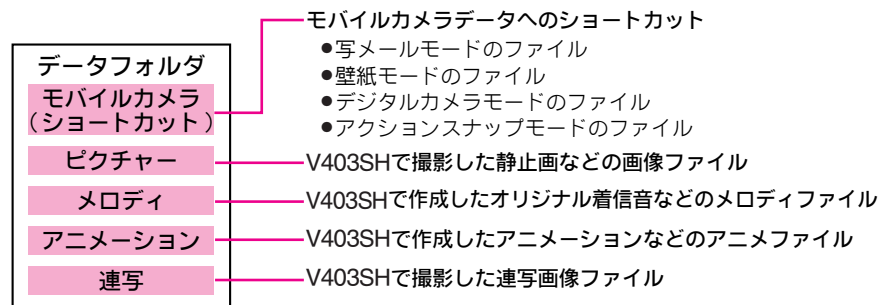
メモリカードのメモリ管理方法は、基本的にV403SH（本体）と同様です。各機能別のデータが保存されている「**専用メモリ**」と、ファイルの種類別にデータを管理する「**ファイルBOX**」があります。それぞれのメモリには、次の方法でV403SHからデータを保存します。

- V403SHとメモリカードには、それぞれ別のデータを保存することも、同じデータを保存することもできます。（ウェブのメッセージやブックマーク、Vアプリライブラリ、データフォルダのコピー／転送禁止ファイルなどは、同じデータを保存できないことがあります。）目的に応じて使い分けてください。

データフォルダについて

データフォルダの構成

データフォルダには、ファイルの種類別にいくつかのフォルダがあらかじめ登録されており、各機能でデータを作成したり、メールやウェブなどでデータを入手すると、ファイル形式に応じて該当するフォルダに保存されるようになっています。

データフォルダ

- モバイルカメラ（ショートカット）― モバイルカメラデータへのショートカット
  - ●写メールモードのファイル
  - ●壁紙モードのファイル
  - ●デジタルカメラモードのファイル
  - ●アクションスナップモードのファイル
- ピクチャー ― V403SHで撮影した静止画などの画像ファイル
- メロディ ― V403SHで作成したオリジナル着信音などのメロディファイル
- アニメーション ― V403SHで作成したアニメーションなどのアニメファイル
- 連写 ― V403SHで撮影した連写画像ファイル

●データフォルダ内の画像やメロディを利用して、バーコードを作成できます。（☞P.13-34）

メモリカードについて

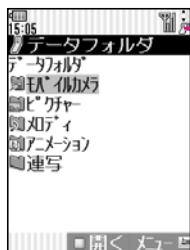
■V403SHでは、V403SHで撮影した静止画や動画などの保存場所としてメモリカードを利用できます。また、V403SHのアドレス帳を一括転送したり、作成したデータをメモリカード内に直接登録したり、V403SHとメモリカード間でデータをコピー／移動できます。

■メモリカードについて詳しくは、P.10-30を参照してください。

データフォルダを表示する

データフォルダ画面は、待受画面で次の操作を行うと表示されます。

◉➡「データ確認」選択➡◉➡「1データフォルダ」選択➡◉

：V403SHのデータフォルダ
：メモリカードのデータフォルダ

データフォルダ画面
（V403SH内のデータフォルダ選択時）

ファイル表示画面

データフォルダ画面でフォルダを選ぶと、ファイル表示画面が表示されます。

●ファイル表示画面のファイル表示方法は変更できます。（☞P.10-7）

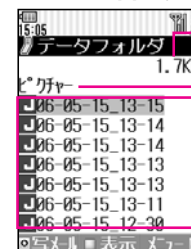
●下記はV403SH内のピクチャーフォルダを選んだときの例です。

■画像一覧のファイル表示画面

選択されている画像の形式、ファイル名、ファイル容量

登録されているファイル

●画像以外のファイルや、V403SHで表示できない画像はマークで表示されます。

■ファイル名一覧のファイル表示画面

ピクチャーフォルダ、アニメーションフォルダ、連写フォルダは、上記の画面の他にフォルダを表示する「**フォルダ（画像一覧）**」、「**フォルダ（ファイル名一覧）**」にすることもできます。（☞P.10-7）

各種マークについて

静止画やアニメーションファイル

マーク	ファイル形式	内容
P※（文字：白）	PNGファイル	PNG形式の静止画
P※（文字：紫）	透過PNGファイル	透過PNG形式の静止画
J※	JPEGファイル	JPEG形式の静止画
	連写画像（分割画像＋4枚、9枚、25枚のJPEGファイル）	連写モードで撮影した画像
E※（文字：白）	E-アニメータファイル（NEVAファイル）	アニメーション（サウンド付きもあり）
E※（文字：黄）	ボタンジャンプ機能付きE-アニメータファイル（NEVAファイル）	アニメーション（サウンド付きもあり）
A※	アニメファイル（JPEGアニメ、PNGアニメ、PNG／JPEGアニメ）	アニメーション

※ 青色のマークは［転送可］、赤色のマークは［転送不可］です。

- 転送不可のファイルは、画像編集や画像合成、メール添付、バーコード作成、赤外線1件送信などには利用できません。
- アドレス帳のフォト設定やユースフルダイアリー、スケジュールなどに登録されているファイルは、各マークの左上角に黄色の三角が付きます。（例：）

サウンドファイル

マーク	ファイル形式	内容
S※	SMAFファイル	ウェブなどで入手したメロディ（画像付きもあり）
♪※	メロディファイル	ウェブなどで入手したメロディ
	スカイメロディファイル	スカイメロディでダウンロードしたメロディ［転送不可］
	オリジナル着信音ファイル	自作メロディ［転送可］
V	ボイスファイル	お客様が録音した音声［転送可］

※ 青色のマークは［転送可］、赤色のマークは［転送不可］です。

- 転送不可のファイルは、メール添付、バーコード作成、赤外線1件送信などには利用できません。
- 着信音やアラームなどに設定されているファイルは、各マークの左上角に黄色の三角が付きます。（例：）

データフォルダの表示方法を設定する

データフォルダの表示方法はフォルダごとに個別に設定できます。

設定項目	内　容
画像一覧表示※1	登録されているすべての画像を一覧で表示します。
ファイル名一覧表示※2	登録されているすべての画像のファイル名を一覧で表示します。
フォルダ（画像一覧）※1	フォルダを表示し、フォルダ内の画像は画像一覧で表示します。
フォルダ（ファイル名一覧）※3	フォルダを表示し、フォルダ内の画像はファイル名一覧で表示します。

※1　メロディフォルダでは利用できません。
※2　メロディフォルダでは「**一覧表示**」と表示されます。
※3　メロディフォルダでは「**フォルダ表示**」と表示されます。

1 **フォルダを選び、（メニュー）を押す。**

2 **「5表示設定」を選び、●を押す。**

3 **操作用暗証番号（4ケタ）を入力する。**

4 **表示方法を選び、●を押す。**

本書は、表示設定を「**画像一覧表示**」または「**一覧表示**」にしている状態での操作を中心に説明しています。その他の設定にしているときは、操作が一部異なることがあります。

保存されているファイルの確認

データフォルダ内のファイルを確認する

メニュー ▶ データ確認

1 「1データフォルダ」を選び、◉を押す。

■ メモリカード内のデータの確認：✉（メニュー）➡「メモリカードへ切替」選択➡◉

2 フォルダを選び、◉を押す。

フォルダ内のファイル（画像一覧またはファイル名一覧）が表示されます。（ファイル表示画面：☞P.10-5）

ファイル表示画面
（ピクチャーフォルダ）

3 ファイルを選び、◉を押す。

選んだファイルのファイル形式に応じて、再生／表示されます。

●ファイルを再生／表示しているときは、✱を押すと前のファイル、#を押すと次のファイルが再生／表示できます。（フォルダによっては、操作できないことがあります。）

補足

連写画像を選んだとき
分割画像が表示されます。◈を押すと、連写画像内の静止画を１枚ずつ確認できます。

横240×縦320ドットより大きい画像（JPEGファイル）を選んだとき
画面サイズに縮小して表示されます。実際のサイズで表示するときは、✉（メニュー）を押したあと、「**実画像表示**」を選び、◉を押します。

4 ファイル表示画面に戻るときは、クリアを押す。

E-アニメータファイルのボタンジャンプ機能について

■E-アニメータファイルには、他の画像を表示したり、自動的にウェブに接続する、ボタンジャンプ機能を持っているものがあります。このボタンジャンプ機能を利用するときは、次の操作を行います。
E-アニメータファイル表示中に✉（メニュー）➡「E-アニメータモード」選択➡◉
●このあと、画面に表示されるボタンを押し、各操作を行います。

補足 赤外線通信機能を利用すれば、他の機器との間でデータフォルダ内の画像をやりとりできます。（☞P.11-2）

ファイルをメールに添付する

データフォルダ画面から、各種ファイルをロングメールに添付して送信します。

メニュー ▶ データ確認 ➡ データフォルダ ➡ フォルダを選ぶ

1 ファイルを選び、✉（メニュー）を押す。

2 「メール添付」を選び、◉を押す。

■ サイズの大きいJPEG画像選択時：「11/4サイズで添付」／「2同サイズで添付」／「3画像分割メール添付」選択➡◉

■ メロディファイル／オリジナル着信音ファイル選択時：変換形式（☞ P.3-9）選択➡◉

3 宛先など他の項目を入力し、ロングメールを送信する。
（☞ P.3-3操作２以降）

連写画像内の１枚の画像をロングメールに添付する

■ 次の操作を行います。
◉➡「データ確認」選択➡◉➡「1データフォルダ」選択➡◉➡連写フォルダ選択➡◉➡画像選択➡◉➡◈（画像選択）➡✉（メニュー）➡「0表示画像のみ添付」選択➡◉➡ P.3-3操作２以降

画像を分割してロングメールに添付する

■240×320ドットの静止画を４分割して、ロングメールに添付するときは、次の操作を行います。
◉➡「データ確認」選択➡◉➡「1データフォルダ」選択➡◉➡フォルダ選択➡◉➡画像選択➡✉（メニュー）➡「メール添付」選択➡◉➡「3画像分割メール添付」選択➡◉➡宛先選択／宛先入力➡「1YES」選択➡◉➡ P.4-19操作３以降

■ 画像分割メールを送信すると、４通分のメール料金がかかります。

10 データ管理

フォルダやファイルの情報を確認する（プロパティ）

メニュー ▶ データ確認

1 データフォルダ画面またはファイル表示画面で、フォルダまたはファイルを選ぶ。

2 （メニュー）を押す。

3「プロパティ」を選び、◉を押す。

フォルダやファイルの情報が表示されます。

●を押すと、隠れている情報を表示できます。

●確認できる内容は、次のとおりです。

タイトル※1	サウンドのタイトル名
種類	ファイルの種類
場所	データやファイルの保存場所
データサイズ	データサイズ
保存サイズ	V403SHで実際に使用しているデータサイズ
横×縦※2	画像の縦横幅をドットで表示
コピー、転送	データフォルダ内でのコピー可／不可
保存	データフォルダへの保存可／不可
外部転送	外部機器への転送可／不可
アドレス帳（フォト）※3	アドレス帳のフォト設定あり／なし
着信音設定※1	サウンドの着信音やアラームなどの設定あり／なし
ユースフルダイアリー設定※3	ユースフルダイアリーの画像設定あり／なし
スケジュールメモ設定※3	スケジュールのピクチャーメモ設定あり／なし

※1 メロディフォルダ内のファイルのときに、表示されます。
※2 JPEG、PNG、連写ファイルなどで表示されます。
※3 設定されている件数も表示されます。

フォルダやファイルを管理する

●V403SHとメモリカード間のデータ転送については、P.10-35を参照してください。

フォルダ名変更／ファイル名変更 フォルダ名（フォルダ０を除く）やファイル名を変更します。

■あらかじめ表示設定（☞P.10-7）でフォルダを表示しておいてください。

メニュー ▶ データ確認 ▶ データフォルダ

フォルダ名を変更する

フォルダ選択➡◉➡「フォルダ１」～「フォルダ９」選択➡（メニュー）➡「2フォルダ名変更」選択➡◉➡フォルダ名入力➡◉

ファイル名を変更する

フォルダ選択➡◉➡ファイル選択➡（メニュー）➡「ファイル名変更」選択➡◉➡ファイル名入力➡◉

●サウンドのファイル名を変更しても、ファイル内のタイトルは変更されません。
●ファイル名に半角カナや絵文字などを利用したとき、ロングメールにそのファイルを添付すると、半角カナは全角カナに置き換わり、絵文字は削除されます。絵文字だけのファイル名のときは、ファイルの種類により、「image」（画像）、「melody」（サウンド）などになります。
●フォルダ名やファイル名に半角の記号を入力しようとしても、入力できないことがあります。

フォルダのシークレット設定 フォルダ表示にしているとき、フォルダ（フォルダ０を除く）内のデータを、操作できないようにします。

メニュー ▶ データ確認 ▶ データフォルダ ▶ フォルダを選ぶ

「フォルダ１」～「フォルダ９」選択➡（メニュー）➡「3シークレット設定」選択➡◉➡操作用暗証番号（４ケタ）入力➡「1ON」／「2OFF」選択➡◉

●「ON」に設定したフォルダを利用するときは、操作用暗証番号の入力が必要になります。

モバイルカメラ（ショートカット）フォルダは、シークレット設定できません。

ファイルコピー／移動 データフォルダ内のファイルを、別のフォルダにコピー／移動します。

メニュー ▶ データ確認 ▶ データフォルダ ▶ フォルダを選ぶ

ファイル選択➡（メニュー）➡「コピー」／「移動」選択➡◉➡コピー／移動先のフォルダ選択➡◉

ファイル消去 ファイルを1件ずつ消去したり、フォルダ内のファイルをまとめて消去します。

メニュー ▶ データ確認 ▶ データフォルダ

1件ずつ消去する

フォルダ選択➡◉➡ファイル選択➡✎（メニュー）➡「消去」選択➡◉➡（※）➡「1YES」選択➡◉

（※）着信音、ピクチャーコール／メール、ユースフルダイアリーなどに設定されているファイルを選んだときは、確認画面が表示されます。

フォルダ内のすべてのファイルを消去する

フォルダ選択➡✎（メニュー）➡「4全消去」選択➡◉➡操作用暗証番号（4ケタ）入力➡「1YES」選択➡◉

アニメーションの作成／確認

簡単アニメを作成する

最大4枚までの画像と表示するスピードを設定することで、簡単なアニメーションとして楽しめます。

- モバイルカメラで撮影した画像、ウェブなどで入手した画像など、JPEG形式のファイルが利用できます。
- 簡単アニメは、データフォルダのアニメーションフォルダ（画像1枚のときは、ピクチャーフォルダ）に登録されます。
- データフォルダのメモリが一杯のときは、簡単アニメを登録できません。不要なファイルを消去（☞上記）したあと、作成してください。
- 指定した画像によっては、元の画像と画質が変わることがあります。

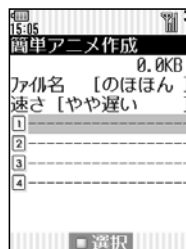
簡単アニメを新規作成する

メニュー ▶ ファンクション ▶ 表示／設定2 ▶ アニメーション設定 ▶ 簡単アニメ作成 ▶ 新規作成

1 タイトルを入力し、◉を押す。

- 全角16文字（半角32文字）以内で、必ず入力してください。
- 入力したタイトルは､自動的にファイル名として登録されます。ファイル名は変更できます。（☞P.10-11）

2 速さを選び、◉を押す。

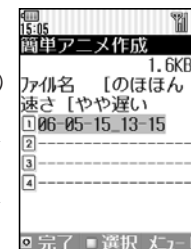
ここで指定した速さで、番号順に画像が切り替わります。

3 番号を選び、◉を押す。

4 データフォルダから画像を選び（☞P.10-8）、◉を押す。

- 4枚連写画像の利用：連写画像選択➡◉➡「1連写4枚をアニメ」選択➡◉
  - ■「1」を選び、最初の画像として登録するときにだけ利用できます。ただし、240×320ドットの連写画像は利用できません。
- 連写画像内の1枚の画像の利用：連写画像選択➡◉➡「2連写の1枚を選択」選択➡◉➡◈（画像選択）
- 画像の変更：✎（変更）
- 表示順の変更：⊙（戻る）➡操作3からやり直す

5 ◉を押す。

画像が指定されます。

- 簡単アニメの再生：✎（メニュー）➡「1アニメ再生」選択➡◉
  - ■簡単アニメ作成に戻る：上記操作のあと⊙（戻る）➡クリア
- 画像の変更：画像選択➡✎（メニュー）➡「2変更」選択➡◉➡操作4からやり直す
- 画像の消去：画像選択➡✎（メニュー）➡「3消去」選択➡◉➡「1YES」選択➡◉

6 操作3～5をくり返し、画像を指定する。

- 最大4枚まで指定できます。（指定する画像の種類やデータサイズによっては、4枚まで設定できないことがあります。）

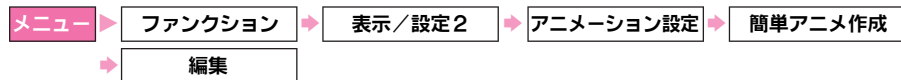
7 画像の指定が終われば、⊙（完了）を押す。

- 簡単アニメのメール送信：「2メール添付」選択➡◉➡ロングメール送信操作（☞⊙P.3-3操作2以降）
  - ■サイズの大きい簡単アニメ作成時：「1YES」選択➡◉（サイズによっては送信できないこともあります。）

8「1登録」を選び、◉を押す。

簡単アニメを編集する

●データフォルダのメモリが一杯のときは、簡単アニメを登録できません。不要なファイルを消去（☞P.10-12）したあと、編集してください。

メニュー ▶ ファンクション ➡ 表示／設定2 ➡ アニメーション設定 ➡ 簡単アニメ作成 ➡ 編集

1 簡単アニメを選び、◉を押す。

2 タイトルを修正し、◉を押す。

3 速さを選び、◉を押す。

■ 画像の追加：番号選択➡◉➡画像選択➡◉➡◉
■ 画像の変更：番号選択➡▣（メニュー）➡「2変更」選択➡◉➡画像選択➡◉➡◉
■ 画像の消去：番号選択➡▣（メニュー）➡「3消去」選択➡◉➡「1YES」選択➡◉

4 編集が終われば、◎（完了）を押す。

5「1登録」を選び、◉を押す。

6「1新規登録」を選び、◉を押す。

データフォルダのアニメーションフォルダに登録されます。

■ 上書き登録する：「2上書登録」選択➡◉

アニメーションを確認する

メニュー ▶ データ確認 ➡ データフォルダ

1 アニメーションを登録しているフォルダを選び、◉を押す。

■ メモリカード内のアニメーションの確認：▣（メニュー）➡「メモリカードへ切替」選択➡◉

2 アニメーションを選び、◉を押す。

選んだアニメーションが再生されます。

■ 再生の停止：再生中に◎（戻る）
■ アニメーションファイルの利用：☞P.10-15

画像／アニメーションの利用

●画像の種類やデータ内容によっては、利用できない画像があります。

画像の表示サイズを切り替える

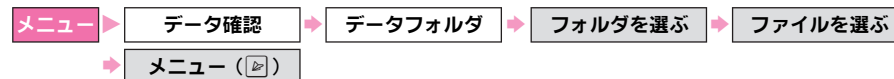
1 画像やアニメーション、画像付きSMAFファイルを表示中に［スケジュール/メモ］を押す。

画像の表示サイズ（「等倍（マークあり）」、「等倍（マークなし）」、「拡大（マークあり）」、「拡大（マークなし）」）が切り替わります。

●ファイル形式やデータの内容によっては、表示サイズを切り替えられないことや、切り替えられる種類が異なることがあります。また、表示を「拡大」にしたとき、画像のすべてを表示できないことがあります。

●等倍時には「▣」、拡大時には「▣」が画面上部に表示されます。

画像／アニメーションを壁紙に登録する

●「壁紙登録」のメニューが表示されるファイルで、利用できます。

1 *画像を壁紙に登録する*

❶「2画面設定」を選び、◉を押す。

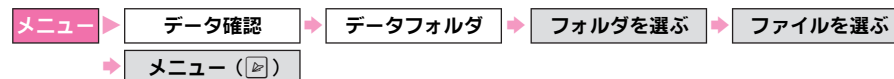
❷「1壁紙登録」を選び、◉を押す。

アニメーションを壁紙に登録する

❶「壁紙登録」を選び、◉を押す。

2 ◉を押す。

画像／アニメーションをマイキャラクタに登録する

●「マイキャラクタ登録」のメニューが表示されるファイルで、利用できます。

1 *画像をマイキャラクタに登録する*

❶「2画面設定」を選び、◉を押す。

❷「2マイキャラクタ登録」を選び、◉を押す。

アニメーションをマイキャラクタに登録する

❶「マイキャラクタ登録」を選び、◉を押す。

2 表示場面を選び、◉を押す。

■ 以降の操作：☞P.7-5操作4以降

連写画像を個別の画像として登録する

連写画像（複数の画像＋分割画像）を、個別の画像として登録します。また連写画像（「[連写]」表示）内の指定した画像だけを、個別の画像として登録できます。

●個別の画像は、新しい画像（JPEGファイル）としてデータフォルダのピクチャーフォルダに登録されます。（元の連写画像はそのまま残っています。）

メニュー ▶ データ確認 ➡ データフォルダ ➡ 連写 ➡ 連写画像を選ぶ

1 ***連写画像内のすべての画像を登録する***

1 [メニュー]（メニュー）を押す。

2「[7]全画像個別登録」を選び、◉を押す。

連写画像内の１枚の画像を登録する

1 [左右]で画像を選び、[メニュー]（メニュー）を押す。

●分割画像も登録できます。

2「[8]表示画像のみ登録」を選び、◉を押す。

フォルダ内の画像を連続して表示する

ピクチャーフォルダ／アニメーションフォルダ／連写フォルダ／デジタルカメラフォルダ内の画像を連続表示します。

●連続表示のスピード時間を変更することもできます。

メニュー ▶ データ確認 ➡ データフォルダ ➡ フォルダを選ぶ

1 **連続表示を始める画像を選び、[メニュー]（メニュー）を押す。**

2 **「[1]連続表示設定」を選び、◉を押す。**

3 **「[1]連続表示」を選び、◉を押す。**

選択している画像から、連続表示が始まります。

■ 連続表示の停止：◉

■連続表示の再開：上記操作のあと◉

■ 次の画像へ早送り：連続表示中に[メニュー]（次へ）

連続表示のスピードを設定する

■ 操作２のあと、次の操作を行います。

「[2]スピード設定」選択➡◉➡速さ選択➡◉

●お買い上げ時には、「普通」に設定されています。

画像の編集

画像を拡大／縮小する

画像の拡大／縮小は、画面の中心を基点にして行います。

メニュー ▶ データ確認 ➡ データフォルダ ➡ フォルダを選ぶ ➡ ファイルを選ぶ ➡ メニュー（[メニュー]） ➡ 画像サイズ編集

1 **「[1]拡大縮小」を選び、◉を押す。**

画面下部左に「移動」が表示されます。表示されていないときは、[O]（リサイズ）を押します。

●画像表示中に[O]（リサイズ）を押しても、同様に操作できます。

拡大／縮小の中心を変更する

●[O]（移動）を押します。このあと[十字]で、拡大／縮小の中心となる位置を、画面中央部に移動します。

●ボタンを押している間、画像が移動します。ボタンから手を離すと、止まります。（それ以上移動できない位置まで移動すると、ボタンを押し続けていても、止まります。）

リサイズモードに戻るとき

画像を移動したあと、[O]（リサイズ）を押します。

2 **[上]（拡大）または[下]（縮小）で、画像のサイズを変更する。**

ボタンを押している間、画像が拡大／縮小されます。ボタンから手を離すと、止まります。（それ以上拡大／縮小できないサイズになると、ボタンを押し続けていても、止まります。）

■ 画像をなめらかにする：[メニュー]（Soft）

●拡大により画面からはみ出した（表示されていない）部分は、登録時に自動的に消去されます。

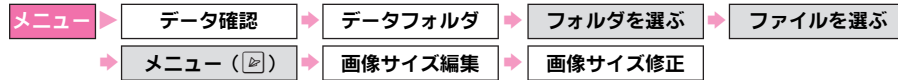
●拡大／縮小後に、[O]（移動）を押し移動モードにしたときは、拡大／縮小した結果は破棄され、元の大きさに戻ります。

3 **◉を押す。**

編集後の画像が新しい画像として登録されます。

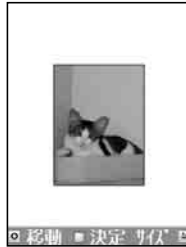
画像サイズを変更する

データフォルダに登録されている画像を、壁紙用やメール添付用などのサイズに変更します。
- 固定のサイズに変更するほか、お好みのサイズに切り出すことができます。（画像サイズを変更すると、画像のデータサイズも変更されます。）
- 画像サイズが大きいと、画像を表示できないことがあります。
- 「画像サイズ編集」が選択できない画像は、利用できません。

固定サイズに変更する

1 **「1壁紙用」～「5アラーム時表示用」のいずれかを選び、●を押す。**

選んだ画像とサイズを示す枠が表示されます。（「1壁紙用」を選んだときを除く）
- 変更できるサイズは、次のとおりです。

壁紙用	横240×縦320ドット
写メール用	横120×縦160ドット
パワー ON／OFF用	横240×縦260ドット
着信時表示用	横240×縦80ドット
アラーム時表示用	横240×縦100ドット

■ 画像サイズ選択のやり直し：クリア／（サイズ）

2 ***画像の表示範囲を指定する***

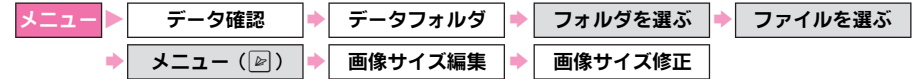
1 で表示範囲を選び、●を押す。
- 画像サイズによっては、表示範囲を選べないことがあります。

画像を拡大縮小する

1 （リサイズ）を押す。
画面下部左に「移動」が表示されます。

2 （拡大）または（縮小）でサイズを変更し、●を押す。

3 **●を押す。**
編集後の画像が新しい画像として登録されます。

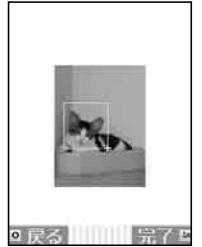
サイズを自由に変更する

1 **「6自由切出」を選び、●を押す。**

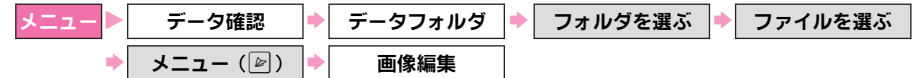
2 **で「＋」を切り出す部分の左上に移動し、●を押す。**

3 **で「＋」を切り出す部分の右下に移動する。**
■ 指定のやり直し：（戻る）➡操作2からやり直す

4 **（完了）を押す。**
■ 画像サイズ選択のやり直し：クリア／（サイズ）
■ 表示範囲の指定／画像の拡大縮小：☞P.10-18操作2

5 **●を押す。**

6 **もう一度●を押す。**
編集後の画像が新しい画像として登録されます。

画像に文字やマーカーを追加する（マーカースタンプ）

画像に文字や矢印のマーカーを追加して加工することができます。
- JPEG画像／PNG画像で利用できます。データ内容によっては、利用できない画像があります。
- 「マーカースタンプ」が選択できない画像は、利用できません。

1 **「1マーカースタンプ」を選び、●を押す。**
■ 文字色の設定：「7文字色設定」選択➡●➡色選択➡●
■ 文字を縁取らない：「8縁取り設定」選択➡●➡「2OFF」選択➡●

注意　PNG形式の画像は、「白文字（黒フチ）」の固定です。「文字色設定」、「縁取り設定」は利用できません。

2 文字を入力する

1「1文字」を選び、●を押す。

2 文字を入力し、●を押す。

●最大全角8文字（半角16文字）まで入力できます。

■ 文字入力のやり直し：0（戻る）➡操作1からやり直す

■ 文字色の変更：1～9

■ 縁取りのON／OFF：0（押すたびに切替）

マーカーを付ける

1 マーカーの種類を選び、●を押す。

■ マーカーの変更：0（戻る）

■ 文字色の変更：1～9

■ 縁取りのON／OFF：0（押すたびに切替）

3 ✣で文字やマーカーを付ける位置を選び、●を押す。

4「1YES」を選び、●を押す。

■ 文字／マーカーの追加：「2マーキング」選択➡●➡✉（メニュー）➡操作2～4をくり返す

■ 画像の確認：「3画像確認」選択➡●

■ 編集の取消：「4編集キャンセル」選択➡●➡「1YES」選択➡●

5「1編集完了」を選び、●を押す。

6「1YES」を選び、●を押す。

編集後の画像が新しい画像として登録されます。

画像に画像スタンプを追加する

画像に画像スタンプを追加して加工することができます。

●あらかじめ登録されている画像スタンプ以外にも、ウェブなどで入手した画像を、画像スタンプとして利用することができます。（PNG画像が利用できます。ただしデータ内容によっては、利用できない画像があります。）

●「スタンプ」が選択できない画像は、利用できません。

あらかじめ登録されている画像スタンプを利用する

1「1 固定スタンプ」を選び、●を押す。

■ カスタムスクリーンの画像スタンプを利用：「3カスタムスクリーン」選択➡●

▪カスタムスクリーン設定時に、選択できます。

2「1 此処！」～「8足跡」のいずれかを選び、●を押す。

■ 画像スタンプの変更：0（戻る）➡種類選択➡●

3 ✣で画像スタンプを付ける位置を選び、●を押す。

編集後の画像が新しい画像として登録されます。

オリジナルの画像スタンプを利用する

1「2オリジナル」を選び、●を押す。

2 データフォルダから画像を選び（☞P.10-8）、●を押す。

■ 画像スタンプの変更：0（戻る）➡操作1からやり直す

3 ✣で画像スタンプを付ける位置を選び、●を押す。

4 ●を押す。

編集後の画像が新しい画像として登録されます。

画像を装飾する

画像の色あいやタッチを変えることができます。

●JPEG画像で利用できます。

●連写画像も装飾できます。

●装飾可能な画像サイズは、横52×縦52ドット～横240×縦320ドットです。これ以上のサイズの画像は、画像の中心を基準に横240×縦320ドット部分を抜き出し、装飾されます。（画像サイズも変更されます。）

●「画像装飾」／「連写画像装飾」が選択できない画像は、利用できません。

1「4画像編集」を選び、●を押す。

■ 連写画像の装飾：「3連写画像装飾」選択➡●➡P.10-22操作3へ

連写画像を装飾すると、連写画像内のすべての画像が装飾されます。連写画像内の1枚の画像だけを装飾するときは、個別の画像として登録（☞P.10-16）してから操作してください。

2「2画像装飾」を選び、●を押す。

3 装飾の種類を選び、◉を押す。

●設定できる装飾の種類は、次のとおりです。

セピア	セピア色で濃淡を表現
きらめき	光る部分を十字に輝かせる効果を表現
シャボン玉	背景にシャボン玉を飛ばすような効果を表現
万華鏡	万華鏡のような効果を表現
浮彫りタッチ	メタル系シルバーで立体感を表現
線検出	線で描いた絵のような効果を表現
アルミ缶	アルミ缶の側面に貼り付けた効果を表現
円ソフトフレーム	周りを丸くぼかすフレーム調
ソフトフレーム	周りをぼかすフレーム調
ちぎりフレーム	周りを手でちぎった感じのフレーム調

4 ◉を押す。

編集後の画像が新しい画像として登録されます。

画像を装飾すると、画像データサイズが大きく変わります。装飾された画像の登録や、メールの送信ができないことがあります。

顔写真を加工する（フェイスアレンジ）

画像内の顔を笑い顔や怒った顔、泣き顔などに加工できます。

●JPEG画像で利用できます。

●フェイスアレンジは、あらかじめ設定されている顔パーツ（輪郭、目、口）の位置や大きさを元に加工します。正面を向き顔が大きく中央に写っている画像を使用してください。また、次のときは、うまく加工できないことがあります。

■ピントが合っていない／首を傾けている／暗い／目が髪で隠れている／画面の中央に写っていない／口が開いている／メガネをかけている／ヒゲを生やしている　など

●画像に応じて、顔パーツの位置や大きさを調整できます。（☞P.10-23）

●「フェイスアレンジ」が選択できない画像は、利用できません。

メニュー ▶ データ確認 ➡ データフォルダ ➡ フォルダを選ぶ ➡ ファイルを選ぶ ➡ メニュー（✉） ➡ 画像編集 ➡ フェイスアレンジ

1 アレンジの種類を選び、◉を押す。

●設定できるアレンジの種類は、次のとおりです。

右顔合成	顔の右半分をもとにした左右対称の顔	ほっそり	細くなった顔
左顔合成	顔の左半分をもとにした左右対称の顔	くしゃ顔	上下に圧縮された顔
微笑む	目、口が微笑んでいる顔	色黒	色黒になった顔
怒る	目、口が怒っている顔	色白	色白になった顔
悲しむ	目、口が悲しんでいる顔	カチン	怒りマークを合成

■ アレンジのやり直し：◎（戻る）

2 ◉を押す。

編集後の画像が新しい画像として登録されます。

フェイスアレンジを行った画像をロングメールに添付したり、壁紙などに設定して楽しまれるときは、人格権、肖像権を尊重し、他の方の中傷などにご配慮ください。

顔パーツの位置／大きさを調整する

フェイスアレンジ（☞P.10-22操作１）を行うと、認識した顔パーツの位置が、加工する顔の位置とずれていることがあります。このときは、以下の操作で位置や大きさを調整できます。

●顔パーツは画像ごとに調整して登録します。

1 「⊠顔抽出確認」を選び、◉を押す。

現在設定されている顔パーツが表示されます。

2 ✉（修正）を押す。

顔輪郭の枠の左上に「＋」が表示されます。

3 顔の輪郭を指定する。

✥で顔の輪郭の左上に「＋」を移動　✥で顔の輪郭の右下に「＋」を移動　顔の輪郭の位置が指定完了

■ 指定のやり直し：◎（戻る）

4 右目→左目→口の順に、それぞれの顔パーツを指定する。

●画面上部のガイドに従って、操作３と同様に操作します。

右目の位置を指定　左目の位置を指定　口の位置を指定

5 指定が終われば、✉（完了）を押す。

指定した顔パーツがすべて表示されます。

●顔パーツの指定をやり直すときは、操作２からやり直します。

■ あらかじめ設定されている顔パーツに戻す：◎（リセット）

6 ◉を押す。

7 「1YES」を選び、◉を押す。

指定した顔パーツを付加した画像が、新しい画像としてデータフォルダに登録され、フェイスアレンジ画面に戻ります。

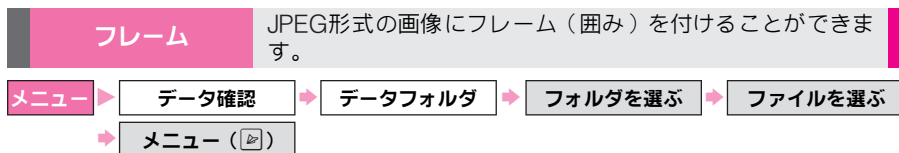
- このあと、新規登録した画像を使ってフェイスアレンジの操作を行うと、指定した顔パーツで画像を加工することができます。

その他の画像編集

- 「フレーム」、「連写フレーム」、「90度回転」、「ムービングフォトフレーム」、「保存形式変換」のメニューが表示されるファイルで利用できます。
- 編集後は、新しい画像として登録されます。

フレーム

JPEG形式の画像にフレーム（囲み）を付けることができます。

メニュー ▶ データ確認 ➡ データフォルダ ➡ フォルダを選ぶ ➡ ファイルを選ぶ ➡ メニュー（📝）

画像にフレームを付ける

「4画像編集」選択➡◉➡「4フレーム」選択➡◉➡「1固定フレーム」／「2オリジナル」選択➡◉➡フレーム選択➡◉➡◉

■ カスタムスクリーンのフレームを利用：「4画像編集」選択➡◉➡「4フレーム」選択➡◉➡「3カスタムスクリーン」選択➡◉➡◉
- ■カスタムスクリーン設定時にだけ、選択できます。

■ フレームの確認：フレーム選択➡O（表示）
- ■フレーム選択画面に戻る：上記操作のあとO（戻る）

連写画像にフレームを付ける

「4連写フレーム」選択➡◉➡「1固定フレーム」／「2オリジナル」選択➡◉➡フレーム選択➡◉➡◉

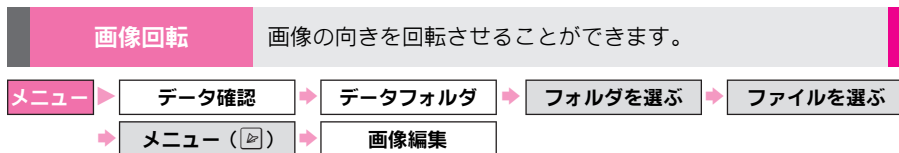
■ カスタムスクリーンのフレームを利用：「4連写フレーム」選択➡◉➡「3カスタムスクリーン」選択➡◉➡◉
- ■カスタムスクリーン設定時に、選択できます。

■ フレームの確認：フレーム選択➡O（表示）
- ■フレーム選択画面に戻る：上記操作のあとO（戻る）

補足 連写画像にフレームを付けると、連写画像内のすべての画像にフレームが付きます。連写画像内の1枚の画像だけを装飾するときは、個別の画像として登録（☞P.10-16）してから操作してください。

画像回転

画像の向きを回転させることができます。

メニュー ▶ データ確認 ➡ データフォルダ ➡ フォルダを選ぶ ➡ ファイルを選ぶ ➡ メニュー（📝） ➡ 画像編集

「690度回転」選択➡◉※➡◉

※📝（回転）を押すたびに、画像が90度ずつ回転します。

ムービングフォトフレーム

JPEG形式の画像に、動くフレームを付け、アニメーション風に仕上げます。

メニュー ▶ データ確認 ➡ データフォルダ ➡ フォルダを選ぶ ➡ ファイルを選ぶ ➡ メニュー（📝） ➡ 画像編集 ➡ ムービングフォトフレーム

フレーム選択➡◉➡◉

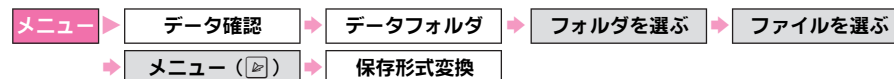
■ ムービングフォトフレームの確認：フレーム選択➡O（表示）
- ■ムービングフォトフレーム選択画面に戻る：上記操作のあとO（戻る）

- 作成したアニメーションは、「E-アニメータ」（.nva）形式で登録されます。

補足 ムービングフォトフレームのサイズは、横120×縦130ドットです。これ以上のサイズの画像は、画像の中心にムービングフォトフレームが付きます。うまく加工できないときは、フレームの種類に応じて画像のサイズを変更したり、お好みのサイズに切り出してください。（☞P.10-18、P.10-19）

保存形式変換

画像の形式をJPEG形式（「J」表示）やPNG形式（「P」表示）に変換します。

メニュー ▶ データ確認 ➡ データフォルダ ➡ フォルダを選ぶ ➡ ファイルを選ぶ ➡ メニュー（📝） ➡ 保存形式変換

保存形式選択➡◉

- 保存形式を変換できるのは、横120×縦160ドット以下の画像です。
- 変換前と同じ形式は、選択できません。

注意 保存形式を変換すると、画質が変わることがあります。

画像の合成

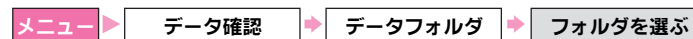
- ファイル形式やデータ内容によっては、操作できなかったり、表示されるメニューが異なることがあります。

分割画像を作成する

最大4枚の画像を縮小し、1枚の画像内に配置して分割画像を作成することができます。

- JPEG画像で利用できます。
- 連写画像も利用できます。
- あらかじめ、空きメモリがあることを確認して、分割画像を作成してください。
- 指定した番号順に、分割画像の左上、右上、左下、右下に配置されます。

分割画像

メニュー ▶ データ確認 ➡ データフォルダ ➡ フォルダを選ぶ

1 左上に配置する画像を選び、◉を押す。

- この時点では、連写画像は選べません。左上に連写画像を配置するときは、P.10-26操作10で画像の変更を行い、連写画像に変更します。

2 ［メール］（メニュー）を押す。

3 「5画像合成」を選び、◉を押す。

4 「1４分割画像作成 120×160」または「2４分割画像作成 240×320」を選び、◉を押す。

5 ファイル名を入力し、◉を押す。

- 全角16文字（半角32文字）以内で、必ず入力してください。

6 番号を選び、◉を押す。

V403SHのデータフォルダが表示されます。

7 フォルダを選び、◉を押す。

8 画像を選び、◉を押す。

- 選択できない画像は、利用できません。

■ 画像の変更：［メール］（変更）
■ 指定する番号から選び直す：［カメラ］（戻る）

9 ◉を押す。

分割画像用の画像として指定されます。

10 操作６～９をくり返し、画像を指定する。

■ 分割画像の確認：［メール］（メニュー）➡「1分割画像表示」選択➡◉
　■分割画像作成のメニューに戻る：上記操作のあと［カメラ］（戻る）➡［クリア］
■ 画像の変更：画像選択 ➡［メール］（メニュー）➡「2 変更」選択➡◉➡操作７からやり直す
■ 画像の消去：画像選択 ➡［メール］（メニュー）➡「3 消去」選択➡◉➡「1YES」選択➡◉

11 ［カメラ］（完了）を押す。

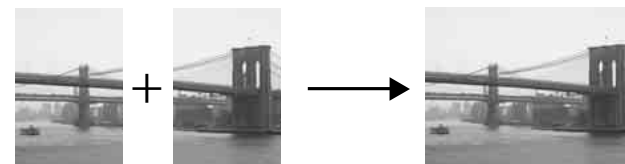
■ 分割画像のメール送信：「2メール添付」選択➡◉➡ロングメール作成／送信（☞ P.3-3操作２以降）

12 「1登録」を選び、◉を押す。

合成後の画像が新しい画像として登録されます。

> **連写画像内の１枚の画像を利用する**
>
> ■ 操作６のあと、次の操作を行います。
> 連写フォルダ選択➡◉➡連写画像選択➡◉➡◎（画像選択）➡◉➡操作10へ
> - ファイル名のあとに「1/4」～「4/4」などが付加されます。
>
> ■ 分割画像も指定できます。（ファイル名のあとに「田」が付加されます。）

２枚の画像をパノラマ合成する

２枚の画像を横に並べて、１枚の画像にします。

２枚の画像を選択　　パノラマ合成

画像に応じて次の効果を選べます。

標準	近距離で撮影した画像、遠距離で撮影した画像のどちらの合成にも適しています。
近景	近づいて撮影したときに生じる視差の影響を補正します。 近距離で撮影した画像の合成に適しています。
ドキュメント	説明板など文字のある画像の合成に適しています。

- 横48×縦64ドット以上、横120×縦160ドットまたは横160×縦120ドット以下のJPEG画像で、利用できます。
- ２枚の画像サイズが異なるときは、同じサイズになるよう、自動的に一部を切り出して合成されます。
- 色あいが異なる２枚の画像をパノラマ合成すると、うまく合成できないことがあります。
- 「パノラマ合成」が選択できない画像は、利用できません。

1 １枚目の画像を選び、◉を押す。

2 ［メール］（メニュー）を押す。

- 連写画像をパノラマ合成するときは、操作４へ進みます。

3 「5画像合成」を選び、◉を押す。

4 「パノラマ合成」を選び、◉を押す。

選んだ画像は左側の画面に表示されます。

5 「1標準」～「3ドキュメント」のいずれかを選び、◉を押す。

6 「2」を選び、◉を押す。

データフォルダが表示されます。

7 もう１枚の画像を選び、◉を押す。

8 ◉を押す。

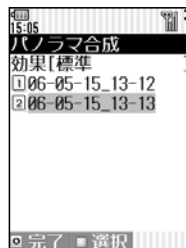
●画像サイズが大きすぎるときや、小さすぎるときは、画像選択画面に戻ります。画像を選び直してください。

■ 画像の変更：画像選択 ➡◉➡ ✉（変更）➡P.10-27 操作 7 からやり直す

9 画像の指定が終われば、◎（完了）を押す。

合成された画像が表示されます。

●◈を押すと画像が移動し、隠れている部分を表示できます。

■ 画像の左右入れ替え：✉（入替）

10 ◉を押す。

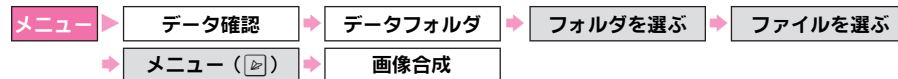
合成後の画像が新しい画像として登録されます。

分割画像（画像分割メール）を結合する

画像分割メールに添付されてきた画像の 1 つを指定することで、4 枚の画像を自動的に結合できます。

●受信した画像のファイル名を変更したり、同じファイル名の画像があるときは、正しく結合できないことがあります。

●画像分割メールで送受信した画像を結合すると、画質が変わることがあります。

メニュー ▶ データ確認 ➡ データフォルダ ➡ フォルダを選ぶ ➡ ファイルを選ぶ ➡ メニュー（✉）➡ 画像合成

1「③画像分割メール結合」を選び、◉を押す。

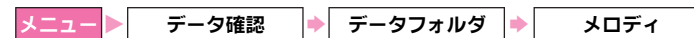
2 ◉を押す。

合成後の画像が新しい画像として登録されます。

メロディファイルの利用

●ファイル形式やデータ内容によっては、操作できなかったり、表示されるメニューが異なることがあります。

再生音量を設定する

メニュー ▶ データ確認 ➡ データフォルダ ➡ メロディ

1 ファイルを選び、✉（メニュー）を押す。

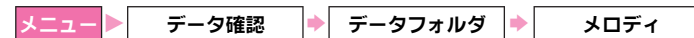
2「①サウンド再生音量変更」を選び、◉を押す。

3 ◈で音量を選び、◉を押す。

着信パターン／効果音に設定する

●ファイル名が全角 12文字（半角24文字）を超えるサウンドは、着信パターンに設定できません。

●各項目が選択できないサウンドは、利用できません。

メニュー ▶ データ確認 ➡ データフォルダ ➡ メロディ

1 ファイルを選び、✉（メニュー）を押す。

2「②着信音設定」または「③効果音設定」を選び、◉を押す。

3 着信の種類または効果音の種類を選び、◉を押す。

メロディの編集（データ編集）／音色設定／強弱設定について

■ 次の操作を行います。

◉➡「データ確認」選択➡◉➡「①データフォルダ」選択➡◉➡メロディフォルダ選択➡◉➡メロディ選択➡✉（メニュー）

■ データ編集の以降の操作：「⑤データ編集」選択➡◉➡P.8-15操作 3 以降

■ 音色設定の以降の操作：「⑥音色設定」選択➡◉➡P.8-13操作 10～P.8-14操作 13

■ 強弱設定の以降の操作：「⑦強弱設定」選択➡◉➡P.8-14操作 15～18

●メロディファイルで、「データ編集」を行うと、オリジナル着信音形式で保存されます。

メモリカードの利用

撮影した画像の保存、V403SH内のデータフォルダやアドレス帳などのデータの保存に、miniSD™メモリカードを利用できます。

- 市販のminiSD™メモリカードをV403SHで使用するときは、フォーマットしてください。（☞P.10-33）
- メモリカードへのデータの保存方法については、各機能の説明部分を参照してください。
- miniSD™メモリカードアダプタを使うと、miniSD™メモリカードをSDメモリカード対応パソコンやプリンタなどでも利用できます。（☞P.10-32）

補足 V403SHで推奨するのは、32Mバイト／64Mバイト／128Mバイト／256Mバイト／512MバイトのminiSD™メモリカードです。

メモリカードの取り扱いについて

miniSD™メモリカードをお使いになるときは、次の点にご注意ください。

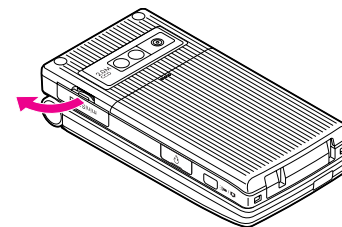
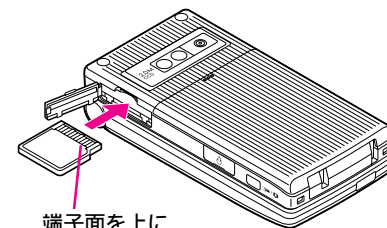
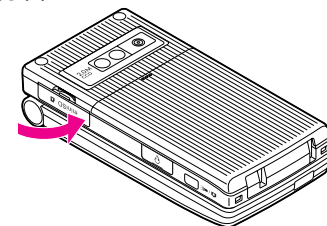
- miniSD™メモリカードは、推奨のものをご使用ください。推奨以外のメモリカードは使用できないことや正しく動作しないことがあります。
- V403SHの電源を入れた状態でメモリカードを取り付けたり、取り外したりしないでください。
- ラベルやシールを貼らないでください。メモリカードは非常に薄く、精密に作られているため、ラベルやシール程度の厚みでも接触不良やデータの破壊などの原因となることがあります。（miniSD™メモリカードアダプタも同様です。）
- 文字を書くときは、フェルトペン（油性）をご使用ください。
  鉛筆やボールペンは、ご使用にならないでください。メモリカードに損傷を与えたり、データが破壊されることがあります。
- 分解したり、改造したりしないでください。
- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたり、水にぬらしたりしないでください。
- 金属端子部分を手や金属で触れないでください。
- 高温になる車の中や直射日光のあたる所など、温度が高くなる所には置かないでください。
- 湿度の高い所やほこりが多い所には置かないでください。
- 腐食性のガスなどが発生する所には置かないでください。
- メモリカードを火気に近づけたり、火の中に投げ込んだりしないでください。
- メモリカードには寿命があります。長期間ご使用になると、新しくデータを書き込めなくなることがあります。

注意
- メモリカードの登録内容は、事故や故障によって、消失または変化してしまうことがあります。大切なデータは控えをとっておかれることをおすすめします。
  なお、データが消失または変化した場合の損害につきましては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- miniSD™メモリカードには、書き込み禁止スイッチはありません。データの消去や上書きなどにご注意ください。
- 付属のメモリカードには、カスタムスクリーンが保存されています。フォーマットなどでカスタムスクリーンを消去してしまったときは、パソコンを利用して下記のインターネットサイトからダウンロードすることができます。
  ■カスタモ　http://www.custamo.com/

メモリカードを取り付ける／取り外す

取り付ける

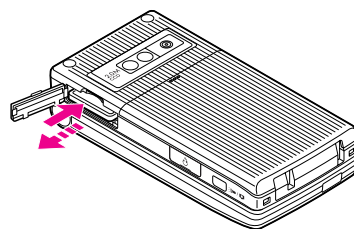
- 必ず、V403SHの電源を切った状態で取り付けてください。

1 **メモリカードスロットのカバーを開く。**

2 **メモリカードの端子面を上にして、「カチッ」と音がするまで、ゆっくり奥まで入れる。**

3 **カバーを閉じる。**

注意 miniSD™メモリカード以外のものを挿入しないでください。メモリカードやV403SHが破損する恐れがあります。

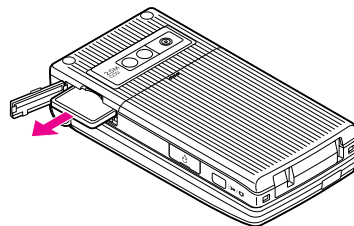
取り外す

●必ず、V403SHの電源を切った状態で取り外してください。

1 メモリカードスロットのカバーを開き、メモリカードを軽く押し込む。

●メモリカードは、軽く押し込んで手を離すと少し飛び出てきますので、指で軽く押さえてください。

2 メモリカードを取り出す。

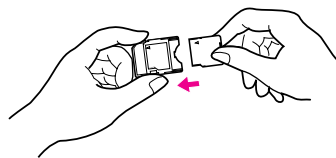
●ゆっくりとまっすぐ引き抜いてください。

3 カバーを閉じる。（☞P.10-31）

データの読み出し中や書き込み中は、絶対にメモリカードや電池パックを取り外さないでください。メモリカードまたはV403SHが故障する恐れがあります。

V403SHにメモリカードを取り付け、電源を入れたときは、メモリカード内の情報確認のため、待受画面が表示されるまでに時間がかかることがあります。
（メモリカードの容量や書き込まれているデータ量により､待受画面が表示されるまでの時間は異なります。）

miniSD™メモリカードアダプタの使いかた

■取り付けるとき

miniSD™メモリカードアダプタとminiSD™メモリカードの印刷面を合わせて、矢印の方向に押し込みます。

■取り外すとき

miniSD™メモリカードアダプタの切欠き部を利用して、miniSD™メモリカードをつまんで挿入方向と反対の方向へ引き出します。

●miniSD™メモリカードアダプタにminiSD™メモリカードを装着していない状態で、パソコンなどに装着しないでください。機器やアダプタを破損する恐れがあります。また、パソコンなどの機器にminiSD™メモリカードアダプタを装着したままの状態でminiSD™メモリカードだけを抜かないでください。機器が誤動作する恐れがあります。

●装着する機器によっては、miniSD™メモリカードアダプタに装着したminiSD™メモリカードを利用できないことがあります。

メモリカードをフォーマット（初期化）する

●市販のminiSD™メモリカードなど、フォーマット（初期化）されていないメモリカードを使用するときは、必ずV403SHでフォーマットしてください。

メニュー ▶ メモリカード

1 「0メモリカードフォーマット」を選び、●を押す。

2 操作用暗証番号（4ケタ）を入力する。

3 「1YES」を選び、●を押す。

●メモリカードをフォーマットすると、メモリカード内のすべてのデータが消去されます。

●付属のメモリカードは、あらかじめフォーマットされています。再度フォーマットすると、あらかじめ登録されているデータが消えてしまいますのでご注意ください。

●付属のメモリカードには、カスタムスクリーンが保存されています。フォーマットなどでカスタムスクリーンを消去してしまったときは、パソコンを利用して下記のインターネットサイトからダウンロードすることができます。

■カスタモ　http://www.custamo.com/

●他の機器でフォーマットしたメモリカードは、V403SHでは正常に使用できないことがあります。

●メモリカードフォーマット中は、絶対にメモリカードや電池パックを取り外さないでください。メモリカードまたはV403SHが故障する恐れがあります。

メモリカードのメモリ使用状況を確認する

■ メモリカード内のメモリの使用状況を確認するときは、次の操作を行います。

●➡「**メモリカード**」選択➡●➡「2**メモリカードメモリ確認**」選択➡●

●メモリカードのメモリは、お客様が直接ご利用になれる部分（ユーザー領域）と著作権保護などに使用する部分があります。

メモリカード内のデータを確認する

各機能から確認する

「メモリカードへ切替」が表示される機能では、直接メモリカード内のデータを利用できます。

1 各機能の画面で、✉（メニュー）を押す。

2 「メモリカードへ切替」を選び、◉を押す。

- V403SHに登録されているデータの利用：「本体へ切替」選択➡◉

データフォルダから確認する

メニュー ▶ メモリカード

1 「[3]データフォルダ」を選び、◉を押す。

メモリカード内のデータフォルダ画面が表示されます。
（画面２行目の右端に「▣」が表示されます。）

2 フォルダを選び、◉を押す。

3 ファイルを選び、◉を押す。

選んだファイルの種類に応じて、再生や表示が行われます。

メモリカード内のデジタルカメラフォルダから確認する

デジタルカメラモードで撮影した画像（「登録先」を「メモリカード」に設定しているとき）は、メモリカード内の「デジタルカメラフォルダ」に登録されます。

メニュー ▶ メモリカード

1 「[4]デジタルカメラフォルダ」を選び、◉を押す。

「DCIM」の内容が表示されます。

2 フォルダを選び、◉を押す。

- 静止画の消去：静止画選択➡✉（メニュー）➡「[7]消去」選択➡◉➡「[1]YES」選択➡◉

3 画像を選び、◉を押す。

- 別の画像の確認：⊙（戻る）

デジタルカメラフォルダの静止画は、プリント枚数などを指定することができます。（DPOF：☞P.6-28）
また、デジタルカメラフォルダの静止画とテキスト／カレンダースタンプを利用して、ポストカードやカレンダーを作成（☞P.6-30）することもできます。

メモリカード内のアクションスナップフォルダから確認する

アクションスナップモードで撮影した動画（「登録先」を「メモリカード」に設定しているとき）は、メモリカード内の「アクションスナップフォルダ」に登録されます。

メニュー ▶ メモリカード

1 「[6]アクションスナップフォルダ」を選び、◉を押す。

- 名前の変更／動画の消去：☞P.10-11、P.10-12
- 動画の情報の確認：動画選択➡✉（メニュー）➡「[3]プロパティ」選択➡◉
  - ■メニュー画面に戻る：上記操作のあと⊙（戻る）

2 動画を選び、◉を押す。

再生が始まります。再生が終わると、自動的に停止します。

- 再生音量の調節：◉（上げる）／◉（下げる）
- 再生の停止：⊙（停止）

データの転送

V403SHとメモリカード間のデータ転送は、「コピー」または「移動」で行います。アドレス帳の転送には「アドレス帳一括転送」を利用することもできます。

- データ転送は、個人データのバックアップ、または機種交換時のデータ移動の目的でご利用になることをおすすめします。

データ転送時のご注意

- ■電池残量が少ないときは、一括転送できません。
- ■「アドレス帳一括転送」でメモリカードからデータを読み込むと、V403SH内のアドレス帳は消去されます。
- ■V403SHまたはメモリカードの空き容量が少ないときは、データの登録（移動／コピー／一括転送）が正常に行えないことがあります。
- ■データの内容によっては、V403SHからメモリカードに転送できないことがあります。また、V403SHから一括転送されたデータの内容によっては、他のボーダフォン携帯電話やパソコンなどで利用できないことがあります。

指定したデータをコピー／移動する

- データフォルダ内のファイルのコピー／移動は、「ファイルコピー／移動」（☞P.10-11）で行ってください。

1 各機能の画面で、コピー／移動するデータを選び、✉（メニュー）を押す。

2 「コピー」または「移動」を選び、◉を押す。

移動したデータは、移動元から消去されます。

- 登録先の切替：✉（押すたびに「 」⇔「▣」切替）

3 フォルダを選び、◉を押す。

アドレス帳を転送する

メモリカードに一括転送する

V403SHのアドレス帳に登録したデータを、メモリカードに一括転送します。
●ご利用の前に、「データ転送時のご注意」(☞P.10-35)をご確認ください。

メニュー ▶ メモリカード

1 「9アドレス帳一括転送」を選び、●を押す。

2 「1メモリカードへ保存」を選び、●を押す。
●転送中は、着信できません。

3 操作用暗証番号(4ケタ)を入力する。

4 「1YES」を選び、●を押す。
メモリカードへの一括転送が完了すると、アドレス帳一括転送の画面に戻ります。
■ 一括転送の中止:O(キャンセル)

注意
●指定着信音やメールコールに登録されているメロディは一括転送できません。
●アドレス帳のフォト設定やオプション設定の内容は転送されません。

メモリカードから読み込む

●メモリカードからデータを読み込むと、V403SH内のアドレス帳は消去されます。
●ご利用の前に、「データ転送時のご注意」(☞P.10-35)をご確認ください。

メニュー ▶ メモリカード

1 「9アドレス帳一括転送」を選び、●を押す。

2 「2カードから読込み」を選び、●を押す。
●読み込み中は、着信できません。

3 操作用暗証番号(4ケタ)を入力する。
■ メモリカード内のファイルの消去:ファイル選択➡✉(消去)➡「1YES」選択➡●

4 ファイルを選び、●を押す。

5 「1YES」を選び、●を押す。

6 「1実行」を選び、●を押す。
読み込みが始まります。V403SHへの読み込みが完了すると、アドレス帳一括転送の画面に戻ります。
■ 読み込みの中止:O(キャンセル)

データ管理

電子ブックの利用

メモリカードに保存されている電子書籍用のデータフォーマット(XMDF形式やText形式)で作成されたデータ(電子ブック)を閲覧できます。電子ブックには通常の「**書籍データ**」と、言葉の意味などを検索できる「**辞書データ**」があります。
●電子ブックにご利用いただける書籍データの入手方法などについては、シャープオリジナルサイト「Space Town」(☞OP.8-2)でご案内しています。
●書籍データによっては、音声や画像が埋め込まれているデータがありますが、V403SHでは利用できないことがあります。
●メモリカードの取り扱いについては、P.10-30を参照してください。

書籍データを読む

メニュー ▶ メモリカード

1 「8電子ブック」を選び、●を押す。
電子ブックフォルダの書籍データのリスト画面が表示されます。
●前回☎を押して閲覧を終了していたときは、終了時のページが表示されます。
■ Vアプリ一時停止中:「1YES」選択➡●
■ 電子ブックフォルダ以外のフォルダ内の電子ブックの閲覧:✉(**メニュー**)➡「**表示フォルダ切替**」選択➡●➡フォルダ選択➡●
(次回からもここで選択したフォルダが表示されます。)
■ タイトルや著者などの情報表示:✉(**メニュー**)➡「**プロパティ**」選択➡●
▪確認の終了:上記操作のあとO(**戻る**)

2 書籍データを選び、●を押す。
●画面上部に表示される「○%」は、現在のページが書籍データ全体の何%ぐらいの位置にあたるかを示しています。
■ パスワードが必要なデータ:パスワード入力➡●

3 閲覧を終了するときは、クリアまたは☎を押す。
●クリアを押すと、書籍データのリスト画面に戻ります。
●画面下部左に「**リスト**」が表示されているときは、O(**リスト**)を押しても書籍データのリスト画面に戻ります。
●次回閲覧時に続きから読むときは、☎を押します。

10 データ管理

閲覧画面での基本操作

■ 横書きか、縦書きかによって操作が異なります。

	横書き	縦書き
ⓢ上	上にスクロール（行戻り）	前のページへ（ページ戻し）
ⓢ下	下にスクロール（行送り）	次のページへ（ページ送り）
ⓢ左	前のページへ（ページ戻し）	左にスクロール（行送り）
ⓢ右	次のページへ（ページ送り）	右にスクロール（行戻り）

閲覧画面でできること

■ データの先頭や最後に移動するときは、閲覧画面で次の操作を行います。

（メニュー）➡「先頭へ」／「最後へ」選択➡●

■ 先頭から おおよその位置を％で指定して移動するときは、閲覧画面で次の操作を行います。

（メニュー）➡「%指定移動」選択➡●➡位置（00～99%）入力➡●

■ 目次を利用し、読む章を表示するときは、閲覧画面で次の操作を行います。（目次に対応した書籍データで有効）

（メニュー）➡「目次」選択➡●➡章選択➡●

■ しおりの利用：☞P.10-39

■ 閲覧画面の表示方法を変更するときは、閲覧画面で次の操作を行います。

（メニュー）➡「表示設定」選択➡●➡項目選択➡●➡内容選択➡●

項目	内容	お買い上げ時の設定
文字サイズ設定	文字サイズを「小」または「中」に設定します。（閲覧画面で[スケジュール/メモ]を押すと、「小」⇔「中」の切り替えができます。）	中
縦横設定	縦書きと横書きを切り替えて表示します。	縦書き
ルビ表示	ルビを表示するかどうかを設定します。	OFF

●書籍データによっては、上記の表示設定が利用できないことがあります。

情報の利用／文字列のコピー

■ 書籍データ内に電話番号やE-mailアドレス、URLが入っているとき、これらの情報を利用できます。（電話発信、メール送信、インターネット接続）

情報選択➡●➡「1OK」選択➡●

●データの内容によっては、利用できないことがあります。

■ 書籍データ内の文字列（最大20文字）を、他の場所にコピーできます。

閲覧画面で（メニュー）➡「コピー」選択➡●➡P.4-17「コピー（複写）／カット（切り取り）／ペースト（貼り付け）を行う」操作3以降

マスク情報／ジャンプ情報について

■ 書籍データによっては、特定の文字列や画像を隠す情報（マスク情報）やコンテンツ内の他のページに移動する情報（ジャンプ情報）が埋め込まれていることがあります。

- マスク情報のON／OFFを切り替える部分で●を押すと、マスク情報の文字列や画像が表示されます。再度●を押すと、文字列または画像が表示されなくなります。
- ジャンプ情報が埋め込まれている部分で●を押すと、指定されているページに移動します。移動先のページで[o]（**戻る**）を押すと、元のページに戻ります。

しおりを利用する

読みかけのページにしおりを登録しておけば、次回簡単な操作で続きから閲覧できます。

●しおりは1書籍につき最大2個（最大5書籍）まで登録できます。

メニュー ▶ メモリカード ➡ 電子ブック ➡ 書籍データを閲覧する

1 しおりを登録するページで、（メニュー）を押す。

2 「1しおりをはさむ」を選び、●を押す。

3 「1しおり1」または「2しおり2」を選び、●を押す。

指定したページにしおりが登録されます。

自動しおりについて

■ 書籍データの閲覧を終了すると、自動的に最後に表示していたページにしおりが登録されます。（自動しおり1）
次に同じ書籍データの閲覧を行い終了すると、最後に表示していたページが自動しおり1に登録され、前回の自動しおり1は自動しおり2に登録されます。

- 自動しおりは1書籍につき最大2個まで登録され、古いものから順に自動的に消去されます。

しおりを登録したページを表示する

■ 閲覧画面で、次の操作を行います。

（メニュー）➡「しおりへ移動」選択➡●➡「しおり1」／「しおり2」／「自動しおり1」／「自動しおり2」選択➡●

10 データ管理

辞書データを利用する

文字列の検索 辞書データを利用して言葉の意味などを検索し、検索結果を表示できます。

メニュー ▶ メモリカード ➡ 電子ブック ➡ 辞書を選ぶ

検索文字列の入力欄選択➡◉➡文字列入力➡◉

- 検索結果画面から情報を選び、◉を押すと、辞書データの項目が表示されます。
- 項目画面での操作は、閲覧画面での基本操作（☞P.10-38）を参考にしてください。

辞書データ／書籍データの情報の確認 辞書データや書籍データの情報を確認します。

メニュー ▶ メモリカード ➡ 電子ブック

データ選択➡✉（メニュー）➡「プロパティ」選択➡◉

- 情報の続きの確認：上記操作のあと◎（◎：前の行に戻る）
- 書籍データのリスト画面に戻る：上記操作のあと◙（戻る）➡クリア

赤外線通信

赤外線通信をご利用になる前に

赤外線通信機能を搭載したボーダフォン携帯電話などとの間でデータを送受信できます。

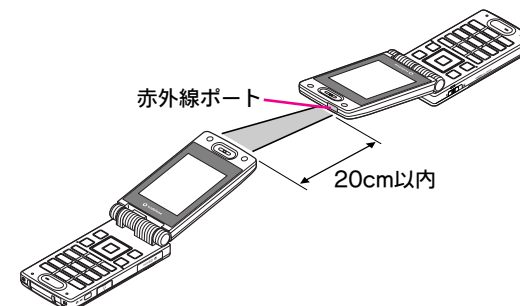
●V403SHの赤外線通信機能は、IrMC1.1に準拠しています。
ただし、機能によっては、相手側の機器がIrMC1.1に準拠していても、送受信できないデータがあります。
●通信中やメールの送受信中、ウェブ利用中に、赤外線通信はできません。
●赤外線通信機能を利用中は、自動的にオフラインモード（☞P.3-7）に設定されます。
そのため、着信、通話、ウェブ、メールやデータの編集中などには利用できません。
赤外線通信が終了すると、自動的にオフラインモードは解除されます。

送受信できるデータ

機能	1件	全件	備考
アドレス帳	○	○	フォトに設定されている画像、指定着信音、メールコール、メールフォルダは送受信できません。 また、1件送受信では、グループ指定、シークレット設定も送受信できません。 ※全件送信すると、オーナー情報（お客様の電話番号を除く）も送信されます。
データフォルダ	○	×	ピクチャーフォルダ内のJPEGファイル／PNGファイル、アニメーションフォルダ内のE-アニメータファイル（NEVAファイル）だけ送受信できます。ただし、著作権で保護されているファイルは送受信できません。
デジタルカメラデータ	○	×	700KバイトまでのDCF形式のファイルが送受信できます。

注意
●40Kバイトを超えるファイルは送受信できません。（デジタルカメラデータを除く）
●受信側の機種によっては、画像が表示できないことがあります。

赤外線通信利用時のご注意

●受信側、送信側のボーダフォン携帯電話を、20cm以内に近づけます。このとき、両方の赤外線ポートがまっすぐに向き合うようにします。また、間に物を置かないようにしてください。

●データの送受信が終わるまで、お互いの赤外線ポートが向き合ったままにして動かさないでください。
●直接日光があたっている場所や蛍光灯の真下、赤外線装置の近くでは、これらの影響によって正常に通信できないことがあります。
●赤外線ポートが汚れていると通信しにくくなります。汚れているときは、傷つかないように柔らかい布でふき取ってください。

補足
正常に通信できないときは、再接続の確認画面が表示されます。上記の注意を確認したあと、再接続してください。（「1YES」を選び、●を押します。）

認証パスワード設定

「認証パスワード」は赤外線通信のための専用パスワードです。データの全件送受信では、受信側／送信側とも同じ認証パスワードを入力する必要があります。
この認証パスワードは、はじめて赤外線受信するときなどに表示される、認証パスワード入力画面で入力すると自動的に設定されます。設定された認証パスワードは、次の操作で変更できます。
●同様の操作で、一度設定した認証パスワードを変更することもできます。

メニュー ▶ オススメ（0） ➡ 赤外線通信 ➡ 認証パスワード設定

1 **操作用暗証番号（4ケタ）を入力する。**

2 **認証パスワード（4ケタ）を入力する。**
認証パスワードが設定され、赤外線通信の画面に戻ります。

補足
はじめて赤外線受信する前にこの操作を行うと、あらかじめ認証パスワードを設定しておくことができます。このときは、次に赤外線受信しても、認証パスワードの入力画面は表示されません。

赤外線通信の利用

データを１件ずつ送受信する

データを１件ずつ送信する

● １件データ送信は、各機能（☞P.11-2）の画面で行います。

1 各機能のリスト画面で、送信するデータを表示する。
●アドレス帳は、各詳細画面からでも操作できます。

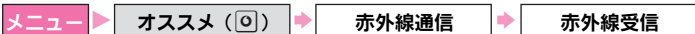
2 ◉（メニュー）または▢（メニュー）を押す。

3 「赤外線１件送信」を選び、◉を押す。
オフラインモードに設定され、タイトルの入力画面が表示されます。
●オフラインモードに設定できなかったときは、各機能のリスト画面に戻ります。

4 タイトルを修正し、◉を押す。
●タイトルを変更しないときはそのまま◉を押してください。タイトルを修正しても、元のデータ名は変更されません。

5 受信側を待機状態にする。

6 15秒以内に、「1YES」を選び、◉を押す。
送信が始まります。送信完了後、各機能のリスト画面に戻ります。

データを１件ずつ受信する

メニュー ▶ オススメ（O） ➡ 赤外線通信 ➡ 赤外線受信

1 操作用暗証番号（４ケタ）を入力する。
データ受信の待機状態になります。30秒以内に送信側からデータが送信されると、自動的に受信が始まり、登録の確認画面が表示されます。
■ 受信の中止：O（中止）
■ 受信の強制終了：▢

補足
認証パスワードの入力画面が表示されたとき
●認証パスワード（お好みの４ケタの数字）を入力してください。
●一度入力した認証パスワードは自動的にV403SHに設定されますが、状況に応じて変更することができます。（☞P.11-3）
●認証パスワードを間違えたときは、赤外線通信画面に戻ります。

2 「1YES」を選び、◉を押す。
データ登録完了後、赤外線通信の画面に戻ります。
■ 登録しない：「2NO」選択➡◉➡「1YES」選択➡◉

データを全件送受信する

●全件データの送受信には、「暗証番号」と「認証パスワード」の入力が必要です。
■「**暗証番号**」は、V403SHに設定した４ケタの操作用暗証番号（☞P.1-27）です。
■「**認証パスワード**」は、赤外線通信のための専用パスワードです。（☞P.11-3）
受信側の認証パスワードを設定しておくこともできます。

アドレス帳を全件送信する

メニュー ▶ オススメ（O） ➡ 赤外線通信

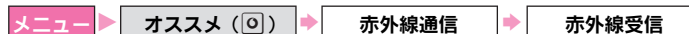
1 「1アドレス帳一括送信」を選び、◉を押す。
オフラインモードに設定されます。
●オフラインモードに設定できなかったときは、赤外線通信の画面に戻ります。

2 操作用暗証番号（４ケタ）を入力する。

3 受信側を待機状態にする。

4 認証パスワード（４ケタ）を入力する。

5 15秒以内に、「1YES」を選び、◉を押す。
送信が始まります。送信完了後、赤外線通信の画面に戻ります。

アドレス帳を全件受信する

メニュー ▶ オススメ（O） ➡ 赤外線通信 ➡ 赤外線受信

1 操作用暗証番号（４ケタ）を入力する。
データ受信の待機状態になります。30秒以内に送信側からデータが送信されると、自動的に受信が始まり、登録の確認画面が表示されます。
■ 受信の中止：O（中止）
■ 受信の強制終了：▢
■ 認証パスワードの入力画面表示時：☞P.11-4

2 ***追加登録する***
1「1追加登録」を選び、◉を押す。
受信が始まります。受信完了後、赤外線通信の画面に戻ります。

すべてのデータを消して登録する
1「2全消去して登録」を選び、◉を押す。
2「1YES」を選び、◉を押す。
受信が始まります。受信完了後、赤外線通信の画面に戻ります。

注意
アドレス帳を全件受信するときにすべてのデータを消して登録すると、お客様の電話番号以外のオーナー情報は、消去されます。（オーナー情報が送信されてきたときは、その内容が登録されます。）

MEMO

セキュリティ機能

操作用暗証番号の変更

現在使用している操作用暗証番号を新しい番号に変更します。
- 交換機用暗証番号は、変更できません。

メニュー ▶ ファンクション ➡ 管理機能 ➡ 暗証番号変更

1 現在の操作用暗証番号（4ケタ）を入力する。

■ 操作用暗証番号：☞P.1-27
- 操作用暗証番号を間違えたときは、待受画面に戻ります。

2 新しい操作用暗証番号（4ケタ）を入力する。

3 もう一度、新しい操作用暗証番号（4ケタ）を入力する。

新しい操作用暗証番号を間違えたときは、待受画面に戻ります。

無断利用の防止

V403SHの操作を禁止する（ダイヤル操作禁止）

操作用暗証番号を入力しないと、V403SHを操作できないようにします。

メニュー ▶ ファンクション ➡ 管理機能 ➡ ダイヤル操作禁止

1 操作用暗証番号（4ケタ）を入力する。

「🔒」が表示され、ダイヤル操作禁止が設定されます。

ダイヤル操作禁止設定中にできること

■ 待受中
- ☎長押し（電源のON／OFF）、●長押し（誤動作防止の設定／解除）、0～9／クリア（操作用暗証番号入力／入力中の消去）
- 緊急ダイヤル通話（110、119）、海上保安庁への緊急通報（118）

■ 通話中
- ☎（終話）、↶（開始／オプションサービスの割込通話サービス利用時の通話切替）、0～9／クリア（操作用暗証番号入力／入力中の消去）

■ 着信中
- ↶やエニーキーアンサーの各ボタン（☞P.2-6）で電話に出る、●☎（着信中の着信手動転送）、☎（応答保留）

補足 ダイヤル操作禁止設定中の「110 」などの緊急電話発信については、P.2-3を参照してください。

ダイヤル操作禁止を解除する

1 操作用暗証番号（4ケタ）を入力する。

「🔒」が消え、ダイヤル操作禁止が解除されます。
- 通話中でも同様の操作で解除できます。
- 電源を切ってもダイヤル操作禁止は解除されません。

電源を入れるたびにダイヤル操作禁止を設定する（簡易ロック）

メニュー ▶ ファンクション ➡ 管理機能 ➡ 簡易ロック

1 操作用暗証番号（4ケタ）を入力する。

2「1ON」を選び、●を押す。

- このあと電源を切ると、電源を入れるたびにダイヤル操作禁止が設定されます。

補足 簡易ロック設定中の「110 」などの緊急電話発信については、P.2-3を参照してください。

簡易ロックを解除する

ダイヤル操作禁止を解除したあと（☞上記）、次の操作を行います。

メニュー ▶ ファンクション ➡ 管理機能 ➡ 簡易ロック

1 操作用暗証番号（4ケタ）を入力する。

2「2OFF」を選び、●を押す。

アドレス帳の使用を禁止する（メモリ使用禁止）

アドレス帳を誤って削除したり、他人が使用できないようにします。

メニュー ▶ ファンクション ➡ 管理機能 ➡ メモリ使用禁止

1 操作用暗証番号（4ケタ）を入力する。

2「1ON」を選び、●を押す。

■ メモリ使用禁止の解除：「2OFF」選択➡●

注意
- メモリ使用禁止設定中は、次の機能は利用できません。
  - ■アドレス帳の検索、登録、修正、発信［スピードダイヤルでの発信（☞P.5-14）も含む］
  - ■アドレス帳やオーナー情報を使ったバーコード作成（☞P.13-34）

ダイヤルボタンでの発信を禁止する（ダイヤル禁止）

 ▶ ファンクション ▶ 管理機能 ▶ ダイヤル禁止

1 操作用暗証番号（4ケタ）を入力する。

2 「1ON」を選び、◉を押す。

■ ダイヤル禁止の解除：「2OFF」選択➡◉

ダイヤル禁止設定中の「110」などの緊急電話発信については、P.2-3を参照してください。

電話の着信制限

相手を限定して電話を受けたり、特定の相手からの電話を受けられないようにします。

指定着信許可	登録した電話番号からの着信に限りつながります。それ以外の相手には、話中音が流れます。
指定着信拒否	登録した電話番号からの着信は受けつけず、相手には話中音が流れます。

- 着信拒否した電話は、不在時のお知らせ（☞P.2-15）で「不在着信：○件」と表示され、着信履歴には「着信拒否」として記憶されます。
- 電話番号を通知してきた相手に限り有効となります。
- 非通知や公衆電話からの着信拒否もできます。（☞P.12-6）
- 指定着信許可と指定着信拒否は、同時には設定できません。

着信許可／拒否の電話番号を登録する

- 着信許可リスト／着信拒否リストに電話番号を登録したあと「指定着信許可」または「指定着信拒否」を「ON」にすると、それぞれの機能が有効となります。
- 着信許可または着信拒否の相手先は、最大10件まで登録できます。

メニュー ▶ ファンクション ▶ 管理機能

1 ***着信許可の相手先を登録する***

1「5指定着信許可」を選び、◉を押す。

2 操作用暗証番号（4ケタ）を入力する。

着信拒否の相手先を登録する

1「6指定着信拒否」を選び、◉を押す。

2 操作用暗証番号（4ケタ）を入力する。

3「1電話番号指定」を選び、◉を押す。

2 「3リスト登録」を選び、◉を押す。

登録済の相手先があるときは、名前または電話番号が表示されます。

■ 相手先の消去：番号選択➡（消去）➡「1YES」選択➡◉

3 登録先番号を選び、◉を押す。

- 新規に登録するときは、「-----------------」が表示されている番号を選んでください。

4 電話番号を入力する。

■ アドレス帳の利用：☞P.5-11操作1～3

5 ◉を押す。

直接電話番号を入力したときは電話番号が、アドレス帳から選んだときは名前が表示されます。（アドレス帳に登録している電話番号と同じ番号を直接入力しても、登録している名前は表示されません。）

- 続けて他の相手先を登録するときは、操作3～5をくり返します。

指定した電話番号の着信を許可する（指定着信許可）

- あらかじめ、着信許可リストに相手先の電話番号を登録しておいてください。（☞P.12-4）
- 指定着信拒否を「ON」にしているときは、利用できません。

メニュー ▶ ファンクション ▶ 管理機能 ▶ 指定着信許可

1 操作用暗証番号（4ケタ）を入力する。

2 「1ON」を選び、◉を押す。

■ 指定着信許可の解除：「2OFF」選択➡◉

指定した電話番号の着信を拒否する（指定着信拒否）

- あらかじめ、着信拒否リストに相手先の電話番号を登録しておいてください。（☞P.12-4）
- 指定着信許可を「ON」にしているときは、利用できません。

メニュー ▶ ファンクション ▶ 管理機能 ▶ 指定着信拒否

1 操作用暗証番号（4ケタ）を入力する。

2 「1電話番号指定」を選び、◉を押す。

3 「1ON」を選び、◉を押す。

■ 指定着信拒否の解除：「2OFF」選択➡◉

非通知の電話／公衆電話からの着信を拒否する

着信があると、着信音を鳴らさずに着信応答し、おことわりのメッセージを流します。

メニュー ▶ ファンクション ▶ 管理機能 ▶ 指定着信拒否

1 **操作用暗証番号（4ケタ）を入力する。**

2 **「②非通知拒否」または「③公衆電話拒否」を選び、◉を押す。**

3 **「①ON」を選び、◉を押す。**

■ 着信拒否の解除：「②OFF」選択➡◉

シークレットデータの確認

シークレットデータとして登録したアドレス帳は、シークレットモードでだけ確認や編集が行えます。

シークレットモードを設定する

メニュー ▶ ファンクション ▶ 管理機能

1 **「②シークレットモード」を選び、◉を押す。**

2 **操作用暗証番号（4ケタ）を入力する。**

「⚷」が表示され、シークレットモードが設定されます。

電源を切るとシークレットモードは解除されます。

シークレットモードを解除する

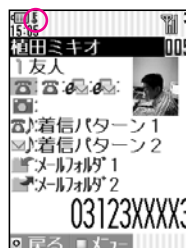
メニュー ▶ ファンクション ▶ 管理機能

1 **「②シークレットモード」を選び、◉を押す。**

「⚷」が消え、シークレットモードが解除されます。

シークレットデータを呼び出す

シークレットモードに設定し、通常のアドレス帳と同様に呼び出します。

- 通常のアドレス帳は「⚷」が点灯し、シークレットデータは「⚷」が点滅します。
- シークレットデータの修正／削除なども、通常のアドレス帳と同様に行えます。

登録内容のリセット／消去

各機能の設定をお買い上げ時の状態に戻す（設定リセット）

お客様が設定されていた項目を、お買い上げ時の状態に戻します。

- アドレス帳などの登録内容は消去されません。
- お買い上げ時の状態に戻る項目は、P.16-2～P.16-5を参照してください。

メニュー ▶ ファンクション ▶ 管理機能 ▶ 設定リセット

1 **操作用暗証番号（4ケタ）を入力する。**

2 **「①実行」を選び、◉を押す。**

■ 設定リセットの取消：「②キャンセル」選択➡◉

アドレス帳などの登録内容を消去する（オールリセット）

操作用暗証番号以外の登録内容（アドレス帳やオリジナル着信音など）や履歴などのデータ（メール、ウェブを含む）をすべて消去し、お買い上げ時の状態に戻します。

メニュー ▶ ファンクション ▶ 管理機能 ▶ オールリセット

1 **操作用暗証番号（4ケタ）を入力する。**

2 **「①実行」を選び、◉を押す。**

■ オールリセットの取消：「②キャンセル」選択➡◉

一度、オールリセットで消去された登録内容や履歴などのデータは、元に戻すことはできません。

通話時の便利な機能

電波が弱いことをお知らせする（通話品質アラーム）

電波状況などにより、通話が途中で切れてしまう恐れがあるときは、アラーム音でお知らせします。

●お買い上げ時には、「OFF」に設定されています。

メニュー ▶ ファンクション ➡ 表示／設定１ ➡ 通話品質アラーム

1 「1ON」を選び、●を押す。

■ 通話品質アラームの解除：「2OFF」選択➡●

注意 「ON」にしていても、急に通話品質が悪くなったときは、アラーム音が鳴らずに通話が切れてしまうことがあります。

プッシュトーンを送る

通話中にV403SHからプッシュトーンを送ることでV403SHからポケットベルに文字メッセージを送ったり、自宅の留守番電話を遠隔操作することができます。

アドレス帳に登録した番号を一括して送る

よく送るポケットベルのメッセージなどを登録しておくと便利です。

●あらかじめアドレス帳にプッシュトーンを登録しておいてください。（☞P.5-4）

●この方法で送るときは、アドレス帳の「☎:」には送りたいプッシュトーンだけを登録してください。電話番号を登録すると正しく送信できません。

1 相手とつながったあと、プッシュトーンを登録したアドレス帳を呼び出す。（☞P.5-11操作１～３）

2 ●を押す。

3 「PB一括送信」を選び、●を押す。

補足 プッシュトーンに「P」（ポーズ）を入力すると、「P」までのプッシュトーンを一区切りとして送信します。「P」以降のプッシュトーンを送信するときは、（PB送信）を押します。

ダイヤルボタンを押して送る

電話をかけ、相手とつながったあと、ダイヤルボタンを押してプッシュトーンを送ります。

1 相手とつながったあと、送りたい番号を押す。

●アナウンスやアラーム音などに従って、ダイヤルボタンを押してください。詳しくは、接続先の機器やサービスの取扱説明書などを参照してください。

●送ることのできるプッシュトーンは「0」～「9」、「*」、「#」です。

2 （PB送信）を押す。

サイドキー設定

着信時のサイドボタンの動作を設定する

着信中に、V403SHを閉じたまま S を長く（１秒以上）押したときの動作を設定します。

設定できる動作は、次のとおりです。

応答保留	かかってきた電話を受け、保留にします。
クイックサイレント	着信音を一時的にサイレントにします。
着信拒否	かかってきた電話を受けずに切ります。
簡易留守録	簡易留守録で応答します。
留守電センター転送	留守番電話センターに転送します。

●お買い上げ時には、「**簡易留守録**」に設定されています。

メニュー ▶ ファンクション ➡ 表示／設定１ ➡ サイドキー設定

1 「1着信時」を選び、●を押す。

2 動作を選び、●を押す。

待受時のサイドボタンの動作を設定する

待受中に、V403SHを閉じたまま S を長く（１秒以上）押したときの動作を設定します。

設定できる動作は、次のとおりです。

詳細表示	サブディスプレイに着信の種類に応じたマークを表示します。
マナーモード	マナーモードを設定します。
ボイスレコーダー（着信有）	ボイスレコーダーを起動します。再度 S を押すと録音が始まります。録音中に S を押すと、録音を終了し、音声を登録します。（この設定にすると、録音中にも着信します。）
ボイスレコーダー（着信無）	ボイスレコーダーを起動します。再度 S を押すと録音が始まります。録音中に S を押すと、録音を終了し、音声を登録します。（この設定にすると、録音中には着信しません。）
ワンショットメール	あらかじめ登録しておいたスカイメールを送信します。
OFF	何も動作しません。（サブディスプレイは点灯します。）

●お買い上げ時には、「**詳細表示**」に設定されています。

メニュー ▶ ファンクション ➡ 表示／設定１ ➡ サイドキー設定

1 「2待受時」を選び、●を押す。

2 動作を選び、●を押す。

■ 動作の解除：「6OFF」選択➡●

簡易留守録

簡易留守録を設定する

電話を受けられないとき、相手のメッセージを録音します。

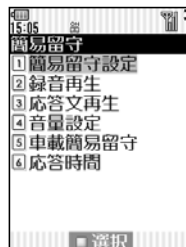
●簡易留守録は電源が切れているときやオフラインモードのとき、「圏外」が表示されているときは使用できません。このときは、オプションサービスの留守番電話サービス（☞P.14-4）をご利用ください。

●簡易留守録で録音できるのは、音声メモやマイボイスメモ（☞P.13-6）と合わせて20件まで、または約90秒です。

メニュー ▶ 電話 ▶ 簡易留守

1 「1簡易留守設定」を選び、◉を押す。

録音可能秒数が表示され、簡易留守録が設定されます。（設定完了後、「留」が表示されます。）

- 応答文再生：「3応答文再生」選択➡◉
  - ■再生の停止：再生中に◉
- 留守録応答／録音中の受話音量の変更：「4音量設定」選択➡◉➡「1受話音量連動」（お買い上げ時）／「2サイレント」選択➡◉

簡易留守録が設定できない状態

■ マナーモード設定中は、簡易留守録の設定／解除はできません。マナーモードを解除してください。

■ 録音できる時間が４秒以下のときや、すでに20件録音されているときは、簡易留守録に設定できません。不要なメッセージを消去してください。（☞P.13-6）

応答時間を変更する

■ 電話がかかってきてから簡易留守録が応答するまでの時間を、0～59秒の間で設定します。

◉➡「電話」選択➡◉➡「7簡易留守」選択➡◉➡「6応答時間」選択➡◉➡設定時間入力（00～59秒）➡◉

- ■着信音を鳴らさずに簡易留守録で応答：設定時間「00」入力➡◉
- ●お買い上げ時には、「９秒」に設定されています。

■ 簡易留守録をオプションサービスの留守番電話サービス、または転送電話サービスと合わせてご利用になるときは、設定されている呼出時間の短い機能が優先されます。また、簡易留守録を優先していても、録音件数が一杯になると、留守番電話サービスや転送電話サービスが優先されます。

シガーライター充電器に接続すると（車載簡易留守）

■ シガーライター充電器に接続すると、安全運転のため自動的に簡易留守録に設定されます。車載簡易留守の設定を解除するときは、次の操作を行います。

◉➡「電話」選択➡◉➡「7簡易留守」選択➡◉➡「5車載簡易留守」選択➡◉➡「2OFF」選択➡◉

簡易留守録を設定すると

■ 着信があると、相手に応答文が流れたあと録音が始まります。

- ●録音中にV403SHを閉じても、録音は止まりません。
- ●録音中に電話に出るときは↖を押します。（録音内容は残りません。）

■ 録音が終わると、「留」が表示されます。

■ 録音後、簡易留守録が設定できない状態（☞P.13-4）になったときは、簡易留守録は自動的に解除され、「留」が消えます。（「留」は用件を消去するまで表示したままです。）

簡易留守録を設定していないときの操作

■ 着信中に次の操作を行うと、応答文が流れたあと、録音が始まります。このときは、その着信に限り留守録音します。（簡易留守録は「OFF」のままです。）

◉➡ 文字

- ■サイドキー設定の着信時の動作（☞P.13-3）を「4簡易留守録」にしているときは、着信中にSを長く（１秒以上）押すと、応答文が流れたあと録音が始まります。（V403SHを閉じているときだけ）
- ●簡易留守録が設定できない状態（☞P.13-4）のときは、不要なメッセージを消去してください。（☞P.13-6）

簡易留守録を解除する

メニュー ▶ 電話 ▶ 簡易留守

1 「1簡易留守設定」を選び、◉を押す。

簡易留守録が解除され、「留」が消えます。

録音された用件を聞く

メニュー ▶ 電話 ▶ 簡易留守

1 「2録音再生」を選び、◉を押す。

録音件数表示後、新しいものから順に再生されます。最後の用件を再生し終わると、自動的に止まり、待受画面に戻ります。

- 再生途中の停止：再生中に◎

補足 再生中に電話がかかってくると、再生は自動的に停止します。電話に出るときは、↖を押してください。

■再生中にできること（例：３件録音されているとき）

再生中に次の用件を聞く	再生中の用件の頭に戻す	再生中の１つ前の用件に戻す
再生中に◎を押す。	再生中に◎を押す。	再生中に◎を２回押す。
３件目 ２件目 １件目（再生→ 再生→）	３件目 ２件目 １件目（再生→ 再生→）	３件目 ２件目 １件目（再生→ 再生→）

用件を消去する

■ 再生中に、次の操作を行います。

クリア➡「1YES」選択➡◉

●次の用件が録音されているときは、続けて再生されます。用件をすべて消去すると、「」が消えます。

通話内容やお客様の声を録音する

通話中の相手の声（音声メモ）や、待受中のお客様の声（マイボイスメモ）を録音します。

●音声メモでは、お客様の声は録音されません。

●録音できる時間は、簡易留守録（☞P.13-4）と合わせて最長約90秒です。
ただし、録音できる時間が４秒以下になったときや、用件やメモが20件録音されると、それ以上録音できなくなります。

●待受中に、長時間の音声を録音することもできます。（ボイスレコーダー：☞P.9-2）

1 音声メモを録音する

1 通話中に、スケジュール/メモを長く（１秒以上）押す。

録音が始まります。

マイボイスメモを録音する

1 待受中に、スケジュール/メモを長く（１秒以上）押す。

2「1マイボイスメモ」を選び、◉を押す。

録音が始まります。

●送話口に向かってお話しください。送話口からの距離の目安は、５～10cm位です。

2 録音を終了するときは、◉またはスケジュール/メモを押す。

補足

●クローズ終話設定（☞P.2-3）を「ON」にしているとき、音声メモ録音中にV403SHを閉じると、電話が切れ、録音も終わります。
（このときは、残りの録音可能時間は表示されません。）

●マイボイスメモを録音中に電話がかかってくると、録音は中止されます。このときは、エニーキーアンサーの各ボタン（☞P.2-6）で電話に出ることができます。（途中までの録音は保存されています。）

補足

●電源を切っても録音内容は消去されません。

●マイボイスメモの再生方法や消去方法は、簡易留守録と同様です。（☞P.13-5、上記）

アラーム

アラームを設定する

あらかじめ指定した時刻にアラームを鳴らしお知らせします。
毎日または、指定した曜日にだけアラームを鳴らすこともできます。

●最大５件まで登録できます。

●アラーム時刻に、メッセージや電話番号を表示できます。また、アラーム音の鳴動時間／音量／種類／ランプ／バイブ設定なども変更できます。

メニュー ▶ ファンクション ➡ 時計／アラーム機能 ➡ リピートアラーム設定

1 番号を選び、◉を押す。

●新規に登録するときは、「--------------」が表示されている番号を選んでください。

2「2時刻入力」を選び、◉を押す。

3 アラームの時刻を入力し、◉を押す。

●時刻は24時間制で、必ず入力してください。

●このあと、アラーム時刻の動作（アラーム音選択、バイブ設定、スヌーズ設定など）を設定することもできます。（☞P.13-9）

アラーム登録の画面

4「3リピート設定」を選び、◉を押す。

5 毎日アラームを鳴らす

1「1デイリー」を選び、◉を押す。

指定した曜日にアラームを鳴らす

1「2曜日設定」を選び、◉を押す。

2 曜日を選び、◉を押す。

曜日が指定され、「☑」が表示されます。

●すでに指定されている曜日を選び、◉を押すと、指定が解除されます。

3 2をくり返し、必要な曜日を指定する。

4 指定が終われば、◎（完了）を押す。

１回だけアラームを鳴らす（リピートOFF）

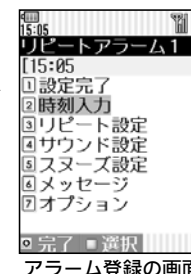
1「3OFF」を選び、◉を押す。

6 設定が終われば、◎（完了）を押す。

アラームが設定されます。

●続けて他の時刻にアラームを設定するときは、操作１～６をくり返します。

7 終了するときは、を押す。

待受画面に戻り、「」が表示されます。予告アラーム（☞P.13-9）を設定したときは、リピートアラーム設定画面に「」（青）が表示されます。

アラーム時刻になると

アラーム設定の内容に従って、アラーム音やバイブレータが動作します。

- マイキャラクタを設定しているときは、キャラクタが表示されます。また、画像付きSMAFファイルをアラーム音に設定しているときは、SMAFファイルの画像が優先して表示されます。

アラーム音を止める

■ アラーム音が鳴っているときに、次の操作を行います。

　[終話]／[S]

- エニーキーアンサーの各ボタン（☞P.2-6）を押しても止まります。

スヌーズ設定時の動作について

■ 設定したスヌーズ間隔で、アラーム音がくり返し鳴ります。

- [終話]を押してアラーム音を止めても、スヌーズは解除されません。（スヌーズ待機状態）
- 着信があったときは、電話を受けることができます。通話終了後[終話]を押すと、スヌーズ待機状態に戻ります。

■ スヌーズを解除するときは、スヌーズ待機状態で次の操作を行います。

　エニーキーアンサーの各ボタン➡「[1]YES」選択➡[●]

- スヌーズ開始から60分経過すると、スヌーズは自動的に解除されます。

電話番号表示設定時の動作について

■ 電話番号または相手の名前が表示されます。アラーム音停止後に次の操作を行うと、表示された相手先へ電話をかけられます。

　電話番号表示➡[発信]（発信）

- スヌーズを設定しているときは、スヌーズを解除したあと操作してください。

■ 電話番号表示を消すときは、[発信]を押さずに[終話]を押します。

メール予約設定時の動作について

■ メールアドレスまたは相手の名前が表示されます。アラーム音停止後に次の操作を行うと、表示された相手先へメールを送信できます。

　宛先表示➡[メール]（メニュー）➡「[2]メール送信」選択➡[●]➡[メール]（送信）

- スヌーズを設定しているときは、スヌーズを解除したあと操作してください。

注意

- あらかじめ登録していたメッセージや電話番号を表示しているときに、別のアラーム設定時刻になっても、メッセージや電話番号の表示を消すまでアラームは動作しません。
- 通話中にアラーム時刻になっても、アラームは動作しません。このときは、通話終了後にアラームが動作します。

補足

サブディスプレイにアラームの画面が表示されているときに、[S]を押すと、登録されているメッセージや電話番号がサブディスプレイに流れます。このあと[S]を長く（1秒以上）押すと、待受画面に戻ります。（スヌーズ設定時を除く）

アラーム時刻の動作を設定する

- 以下の操作（「**アラーム音選択**」〜「**メール予約**」）は、**P.13-7**操作3のあとのアラーム登録の画面で行います。操作後、アラーム登録の画面に戻りますので、他の設定を行い、アラーム設定を完了してください。

項目		内容
アラーム音選択		アラーム音の種類を設定します。
		「[4]**サウンド設定**」選択➡[●]➡「[1]**アラーム音選択**」選択➡[●]➡アラーム音の種類選択➡[●]➡アラーム音選択➡[●]➡[o]（**戻る**） ● アラーム音の選択方法は、着信パターンと同様です。（☞**P.8-3**）
アラーム音量調節		アラーム音の音量を調節します。
		「[4]**サウンド設定**」選択➡[●]➡「[2]**アラーム音量調節**」選択➡[●]➡[◇]（音量調節）➡[●]➡[o]（**戻る**） ● マナーモード設定中は、マナー設定変更の設定（☞**P.3-4**）が優先されます。
鳴動時間		アラームを何秒間鳴らすかを設定します。
		「[4]**サウンド設定**」選択➡[●]➡「[3]**鳴動時間**」選択➡[●]➡時間入力（02〜99秒）➡[●]➡[o]（**戻る**）
スヌーズ設定		アラーム動作後、一定の間隔でアラームをくり返し鳴らします。
		「[5]**スヌーズ設定**」選択➡[●]➡「[1]ON」選択➡[●]➡くり返す間隔入力（02〜20分）➡[●] ● スヌーズ設定を解除する：「[5]**スヌーズ設定**」選択➡[●]➡「[2]OFF」選択➡[●]
メッセージ		アラーム時刻に、メッセージを表示します。
		「[6]**メッセージ**」選択➡[●]➡メッセージ入力➡[●]
バイブ設定		バイブレータでお知らせするかどうかを設定します。
		「[7]**オプション**」選択➡[●]➡「[1]**バイブ設定**」選択➡[●]➡「[1]ON」／「[2]OFF」選択➡[●]➡[o]（**戻る**） ● バイブパターンは通常着信の設定と同じです。（☞**P.8-4**）
ランプ設定		ランプの種類や点灯方法を設定します。
	モバイルライト点灯	「[7]**オプション**」選択➡[●]➡「[2]**ランプ設定**」選択➡[●]➡「[1]**モバイルライト**」選択➡[●]➡カラーパターン選択➡[●]➡点滅パターン選択➡[●]➡[o]（**戻る**）
	スモールライト点灯	「[7]**オプション**」選択➡[●]➡「[2]**ランプ設定**」選択➡[●]➡「[2]**スモールライト**」選択➡[●]➡点滅パターン選択➡[●]➡[o]（**戻る**）
	ランプ点灯なし	「[7]**オプション**」選択➡[●]➡「[2]**ランプ設定**」選択➡[●]➡「[3]OFF」選択➡[●]➡[o]（**戻る**）
予告アラーム設定		アラーム時刻前にアラームが鳴るように設定します。
		「[7]**オプション**」選択➡[●]➡「[3]**予告アラーム設定**」選択➡[●]➡「[1]ON」選択➡[●]➡予告時間入力（02〜99分前）➡[●]➡[o]（**戻る**） ● 予告アラーム設定を解除する：「[7]**オプション**」選択➡[●]➡「[3]**予告アラーム設定**」選択➡[●]➡「[2]OFF」選択➡[●]➡[o]（**戻る**）

電話番号	アラーム時刻に、電話番号を表示します。
	「7オプション」選択➡●➡「4電話番号」選択➡●➡電話番号入力➡●➡0（戻る） ●アラーム停止後、電話をかけることができます。 ●「メール予約」を設定しているときは、利用できません。 ●電話番号入力時に◎（📖）を押すと、アドレス帳を利用できます。
メール予約	アラーム時刻に、送信トレイに保存したメールを送信します。
	「7オプション」選択➡●➡「5メール予約」選択➡●➡送信メール選択➡●➡0（戻る） ●メール予約の取消：送信メール選択後✉（取消）➡0（戻る） ●「電話番号」を設定しているときは、利用できません。

アラームを解除する／再設定する

アラーム解除 設定したアラームを解除します。

メニュー ▶ ファンクション ➡ 時計／アラーム機能 ➡ リピートアラーム設定 ➡ 解除する番号を選ぶ

「2解除」選択➡●

- アラームが解除され、「🔔」や「🔔」が消えます。
- 解除しても登録内容は消えません。同じ内容でアラームを利用するときは、アラームの再設定を行ってください。

アラーム消去 設定したアラームを消去します。

メニュー ▶ ファンクション ➡ 時計／アラーム機能 ➡ リピートアラーム設定 ➡ 消去する番号を選ぶ

「3消去」選択➡●

アラーム再設定 解除したアラームを同じ内容で再設定します。また、一部を変更して設定することもできます。

メニュー ▶ ファンクション ➡ 時計／アラーム機能 ➡ リピートアラーム設定

アラームを再設定する

再設定する番号選択➡●➡「1設定」選択➡●➡0（完了）

アラーム内容を変更する

変更する番号選択➡●➡「1設定」選択➡●➡P.13-7操作2以降

自動電源ON／OFF

指定した時刻に電源を入れる（自動電源ON）

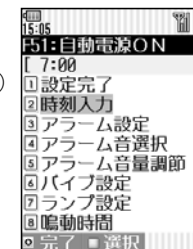
あらかじめ指定した時刻に、自動的にV403SHの電源を入れます。
- 自動電源ONを「ON」にすると、「OFF」にするまで、毎日同じ時刻に動作します。
- 自動電源ON動作時に、アラーム音を鳴らすこともできます。
- お買い上げ時には、「OFF」に設定されています。

メニュー ▶ ファンクション ➡ 時計／アラーム機能 ➡ 自動電源ON

1 「1ON」を選び、●を押す。
■ 自動電源ONの解除：「2OFF」選択➡●（操作完了）

2 「2時刻入力」を選び、●を押す。

3 自動電源ONの時刻を入力し、●を押す。
- 時刻は24時間制で入力します。
- このあと、アラームを設定することもできます。（☞P.13-12）

4 0（完了）を押す。

自動電源ON設定の画面

自動電源ONの設定時刻になると

■電源が切れていたとき

自動的に電源が入ります。「アラーム設定」を「ON」にしているときは、設定内容に従って、アラーム音やバイブレータ、ランプが動作します。
- マイキャラクタを設定しているときは、キャラクタが表示されます。また、画像付きSMAFファイルをアラーム音に設定しているときは、SMAFファイルの画像が優先して表示されます。

■電源が入っていたとき

「アラーム設定」を「ON」にしていたときは、設定内容に従って、アラーム音やバイブレータ、ランプが動作します。

通話中に自動電源ONの設定時刻になったときは、「アラーム設定」を「ON」にしていても、アラームは動作しません。このときは、通話終了後☎を押すとアラームが動作します。

アラーム音を止めるときは、☎／S／エニーキーアンサーの各ボタン（☞P.2-6）を押します。

アラームを設定する

- 以下の操作（「アラーム設定」〜「鳴動時間」）は、P.13-11操作３の自動電源ON設定の画面で行います。操作後、自動電源ON設定の画面に戻りますので、他の設定を行い、自動電源ONの設定を完了してください。
- 「アラーム設定」以外の操作は、「アラーム設定」を「ON」にしたあとで行います。

項目	内容
アラーム設定	自動電源ON設定時刻にアラームを動作させるかどうかを設定します。
	「3アラーム設定」選択➡◉➡「1ON」／「2OFF」選択➡◉
アラーム音選択	アラーム音の種類を設定します。
	「4アラーム音選択」選択➡◉➡アラーム音の種類選択➡◉➡アラーム音選択➡◉ ●アラーム音の選択方法は、着信パターンと同様です。（☞P.8-3）
アラーム音量調節	アラーム音の音量を調節します。
	「5アラーム音量調節」選択➡◉➡◎（音量調節）➡◉
バイブ設定	バイブレータでお知らせするかどうかを設定します。
	「6バイブ設定」選択➡◉➡「1ON」／「2OFF」選択➡◉ ●バイブパターンは通常着信の設定と同じです。（☞P.8-4）
ランプ設定	ランプの種類や点灯方法を設定します。
モバイルライト点灯	「7ランプ設定」選択➡◉➡「1モバイルライト」選択➡◉➡カラーパターン選択➡◉➡点滅パターン選択➡◉
スモールライト点灯	「7ランプ設定」選択➡◉➡「2スモールライト」選択➡◉➡点滅パターン選択➡◉
ランプ点灯なし	「7ランプ設定」選択➡◉➡「3OFF」選択➡◉
鳴動時間	アラームを何秒間鳴らすかを設定します。
	「8鳴動時間」選択➡◉➡時間入力（02〜99秒）➡◉

指定した時刻に電源を切る（自動電源OFF）

あらかじめ指定した時刻に、自動的にV403SHの電源を切ります。
- 自動電源OFFを「ON」にすると、「OFF」にするまで、毎日同じ時刻に動作します。
- お買い上げ時には、「OFF」に設定されています。

メニュー ▶ ファンクション ➡ 時計／アラーム機能 ➡ 自動電源OFF

1 「1ON」を選び、◉を押す。
　自動電源OFFの解除：「2OFF」選択➡◉（操作完了）

2 自動電源OFFの時刻を入力し、◉を押す。
- 時刻は24時間制で入力します。

自動電源OFFの設定時刻になると

自動的に電源が切れます。
- 通話中は通話終了後、メール作成中やカメラ撮影中などはすぐに電源OFFの確認画面が表示されます。
  - 約１分間何も操作せずそのままにしておくか、「1YES」を選び、◉を押すと電源が切れます。（編集中のデータは消去されます。）
  - 操作を継続するときは、「2NO」を選び、◉を押します。
- 送信予約メールを設定していても、電源OFFの確認画面は表示されずに電源が切れます。

スケジュール

日時の決まった予定（スケジュール）と、日時の決まっていない用件（アクションアイテム）の２種類の予定が登録できます。
- スケジュールは150件（１日最大20件）、アクションアイテムは50件まで登録できます。

スケジュール／アクションアイテムを登録する

スケジュールの登録

メニュー ▶ ツール ➡ スケジュール

1 スケジュール/メモ（新規スケジュール作成）を押す。
- 再度スケジュール/メモを押すと、カレンダー画面から月日が選べます。

スケジュール画面

2 日時を入力する。
- 西暦４ケタ、月日時分２ケタずつで入力します。
- 日時は必ず入力してください。

3 *１回だけの予定を登録する*

1 ◉を押す。

くり返しの予定を登録する

1 ◎（周期）を押す。

2 「2毎日○○：○○」〜「5毎年○○／○○」のいずれかを選び、◉を押す。
- 日時を29〜31日にして、「4毎月」を選んだとき、29〜31日が存在しない月では、スケジュールは設定されません。

3 くり返す回数（00〜99回）を入力し、◉を押す。
- 「5毎年」を選んだときは、くり返す回数は設定できません。
　くり返す回数変更：✉（回数）

4 ◉を押す。

4 「3スタンプ設定」を選び、◉を押す。

13 その他の機能

5 スタンプを選び、◉を押す。

6「4予定入力」を選び、◉を押す。

7 スケジュールの内容を入力し、◉を押す。

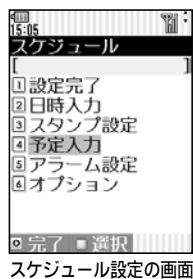
●最大全角60文字（半角120文字）まで入力できます。

●このあと、アラームを設定したり（☞P.13-15）、オプション機能を設定する（☞P.13-17）こともできます。

スケジュール設定の画面

8 設定が終われば、Ⓞ（完了）を押す。

●続けて他のスケジュールを登録するときは、操作1～8をくり返します。

●スケジュールを登録した日付のカレンダーに、アンダーラインが表示されます。スタンプを設定したときは、選んだスタンプが表示されます。

登録したスケジュール当日の表示について

■ まだ設定時刻になっていないスケジュールがあると、待受画面に「」（アラームONのとき）または「」（アラームOFFのとき）が表示されます。（その日の最後の予定の時刻が過ぎると消えます。）

アクションアイテムの登録

メニュー ▶ ツール ▶ スケジュール

1 文字（新規アイテム作成）を押す。

2 アクションアイテムの内容を入力して、◉を押す。

●最大全角60文字（半角120文字）まで入力できます。

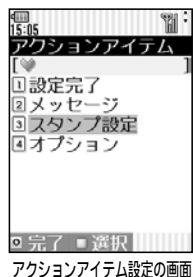
3「3スタンプ設定」を選び、◉を押す。

4 スタンプを選び、◉を押す。

●このあと、オプション機能を設定する（☞P.13-17）こともできます。

アクションアイテム設定の画面

5 設定が終われば、Ⓞ（完了）を押す。

●続けて他のアクションアイテムを登録するときは、操作1～5をくり返します。

アラームを設定する

アラーム設定 スケジュールの日時にアラームを鳴らします。

スケジュール設定の画面（☞P.13-14操作7のあとの画面）で「5アラーム設定」選択➡◉➡「1ON」選択➡◉

●アラーム設定の画面が表示されます。このあと、アラーム時刻やアラームの動作が設定できます。

●アラーム設定の画面でⓄ（戻る）を押すと、スケジュール設定の画面に戻ります。他の設定を行い、スケジュールの設定を完了してください。

アラームの動作を設定する

●以下の操作（「アラーム音選択」～「予告アラーム設定」）は、スケジュールのアラーム設定の画面で行います。操作後、アラーム設定の画面に戻りますので、他の設定を行い、スケジュール設定を完了してください。

項目	内容
アラーム音選択	アラーム音の種類を設定します。 「1サウンド設定」選択➡◉➡「1アラーム音選択」選択➡◉➡アラーム音の種類選択➡◉➡アラーム音の選択➡◉➡Ⓞ（戻る） ●アラーム音の選択方法は、着信パターンと同様です。（☞P.8-3）
アラーム音量調節	アラーム音の音量を調節します。 「1サウンド設定」選択➡◉➡「2アラーム音量調節」選択➡◉➡Ⓢ（音量調節）➡◉➡Ⓞ（戻る）
鳴動時間	アラームを何秒間鳴らすかを設定します。 「1サウンド設定」選択➡◉➡「3鳴動時間」選択➡◉➡時間入力（02～99秒）➡◉➡Ⓞ（戻る）
スヌーズ設定	アラーム動作後、一定の間隔でアラームをくり返し鳴らします。 「2スヌーズ設定」選択➡◉➡「1ON」選択➡◉➡くり返す間隔入力（02～20分）➡◉ ●スヌーズ設定を解除する：「2スヌーズ設定」選択➡◉➡「2OFF」選択➡◉
バイブ設定	バイブレータでお知らせするかどうかを設定します。 「3オプション」選択➡◉➡「1バイブ設定」選択➡◉➡「1ON」／「2OFF」選択➡◉➡Ⓞ（戻る） ●バイブパターンは通常着信の設定と同じです。（☞P.8-4）

13 その他の機能

ランプ設定	ランプの種類や点灯方法を設定します。
モバイルライト点灯	「③オプション」選択➡◉➡「②ランプ設定」選択➡◉➡「①モバイルライト」選択➡◉➡カラーパターン選択➡◉➡点滅パターン選択➡◉➡[o]（戻る）
スモールライト点灯	「③オプション」選択➡◉➡「②ランプ設定」選択➡◉➡「②スモールライト」選択➡◉➡点滅パターン選択➡◉➡[o]（戻る）
ランプ点灯なし	「③オプション」選択➡◉➡「②ランプ設定」選択➡◉➡「③OFF」選択➡◉➡[o]（戻る）
予告アラーム設定	設定時刻前にアラームが鳴るように設定します。
	「③オプション」選択➡◉➡「③予告アラーム設定」選択➡◉➡「②分単位設定」～「⑥月単位設定」選択➡◉➡予告設定（５分前や１週間前など）➡◉➡[o]（戻る） ●予告アラーム設定を解除する：「③オプション」選択➡◉➡「③予告アラーム設定」選択➡◉➡「①OFF」選択➡◉➡[o]（戻る）

アラーム時刻になると

「**アラーム設定**」を「ON」にしているときは、設定内容に従って、アラーム音やバイブレータが動作します。

- 「**アラーム設定**」を「OFF」にしているときは、何も動作を行いません。
- マイキャラクタを設定しているときは、キャラクタが表示されます。また、画像付きSMAFファイルをアラーム音に設定しているときは、SMAFファイルの画像が優先して表示されます。
- アラーム音の停止方法や、電話番号表示／メール予約／スヌーズ設定時の操作については、P.13-8を参照してください。

通話中にアラーム時刻になっても、アラームは動作しません。このときは、通話終了後に[終話]を押すとアラームが動作します。

サブディスプレイにアラームの画面が表示されているときに、[S]を押すと、登録されているメッセージや電話番号がサブディスプレイに流れます。このあと[S]を長く（１秒以上）押すと、待受画面に戻ります。（スヌーズ設定時を除く）

オプション機能を設定する

- 以下の操作（「**ピクチャーメモ設定**」～「**待受表示設定**」）は、P.13-14操作７のあとのスケジュール設定の画面、またはP.13-14操作４のあとのアクションアイテム設定の画面で行います。操作後、スケジュール設定の画面またはアクションアイテム設定の画面に戻りますので、他の設定を行い、スケジュール／アクションアイテムの設定を完了してください。

ピクチャーメモ設定（スケジュールだけ）	画像を設定し、開始日時に表示します。
	「⑥オプション」選択➡◉➡「①ピクチャーメモ設定」選択➡◉➡「②データフォルダ」選択➡◉➡フォルダ選択➡◉➡画像選択➡◉➡[o]（戻る） ●ピクチャーメモの解除：「⑥オプション」選択➡◉➡「①ピクチャーメモ設定」選択➡◉➡「③設定解除」選択➡◉➡[o]（戻る） ●「②データフォルダ」の代わりに「①モバイルカメラ」を選ぶと、静止画や動画を撮影して設定できます。
電話番号（スケジュールだけ）	アラーム時刻に、電話番号を表示します。
	「⑥オプション」選択➡◉➡「⑤電話番号」選択➡◉➡電話番号入力➡◉➡[o]（戻る） ●アラーム停止後、電話をかけることができます。 ●「**メール予約**」を設定しているときは、利用できません。 ●電話番号入力時に◎（📖）を押すと、アドレス帳を利用できます。
メール予約（スケジュールだけ）	アラーム時刻に、送信トレイに保存したメールを送信します。
	「⑥オプション」選択➡◉➡「⑥メール予約」選択➡◉➡送信メール選択➡◉➡[o]（戻る） ●メール予約の取消：送信メール選択後[✉]（**取消**）➡[o]（**戻る**） ●「**電話番号**」を設定しているときは、利用できません。
日付色設定（スケジュールだけ）	登録日のカレンダーに表示される色を設定します。
	「⑥オプション」選択➡◉➡「②日付色設定」選択➡◉➡カラー選択➡◉➡[o]（戻る） ●日付色を設定していても、「**表示切替**」が「**１週間詳細表示**」のときは、表示されません。 ●同じ日に２件以上のスケジュールがあるときは、時間の早いスケジュールの日付色が表示されます。
自動消去保護設定	自動的に消去されないよう、保護するかどうかを設定します。
	「**オプション**」選択➡◉➡「**自動消去保護設定**」選択➡◉➡「①ON」（保護する）／「②OFF」（保護しない）選択➡◉➡[o]（**戻る**） ●自動消去設定を「**OFF**」にしているときは、ここでの設定にかかわらず自動消去されません。
待受表示設定	登録した内容を待受画面に表示するかどうかを設定します。
	「**オプション**」選択➡◉➡「**待受表示設定**」選択➡◉➡「①ON」／「②OFF」選択➡◉➡[o]（**戻る**） ●時計表示設定を「**カレンダー**」（☞P.7-3）にしているときに有効となります。（アクションアイテムは、さらに「**スタンプ＋スケジュール表示**」に設定しているときだけ有効となります。）

スケジュール／アクションアイテムを確認する

メニュー ▶ ツール ▶ スケジュール

1 スケジュールを確認する

1 確認する日を選び、◉を押す。
日別スケジュール画面が表示されます。

2 スケジュールを選び、◉を押す。

アクションアイテムを確認する

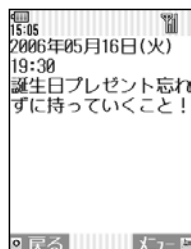
1 ◎（切替）を押し、「アクションアイテム」を表示する。

2 アクションアイテムを選び、◉を押す。

■ アクションアイテムの１件消去：アクションアイテム選択➡☐（メニュー）➡「5 1件消去」選択➡◉➡「1YES」選択➡◉

15:05
2006年05月16日(火)
19:30
誕生日プレゼント忘れずに持っていくこと！
戻る メニュー

日別スケジュール画面

2 確認を終了するときは、◎（戻る）を押す。

スケジュールの表示内容を切り替える

■ 表示内容を切り替えるときは、次の操作を行います。
◉➡「ツール」選択➡◉➡「2スケジュール」選択➡◉➡◎（切替）

- ◎（切替）を押すたびに、「アクションアイテム表示」→「１週間詳細表示」→「１ヶ月スタンプ表示」→「全件表示」→「スタンプ＋詳細表示」の順に表示が切り替わります。

■ 表示される内容は次の操作で設定（制限）できます。
◉➡「ツール」選択➡◉➡「2スケジュール」選択➡◉➡☐（メニュー）➡「4表示切替」選択➡◉➡「6切替表示設定」選択➡◉➡表示方法選択（※）➡◎（チェック）➡（表示方法選択➡◎をくり返す）➡◉
※ 表示するときは「□」の行を、表示しないときは「☑」の行を選択します。

待受画面にスケジュールを表示する

■ 待受表示設定（☞P.13-17）を「ON」にします。
■ 次の操作を行うと、スケジュールを待受画面に表示するとき、詳細を表示するかどうかを設定できます。
◉➡「ツール」選択➡◉➡「2スケジュール」選択➡◉➡☐（メニュー）➡「※待受表示内容」選択➡◉➡表示内容選択➡◉

- 時計表示設定（☞P.7-3）を「カレンダー」の「スタンプ＋スケジュール表示」にしておいてください。

祝日を設定する

あらかじめ登録されている祝日を解除／再設定したり、新しい祝日を５件まで追加登録することができます。

- あらかじめ登録されている祝日は、2005年10月現在のものです。
（2007年１月１日に施行される祝日の変更［４月29日：昭和の日、５月４日：みどりの日］には、対応しています。）
- 祝日の設定は、「スタンプ＋詳細表示」、「１週間詳細表示」、「１ヶ月スタンプ表示」のスケジュール画面で行えます。

あらかじめ登録されている祝日を解除／再設定する

1 スケジュール/メモ を押す。

2 ◎（切替）を押し、「スタンプ＋詳細表示」、「１週間詳細表示」、「１ヶ月スタンプ表示」のいずれかの画面を表示する。

- ◎（切替）を押すたびに切り替わります。
- すでに「スタンプ＋詳細表示」、「１週間詳細表示」、「１ヶ月スタンプ表示」の画面が表示されているときは、◎（切替）を押す必要はありません。

3 ☐（メニュー）を押す。

4 「0祝日設定」を選び、◉を押す。
登録されている祝日が表示されます。

5 祝日を選び、◉を押す。

6 「2OFF」（解除するとき）または「1ON」（再設定するとき）を選び、◉を押す。

新しい祝日を登録する

1 スケジュール/メモ を押す。

2 ◎（切替）を押し、「スタンプ＋詳細表示」、「１週間詳細表示」、「１ヶ月スタンプ表示」のいずれかの画面を表示する。

- ◎（切替）を押すたびに切り替わります。
- すでに「スタンプ＋詳細表示」、「１週間詳細表示」、「１ヶ月スタンプ表示」の画面が表示されているときは、◎（切替）を押す必要はありません。

3 祝日に設定する日を選び、☐（メニュー）を押す。

- 「１月の第２月曜日」など、年によって変わる祝日は、操作を行う年に該当する日を選んでください。

4 「0祝日設定」を選び、◉を押す。
登録されている祝日が表示されます。

5 **祝日名が表示されていない行を選び、◉を押す。**

- 新しく登録した祝日の編集：祝日選択➡◉➡「1編集」選択➡◉
- 新しく登録した祝日の消去：祝日選択➡◉➡「2消去」選択➡◉➡「1YES」選択➡◉（操作完了）

6 **祝日名を入力し、◉を押す。**

●全角８文字（半角16文字）以内で、必ず入力してください。

7 **日付を確認し、◉を押す。**

●日付を入力して、変更することもできます。

8 **祝日の特定方法を選び、◉を押す。**

●設定できる特定方法は、次のとおりです。

毎年○月△日	登録した日が、毎年祝日となります。
１年だけ有効	登録した日が、その年だけに有効な祝日となります。
毎年○月第△□曜日	登録した日の月と曜日に該当する日が、毎年祝日となります。

祝日を確認する

- スケジュール画面では、祝日は赤色で表示されます。
- 祝日名は、日別スケジュール画面（☞P.13-18）で確認できます。（祝日名の前に「🎌」が表示されます。）

スケジュール／アクションアイテムを編集する

メニュー ▶ ツール ➡ スケジュール

1 ***スケジュールを編集する***

1 **編集する日を選び、◉を押す。**

アクションアイテムを編集する

1 **[O]（切替）を押し、「アクションアイテム」を表示する。**

2 **スケジュール／アクションアイテムを選び、[✉]（メニュー）を押す。**

3 **「編集」を選び、◉を押す。**

4 **項目を選び、◉を押す。**

●編集方法は、スケジュール／アクションアイテムの登録時と同様です。

5 **編集が終われば、[O]（完了）を押す。**

6 **「1新規登録」または「2上書登録」を選び、◉を押す。**

スケジュール／アクションアイテムを消去する

「1YES」選択➡◉

●アクションアイテムの１件消去については、P.13-18を参照してください。

「2１日スケジュール全消去」選択➡◉➡「1全て」／「2保護以外」選択➡◉➡操作用暗証番号（４ケタ）入力➡「1YES」選択➡◉

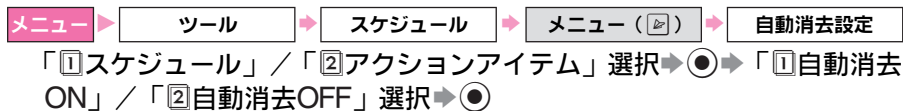
「1過去スケジュール全消去」／「3スケジュール全消去」／「4アクションアイテム全消去」選択➡◉➡「1全て」／「2保護以外」選択➡◉➡操作用暗証番号（４ケタ）入力➡「1YES」選択➡◉

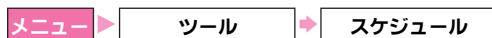
その他のスケジュール関連機能

自動消去設定 最大登録件数を超えた、スケジュール／アクションアイテム（完了かつ未保護分）を古い順から消去するかどうかを設定します。

お買い上げ時 自動消去OFF

メニュー▶ツール➡スケジュール➡メニュー（✉）➡自動消去設定

「1スケジュール」／「2アクションアイテム」選択➡●➡「1自動消去ON」／「2自動消去OFF」選択➡●

シークレット設定 操作用暗証番号を入力しないとスケジュール／アクションアイテムの登録や確認ができないようにします。

メニュー▶ツール➡スケジュール

シークレットを設定する

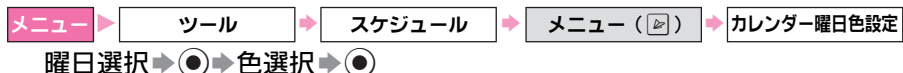
✉（メニュー）➡「8シークレット設定」選択➡●➡操作用暗証番号（4ケタ）入力➡「1ON」選択➡●

シークレットを解除する

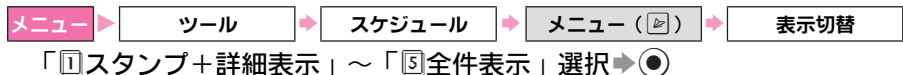
操作用暗証番号（4ケタ）入力➡✉（メニュー）➡「8シークレット設定」選択➡●➡操作用暗証番号（4ケタ）入力➡「2OFF」選択➡●

カレンダー曜日色設定 曜日ごとに色を設定できます。

メニュー▶ツール➡スケジュール➡メニュー（✉）➡カレンダー曜日色設定

曜日選択➡●➡色選択➡●

表示切替 スケジュール／アクションアイテムの表示方法を設定します。

メニュー▶ツール➡スケジュール➡メニュー（✉）➡表示切替

「1スタンプ＋詳細表示」～「5全件表示」選択➡●

件数確認 スケジュール／アクションアイテムの登録件数を確認します。

メニュー▶ツール➡スケジュール➡メニュー（✉）

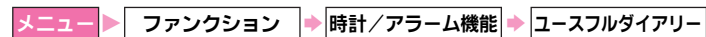
「#件数確認」選択➡●

ユースフルダイアリー

文字と画像を組み合わせた便利な日記を登録できます。

- 1件あたり最大全角250文字（半角500文字）、最大400件まで登録できます。
- ユースフルダイアリーを最大件数まで登録すると、新規に登録することができません。不要なユースフルダイアリーを消去（☞P.13-25）したあと、作成してください。

ユースフルダイアリーを登録する

メニュー▶ファンクション➡時計／アラーム機能➡ユースフルダイアリー

1 「1今日の日記をつける」を選び、●を押す。

今日の日記の登録画面が表示されます。

■ 別の日付の日記をつける：「1日付入力」選択➡●➡登録する日付入力➡●

- 日記の本文を入力しないときは、このあと操作4へ進みます。

2 「2メッセージ」を選び、●を押す。

3 日記の本文を入力し、●を押す。

- 画像を登録しないときは、このあと操作6へ進みます。

■ 定型文の利用：Ⓞ（定型）➡定型文選択➡●➡●

▪ 文字が入力されている状態では、利用できません。

4 「3画像設定」を選び、●を押す。

5 *画像を撮影して登録する*

1「1モバイルカメラ」を選び、●を押す。

2 カメラモードを選び、●を押す。

3 画像を画面に表示し、●を2回押す。

■ アクションスナップモード選択時：画像を画面に表示➡●➡●➡●

データフォルダの画像を登録する

1「2データフォルダ」を選び、●を押す。

2 画像を選び、●を押す。

- 画像によっては、選択できないことがあります。

画像設定を解除する

1「3設定解除」を選び、●を押す。

6 Ⓞ（完了）を押す。

■ 別の日記をつける：✉（メニュー）➡「1新規日記を登録」選択➡●➡日付入力➡●➡操作2～6をくり返す

定型文を編集／消去する

■ 定型文を編集するときは、P.13-23操作３で[o](定型)を押したあと、次の操作を行います。
定型文選択➡[メール]（メニュー）➡「2編集」選択➡●➡タイトル編集➡●➡定型文編集➡●
■この操作を行うと、定型文は上書きされます。
■ 定型文を１件ずつ消去するときは、P.13-23操作３で[o]（定型）を押したあと、次の操作を行います。
定型文選択➡[メール]（メニュー）➡「3 １件消去」選択➡●➡「1YES」選択➡●
■編集した定型文を消去すると、お買い上げ時の状態に戻ります。
■ 定型文をすべて消去するときは、P.13-23操作３で[o]（定型）を押したあと、次の操作を行います。
[メール]（メニュー）➡「4全件消去」選択➡●➡操作用暗証番号（４ケタ）入力➡「1YES」選択➡●
■編集した定型文を消去すると、お買い上げ時の状態に戻ります。

ユースフルダイアリーの登録や確認を禁止する（シークレット設定）

■ シークレット設定を行うときは、P.13-23操作１で次の操作を行います。
「3シークレット設定」選択➡●➡操作用暗証番号（４ケタ）入力➡「1ON」選択➡●
■このあとは、操作用暗証番号を入力しないと、ユースフルダイアリーが使用できなくなります。
■ シークレット設定を解除するときは、P.13-23操作１で操作用暗証番号（４ケタ）を入力したあと、次の操作を行います。
「3シークレット設定」選択➡●➡操作用暗証番号（４ケタ）入力➡「2OFF」選択➡●

ユースフルダイアリーを確認する

メニュー ▶ ファンクション ➡ 時計／アラーム機能 ➡ ユースフルダイアリー

1 「2日記一覧」を選び、●を押す。
日付の新しいものから順に表示されます。

2 ユースフルダイアリーを選び、●を押す。
■ 登録されている静止画の確認：●（表示）
■元の画面に戻る：上記操作のあと[o]（戻る）
■ 登録されている動画の確認：●（再生）
■元の画面に戻る：上記操作のあと[o]（停止）

ユースフルダイアリーをメール送信する

メニュー ▶ ファンクション ➡ 時計／アラーム機能 ➡ ユースフルダイアリー ➡ 日記一覧

1 ユースフルダイアリーを選び、[o]（メール）を押す。
●画像なしのユースフルダイアリーを選んだときは、このあと操作３へ進みます。

2 「1YES」を選び、●を押す。
●画像によっては、添付できないことがあります。
●このあと操作４へ進みます。
■ 画像を添付しない：「2NO」選択➡●
■ 送信可能サイズオーバー：「1１/４サイズで添付」／「2同サイズで添付」選択➡●➡操作４へ

3 「1ロングメール」または「2スカイメール」を選び、●を押す。
●「2スカイメール」を選んだとき、送信できる文字数を超えた文字は削除されます。

4 宛先など他の項目を入力し、メールを送信する。（☞[o]P.3-3）

ユースフルダイアリーを編集する

1 「編集」を選び、●を押す。

2 項目を選び、●を押す。
●編集方法は、ユースフルダイアリーの登録時と同様です。

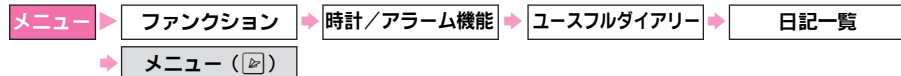
3 編集が終われば、[o]（完了）を押す。

ユースフルダイアリーを消去する

１件消去 ユースフルダイアリーを１件ずつ消去します。

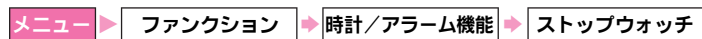
「1YES」選択➡●

全件／過去消去 過去またはすべてのユースフルダイアリーを消去します。

メニュー ▶ ファンクション ➡ 時計／アラーム機能 ➡ ユースフルダイアリー ➡ 日記一覧 ➡ メニュー（✉）

「3全件消去」／「4過去の日記を全消去」選択➡◉➡操作用暗証番号（４ケタ）入力➡「1YES」選択➡◉

ストップウォッチ

最長24時間（23時間59分59.9秒）まで、1／10秒単位で時間（タイム）を計測できます。また、計測中に途中までの所要時間（ラップタイム）も記録できます。
- 計測したタイムは、最新の５件までのラップタイムと合わせて、テキストメモに登録できます。
- 電池残量が不足すると、ストップウォッチは止まります。

メニュー ▶ ファンクション ➡ 時計／アラーム機能 ➡ ストップウォッチ

1 ◉を押す。

タイムの計測が始まります。

■ ラップタイムの記録：✉（LAP）

2 止めるときは、◉を押す。

途中でラップタイムを記録すると、最新の５件まで保持されます。ストップウォッチを終了すると、すべて消去されます。

■ テキストメモ登録：✉（メニュー）➡「1テキストメモ登録」選択➡◉➡登録する番号選択➡◉
 ▪登録済の番号選択時：上記操作のあと「1YES」選択➡◉
■ 登録済のタイムの確認：✉（メニュー）➡「2テキストメモ参照」選択➡◉➡番号選択➡◉
■ 再スタート：◉
■ 計測タイムの消去：タイマー停止中にo（リセット）

3 ストップウォッチを終了するときは、⌂または クリア を押す。

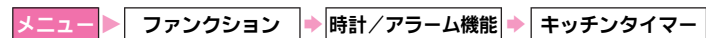
■ ストップウォッチ動作中／停止中：「1YES」選択➡◉

補足
- ストップウォッチを終了すると、計測したデータはすべて消去されます。消去したくないときは、計測終了後テキストメモに登録してください。
- 計測中に着信があったときは、通話中もストップウォッチの動作は継続します。⌂で通話終了後、計測中の画面に戻ります。
- ストップウォッチ動作中にアラーム時刻になっても、アラームは動作しません。このときは、ストップウォッチ終了後にアラームが動作します。
- 計測中にV403SHを閉じても、ストップウォッチの動作は継続します。（サブディスプレイに「TIMER」が点滅します。）

その他の機能

キッチンタイマー

設定した時間が経過したことを、アラームでお知らせします。
- 最長60分まで、１秒単位で設定できます。

メニュー ▶ ファンクション ➡ 時計／アラーム機能 ➡ キッチンタイマー

1 設定する時間（00分01秒～60分00秒）を入力する。
- 入力を間違えたときは、⊙でカーソルを移動し、入力し直してください。

2 ◉を押す。
- 60分（60：00）より大きな数字を入力したときは、起動時間の入力画面に戻ります。

■ 時間の変更：✉（編集）➡時間入力➡◉

3 カウントを始めるときは、◉を押す。

タイマーのカウントダウンが始まります。

4 止めるときは、◉を押す。

■ 再スタート：◉
■ 設定時間へ戻る：タイマー停止中にo（リセット）

5 キッチンタイマーを終了するときは、⌂または クリア を押す。

■ キッチンタイマー動作中／停止中：「1YES」選択➡◉

設定時間になったときの動作について

■ メッセージが表示され、アラームとランプが動作します。［アラーム音：着信パターン1（固定）、音量：「**サウンド再生音量**」に連動、ランプ：「**サウンドランプ設定**」に連動、バイブ：OFF］
- アラームを止めるときは、◉を押します。約60秒間そのままにしておいても止まります。
- マナーモード設定中は、バイブレータでお知らせします。（バイブパターン：バイブ1、音量／ランプ：マナー設定変更の設定に連動）
- アラーム音とマナーモード設定中のバイブレータは固定です。変更することはできません。

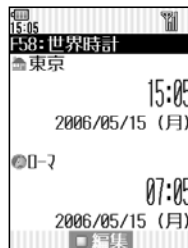
■ 着信中や通話中に設定時間が経過したときは、通話終了後⌂を押すと、アラームが動作します。

補足
- キッチンタイマー動作中に着信があったときは、通話中も動作は継続します。⌂で通話終了後、キッチンタイマー動作中の画面に戻ります。
- 操作中に 文字 を長く（１秒以上）押すと、マナーモードの「ON」⇔「OFF」を切り替えることができます。
- キッチンタイマー動作中にアラーム時刻になっても、アラームは動作しません。このときは、キッチンタイマー終了後にアラームが動作します。
- キッチンタイマー動作中にV403SHを閉じても、キッチンタイマーの動作は継続します。（サブディスプレイに「TIMER」が点滅します。）

その他の機能

世界時計

時刻設定（☞P.1-21）で設定した日時と共に、あらかじめ指定した世界各地の都市の日時を表示できます。

- あらかじめ世界各地の都市が登録されており、都市を選ぶことで簡単に世界時計が利用できます。（都市を追加することもできます。）
- サマータイムを設定すると、設定した世界各国の都市の時刻が、1時間進んだ状態で表示されます。（時刻の前に「☀」点灯）
- お買い上げ時世界時計の都市（タイムゾーン設定）は、「**東京**」に設定されています。

世界時計を設定する

メニュー ▶ ファンクション ➡ 時計／アラーム機能

1 **「8世界時計」を選び、●を押す。**

世界時計が表示されます。

2 **●を押す。**

3 **◎で都市を選び、●を押す。**

- 次に世界時計を表示すると、設定した都市の日時が表示されます。
  - 都市の追加：✎（**メニュー**）➡「1**オリジナルゾーン設定**」選択➡●➡都市名入力（最大全角８文字）➡●➡◎（＋／－選択）➡◎➡時差入力➡●
  - サマータイムの設定／解除（お買い上げ時「OFF」）：✎（**メニュー**）➡「2**サマータイム設定**」選択➡●➡「1ON」／「2OFF」選択➡●

バーコード読み取り

印刷されたバーコードをモバイルカメラで撮影して読み取ったり、ウェブなどで入手したバーコードの画像ファイルを直接読み取ることができます。
バーコードの読み取り方法には、次の２種類があります。

通常モード	１つのバーコード（JANコード）またはQRコードを読み取ります。（複数に分割されているQRコードを自動的に認識し、読み取ることもできます。）
連続モード	複数のバーコード（JANコード）またはQRコードを連続して読み取ります。

- バーコード（JANコード）、QRコードのいずれかを自動的に判別し、読み取ることができます。
- 連続モードで読み取れる回数は、バーコード（JANコード）が最大50回、QRコードが最大16回までです。ただし、データ内容やデータサイズによっては、連続して読み取りできないことがあります。

- バーコードが汚れていたり、かすれていたり、薄いときなどは、読み取れないことがあります。
- 室内などでバーコードを読み取る場合に、体の一部やV403SHの影がバーコードにかかっているときは、読み取れないことがあります。このようなときは、モバイルライトを利用することをおすすめします。
- 画面内に複数のバーコードを表示すると、読み取れないことがあります。
- 一時停止中のVアプリがあるときは、読み取れません。

- JANコードとは幅の異なるバーとスペースを組み合わせた一次元コードの種類です。（ただし、JANコード以外の一次元バーコード（ITFコード、Code39、Codabar/NW-7など）は、読み取ることができません。）
- QRコードとは縦横に情報を持った二次元コードの種類です。
- QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

モバイルカメラで撮影して読み取る

バーコード専用モードで読み取る方法と、文字入力中に読み取る方法があります。

バーコード専用モードで読み取る

読み取った文字を、コピーして他の画面にペーストできます。また、「TEL:」や「MAILTO:」など、特別な意味を持った文字が含まれているときは、アドレス帳やメールに文字を入力したり、インターネットに接続できます。

メニュー ▶ オススメ（[O]）

1 「バーコード」を選び、◉を押す。

2 「[1]バーコード読み取り」を選び、◉を押す。

読み取りモード「**通常モード**」でモバイルカメラが起動します。（被写体との距離を約10cm程度、離してください。）

- 通常サイズのバーコードを読み取るときは、接写切替スイッチ（☞P.6-4[1]）をスライドさせて、接写モードにしてください。

■ モード切替：[スケジュール/メモ]（押すたびに「**通常モード**」⇔「**連続モード**」切替）
■ モバイルライトの利用：[#]（押すたびに「**点灯（接写撮影用）**」⇔「**消灯**」切替）
■ 明るさの調整：[↕]（明るさ選択）

3 バーコードを画面中央に表示する。

4 ◉を押す。

■ 読み取りの中止：[O]（**中止**）➡操作3からやり直す

5 読み取りが終了すると、認識完了音が鳴り、読み取り結果が表示される。

■ 読み取り結果を利用した各操作：☞P.13-31
■ 読み取りのやり直し：[O]（**戻る**）➡「[1]YES」選択➡◉➡操作3からやり直す

分割されているバーコード読み取り後の操作

■ 読み取りが終了すると、次のバーコードを読み取るかどうかの確認画面が表示されます。
- 読み取るとき
  「[1]YES」選択➡◉➡次のバーコードを画面中央に表示➡◉
- 読み取りを中止するとき
  「[2]NO」選択➡◉➡「[1]YES」選択➡◉

■ 分割個数分のバーコードをすべて読み込まないと、表示／保存できません。
■ 読み取り中は、分割されている個数と、読み取り済の個数が画面1行目に表示されます。（例：「[1/4]」…4分割の1個目）

連続モードでの読み取り後の操作

■ 読み取りが終了すると、連続して読み取るかどうかの確認画面が表示されます。
- 連続して読み取るとき
  「[1]YES」選択➡◉➡次のバーコードを画面中央に表示➡◉
- 読み取りを終了するとき
  「[2]NO」選択➡◉

読み取り結果の表示サイズを変更する

■ 読み取り結果表示中に、次の操作を行います。
  [✎]（**メニュー**）➡「**表示サイズ切替**」選択➡◉➡**サイズ選択**➡◉
- お買い上げ時には、「**文字中／画像等倍**」に設定されています。

■ 読み取り結果表示中に[スケジュール/メモ]を押しても、表示サイズを切り替えることができます。（画像等倍時には「[等倍]」、画像2倍時には「[2倍]」が画面に表示されます。）
■ 読み取り結果表示中の表示サイズ切替は、受信メール、送信メール、ウェブの設定には反映されません。

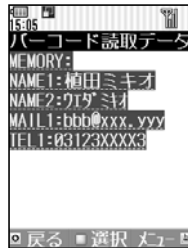
■読み取り結果を利用した各操作

電話をかける※1	「TEL:」の付いている番号※2選択➡◉➡「**電話**」選択➡◉➡[↰]
メール送信する※3	「@」の含まれているE-mailアドレス選択➡◉➡「**メール送信**」選択➡◉➡「[1]**ロングメール送信**」／「[2]**スカイメール送信**」選択➡◉➡[O]P.3-4操作5（ロングメール）／操作7（スカイメール）以降
メール本文に利用してメール送信する	[✎]（**メニュー**）➡「**メール送信**」選択➡◉➡「[1]**ロングメール送信**」／「[2]**スカイメール送信**」選択➡◉➡読み取りデータ確認➡◉➡[O]P.3-3操作2以降 ■読み取った文字の利用：読み取りデータ確認画面で[✎]（**切出**）➡切り出す最初の文字選択➡◉➡切り出す最後の文字選択➡◉
アドレス帳に登録する※1※3	「TEL:」の付いている番号※2／「@」の含まれているE-mailアドレス選択➡◉➡「**アドレス帳登録**」選択➡◉➡P.5-8操作4
インターネットに接続する※4	先頭に「http://」の付いているURL選択➡◉➡「**ウェブアクセス**」選択➡◉➡[O]P.4-8「**インターネットに接続する（URLの利用）**」操作[2]
データフォルダに登録する（画像／メロディ）	画像／メロディ選択➡◉➡「**データフォルダに保存**」選択➡◉➡ファイル名確認➡◉
登録する	[✎]（**メニュー**）➡「**読取データ登録**」選択➡◉➡タイトル入力➡◉ ●登録できるのは最大10件です。（登録したデータの確認：☞P.13-33）
コピーする	[✎]（**メニュー**）➡「**コピー**」選択➡◉➡コピーする最初の文字選択➡◉➡コピーする最後の文字選択➡◉ ●選んだ文字が記憶されます。このあと他の画面にペーストします。

※1　含まれている文字が「TEL:⁎」のときに利用できます。
※2「0」から始まる10ケタ以上24ケタ以下の数字の文字列も同様です。
※3　含まれている文字が「⁎@⁎」のときに利用できます。
※4　含まれている文字が「http://⁎」のときに利用できます。
●「⁎」は英数字1文字以上を示します。

先頭に「TEL:」の付いている電話番号（0から始まる10ケタ以上24ケタ以下の数字の文字列についても同様）、「@」が含まれているE-mailアドレス、先頭に「http://」の付いているURLがないとき、それらを利用した各操作は行えません。

読み取り結果に「MEMORY:」や「MAILTO:」が含まれていると

■ P.13-30操作５のあと右のように、アドレス帳（「MEMORY:」のとき）やメール（「MAILTO:」のとき）用の項目と内容が表示されます。このあと◉を押すと、表示されている内容をアドレス帳登録画面やメール送信画面にまとめて入力することができます。
●まとめて入力できるものには破線のアンダーラインが付きます。（ただし、文字列の中に規定以外の文字があったときは、その文字以降は破線のアンダーラインは付きません。）

文字入力中の読み取り 文字入力中にバーコードを読み取り、読み取り結果をカーソル位置に挿入します。

文字入力画面で📝（メニュー）➡📝（バーコード）➡バーコードを画面中央に表示➡◉➡◉

次のときは、文字入力中のバーコード読み取りはできません。
- バーコード読み取り結果を保存するときのタイトル入力中
- マーカースタンプの文字入力中
- 通話をしているときの文字入力中
- ポストカードメーカーの文字入力中
- 電子ブック使用中
- ボイスレコーダーの文字入力中
- Vアプリ起動中

データフォルダ内のバーコードを直接読み取る

メニュー ▶ データ確認 ➡ データフォルダ

1 **「ピクチャー」を選び、◉を押す。**
■ フォルダ表示中：フォルダ選択➡◉

2 **読み取るバーコードファイルを選び、📝（メニュー）を押す。**

3 **「6バーコード」を選び、◉を押す。**

4 **「1バーコード読み取り」を選び、◉を押す。**
読み取り結果が表示されます。
■ 読み取り結果を利用した各操作：☞P.13-31

分割されているバーコードを読み取ると

■ 分割された次のバーコードを読み取るかどうかの確認画面が表示されます。
●読み取るときは、次の操作を行います。
「1YES」選択➡◉➡次のバーコードファイル指定➡◉
●読み取りを中止するときは、次の操作を行います。
「2NO」選択➡◉➡「1YES」選択➡◉
■ 分割個数分のバーコードをすべて読み取らないと、表示／保存できません。
■ 読み取り中は、分割されている個数と、読み取っている個数が画面上部に表示されます。（例：「1/4」…４分割の１個目）

●サイズを変更したバーコードは読み取りできないことがあります。
●バーコードの種類によっては、確認メッセージが表示され、読み取りできないことがあります。

読取データを確認する

登録した読み取り結果（読取データ）を確認します。

メニュー ▶ オススメ（◎）➡ バーコード

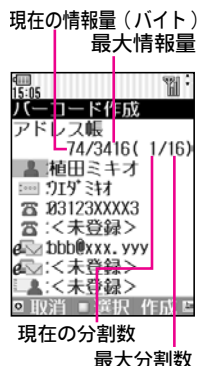
1 **「3読取データ確認」を選び、◉を押す。**
●このあと読取データを選び📝（メニュー）を押すと、名前の変更や消去などが行えます。操作方法は、データフォルダでの操作と同様です。（☞P.10-11、P.10-12）

2 **読取データを選び、◉を押す。**
読み取り結果が表示されます。
●表示した読み取り結果を再び登録することはできません。
■ 読み取り結果を利用した各操作：☞P.13-31
■ 読取データ確認画面に戻る：◎（戻る）

バーコード作成

V403SHに登録しているオーナー情報、アドレス帳、メール、テキストメモ、データフォルダ内のメロディや画像を利用して、バーコードを作成します。

- すでにV403SHに登録されている情報から選んで作成したり、新たにアドレス帳やメールの内容などを入力して、作成することもできます。
- 1つのバーコードに登録できる文字数の目安は、数字だけを入力したときは469文字、漢字だけを入力したときは120文字となります。
- 情報量が多いときは、自動的に分割バーコードが表示されます。［一度に最大3416バイト（16分割）まで］
- 作成したバーコードは、データフォルダのピクチャーフォルダ（☞P.10-4）に登録されます。

バーコード作成画面（アドレス帳）

1 各情報の画面で、◉（メニュー）または✉（メニュー）を押す。

- メールのときは、バーコード作成するメッセージを選んで操作します。

■ データフォルダ内の画像のバーコード作成：画像選択➡✉（メニュー）➡「6バーコード」選択➡◉➡「2バーコード作成」選択➡◉➡「1YES」選択➡◉➡◉（操作完了）

■ データフォルダ内のメロディのバーコード作成：メロディ選択➡✉（メニュー）➡「4バーコード作成」選択➡◉➡「1YES」選択➡◉➡◉（操作完了）

- ■E-アニメータファイルも、同様の操作でバーコードが作成できます。
- ■変換形式選択画面表示時：変換形式選択➡◉➡「1YES」選択➡◉➡◉（操作完了）

2 「バーコード」または「バーコード作成」を選び、◉を押す。

操作を開始した情報の種類に応じて、各画面が表示されます。

■ バーコード作成中に、新しい情報を入力：項目選択➡◉➡内容入力➡◉

3 ✉（作成）を押す。

4 ◉を押す。

ロングメールに添付して送信する

■ バーコードを登録する（操作4で◉を押す）前に、次の操作を行います。
✉（メニュー）➡「1メール添付」選択➡◉➡P.3-3操作2以降

作成したバーコードデータを消去する

■ バーコードを登録する（操作4で◉を押す）前に、次の操作を行います。
✉（メニュー）➡「2データ消去」選択➡◉➡消去するデータ選択➡◉➡「1YES」選択➡◉

バーコード作成中に着信があると

■ 作成中の内容は一時的に記憶（保護）されています。作成を継続するときは、通話終了後に、次の操作を行います。
◉➡「1YES」選択➡◉

省電力設定

電池パックの消費を抑える（バッテリーセーブ）

通話中の電波の出力を抑え、電池パックの消費を少なくします。

- 「ON」にすると、こちらの話し始めの声が相手側に聞こえにくくなることがあります。
- お買い上げ時には、「ON」に設定されています。

メニュー ▶ ファンクション ➡ 表示／設定1 ➡ 省電力設定 ➡ バッテリーセーブ

1 「1ON」を選び、◉を押す。

■ バッテリーセーブの解除：「2OFF」選択➡◉

ディスプレイの電力消費を抑える（パネルセーブ）

V403SHは、開いたまま操作をしない状態が一定時間以上続くと、電池パックの消耗を防ぐため、自動的に画面表示が消えます。
このパネルセーブが動作するまでの時間を2分～20分の間（1分単位）で変更したり、動作しないようにすることができます。

- 通話中やメールの送受信中、ウェブ利用中など、利用状態によっては、パネルセーブが動作しないことがあります。

パネルセーブを設定する

- お買い上げ時には、「ON」（5分）に設定されています。

メニュー ▶ ファンクション ➡ 表示／設定1 ➡ 省電力設定 ➡ パネルセーブ ➡ ON／OFF設定

1 「1ON」を選び、◉を押す。

■ パネルセーブの解除：「2OFF（微点灯あり）」／「3OFF（微点灯なし）」選択➡◉（操作完了）

2 パネルセーブが動作するまでの時間（02～20分）を入力し、◉を押す。

パネルセーブの動作について

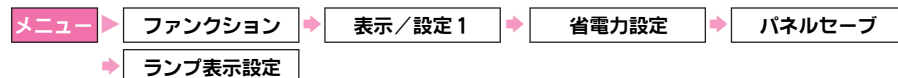
■ 一定時間操作しないでおくと、自動的に画面表示が消えます。
- パネルセーブは何かボタンを押したり、着信などがあると、解除されます。（最初に押したボタンは、パネルセーブ解除用としてだけ動作します。ダイヤル入力や各種操作などは、パネルセーブを解除してから行ってください。）
- パネルセーブ動作中にV403SHを閉じると、効果音設定の「3パワーON」（☞P.8-6）で設定されている音が鳴り、パネルセーブ動作中であることをお知らせします。このあとV403SHを開くと、パネルセーブは解除されます。

注意 パネルセーブを「OFF」にすると、連続待受時間が短くなります。「②OFF微点灯あり」にすると、特に短くなります。

補足 パネルセーブが動作するまでの時間を短くすると、電池パックの消耗を軽減できます。

パネルセーブ動作時にスモールライト（オレンジ色点滅）を表示する

●お買い上げ時には、「ランプ表示なし」に設定されています。

メニュー ▶ ファンクション ➡ 表示／設定１ ➡ 省電力設定 ➡ パネルセーブ ➡ ランプ表示設定

1 「①ランプ表示あり」を選び、●を押す。

■ ランプ点灯なし：「②ランプ表示なし」選択➡●

補足 オフラインモード設定中は、ここでの設定にかかわらず、スモールライトが点滅します。

簡易電卓

12ケタまでの四則演算やパーセント計算、税計算が行えます。

●簡易電卓の機能は、次のボタンに割り当てられています。

機能	ボタン	機能	ボタン
＋（足す）	◁	RM（メモリ呼出）	文字
－（引く）	▷	M+（メモリ加算）	メニュー
×（掛ける）	△	．（小数点）	＊
÷（割る）	▽	+/－（符号反転）	＃
＝（イコール）	●	%（パーセント）	⊙
C・CE（クリア）	クリア	tax（税計算）	発信※
CM（クリアメモリ）	スケジュール/メモ		

※ 押すたびに、「税額表示」→「税抜表示」→「税込表示」の順に切り替わります。
例：「105」と入力して発信を押すと
「5」（税額）→「100」（税抜）→「105」（税込）の順に表示されます。

●お買い上げ時税率は、「５%」に設定されています。

メニュー ▶ ファンクション ➡ 表示／設定２

1 「⑨簡易電卓」を選び、●を押す。

●ダイヤルボタンで数字を入力し、上記のボタンを使って計算します。
●待受中に金額を入力し●を押しても、簡易電卓が表示されます。

■ 税率（%）の変更：税率（１～99）入力➡発信（１秒以上）

2 簡易電卓を終了するときは、終話を押す。

計算結果を利用する

■ 文字入力画面で次の操作を行うと、簡易電卓で行った最後の計算結果やメモリ計算で記憶した数値を、文字入力画面に貼り付けることができます。

メニュー（メニュー）➡「スケジュール/メモ 各種情報入力」選択➡●➡「④簡易電卓」選択➡●➡計算結果選択➡●➡貼付位置選択➡●

●計算結果は最新の10件まで記憶しています。

補足
●計算中に着信があったとき、入力した数値や計算結果は消去されます。
ただし、メモリに記憶した数値は消去されません。
●メモリ計算ではスケジュール/メモを押して、メモリ内容を消去してから始めてください。
●メモリに記憶した数値は簡易電卓を終了しても消去されません。
電源を切ると消去されます。

マネー積算メモ

明細名を付けた金額を順次入力して、合計金額を計算することができます。出張時の経費の計算などに便利です。

●最大31件まで金額が入力できます。
（合計金額は最大30,999,969円まで、１回の入力は最大999,999円まで）

●通話中にマネー積算メモは入力できません。

マネー積算メモ入力

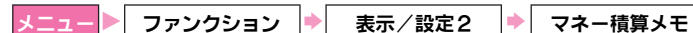
金額を入力し、明細名を付けて登録します。

金額入力➡スケジュール/メモ➡明細名選択➡●

●自動的に入力した日時で登録されます。
●時刻設定（☞P.1-21）がされていないときは、日時には「--/-- --:--」が登録されます。

確認

入力したマネー積算メモを確認します。

メニュー ▶ ファンクション ➡ 表示／設定２ ➡ マネー積算メモ

「①メモ確認」選択➡●

■ 他の金額を確認：◇

消去

明細を消去します。

メニュー ▶ ファンクション ➡ 表示／設定２ ➡ マネー積算メモ ➡ メモ確認

●➡クリア➡「①YES」選択➡●

13 その他の機能

明細名変更　あらかじめ登録されている明細名を変更します。

メニュー ▶ ファンクション ▶ 表示／設定2 ▶ マネー積算メモ ▶ 明細変更

明細選択 ▶ ◉ ▶ 明細名変更 ▶ ◉

- 最大全角3文字（半角6文字）まで入力できます。
- あらかじめ登録されていた明細名に戻すときは、変更した明細名を消去し、◉を押します。

スポットライト

V403SHを懐中電灯のように利用できます。

点灯　スポットライトを点灯します。

Sを連続して2回押す

- スポットライトを消灯するときは、何かボタンを押します。また、V403SHを閉じている状態でスポットライトを点灯したときは、V403SHを開くと自動的にスポットライトは消灯します。

点灯時間設定　スポットライトの継続点灯時間や点灯カラーを設定します。

お買い上げ時 継続点灯時間：1分、点灯カラー：ライチフルーツ（白色系統）

メニュー ▶ ツール ▶ スポットライト ▶ スポットライト設定

継続点灯時間を設定する

「1継続点灯時間」選択 ▶ ◉ ▶ 時間選択 ▶ ◉

点灯カラーを設定する

「2点灯カラー」選択 ▶ ◉ ▶ カラー選択 ▶ ◉

■ 点灯カラーの確認：カラー選択時にO（点灯）

- スポットライトを人の目に近づけて点灯させたり、発光部を直視したりしないでください。また、発光方向を確認してから、ご使用ください。
- 次のときは、スポットライトが点灯しません。
  - ■モバイルカメラ起動中 ■誤動作防止中 ■ダイヤル操作禁止中 ■通話中
  - ■メール受信中 ■ボイスレコーダー録音中 ■SMAF動作中 ■発信中
  - ■ストップウォッチ動作中 ■キッチンタイマー動作中 ■着信中
  - ■メロディファイル再生中 ■アクションスナップ再生中

- スポットライト点灯中に電話などの着信があったときは、スポットライトが消灯し、画面のパネル照明が点灯します。
- 次のようなときにスポットライトを点灯すると、設定した点灯時間終了後、画面のパネル照明が点灯します。
  - ■シガーライター充電器での充電時［車載時設定（☞P.7-12）を「ON」にしているとき］
  - ■Vアプリ起動中［Vアプリの「**パネル照明**」（☞O P.12-3）を「**常時ON**」にしているとき］
- スポットライトの継続点灯時間を短くすると、電池パックの消耗を軽減できます。

スイッチ付イヤホンマイクの利用

ワンタッチで電話をかける

メモリ番号000に登録したアドレス帳（☞P.5-5）には、スイッチ付イヤホンマイクのスイッチを押すだけで、電話をかけることができます。

1 イヤホンマイク端子に、スイッチ付イヤホンマイクの接続プラグを差し込む。

2 スイッチを「ピピッ」と音がするまで、長く（1秒以上）押し続ける。

- 相手が出たら、お話しください。

3 通話を終了するときは、スイッチを「ピッ」と音がするまで、長く（1秒以上）押し続ける。

電話が切れます。Fを押しても、電話を切ることができます。

- V403SHを閉じても、電話は切れません。

- メモリ番号000をシークレットデータにしているときは、シークレットモード（☞P.12-6）にしてから、スイッチの操作で電話をかけてください。
- ダイヤル操作禁止（☞P.12-2）やメモリ使用禁止（☞P.12-3）設定中は、電話をかけられません。
- スイッチ付イヤホンマイクのコードを、V403SH本体や内蔵アンテナ部分に巻き付けないでください。アンテナが正しく働かないことがあります。また、スイッチ付イヤホンマイクのコードを、内蔵アンテナ部分（☞P.1-625）に近づけると、雑音が入ることがあります。ご注意ください。
- プラグは確実に差し込んでください。半差しなど途中で止まっていると音が聞こえないことがあります。

ワンタッチで電話を受ける

1 イヤホンマイク端子に、スイッチ付イヤホンマイクの接続プラグを差し込む。

着信音出力切替（☞P.13-40）の設定に従って、イヤホンからだけ、またはイヤホンとスピーカーの両方から着信音が聞こえます。

2 スイッチを長く（1秒以上）押し続ける。

電話がつながります。相手とお話しください。

3 通話を終了するときは、スイッチを「ピッ」と音がするまで、長く（1秒以上）押し続ける。

電話が切れます。Fを押しても、電話を切ることができます。

- V403SHを閉じても、電話は切れません。

イヤホンからのみ着信音を出す（着信音出力切替）

イヤホンマイク端子にスイッチ付イヤホンマイクを差し込んでいるときは、着信音はイヤホンとスピーカーの両方から鳴ります。
これをイヤホンからだけ鳴るようにします。
●お買い上げ時には、「**イヤホン＋スピーカー**」に設定されています。

メニュー ▶ ファンクション ➡ 音関連機能 ➡ 着信音出力切替

1 「①イヤホンのみ」を選び、◉を押す。

■ イヤホンとスピーカーの両方から鳴らす：「②**イヤホン＋スピーカー**」選択➡◉

イヤホンマイク端子にスイッチ付イヤホンマイクなどが差し込まれていないときは、「**イヤホンのみ**」にしていても、スピーカーから着信音が鳴ります。

外部機器を利用したデータ通信

FAX通信 データ／FAX通信カードなどを介して、FAX通信を行います。

データ／FAX通信カードを接続する

●G3 FAXが送信または受信状態になると、確認画面が表示されます。

パソコン通信 データ／FAX通信カードなどを介して、パソコン通信を行います。

データ／FAX通信カードを接続する

●パソコンが通信状態になると、確認画面が表示されます。

FAX通信やパソコン通信を行うときは、電波の安定した場所で行われることをおすすめします。

●パソコン通信を行っているときは、ボーダフォン携帯電話の画面表示が接続されたデータ／FAX通信カードによって変わります。
●ボーダフォン携帯電話は、9600bps高速データ通信対応です。
●データ／FAX通信カードなどの接続方法、FAX通信やパソコン通信の方法については、データ／FAX通信カードなどの取扱説明書を参照してください。

オプションサービス

オプションサービスの概要

V403SHでは、次のオプションサービスを利用できます。

- 電波の届かない場所や、ご契約いただいた地域以外のサービスエリアでは、V403SHからは操作できません。一般電話から操作してください。
- サービス内容や一般電話からの操作などについて詳しくは、「**サービスガイドブック**」を参照してください。

転送電話サービス	電波の届かない場所にいるときや電話に出られないときに、かかってきた電話を指定した電話番号へ転送します。（☞P.14-3）
留守番電話サービス※	電波の届かない場所にいるときや電話に出られないときに、留守番電話センターで伝言メッセージをお預かりします。（☞P.14-4）
割込通話サービス※	通話中の相手を保留にし、かかってきた別の電話を受けられます。（☞P.14-6）
三者通話サービス※	２人での通話中にもう１人に電話をかけ、３人同時に通話できます。また、相手を切り替えながら交互に通話できます。（☞P.14-7）
発信者番号通知サービス※	お客様の電話番号を相手に通知したり、相手の電話番号を表示できます。

※ 別途お申し込みが必要です。

転送電話サービス

- 転送電話サービスと留守番電話サービスを同時に利用することはできません。（すでに留守番電話サービスを開始しているときに転送電話サービスを開始すると、留守番電話サービスは停止されます。）

転送先登録

転送先の電話番号を登録します。

メニュー ▶ ファンクション ➡ 付加サービス ➡ 転送サービス ➡ 転送先登録

転送電話番号入力➡◉

- 接続中のメッセージが表示されたあと、登録した転送先電話番号が表示されます。
- 一般電話のときは、市外局番も必ず入力してください。

転送先として登録できない電話番号

- 「１」から始まる電話番号（例：110、119、118など）
- 「0120」から始まる電話番号（フリーダイヤル）
- 「0990」から始まる電話番号（ダイヤルQ2など）

転送電話サービス開始

転送電話サービスを開始します。

■あらかじめ転送先の電話番号を登録しておいてください。

メニュー ▶ ファンクション ➡ 付加サービス ➡ 転送サービス ➡ 転送開始

「1あり」（着信音を鳴らす）／「2なし」（着信音を鳴らさない）選択➡◉

- 接続中のメッセージが表示されたあと、確認メッセージが表示されます。
- 「2**なし**」は、関東・甲信／東海／関西地域でご契約の場合に限りご利用になれます。

転送電話サービス停止

転送電話サービスを停止します。

メニュー ▶ ファンクション ➡ 付加サービス ➡ 秘書停止

「1YES」選択➡◉

- 接続中のメッセージが表示されたあと、確認メッセージが表示されます。

転送電話サービス設定確認

転送電話サービスの設定状況を確認します。

メニュー ▶ ファンクション ➡ 付加サービス ➡ 秘書確認

「1YES」選択➡◉

- 接続中のメッセージが表示されたあと、確認メッセージが表示されます。

転送電話サービス開始後に着信があると

■ 着信音が鳴っている間に⌒を押すと、そのまま通話できます。

- 転送時の着信音を「**なし**」にしているときは、着信音は鳴らず、転送先に転送されます。（関東・甲信／東海／関西地域でご契約の場合）

留守番電話サービス

別途お申し込みが必要です。

●留守番電話サービスと転送電話サービスを同時に利用することはできません。
（すでに転送電話サービスを開始しているときに留守番電話サービスを開始すると、転送電話サービスは停止されます。）
●留守番電話サービスで利用できる機能など詳しくは、「**サービスガイドブック**」を参照してください。

留守番電話サービス開始 留守番電話サービスを開始します。

メニュー ▶ ファンクション ▶ 付加サービス ▶ 留守番サービス

「1あり」（着信音を鳴らす）／「2なし」（着信音を鳴らさない）選択 ▶ ●

●接続中のメッセージが表示されたあと、確認メッセージが表示されます。
●「2なし」は、関東・甲信／東海／関西地域でご契約の場合に限りご利用になれます。

留守番電話サービス開始後に着信があると

■ 着信音が鳴っている間に☎を押すと、そのまま通話できます。
●転送時の着信音を「**なし**」にしているときは、着信音は鳴らず、留守番電話センターに転送されます。（関東・甲信／東海／関西地域でご契約され、関東・甲信／東海／関西地域でご利用の場合）
■ 相手が伝言メッセージを入れると、V403SHに「📼」が表示されます。

留守番電話サービス停止中に着信があると（関東・甲信／東海／関西地域でご契約の場合）

■ 着信中に●☎の順に押すと、その着信に限り留守番電話センターに転送されます。（留守番電話サービスは停止のままです。）
■ 留守番電話センターに転送できなかったときは、確認メッセージが表示され、着信中の画面に戻ります。
■ サイドキー設定の着信時の動作（☞P.13-3）を「5 **留守電センター転送**」にしているときは、着信中にSを長く（1秒以上）押すと、留守番電話センターに転送できます。（V403SHを閉じているときだけ）

留守番電話サービス停止 留守番電話サービスを停止します。

メニュー ▶ ファンクション ▶ 付加サービス ▶ 秘書停止

「1YES」選択 ▶ ●

●接続中のメッセージが表示されたあと、確認メッセージが表示されます。

留守番電話サービス設定確認 留守番電話サービスの設定状況を確認します。

メニュー ▶ ファンクション ▶ 付加サービス ▶ 秘書確認

「1YES」選択 ▶ ●

●接続中のメッセージが表示されたあと、確認メッセージが表示されます。

留守録再生 留守番電話センターに入っている伝言メッセージを確認します。

メニュー ▶ ファンクション ▶ 付加サービス ▶ 留守録再生

「1YES」選択 ▶ ●

●留守番電話センターに接続後は、アナウンスに従って、操作してください。
■ メッセージの確認を終了する：☎

「📼」はV403SHから伝言メッセージを聞いたときに消えます。（一般電話から伝言メッセージを聞いたときは消えません。）

転送電話／留守番電話の呼出時間設定

東北・新潟／中国／四国地域でご契約の場合は、ご利用になれません。

転送電話サービスまたは留守番電話サービスを開始しているときに、V403SHにかかってきた電話が転送されるまでの時間（V403SHの着信音が鳴る時間）を5～30秒（5秒単位）の間で設定できます。
●電波の届かない場所やご契約いただいた地域以外のサービスエリアでは設定できません。また、一般電話からも設定できません。
●着信音を鳴らさないようにしているときは、ここでの設定は無効となります。（関東・甲信／東海／関西地域でご契約の場合）

呼出時間設定 転送電話／留守番電話の呼出時間を設定します。

お買い上げ時 20秒

メニュー ▶ ファンクション ▶ 付加サービス ▶ 呼出時間設定

呼出時間選択 ▶ ●

●接続中のメッセージが表示されたあと、確認メッセージが表示されます。

転送電話サービスまたは留守番電話サービスをV403SHの簡易留守録（☞P.13-4）と合わせてご利用になるときは、呼出時間の設定により、優先順位が変わります。
例：各サービスの呼出時間…10秒
簡易留守録の呼出時間…9秒
上記のように設定すると、簡易留守録が優先されます。（ただし、電波状況により優先順位が変わることがあります。）
また、簡易留守録を優先していても、録音件数が一杯になると留守番電話サービスが優先されます。

割込通話サービス

別途お申し込みが必要です。

割込通話サービス設定／解除　割込通話サービスを設定／解除します。

■北海道／北陸／九州・沖縄／東北・新潟／中国／四国地域でご契約の場合、サービスはご利用になれますが、設定できません。

メニュー ▶ ファンクション ▶ 付加サービス ▶ 割込設定

「1ON」／「2OFF」選択▶●

●接続中のメッセージが表示されたあと、確認メッセージが表示されます。

割込通話サービス設定確認　割込通話サービスの設定状況を確認します。

■北海道／北陸／九州・沖縄／東北・新潟／中国／四国地域でご契約の場合、サービスはご利用になれますが、確認できません。

メニュー ▶ ファンクション ▶ 付加サービス ▶ 割込確認

「1YES」選択▶●

●接続中のメッセージが表示されたあと、確認メッセージが表示されます。

割込通話着信　通話中の電話を保留にして、あとからかかってきた電話を受けます。

通話中に割り込み音が聞こえたら［通話］

■ 保留中の相手との通話：［通話］（切替）
■ 通話する相手の切替：［通話］（切替）

補足　割込通話サービスの利用中は、通話中に着信があっても、着信音は鳴らず、バイブレータも動作しません。専用の割り込み音が聞こえ、着信中のメッセージが表示されます。

関東・甲信／東海／関西地域でご契約の場合

■ 留守番電話サービスまたは転送電話サービスを開始している場合に、通話中にかかってきた電話を受けなかったときは、留守番電話センターまたは転送先に転送されます。また、留守番電話サービスまたは転送電話サービスを「**着信音なし**」で開始しているときは、割込通話サービスは受けられません。直接、留守番電話センターまたは転送先に転送されます。

割込通話中に［終話］を押すと

■「ピピピピ…」と警告音が鳴って、画面に保留通話ありのメッセージが表示されます。［通話］または［終話］を押すと、保留中の相手と通話できます。

割込通話中に通話中の相手が電話を切ると

■「ピピピピ…」と警告音が鳴って、画面に保留通話ありのメッセージが表示されます。［通話］または［終話］を押すと、保留中の相手と通話できます。

三者通話サービス

別途お申し込みが必要です。

通話中発信　通話中の電話を保留にして、別の相手に電話をかけます。

通話中に電話番号入力▶［通話］

●それまで通話していた相手は、保留になります。
●アドレス帳、リダイヤル、着信履歴、ノートパッドメモリを使ってかけることもできます。

切替通話　相手を切り替えながら通話します。

通話中に●▶「4切替通話」選択▶●

●それまで通話していた相手が保留になり、もう一方の相手と通話できます。
●●4の順に押すたびに、通話する相手を切り替えられます。

切替通話中に［終話］を押すと

■「ピピピピ…」と警告音が鳴って、画面に保留通話ありのメッセージが表示されます。［通話］または［終話］を押すと、保留中の相手と通話できます。

切替通話中に通話中の相手が電話を切ると

■「ピピピピ…」と警告音が鳴って、画面に保留通話ありのメッセージが表示されます。［通話］または［終話］を押すと、保留中の相手と通話できます。

通話中転送　切替通話中に、他の2人だけの通話にします。

■関東・甲信／東海／関西地域でご契約の場合に限りご利用になれます。

切替通話中に●▶「6通話中転送」選択▶●▶「1YES」選択▶●

●転送完了の確認メッセージが表示されます。この電話は切れて、それまで通話していた相手と、保留中の相手と通話できます。（お客様から電話をかけたときは、引き続き通話料金が課金されます。）
●［終話］を押すと、待受画面に戻ります。

三者通話　3人で同時に通話できます。

切替通話中に●▶「5三者通話」選択▶●

●三者通話中に「**切替通話**」に切り替えることはできません。

三者通話中転送　三者通話中に、他の２人だけの通話にします。

■関東・甲信／東海／関西地域でご契約の場合に限りご利用になれます。

三者通話中に◉➡「4通話中転送」選択➡◉➡「1YES」選択➡◉

- 転送完了の確認メッセージが表示されます。この電話は切れて、それまで通話していた残りの２人だけの通話になります。（お客様から電話をかけたときは、引き続き通話料金が課金されます。）
- ⓞを押すと、待受画面に戻ります。

三者通話中にⓞを押すと

■ ２人の相手との電話が同時に切れます。

三者通話中に通話中の相手のどちらかが電話を切ると

■ 残された相手との通話になります。

14 オプションサービス

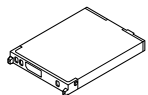
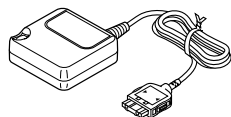
Abridged English Manual

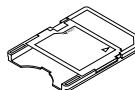
For more information about handset operations and functions, please go to the Vodafone K.K. Website (www.vodafone.jp) for the full manual* or dial 157 from a Vodafone handset for Customer Service.

Contents

*Please note that the full manual may not be available in English at time of purchase. In this case, call Customer Service or check Vodafone Website again at a later date.

Accessories

■ Battery (SHBAH1)*
(Type 1 lithium-ion battery)

■ Rapid Charger (SHCQ01)*

■ miniSD™ Memory Card (32 MB)★

■ miniSD™ Memory Card Adapter★

*May also be purchased separately
★Complimentary sample not available for purchase

Optional Accessories

■ In-Car Charger (SHJH01)

■ Desktop Holder (SHEAH1)*

*Designed exclusively for V403SH.

- For accessory-related information, please contact Vodafone Customer Center, General Information (see P.15-36).
- In this manual, miniSD™ Memory Card is referred to as "**Memory Card**."

Safety Precautions

- Read safety precautions before using handset.
- Observe precautions to avoid injury to self or others, or damage to property.
- Vodafone is not liable for any damages resulting from use of this product.

Before Using Handset

■ Symbols

Make sure you thoroughly understand these symbols before reading on.
Symbols and their meanings are described below:

⚠ DANGER	Great risk of death or serious injury from improper use
⚠ WARNING	Risk of death or serious injury from improper use
⚠ CAUTION	Risk of injury or damage to property from improper use

■ Symbols

	Prohibited Actions
	Compulsory Actions
⚠	Attention Required

⚠ DANGER

Handset, Battery & Charger

Use specified battery, Charger and Desktop Holder only.
Using non-specified equipment may cause malfunctions, electric shock or fire due to battery leakage, overheating or bursting.

Do not short-circuit Charger terminals.
Keep metal objects away from Charger terminals. Keep handset away from necklaces, hairpins, etc. Battery may leak, overheat, burst or ignite causing injury. Use a case to carry handset.

Battery

Prevent injury from battery leakage, breakage or fire.
Do not:

- Heat or dispose of battery in fire
- Open/modify/disassemble battery
- Damage or solder battery
- Use a damaged or deformed battery
- Use non-specified charger
- Force battery into handset
- Charge battery near fire or sources of heat; or expose it to extreme heat
- Use battery for other equipment

If battery fluid contacts eyes, do not rub them. Rinse with clean water and consult a doctor immediately.
Eyes may be severely damaged.

⚠ WARNING

Handset, Battery & Charger

Do not insert foreign objects into the handset, Charger or Desktop Holder.
Do not insert metal or flammable objects into handset, Charger or Desktop Holder; may cause fire or electric shock. Keep out of children's reach.

Keep handset out of rain or extreme humidity.
Fire or electric shock may result.

Keep handset away from liquid-filled containers.
Keep the handset, Charger and Desktop Holder away from chemicals or liquids; fire or electric shock may result.

Avoid sources of fire.
Prevent fire or explosion. Do not use handset in the presence of gas or fine particles (coal, dust, metal, etc.).

Do not use Mobile Light near people's faces.
Eyesight may be temporarily affected leading to accidents.

Keep battery, handset, Charger or Desktop Holder away from microwave ovens.
Battery, handset, Charger or Desktop Holder may leak, burst, overheat or ignite, leading to accidents or injury.

Do not disassemble or modify handset or related hardware.
- Do not open handset, Charger or Desktop Holder; may cause electric shock or injury. Contact Vodafone Customer Center, Customer Assistance for repairs.
- Do not modify handset, Charger or Desktop Holder; fire or electric shock may result.

If water or foreign matter is inside handset:
Discontinue handset use to prevent fire/electric shock. Turn off handset, remove battery and unplug Charger, then contact Vodafone Customer Center, Customer Assistance.

Do not subject handset to strong shocks or impacts.
Strong shocks or impacts to handset, Charger or Desktop Holder may cause malfunction or injury. Should handset be damaged, remove battery then contact Vodafone Customer Center, Customer Assistance. Discontinue handset use; fire or electric shock may occur.

If an abnormality occurs:
If a handset emits an unusual sound, smoke or odor, discontinue use; may cause fire or electric shock. Turn off handset, remove battery and unplug Charger; contact Vodafone Customer Center, Customer Assistance.

Handset

Preventing accidents
- For safety, never use handset while driving. Pull over beforehand. Cellphone use while driving is prohibited by the revised Road Traffic Law (effective November 1, 2004).
- Do not use headphones while driving or riding a bicycle. Accidents may result.
- Moderate volume outside, especially at road/rail crossings to avoid accidents.

Keep Memory Card and Memory Card Adapter out of children's reach.
If swallowed, consult a doctor immediately.

Do not swing handset by handstrap.
May result in injury or breakage.

Turn handset power off before boarding aircraft.
Using wireless devices aboard aircraft may cause electronic malfunctions or endanger aircraft operation.

Adjusting vibration and Ring Tone settings:
Users with a heart condition/pacemaker/defibrillator should adjust handset settings accordingly.

During thunderstorms, turn power off; find cover.
There is a risk of lightning strike or electric shock.

Charger

Use only the specified voltage.
Non-specified voltages may cause fire or electric shock.
- Rapid Charger: AC 100V Input
- In-Car Charger: DC 12V-24V Input

Do not use In-Car Charger if vehicle has a positive earth.
Fire may result. Use In-Car Charger only inside vehicles with a negative earth.

Do not use Desktop Holder inside vehicles.
Extreme temperature or vibration may cause fire or damage handset, etc.

Charger care
- Do not touch blades with wet hands. Electric shock may occur.
- Do not use multiple cords in one outlet; may cause excess heat/fire.
- Do not bend, twist, pull or set objects on cord. Exposed wire may cause fire or electric shock.

Do not short-circuit Charger terminals.
May cause overheating, fire or electric shock. Keep metal away from terminals.

Preventing accidents
Secure In-Car Charger to avoid injury or accidents.

If Rapid Charger or In-Car Charger cord is damaged:
May cause fire or electric shock; contact Vodafone Customer Center, Customer Assistance to replace.

During thunderstorms:
Unplug Charger to avoid breakage, fire or electric shock.

Keep Charger or Desktop Holder out of children's reach.
Electric shock or injury may occur.

Battery

- If battery does not charge properly, stop charging. Battery may overheat, burst or ignite.
- If there is leakage or abnormal odor, avoid fire sources. Battery may catch fire/burst.

If there is abnormal odor, excessive heat, discoloration or distortion, remove battery from handset. It may leak, overheat or explode.

Handset Use & Electronic Medical Equipment

This section is based on "Guidelines on the Use of Radio Communications Equipment such as Cellular Telephones and Safeguards for Electronic Medical Equipment" (Electromagnetic Compatibility Conference, April 1997) and "Report of Investigation of the Effects of Radio Waves on Medical Equipment, etc." (Association of Radio Industries and Businesses, March 2001).

Anyone with an implanted pacemaker or defibrillator should keep handset more than 22 cm away from it.
Implanted pacemakers or defibrillators may malfunction due to radio waves.

Turn handset off in crowded places, like trains, where there may be people with implanted pacemakers/defibrillators near.
Implanted pacemakers or defibrillators may malfunction due to radio waves.

Observe these rules when visiting medical facilities:
- Do not enter an operating room or an Intensive or Coronary Care Unit while carrying a mobile handset.
- Keep handset off in hospitals.
- Keep handset off in hospital lobbies. Electronic equipment may be near.
- Obey rules regarding cellphone use in medical facilities.

Consult manufacturer for radio wave effects on electronic medical equipment.

⚠ CAUTION

Handset, Battery & Charger

Handset care
- Place handset on stable surfaces to avoid malfunction or injury.
- Keep handset away from oily smoke or steam. Fire or accidents may result.
- Cold air from air conditioners may condense, resulting in leakage or burnout.
- Keep handset away from direct sunlight (inside vehicles, etc.) or heat sources. Distortion, discoloration or fire may occur. Battery shape may be affected.
- Keep handset out of extremely cold places to avoid malfunction or accidents.
- Keep handset away from fire sources to avoid malfunction or accidents.

Usage environment
- Excessive dust may prevent heat release and cause burnout or fire.
- Avoid using handset on the beach. Sand may cause malfunction or accidents.
- Keep handset away from credit cards, telephone cards, etc. to avoid data loss.

Handset

Avoid leaving handset in extreme heat (inside vehicles, etc.).
Handset may become hot to the touch, leading to burn injuries.

Volume settings:
Moderate handset volume; excessive volume may damage ears or hearing.

Inside vehicles:
Handset use may cause electronic equipment to malfunction.

If you experience any skin irritation associated with handset use, discontinue handset use and consult a doctor.
Some materials may cause skin irritation, rashes, or itchiness depending on your physical condition.

Charger

Charger & In-Car Charger
- Grasp plug (not cord) to disconnect Charger. May cause fire/electric shock.
- Keep cord away from heaters. Exposed wire may cause fire or electric shock.
- Stop use if plug is hot or improperly connected. May cause fire/electric shock.
- Keep In-Car Charger socket clean. May overheat and cause injury.

Do not touch Desktop Holder while in use.
May cause burns.

Use only the specified fuse.
1 A fuse for In-Car Charger. Or may cause breakage/fire.

Always charge handset in a well-ventilated area.
Avoid covering/wrapping Charger and Desktop Holder; may cause damage/fire.

Do not use In-Car Charger when engine is off.
To avoid weakening the car battery, always start engine before charging the handset using In-Car Charger.

During periods of disuse
Always unplug Rapid Charger or In-Car Charger after use.

Handset maintenance
Always disconnect Rapid Charger or In-Car Charger when cleaning handset, to prevent shock/injury.

Installing In-Car Charger
Properly position the cable for safe driving to avoid injury or accidents.

Battery

 Do not throw or abuse battery. Battery may overheat, burst or ignite.

 Do not leave battery in direct sunlight or inside a closed vehicle; may reduce battery performance or overheat. An overheated battery may cause fire.

 Do not expose battery to liquids. Performance may deteriorate.

 If battery fluid contacts skin or clothes, rinse with clean water immediately.

 Do not dispose of an exhausted battery with ordinary refuse; always tape over battery terminals before disposal. Take exhausted battery to a Vodafone shop, or follow the local disposal regulations.

 Keep battery out of children's reach.

- Charge battery in ambient temperature between 5°C and 35°C; outside this range, battery may leak/overheat and performance may deteriorate.
- If your child is using handset, explain all instructions and supervise usage.
- If there is abnormal odor or excessive heat, stop using battery and call Vodafone Customer Center, Customer Assistance.
- Do not leave battery uncharged. Charge battery at least once every six months, otherwise, battery may become unusable.

General Notes

General Use

- Vodafone is not liable for any damages resulting from accidental loss/alteration of handset data. Keep a copy of Phone Book entries, etc. in a separate place.
- Handset transmissions may be disrupted inside buildings, tunnels or underground, or when moving into/out of such places.
- Use handset without disturbing others.
- Handsets are radios as stipulated by the Radio Law. Under the Radio Law, handsets must be submitted for inspection upon request.
- Handset use near landlines, TVs or radios may cause interference.
- **Beware of eavesdropping.**
  Because this service is completely digital, the possibility of signal interception is greatly reduced. However, some transmissions may be overheard.
  Eavesdropping
  Deliberate/accidental interception of communications constitutes eavesdropping.

Inside Vehicles

- Never use handset while driving.
- Do not park illegally to use handset.
- Handset use may affect a vehicle's electronic equipment.

Aboard Aircraft

Never use handset aboard aircraft (keep power off). Handset use may impair aircraft operation.

Handset Care

- If handset is left with no battery or an exhausted one, data may be altered/lost. Vodafone is not liable for any resulting damages.
- Use handset within temperatures of 5°C to 35°C and humidity of 35% to 85%. Avoid extreme temperatures/direct sunlight.
- Exposing lens to direct sunlight may damage color filter and affect image color.
- Do not drop or subject handset to shocks.
- Clean handset with dry, soft cloth. Using alcohol, thinner, etc. may damage it.
- Do not expose handset to rain, snow or high humidity.
- Never disassemble or modify handset.
- Avoid scratching handset Display.
- When closing handset, keep straps, etc. outside to avoid damaging the Display.
- **Handset is not water-proof. Avoid exposure to liquids and high humidity.**
  - Keep handset away from precipitation.
  - Cold air from air conditioning, etc. may condense causing corrosion.
  - Avoid dropping handset in damp places (restrooms, bath/shower rooms, etc.).
  - On the beach, keep handset away from water and direct sunlight.
  - Perspiration may seep inside handset causing malfunction.
- **Avoid heavy objects or excessive pressure. May cause malfunction or injury.**
  - Do not sit down with handset in a back pocket.
  - Do not place heavy objects on handset in a bag.
- Connect only the specified products to Headphone Connector. Non-specified devices may malfunction or cause damage.
- Always turn off handset before removing battery. If battery is removed while saving data or sending mail, data may be lost, changed or destroyed.

Copyrights

Copyright laws protect sounds, images, computer programs, databases, other materials and copyright holders. Duplicated material is limited to private use only. Use of materials beyond this limit or without permission of copyright holders may constitute copyright infringement, and be subject to criminal punishment. Comply with copyright laws when using images captured with handset camera.

Minding Mobile Manners

Please use your handset responsibly. Use these basic tips as a guide.
Inappropriate handset use can be both dangerous and bothersome. Please take care not to disturb others when using your handset. Adjust handset use according to your surroundings.

- Turn it off in theaters, museums and other places where silence is the norm.
- Refrain from using it in restaurants, hotel lobbies, elevators, etc.
- Observe signs and instructions regarding handset use aboard trains, etc.
- Refrain from use that interrupts the flow of pedestrian or vehicle traffic.

Manner-Related Features

■ Manner Mode

Press Manner Key to automatically mute all Ring Tones and activate Vibration mode for incoming calls, mail, etc.

■ Vibration Mode

Activate Vibration mode to use handset vibration to alert you to incoming calls, mail, etc. in public places.

■ Volume Settings

Decrease or mute Ring Tone volume for incoming calls, mail, etc. as well as tones for Web or V-Applications when carrying handset in public places.

■ Whisper Mode

Use Whisper Mode to increase microphone sensitivity, allowing you to lower your voice and speak softly when you must use handset in public places.

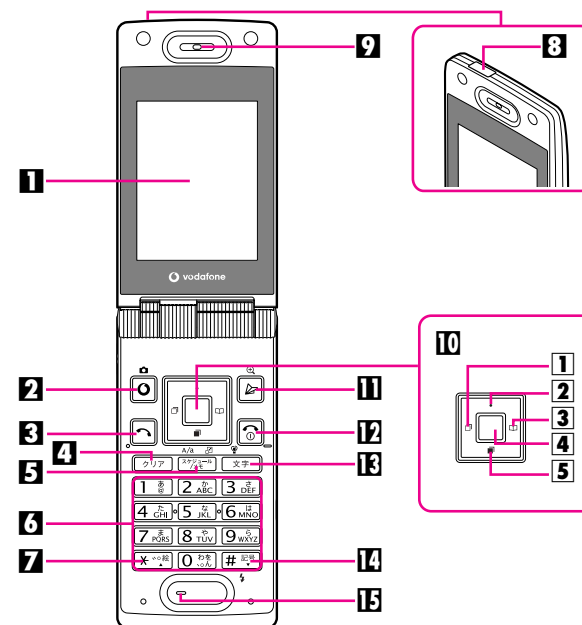
■ Off-Line Mode

Use Off-Line Mode to temporarily suspend all handset transmissions. In Off-Line Mode, incoming/outgoing calls and Vodafone live! transmissions are blocked.

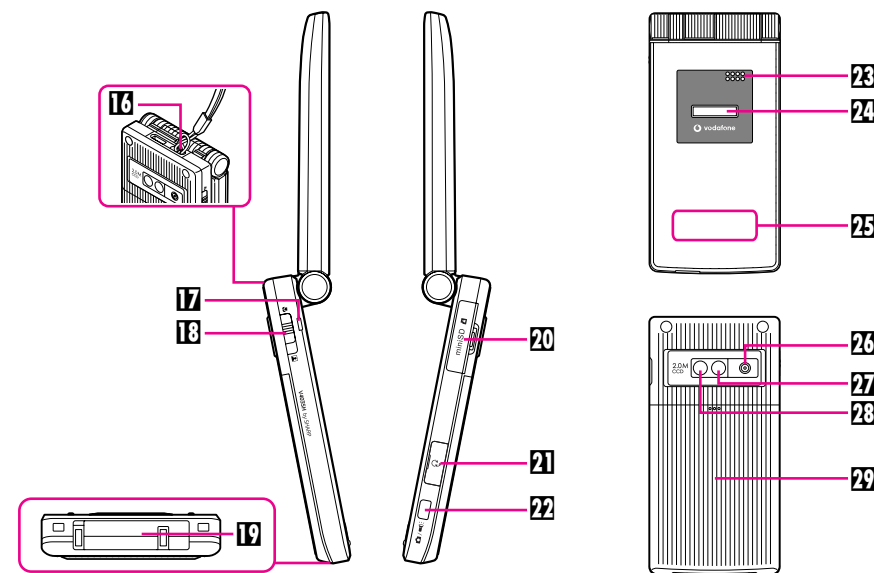
■ Message Recorder

Use Message Recorder to handle incoming calls when it is inappropriate or unsafe to answer.

Handset Parts & Functions

Handset (Interior)

1 Display
2 Web & Mobile Camera Key
Open Web menu or execute left Soft Key functions. Press for 1+ seconds to activate mobile camera.
3 Start Key
Initiate or answer calls.
4 Clear Key
Delete entries or return to previous window.
5 Schedule/Memo & A/a Key
Save/check Schedule or record/play Voice Memos. In text entry windows, toggle upper/lower case roman letters or standard/small hiragana/katakana. Change image display sizes.
6 Keypad
7 ✱ Key
While an image or message appears, press to open next one (newer one).
In alphanumeric entry, open web/mail address prefixes & suffixes, and in kanji (hiragana) entry, toggle Symbol/Pictograph Lists.
8 Infrared Port
Use for infrared data transmissions.

9 Earpiece
10 Multi Selector
Select menu items, move cursor, scroll, etc. or use for the following:
1 Redial & Notepad Memory Key
Select dialed numbers or return to the previous window. In Standby, press for 1+ seconds to open Notepad Memory.
2 Shortcut Guide Key
In Standby, open Long Press Key Guide. In Standby, press for 1+ seconds to open Earpiece Volume window.
3 Phone Book Key
Launch Phone Book Search, scroll entries or items within entries; open selected menu items. In Standby, press for 1+ seconds to save new entries.
4 Function & Key Guard Key
In Standby, press to open Index Menu; press twice for Functions menu. Open any selected menu or menu item. Execute functions including camera shutter release. In Standby, press for 1+ seconds to toggle Key Guard on/off.
5 Call History Key
Open received call records. In Standby, press for 1+ seconds to open Earpiece Volume window.
11 Mail Key
Open Mail menu or execute right Soft Key functions. In Standby, press for 1+ seconds to activate/cancel Large Font Mode.
12 Power On/Off & End Key
End calls, place callers on hold or cancel operations. Press for 2+ seconds to turn handset power on/off.
13 Text & Manner Key ()
Toggle between character entry modes or create Phone Book entries. Press for 1+ seconds to activate/cancel Manner Mode.
14 # Key
While an image or message appears, press to open previous one (older one). In text entry windows, toggle Symbol/Pictograph Lists.
15 Microphone

Handset (Exterior)

16 Strap Eyelet
Attach straps as shown.
17 Small Light
Illuminates/flashes while charging, for incoming calls, etc.
18 Portrait ()/Macro () Selector
19 External Device Connector
Connect Charger here.
20 Memory Card Slot
Insert Memory Card here.
21 Headphone Connector
Connect headphones, etc.
22 Side Key
When camera is active, press to capture images. When handset is closed, press for 1+ seconds to activate the function assigned in Side Key Settings. In Standby (with handset open), press for 1+ seconds to activate mobile camera.
23 Speaker
24 Sub Display
25 Internal Antenna Location
26 Camera (lens cover)
Capture still and video images.
27 Mirror
Use reflection to adjust handset position for self portraits.
28 Mobile Light
Flashes for incoming calls/mail. Serves as a strobe or Pen Light.
29 Battery Cover

> **Note** Do not cover or place stickers, etc. over the area containing Internal Antenna.

Charging Battery

Battery & Charger

Charge a new battery before use or after a period of disuse.

■ Battery Life

- Use specified Charger only. Other chargers may damage handset, or cause battery to deteriorate, overheat or ignite.
- Do not use or store battery at extreme temperatures. May shorten battery life. Ideal working temperature is between 5°C and 35°C.
- Replace battery if operating time is noticeably shorter than normal.

■ Charging

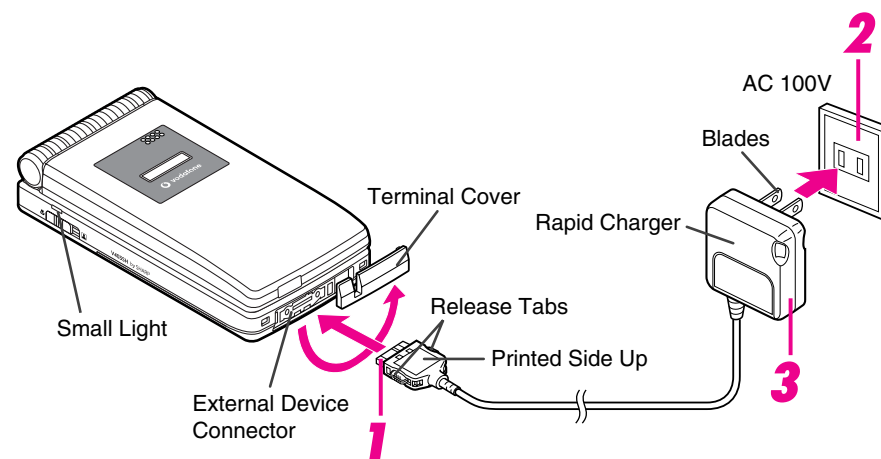
- Do not use Charger for other purposes.
- Battery may short-circuit, overheat or burst from contact with metal objects.
- Small Light illuminates red while charging. (It may take a while for the light to illuminate when handset power is off.)
- Charger and battery may become warm during charging.
- Move Charger away from home TVs or radios if interference occurs.

■ Precautions

- Use a dry cotton swab to clean handset, battery and Charger terminals.
- Avoid:
  - Extreme temperatures
  - Humidity, dust and vibration
  - Direct sunlight
- Do not leave battery uncharged. Charge at least once every six months, otherwise, battery may become unusable.
- Use a case when carrying battery separately.

■ Battery Disposal

- Do not dispose of an exhausted battery with ordinary refuse; always tape over battery terminals before disposal. Take exhausted battery to a Vodafone shop, or follow the local disposal regulations.

Charging (Use Specified Charger Only)

1 Open Terminal Cover and insert Charger connector

Squeeze release tabs and insert connector fully.

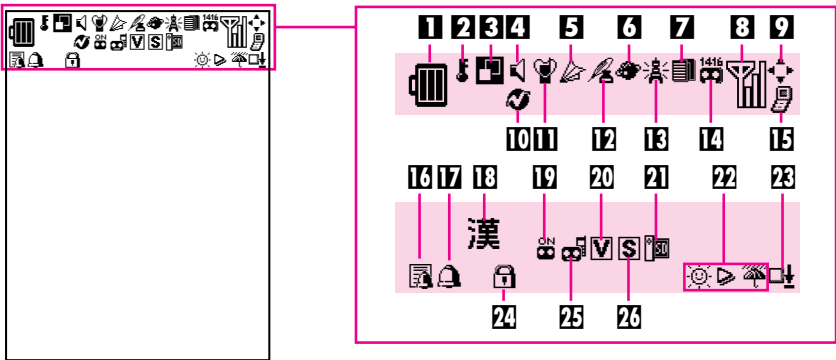
2 Plug in Charger

- Charging starts and Small Light illuminates red.(Charging takes approximately 115 minutes.)
- Charging is complete when Small Light goes out.
- Extend Charger blades. (Fold back when not in use.)

3 After charging, unplug Charger from the AC outlet, then handset

- Squeeze release tabs and pull connector straight out.
- Replace Terminal Cover to protect External Device Connector.

> **Note** Do not pull, bend or twist Rapid Charger cord.

Display Indicators

1 Battery Strength, Pen Light
and flash when Pen Light is in use

2 Secret Mode Active
Flashes when a Secret Mode entry is open.

3 Original, Enlarged
Mail, Web or Data Folder image display size

4 Speaker Phone Active, Speaker Active
Line Active (Web communication in progress)
(gray) Station Manual Update

5 Mail
Unread mail except Long Mail

6 Web
Unread Web Information

7 Delivery Report
New Delivery Report

8 Signal Strength (: Strong : Moderate : Low : Weak OUT: Out-of-Range)
Infrared Transmission

9 Scroll

10 Active V-Application, Paused V-Application

11 Manner Mode Active

12 Long Mail
Unread Long Mail

13 (red) Station
Unread Station information

14 New Voice Mail, Off-Line Mode

15 Handset, Memory Card
Accessing handset or Memory Card

16 Schedule (Alarm On)
Schedule (Alarm Off)

17 Alarm Set

18 Entry Mode
Current character entry mode

漢	Kanji (hiragana)
ア	Double-byte katakana
ｱ	Single-byte katakana
Ａ	Double-byte alphanumerics (upper/lower case)
ａ	Double-byte alphanumerics (lower case)
A	Single-byte alphanumerics (upper/lower case)
a	Single-byte alphanumerics (lower case)
1	Single-byte numbers
絵	Pictograph code
区	Character code
Ｐ*	Double-byte upper case
P*	Single-byte upper case
ｐ*	Double-byte lower case
p*	Single-byte lower case

*Available in Pager Mode

19 Message Recorder Active

20 Vibration Active

21 Memory Card Status
Simple Mode Active

22 Weather Indicators
Current forecast (A separate subscription is required.)

23 Key Guard Active

24 Keypad Lock Active

25 Message
Message Recorder messages

26 Silent, Rising Tone
Ringer is Silent or Rising Tone.

Although Vibration and Ring Tone Level for incoming calls and Vodafone live! functions are set separately, V , S , and are Incoming Call indicators.

Sub Display Indicators

Sub Display & Display indicators (see P.15-16 - 15-17) represent the same functions.

1 Battery Strength, Missed Call, Mail, Message, Voice Mail
Web, Station, Alarm, Pen Light
always appears in Standby. , , , , or appears with messages respectively for mail, Message Recorder message, Voice Mail, Web, Station and Alarm.
and flash when Pen Light is in use.

2 Signal Strength

3 Information
Appears for a missed call, Message Recorder message, unread mail, etc.
- When appears, press Side Key for 1+ seconds with handset closed to see specific indicators.

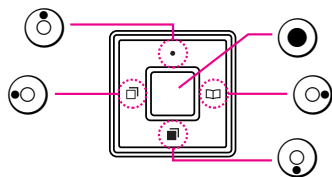
Off-Line Mode

4 Time
Current time and corresponding indicator flash when Stopwatch or Kitchen Timer is running.

Tip When handset is closed, press Side Key to illuminate Sub Display Backlight. Backlight stays off if Sub Display Backlight Settings is set to *Off*.

Symbols

Multi Selector

Use Multi Selector to select menu items, move cursor, scroll, etc.
In this manual, Multi Selector operations are indicated as follows:

Basic Multi Selector Operations

- : Press or
- : Press or
- : Press , , or

Menu Items

Use or to select menu items. (Example: Select 1 *Sounds* and press .)

Handset Codes

Both Security Code and Center Access Code are needed for handset use.

Security Code

9999 or 4-digit number selected at initial subscription. Security Code is required to use/change some handset functions.

- appears when Security Code is entered.
- If incorrect, ***Invalid Code*** appears. Enter correct Security Code.
- Change Security Code as needed.

Center Access Code

The 4-digit number in the contract, required to access Optional Services via landlines, and to subscribe to fee-based information. Do not attempt to change Center Access Code. Contact Vodafone Customer Center, General Information (see P.15-36) for details.

Note
- Write down Center Access Code. If lost, contact Vodafone Customer Center, General Information (see P.15-36).
- Do not reveal Security Code and Center Access Code. Vodafone is not liable for misuse or damages.

Basic Handset Operations

Handset Power On/Off

Turning On

1. Open handset
2. Press for 1+ seconds

Turning Off

1. Open handset
2. Press for 2+ seconds

English Display

1. Press 3 5
2. Select 2 *English* and press

Your Phone Number

1 Press ● 0

2 Press [end key] to exit

Setting Clock

1 Press ● 5 9

2 Enter current date and time

3 Press ●

Initiating a Call

1 Enter a phone number

2 Press [send key]

Placing an International Call

International calls can be made directly from handset. An additional contract is required to use this service. (No basic monthly charges or application fees required.) Enter 0 0 4 6 + 0 1 0 + country code + area code + phone number. Call Vodafone Customer Center, General Information at 157 from a Vodafone handset or the number for your Subscription Area in "Customer Service" for support.

Example: Calling the United Kingdom

1 Enter 0 0 4 6 0 1 0

2 Enter 4 4 (Country Code)

3 Enter a phone number with the area code

4 Press [send key]

Note Omit the first 0 of the area code except when calling Italy or Russia.

Redial

1 Press [left soft key] (□)

2 Select a phone number and press ●

3 Press [send key]

Total Charges & Talk Time

1 Press ● 6 0 (Total Charges) or ● 6 2 (Total Talk Time)

2 Press [end key] to exit

Answering a Call

1 When a call arrives, open handset

2 Press [send key]

Alternatively, press any of the following keys: 0 - 9, *, #, スケジュール/メモ, クリア, [keys]

Placing Callers on Hold

1 When a call arrives, open handset

2 Press [end key] to place caller on hold

3 Press [send key] to answer the call

Message Recorder & Voice Mail

Use Message Recorder or Voice Mail to record caller messages.

	Message Recorder	Voice Mail
Message Recorded	Handset	Voice Mail Center
Setting	Press ● 文字	Press ● 7 2, select Ring Tone option (1 ***Call*** or 2 ***No Call***) and press ●
Additional Contract	Not Required	Required
Message Indicator	[icon]	[icon]
Play	Press ● スケジュール/メモ	Press ● 7 7, choose 1 ***Yes*** and press ●
Delete	During playback, press クリア, choose 1 ***Yes*** and press ●	After playback, press 0*
When Handset is Off	Not Available	Available
When Handset is Out-of-Range	Not Available	Available

*The key for this operation may vary by Subscription Area. Please call Vodafone Customer Center, General Information.

- While Voice Mail is inactive, press ● and [end key] to forward an incoming call. (This function is for one time only. Voice Mail remains canceled.)
- Activating Voice Mail cancels Call Forwarding.

Forwarding a Call

Transfer incoming calls to a specified phone number.

Saving Forwarding Number

1. Press ◉ [7PQRS] [1 @]
2. Select [2] ***Set Fwd Number*** and press ◉
3. Enter a phone number and press ◉

Activating Call Forwarding

1. Press ◉ [7PQRS] [1 @]
2. Select [1] ***Start Fwd*** and press ◉
3. Select [1] ***Call*** (with Ring Tone) or [2] ***No Call*** (without Ring Tone) and press ◉

Activating Call Forwarding cancels Voice Mail.

Dialing from Call History

1. Press [⚲] (▣)
2. Select a record and press ◉
3. Press [↖]

Manner Mode

Activate Manner mode for proper handset etiquette.

1. Press [文字] for 1+ seconds
   Default Manner Mode Settings:
   ①Mutes Keypad Sound as well as Power On/Off and error tones.
   ②Shutter Click and Self Timer tone sound even in Manner Mode.
   ③Simultaneously invokes: Message Recorder (On), Ring Tone Level (Silent), Vibration (On), LED Indicator (Small Light), Whisper Mode (On), Sound Volume (Silent), Alarm Volume (Silent), Alarm Vibration (On), V-Appli Volume (Silent), V-Appli Vibration (On). Adjust settings as required.

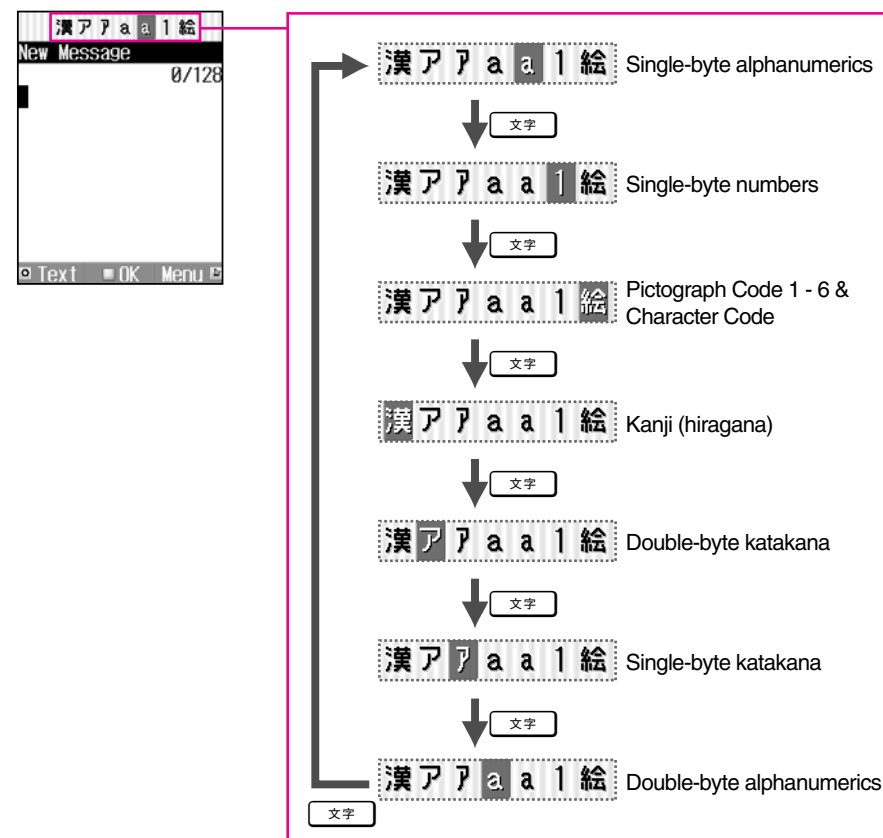
Canceling Manner Mode
Press [文字] for 1+ seconds.

Entering Characters

Entry Modes

Press [文字] to toggle between entry modes.

15

Abridged English Manual

Key Assignments

Key	Single-byte Alphanumerics		Single-byte Numbers	Pictograph Code 1 - 6 & Character Codes
	Upper & Lower Case	Lower Case		
1	@./_-1 (Space)	@./_-1 (Space)	1	1
2 ABC	ABCabc2	abc2	2	2
3 DEF	DEFdef3	def3	3	3
4 GHI	GHIghi4	ghi4	4	4
5 JKL	JKLjkl5	jkl5	5	5
6 MNO	MNOmno6	mno6	6	6
7 PQRS	PQRSpqrs7	pqrs7	7	7
8 TUV	TUVtuv8	tuv8	8	8
9 WXYZ	WXYZwxyz9	wxyz9	9	9
0	,.0↵ (Line Break)	,.0↵ (Line Break)	0	0
*	Single-byte Mail/Web Extensions[1]		* - P (Pause)[2]	
#	Log, Symbol/Pictograph List		#	
Up	Cursor Up			
Down	Cursor Down ↵ (Line Break)			
Left	Cursor Left			
Right	Cursor Right			
文字	Change Entry Mode			
スケジュール/メモ	Toggle Case + Toggle Mode (upper/lower and lower case)			
クリア (Press)	Delete One Character			Delete Code/ One Character
クリア (Long Press)	Delete All			
↩	Recover up to 64 deleted characters[3]			
●	OK			
◎				Toggle Pictograph Code 1-6 and Character Code
✉				Open list[4] for Pictograph Code 1-6

[1]Extensions are listed for easy entry.
[2]- and *P* (Pause) are for phone number entry.
[3]Press ↩ once for each character to recover immediately after deleting. (Not available after deleting text with クリア (Long Press).)
[4]List is not available for Character Codes.

Entering Consecutive Characters Assigned to the Same Key
Press key for 1+ seconds to enter current character and move cursor to the right.
Editing Characters
Use ✣ to select a character. Press クリア to delete it and then enter another.

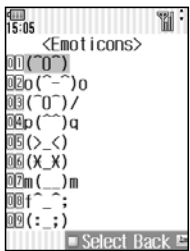
Symbols, Pictographs & Emoticons

Symbols & Pictographs (Single-byte Alphanumerics Mode)

1. In a text entry window, press # to open Symbol List
2. Press # to toggle the list as follows: Symbol List → Pictograph List (6 - 1) → Log List
3. Use ✣ to select one and press ●
4. Press ✉ Back to exit list

- Single-byte Symbols do not appear in Log List.
- Symbols are double or single-byte according to the entry mode. (Pictographs are all double-byte.)

Emoticons

1. In a text entry window, press ✉ Menu
2. Select 8 *Emoticons* and press ●
3. Select an emoticon and press ●

Saving to Phone Book

Save names with phone numbers, mail addresses, etc. to Phone Book.

Phone Book Entry Items

Item		Description
: Name		Enter up to 16 single-byte characters
: Reading		Katakana, alphanumerics or Symbols appear as names are entered (up to 10 single-byte characters including ﾞ and ﾟ)
: Phone Number		Enter up to three phone numbers (24 digits each)
: Mail Address		Enter up to three addresses (60 single-byte alphanumerics each)
: Group		Sort entries into 10 Groups (0 - 9). Change Group names or set Ring Tone by Group.
: Personal Data		Add personal details. Use up to 60 single-byte characters.
: Secret Mode		Restrict access to Phone Book entries by saving them as Secret Mode entries
: Photo		Select an image to appear for each Phone Book entry; activate Picture Call/Mail to make image appear for incoming calls/mail.
Option Settings	Personal Ring Tone	Set Ring Tone by caller
	Incoming Notice	Set Ring Tone by sender
	Picture Call/Mail	Set images to appear by caller or sender
	Mail Folder	Messages are sorted into folders

■ Save up to 500 entries (000 - 499) in Phone Book.

Back-up Important Information
Keep separate copies of important information. When battery is exhausted/removed for long periods, Phone Book entries may be lost; handset damage may also affect information recovery. Vodafone is not liable for damages from lost or altered data.

15

Abridged English Manual

New Phone Book Entries

Enter a name, reading, phone number and mail address.

1 Press 文字
2 Enter a name
3 Press ◉
Entered characters appear as Reading :.

Correcting Reading
Select : and press ◉. Make corrections and press ◉.

4 Select : and press ◉
5 Enter a phone number and press ◉
6 Select an icon and press ◉
7 Select : and press ◉
8 Enter a mail address and press ◉
9 Select an icon and press ◉
10 Press Save
11 Enter Memory No. (000 - 499)

Enter a name, phone number or mail address to create a Phone Book entry.

Editing Phone Book

1 Open a Phone Book entry (see P.15-28 "Dialing from Phone Book")
2 Press ◉ Menu
3 Select *Edit* and press ◉
4 Select an item and press ◉
5 Edit contents and press ◉
After numbers/mail addresses, select an icon and press ◉.
6 Press Save when finished
7 Press ◉
8 Choose 1 *Yes* and press ◉

15

Abridged English Manual

Saving from Call History

1 Select a record (see Steps 1 - 2 in "Dialing from Call History" on P.15-22)

2 Press ▷ Menu, select ***Add to Phone Book*** and press ◉

3 ***New Entry***

1. Select 1 ***New Entry*** and press ◉
2. Follow Steps 2 - 11 in "New Phone Book Entries" on P.15-27

New Item

1. Select 2 ***New Item*** and press ◉
2. Open a Phone Book entry (see Steps 2 - 4 in "Entry Number Search" or "Search by Reading" below) and press ◉
   Select an icon and press ◉, then perform Steps 6 - 8 in "Editing Phone Book" on P.15-27.

Dialing from Phone Book

Entry Number Search

1 Press ◯ (📖)
The search method used last appears.

2 Press ▷ Menu, select ***Memory No. Search*** and press ◉

3 Enter Memory No. (000 - 499)

4 Select a name and press ◉

Selecting from Multiple Numbers
Use ◯ to select other numbers.

5 Press ⌒

Search by Reading

1 Press ◯ (📖)
The search method used last appears.

2 Press ▷ Menu, select ***Search by Reading*** and press ◉

3 Enter reading (up to 10 single-byte characters) and press ◉

4 Select a name and press ◉

Selecting from Multiple Numbers
Use ◯ to select other numbers.

5 Press ⌒

Mobile Camera

Before Using Camera

Select from four different shooting modes. Use ***Sha-mail Mode***, ***Wallpaper Mode*** and ***Camera Mode*** for still images and ***Action Snap Mode*** for video.

Mode	Image Size	File Format	Save Location
Sha-mail	W 120 × H 160 dots W 120 × H 128 dots	JPEG/PNG	Handset or Memory Card
Wallpaper	W 240 × H 320 dots	JPEG	
Camera	W 1632 × H 1224 dots W 1280 × H 960 dots W 1024 × H 768 dots W 640 × H 480 dots		
Action Snap	W 120 × H 88 dots	MPEG	

Camera Shake
If handset moves while shooting, images may blur. Hold handset firmly or place it on a stable surface and use Self Timer.

Lens Cover
Clean dust/smudges from lens cover (see P.15-13 26) with a soft cloth before use.

Camera

- Mobile camera is a precision instrument, however, some pixels may appear brighter/darker.
- Shooting/saving images while handset is hot may affect the image quality.
- Subjecting the lens to direct sunlight will damage the camera's color filter.

Capturing Still Images

1 In Standby, press ◉, select ***Camera*** and press ◉

2 Select 1 ***Sha-mail Mode***, 2 ***Wallpaper Mode*** or 3 ***Camera Mode*** and press ◉

3 Frame image on Display

4 Press ◉ Shoot or Side Key

5 Press ◉ Save to save image

6 Press ⌂ to exit

Data Folder

Contents

Files created or obtained via Web or Sky/Long Mail are organized in separate folders according to file format. Files are sorted as follows:

Opening Data Folder

1. In Standby, press ◉, select ***My Files*** and press ◉
2. Select ***Data Folder*** and press ◉
3. Select a folder and press ◉
4. Select a file and press ◉
5. Press クリア to return to file list

Long Mail Attachments

Example: Attaching an image from Images folder to Long Mail

1. In Standby, press ◉, select ***My Files*** and press ◉
2. Select ***Data Folder*** and press ◉
3. Select ***Images*** and press ◉
4. Select a file and press ⊙ Sha-mail
5. Enter recipient, complete other fields and press ✉ to send Long Mail

Function List

[1] Also available during calls.
[2] Currently not available for subscribers in Tohoku, Niigata, Chugoku and Shikoku areas.
[3] Currently not available for subscribers in Hokkaido, Hokuriku, Kyushu and Okinawa areas.

Functions Menu	Description
0. My Number[1]	Open handset phone number
1. Sounds	Call Functions, Volume, Sound Effects, etc.
2. Privacy	Restrict access/use with Keypad Lock, Auto Key Lock, etc.
3. Settings 1	Access Light Settings, Side Key Settings, etc.
4. Settings 2	Access Display Settings, Message Recorder, etc.
5. Clock	Alarm, Clock Display, etc.
6. Charges	Call Charge, Total Talk Time, etc.
7. Services	Activate Optional Services (Voice Mail, Call Forwarding)
8. Vodafone live!	Access Mail, Web, Station and V-Applications

■ 1. Sounds

Function	Description
0. Call Functions	Set Ring Tones
1. Volume[1]	Adjust volume
3. Sound Effects	Adjust sounds and volume for handset operations
5. Ringer Out	Disable handset speaker when headphones are connected
6. Speaker[1]	Set Speaker Phone or Speaker
7. Original Tones	Save Original Ring Tones/Original Voice
8. Instrument Effects	Save Instrument Effects
9. Tone Octave	Set Tone Octave

■ 2. Privacy

Function	Description
0. Keypad Lock	Disable keys to limit access to handset functions
1. Auto Key Lock	Disable all keys automatically when power is activated
2. Secret Mode[1]	Enable to see Secret Mode Phone Book entries
3. Phone Book Lock	Disable Phone Book
4. Restrict Dial	Restrict calling from Keypad
5. Accept Call	Accept calls from designated numbers
6. Reject Call	Reject calls from designated numbers
7. Reset All	Delete all saved information and restore default settings
8. Change Code	Change Security Code
9. Reset Defaults	Return handset functions to their default settings

■ 3. Settings 1

Function	Description
0. Guide[1]	Key ops for functions other than function shortcuts
1. Memory	Check memory status
2. Off-Line Mode	Temporarily suspend handset transmissions
3. Battery Saving	Activate/cancel Power Saving/Panel Saving
4. Light Settings	Turn backlights on/off; adjust active times and brightness
5. 言語選択 (Language)	Switch handset interface between Japanese and English
6. Sub Display	Adjust Sub Display-related settings
7. Group Settings	Change Group Names/Group Ring Tones
8. Signal Alert	Activate or cancel weak signal alarm
9. SideKey Settings [sic]	Assign functions to Side Key to use with handset closed

■ 4. Settings 2

Function	Description
0. Display Settings	Adjust Display-related settings
1. Display Patterns	Customize indicators, menu design, etc.
2. Spending Memo[1]	Open total expenditures and item list
3. User Dictionary	Save words/phrases or activate downloaded dictionaries
4. Message Recorder	Activate/cancel Message Recorder and customize settings
6. Manner Settings	Change Manner Mode settings
7. Incoming Light	Set Small Light to flash for incoming calls/mail, Alarm, etc.
8. Animation	Create animation or show/hide animation when sending/ receiving mail or information
9. Calculator	Use Calculator

■ 5. Clock

Function	Description
0. Alarm	Set Alarm
1. Auto Power On	Activate handset automatically at a specific time each day
2. Auto Power Off	Deactivate handset automatically at a specific time each day
3. Clock Display	Show Clock and Calendar in Standby
4. Useful Diary	Keep a diary with photos or video.
5. Stopwatch	Use Stopwatch
6. Kitchen Timer	Use Kitchen Timer
8. World Clock[1]	Display local date/time and date/time of another region
9. Clock Settings[1]	Set date and time

■ 6. Charges

Function	Description
0. Total Charges	Check Total Charges
1. Call Charge	Check Call Charge of the most recent call
2. Total Talk Time	Check Total Talk Time
3. Call Time	Check Talk Time of the most recent call
4. Instant Display	Set Call Charge to appear automatically after each call

■ 7. Services

Function	Description
0. Ring Time[2]	Set Call Forwarding/Voice Mail Ring Time
1. Call Forwarding	Set a forwarding number or initiate Call Forwarding
2. Voice Mail	Initiate Voice Mail
3. Cancel Secretary	Cancel Call Forwarding or Voice Mail
4. Check Secretary	Confirm Call Forwarding or Voice Mail status
5. Call Waiting[2, 3]	Set/cancel Call Waiting
6. Confirm Service[2, 3]	Check Call Waiting status
7. Play Voice Mail	Check Voice Mail messages
9. Setup Preset	Set a prefix to add when dialing from Phone Book

■ 8. Vodafone live!

Function	Description
1. Mail	Open Mail menu
2. Web	Open Web menu
3. Station	Open Station menu
4. V-Appli	Open V-Appli menu

Specifications

V403SH

Weight	Approximately 105 g (with battery)
Continuous Talk Time	Approximately 140 minutes
Continuous Standby Time	Approximately 450 hours
Charging Time (Power off)	Rapid Charger: Approximately 115 minutes In-Car Charger: Approximately 115 minutes
Dimensions (W × H × D)	Approximately 46.6 × 93 × 21 mm (closed)
Maximum Output	0.8 W

- Values above were calculated with battery installed.
- Continuous Talk Time is an average measured with a new, fully charged battery, at maximum output with both Power Saving and Panel Saving off, with stable signals. Continuous Talk Time may be less than half this value if signal is weak. Continuous Standby Time is an average measured with a new, fully charged battery, with handset closed without calls or operations, in Standby with stable signals. Standby Time may be less than half this value if handset is out-of-range or signal is weak. Standby Time may vary by environment (battery status, ambient temperature, etc.).
- Talk Time/Standby Time decrease with frequent use of Display/Keypad Backlights.
- Talk Time/Standby Time may decrease when a V-Application is active.
- Station Service may consume more power through automatic updates.
- Talk Time/Standby Time decrease with handset use in poor signal conditions.
- Display employs precision technology, however, some pixels may appear brighter or darker.

Rapid Charger

Power Source	AC 100 V, 50/60 Hz
Power Consumption	8 VA
Output Voltage/Current	DC 5.6 V/500 mA
Charging Temperature	5℃ - 35℃
Dimensions (W × H × D)	Approximately 48 × 17 × 46 mm (without protruding parts, cord)
Cord Length	Approximately 1.5 m

Battery

Voltage	3.7 V
Battery Type	Lithium-ion
Capacity	770 mAh
Dimensions (W × H × D)	Approximately 35.8 × 4.6 × 47.5 mm (without protruding parts)

Customer Service

If you have questions about Vodafone handsets or services, please call General Information. For repairs, please call Customer Assistance.

Vodafone Customer Centers

From a Vodafone handset, dial toll free at
157 for General Information or
113 for Customer Assistance

Call these numbers toll free from landlines.

Subscription Area	Service Center	Phone Number
Hokkaido, Aomori, Akita, Iwate, Yamagata, Miyagi, Fukushima, Niigata, Tokyo, Kanagawa, Chiba, Saitama, Ibaraki, Tochigi, Gunma, Yamanashi, Nagano, Toyama, Ishikawa, Fukui	General Information	0088-240-157
	Customer Assistance	0088-240-113
Aichi, Gifu, Mie, Shizuoka	General Information	0088-241-157
	Customer Assistance	0088-241-113
Osaka, Hyogo, Kyoto, Nara, Shiga, Wakayama	General Information	0088-242-157
	Customer Assistance	0088-242-113
Hiroshima, Okayama, Yamaguchi, Tottori, Shimane	General Information	0088-259-157
	Customer Assistance	0088-259-113
Tokushima, Kagawa, Ehime, Kochi	General Information	0088-247-157
	Customer Assistance	0088-247-113
Fukuoka, Saga, Nagasaki, Oita, Kumamoto, Miyazaki, Kagoshima, Okinawa	General Information	0088-250-157
	Customer Assistance	0088-250-113

付録

機能一覧

■：設定リセットで各種設定は初期状態に戻ります。
※1　通話中も実行できます。
※2　東北・新潟／中国／四国地域でご契約の場合、ご利用になれません。
※3　北海道／北陸／九州・沖縄地域でご契約の場合、ご利用になれません。
※4　切替通話中に限り操作できます。また、北海道／東北・新潟／北陸／中国／四国／九州・沖縄地域でご契約の場合、現在「**通話中転送**」はご利用になれません。

ファンクションメニューの項目	説明
0.ご自分の電話番号※1	V403SHの電話番号を表示します。
1.音関連機能	音に関するメニューを表示します。
2.管理機能	ダイヤル禁止や簡易ロックなど、管理（セキュリティ）に関するメニューを表示します。
3.表示／設定1	画面の照明設定やグループ設定、サイドキー設定などの表示、設定に関するメニューを表示します。
4.表示／設定2	画面表示設定やユーザー辞書登録などの表示、設定に関するメニューを表示します。
5.時計／アラーム機能	時計、アラームに関するメニューを表示します。
6.時間／料金機能	通話時間、料金に関するメニューを表示します。
7.付加サービス	オプションサービスに関するメニューを表示します。
8.Vodafone live!	ボーダフォンライブ! メニューを表示します。

■1.音関連機能のメニュー

機能名称	お買い上げ時	参照先
0.着信設定	「**着信設定**」内の表、ワンコールサイレント：OFF、クローズ終話設定：ON	P.8-2、P.2-10、P.2-3
1.受話音量調節※1	音量5	P.2-11
3.効果音設定	「**効果音設定**」内の表	P.8-6
5.着信音出力切替	イヤホン＋スピーカー	P.13-40
6.スピーカー設定※1	OFF	P.8-22
7.オリジナル着信音	ー	P.8-9
8.オリジナル音色	ー	P.8-17
9.音色オクターブ設定	ー	P.8-22

■2.管理機能のメニュー

機能名称	お買い上げ時	参照先
0.ダイヤル操作禁止	OFF	P.12-2
1.簡易ロック	OFF	P.12-3
2.シークレットモード※1	OFF	P.12-6
3.メモリ使用禁止	OFF	P.12-3
4.ダイヤル禁止	OFF	P.12-4
5.指定着信許可	OFF	P.12-5
6.指定着信拒否	すべてOFF	P.12-5
7.オールリセット	ー	P.12-7
8.暗証番号変更	ー	P.12-2
9.設定リセット	ー	P.12-7

■3.表示／設定1のメニュー

機能名称	お買い上げ時	参照先
0.ガイド機能※1	ー	P.1-26
1.メモリ確認	ー	P.5-8
2.オフラインモード	OFF	P.3-7
3.省電力設定	バッテリーセーブ：ON、パネルセーブON／OFF設定：ON（5分）、パネルセーブランプ表示設定：ランプ表示なし	P.13-35
4.照明設定	パネル照明ON／OFF：ON（15秒）、キー照明ON／OFF：ON（15秒）、車載時設定：OFF、パネル明るさ調整：明るさ4	P.7-12
5.Language	日本語	P.7-14
6.サブディスプレイ設定	サブディスプレイON／OFF：ON、照明設定：ON（15秒）、濃度調整：濃度5、相手表示設定：ON	P.7-13
7.グループ設定	ー	P.5-16
8.通話品質アラーム	OFF	P.13-2
9.サイドキー設定	着信時：簡易留守録、待受時：詳細表示	P.13-3

■4.表示／設定２のメニュー

機能名称	お買い上げ時	参照先
０.画面表示設定	壁紙設定：OFF 、マイキャラクタ：すべてOFF、文字表示設定：文字３、文字サイズ設定：すべて中、マーク表示設定：ON、ウェイクアップ：OFF、インデックスメニュー設定：パターン１	P.7-2、P.7-5、P.7-6、P.7-2、P.7-14 、P.7-6
１.画面パターン設定	「画面パターン設定」内の表	P.7-11
２.マネー積算メモ※１	ー	P.13-37
３.ユーザー辞書	ー	P.4-15
４.簡易留守	簡易留守設定：解除、音量設定：受話音量連動、車載簡易留守：ON、応答時間：９秒	P.13-4
６.マナー設定変更	「マナーモードの設定内容を変更する」内の表	P.3-4
７.お知らせランプ設定	すべてランプ表示なし	P.7-15
８.アニメーション設定	スクリーンアニメ：OFF、ボーダフォンライブ！アニメ：すべてON、メール背景アニメ：ON	P.7-15、P.7-14
９.簡易電卓	ー	P.13-36

■5.時計／アラーム機能のメニュー

機能名称	お買い上げ時	参照先
０.リピートアラーム設定	ー	P.13-7
１.自動電源ON	OFF	P.13-11
２.自動電源OFF	OFF	P.13-12
３.時計表示設定	時計大	P.7-3
４.ユースフルダイアリー	ー	P.13-23
５.ストップウォッチ	ー	P.13-26
６.キッチンタイマー	ー	P.13-27
８.世界時計※１	タイムゾーン設定：東京、サマータイム設定：Off	P.13-28
９.時刻設定※１	ー	P.1-21

■6.時間／料金機能のメニュー

機能名称	お買い上げ時	参照先
０.累積通話料金	０円	P.2-20
１.通話料金	０円	P.2-20
２.累積通話時間	０時間０分	P.2-19
３.通話時間	０分０秒	P.2-19
４.即時表示	OFF	P.2-19、P.2-20

■7.付加サービスのメニュー

機能名称	お買い上げ時	参照先
０.呼出時間設定※２	20秒	P.14-5
１.転送サービス	ー	P.14-3
２.留守番サービス	あり	P.14-4
３.秘書停止（転送／留守番サービス停止）	ー	P.14-3、P.14-4
４.秘書確認（転送／留守番サービス確認）	ー	P.14-3、P.14-5
５.割込設定※２※３	ー	P.14-6
６.割込確認※２※３	ー	P.14-6
７.留守録再生	ー	P.14-5
８.三者サービス※４	ー	P.14-7
９.プリセット登録	国際発信登録：0046010	P.2-5

■8. Vodafone live! のメニュー

機能名称	お買い上げ時	参照先
１.メール	ー	別冊
２.ウェブ	ー	別冊
３.ステーション	ー	別冊
４.Vアプリ	ー	別冊

■初期状態に戻る項目（ファンクションメニュー項目以外）

機能名称	お買い上げ時	参照先
マナーモード	解除	P.3-3
簡易留守録	解除	P.13-4
アドレス帳検索モード	メモリNo検索	P.5-12
スポットライト	継続点灯時間：１分、点灯カラー：ライチフルーツ（白色系統）	P.13-38
スケジュール表示切替	スタンプ＋詳細表示	P.13-18
バーコード読み取り表示サイズ切替	文字中／画像等倍	P.13-31

●カメラの各種設定も、すべてお買い上げの状態に戻ります。

故障かな？と思ったら

症状	確認すること	処置
電源が入らない	●を長く（1秒以上）押していますか？ ●電池切れになっていませんか？ ●電池パックがV403SHに装着されていますか？	●を長く（1秒以上）押してください。 ●電池パックを予備電池に交換するか、充電してください。 ●正しく装着してください。
「圏外」が表示され、電話がかけられない	●サービスエリア外か電波の届きにくい場所にいるのでは？	●電波の届く場所に移動してかけ直してください。
ボタン操作ができない	●誤動作防止が設定されていませんか？（「」表示） ●ダイヤル操作禁止が設定されていませんか？（「」表示）	●誤動作防止を解除してください。（☞P.1-20） ●ダイヤル操作禁止を解除してください。（☞P.12-2）
ダイヤルを押しても電話がかけられない	●誤動作防止が設定されていませんか？（「」表示） ●ダイヤル操作禁止が設定されていませんか？（「」表示） ●ダイヤル禁止が設定されていませんか？	●誤動作防止を解除してください。（☞P.1-20） ●ダイヤル操作禁止を解除してください。（☞P.12-2） ●ダイヤル禁止を解除してください。（☞P.12-4）
アドレス帳を使って電話がかけられない	●アドレス帳をシークレットデータにしていませんか？ ●メモリ使用禁止が設定されていませんか？	●シークレットモードに設定してください。（☞P.12-6） ●メモリ使用禁止を解除してください。（☞P.12-3）
発信しても通話音（プープー…）が出る	●市外局番など0から始まる相手の電話番号をダイヤルしていますか？ ●「圏外」が表示されていませんか？ ●オフラインモードが設定されていませんか？（「」表示）	●市外局番など0から始まる相手の電話番号をダイヤルしてください。 ●電波の届く場所に移動してかけ直してください。 ●オフラインモードを解除してください。（☞P.3-7）
通話がとぎれたり、切れる	●電波の届きにくい場所にいるのでは？ ●電池切れになっていませんか？	●電波の届く場所に移動してかけ直してください。 ●電池パックを予備電池に交換するか、充電してください。
通話中に「プチッ」と音が入る	●電波が弱くなって別のエリアに切り替わるときに発生することがあります。	—
画面の表示がちらつく	●蛍光灯の下では、画面の表示がちらつくことがあります。	—
バックライト消灯時の画面の表示が暗い	●画面の特性によるもので、故障ではありません。	—

症状	確認すること	処置
充電ができない	●急速充電器の接続コネクターがV403SHまたは卓上ホルダーに確実に差し込まれていますか？ ●急速充電器のプラグがしっかりとコンセントに差し込まれていますか？ ●電池パックがV403SHに装着されていますか？ ●V403SHが卓上ホルダーに確実に装着されていますか？ ●V403SH、電池パック、または卓上ホルダーの充電端子や急速充電器の接続コネクター、V403SHの外部機器端子、または卓上ホルダーの接続端子が汚れていませんか？ ●周囲温度が5℃〜35℃以外になると、充電できないことがあります。 ●電池パックの寿命、または電池パックが異常です。	●もう一度、確実に差し込んでください。 ●もう一度、確実に差し込んでください。 ●正しく装着してください。 ●もう一度、確実に装着し直してください。 ●端子部を綿棒などで清掃してください。 ●周囲温度5℃〜35℃の場所でご使用ください。 ●新しい電池パックと交換してください。
充電時間が短い	●電池パックに容量が残っている場合は、充電時間が短くなります。	—
熱くなる	●充電中に、急速充電器や卓上ホルダーが発熱することがあります。長時間通話すると、V403SHが熱くなることがあります。手で触れることのできる温度であれば異常ではありません。	—
電池パックの消耗が早い	●使用環境（気温／充電状況／電波状態）、操作や設定状態によっては、電池パックの消耗が早くなります。	●**「完全に充電したときの利用可能時間」、「電池パックの持ちについて」、「電池パックの消耗を軽減するには」**を参照してください。（☞P.1-11〜P.1-12）

故障の際の連絡先やアフターサービスについては、お問い合わせ先（☞P.16-20）までご連絡ください。

こんなときはご利用になれません

■「圏外」表示が出ているとき

サービスエリア外か電波の届かない場所にいるためです。「圏外」表示が消え、受信電波の強さを示すバーが１本以上表示される場所へ移動してください。

■「 」表示が出ているとき

オフラインモードが設定されています。（☞P.3-7）

設定を解除しないと、電話の発信／着信、メールの送受信、ウェブなど、電波のやりとりを行う機能は利用できません。

■「充電して下さい」のメッセージが出て、電池アラーム音が鳴っているとき

電池残量がなくなっています。（☞P.1-12、P.1-13）

電池パックを充電するか、充電されている予備の電池パックと交換してください。

■「 」表示が出ているとき

誤動作防止が設定されています。（☞P.1-20）

設定を解除しないとボタン操作はできません。ただし、電話がかかってきたときは、エニーキーアンサーの各ボタン（☞P.2-6）を押して電話に出ることができます。

■「 」表示が出ているとき

ダイヤル操作禁止が設定されています。（☞P.12-2）

ダイヤル操作禁止を解除しないと電話はかけられません。ただし、電話がかかってきたときは、エニーキーアンサーの各ボタン（☞P.2-6）を押して電話に出ることができます。

区点コード一覧

区点1～3桁目	区点4桁目 0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
010		(スペース)	、	。	，	．	・	：	；	？
011	！	゛	゜	´	｀	¨	＾	￣	＿	ヽ
012	ヾ	ゝ	ゞ	〃	仝	々	〆	〇	ー	―
013	‐	／	＼	～	∥	｜	…	‥	‘	’
014	“	”	（	）	〔	〕	［	］	｛	｝
015	〈	〉	《	》	「	」	『	』	【	】
016	＋	－	±	×	÷	＝	≠	＜	＞	≦
017	≧	∞	∴	♂	♀	°	′	″	℃	￥
018	＄	¢	£	％	＃	＆	＊	＠	§	☆
019	★	○	●	◎	◇					
020		◆	□	■	△	▲	▽	▼	※	〒
021	→	←	↑	↓	〓					
022							∈	∋	⊆	⊇
023	⊂	⊃	∪	∩						
024			∧	∨	￢	⇒	⇔	∀	∃	
026	∠	⊥	⌒	∂	∇	≡	≒	≪	≫	√
027	∽	∝	∵	∫	∬					
028			Å	‰	♯	♭	♪	†	‡	¶
029					◯					
031							0	1	2	3
032	4	5	6	7	8	9				
033				A	B	C	D	E	F	G
034	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q
035	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	
036						a	b	c	d	e
037	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
038	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y
039	z									
040		ぁ	あ	ぃ	い	ぅ	う	ぇ	え	ぉ
041	お	か	が	き	ぎ	く	ぐ	け	げ	こ
042	ご	さ	ざ	し	じ	す	ず	せ	ぜ	そ
043	ぞ	た	だ	ち	ぢ	っ	つ	づ	て	で
044	と	ど	な	に	ぬ	ね	の	は	ば	ぱ
045	ひ	び	ぴ	ふ	ぶ	ぷ	へ	べ	ぺ	ほ
046	ぼ	ぽ	ま	み	む	め	も	ゃ	や	ゅ
047	ゆ	ょ	よ	ら	り	る	れ	ろ	ゎ	わ
048	ゐ	ゑ	を	ん						
050		ァ	ア	ィ	イ	ゥ	ウ	ェ	エ	ォ
051	オ	カ	ガ	キ	ギ	ク	グ	ケ	ゲ	コ
052	ゴ	サ	ザ	シ	ジ	ス	ズ	セ	ゼ	ソ
053	ゾ	タ	ダ	チ	ヂ	ッ	ツ	ヅ	テ	デ
054	ト	ド	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	バ	パ
055	ヒ	ビ	ピ	フ	ブ	プ	ヘ	ベ	ペ	ホ
056	ボ	ポ	マ	ミ	ム	メ	モ	ャ	ヤ	ュ
057	ユ	ョ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ヮ	ワ
058	ヰ	ヱ	ヲ	ン	ヴ	ヵ	ヶ			
060		Α	Β	Γ	Δ	Ε	Ζ	Η	Θ	Ι
061	Κ	Λ	Μ	Ν	Ξ	Ο	Π	Ρ	Σ	Τ
062	Υ	Φ	Χ	Ψ	Ω					
063				α	β	γ	δ	ε	ζ	η
064	θ	ι	κ	λ	μ	ν	ξ	ο	π	ρ
065	σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω			
070		А	Б	В	Г	Д	Е	Ё	Ж	З
071	И	Й	К	Л	М	Н	О	П	Р	С
072	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Щ	Ъ	Ы
073	Ь	Э	Ю	Я						
074										а
075	б	в	г	д	е	ё	ж	з	и	й
076	к	л	м	н	о	п	р	с	т	у
077	ф	х	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э

区点1～3桁目	区点4桁目 0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
078	ю	я								
080		─	│	┌	┐	┘	└	├	┬	┤
081	┴	┼	━	┃	┏	┓	┛	┗	┣	┳
082	┫	┻	╋	┠	┯	┨	┷	┿	┝	┰
083	┥	┸	╂							
―あ―										
160		亜	唖	娃	阿	哀	愛	挨	姶	逢
161	葵	茜	穐	悪	握	渥	旭	葦	芦	鯵
162	梓	圧	斡	扱	宛	姐	虻	飴	絢	綾
163	鮎	或	粟	袷	安	庵	按	暗	案	闇
164	鞍	杏								
―い―										
164			以	伊	位	依	偉	囲	夷	委
165	威	尉	惟	意	慰	易	椅	為	畏	異
166	移	維	緯	胃	萎	衣	謂	違	遺	医
167	井	亥	域	育	郁	磯	一	壱	溢	逸
168	稲	茨	芋	鰯	允	印	咽	員	因	姻
169	引	飲	淫	胤	蔭					
170		院	陰	隠	韻	吋				
―う―										
170							右	宇	烏	羽
171	迂	雨	卯	鵜	窺	丑	碓	臼	渦	嘘
172	唄	欝	蔚	鰻	姥	厩	浦	瓜	閏	噂
173	云	運	雲							
―え―										
173				荏	餌	叡	営	嬰	影	映
174	曳	栄	永	泳	洩	瑛	盈	穎	頴	英
175	衛	詠	鋭	液	疫	益	駅	悦	謁	越
176	閲	榎	厭	円	園	堰	奄	宴	延	怨
177	掩	援	沿	演	炎	焔	煙	燕	猿	縁
178	艶	苑	薗	遠	鉛	鴛	塩			
―お―										
178								於	汚	甥
179	凹	央	奥	往	応					
180		押	旺	横	欧	殴	王	翁	襖	鴬
181	鴎	黄	岡	沖	荻	億	屋	憶	臆	桶
182	牡	乙	俺	卸	恩	温	穏	音		
―か―										
182									下	化
183	仮	何	伽	価	佳	加	可	嘉	夏	嫁
184	家	寡	科	暇	果	架	歌	河	火	珂
185	禍	禾	稼	箇	花	苛	茄	荷	華	菓
186	蝦	課	嘩	貨	迦	過	霞	蚊	俄	峨
187	我	牙	画	臥	芽	蛾	賀	雅	餓	駕
188	介	会	解	回	塊	壊	廻	快	怪	悔
189	恢	懐	戒	拐	改					
190		魁	晦	械	海	灰	界	皆	絵	芥
191	蟹	開	階	貝	凱	劾	外	咳	害	崖
192	慨	概	涯	碍	蓋	街	該	鎧	骸	浬
193	馨	蛙	垣	柿	蛎	鈎	劃	嚇	各	廓
194	拡	撹	格	核	殻	獲	確	穫	覚	角
195	赫	較	郭	閣	隔	革	学	岳	楽	額
196	顎	掛	笠	樫	橿	梶	鰍	潟	割	喝
197	恰	括	活	渇	滑	葛	褐	轄	且	鰹
198	叶	椛	樺	鞄	株	兜	竃	蒲	釜	鎌
199	噛	鴨	栢	茅	萱					
200		粥	刈	苅	瓦	乾	侃	冠	寒	刊
201	勘	勧	巻	喚	堪	姦	完	官	寛	干
202	幹	患	感	慣	憾	換	敢	柑	桓	棺
203	款	歓	汗	漢	澗	潅	環	甘	監	看
204	竿	管	簡	緩	缶	翰	肝	艦	莞	観
205	諌	貫	還	鑑	間	閑	関	陥	韓	館
206	舘	丸	含	岸	巌	玩	癌	眼	岩	翫

区点1～3桁目	区点4桁目 0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
207	贋	雁	頑	顔	願					
―き―										
207						企	伎	危	喜	器
208	基	奇	嬉	寄	岐	希	幾	忌	揮	机
209	旗	既	期	棋	棄					
210		機	帰	毅	気	汽	畿	祈	季	稀
211	紀	徽	規	記	貴	起	軌	輝	飢	騎
212	鬼	亀	偽	儀	妓	宜	戯	技	擬	欺
213	犠	疑	祇	義	蟻	誼	議	掬	菊	鞠
214	吉	吃	喫	桔	橘	詰	砧	杵	黍	却
215	客	脚	虐	逆	丘	久	仇	休	及	吸
216	宮	弓	急	救	朽	求	汲	泣	灸	球
217	究	窮	笈	級	糾	給	旧	牛	去	居
218	巨	拒	拠	挙	渠	虚	許	距	鋸	漁
219	禦	魚	亨	享	京					
220		供	侠	僑	兇	競	共	凶	協	匡
221	卿	叫	喬	境	峡	強	彊	怯	恐	恭
222	挟	教	橋	況	狂	狭	矯	胸	脅	興
223	蕎	郷	鏡	響	饗	驚	仰	凝	尭	暁
224	業	局	曲	極	玉	桐	粁	僅	勤	均
225	巾	錦	斤	欣	欽	琴	禁	禽	筋	緊
226	芹	菌	衿	襟	謹	近	金	吟	銀	
―く―										
226										九
227	倶	句	区	狗	玖	矩	苦	躯	駆	駈
228	駒	具	愚	虞	喰	空	偶	寓	遇	隅
229	串	櫛	釧	屑	屈					
230		掘	窟	沓	靴	轡	窪	熊	隈	粂
231	栗	繰	桑	鍬	勲	君	薫	訓	群	軍
232	郡									
―け―										
232		卦	袈	祁	係	傾	刑	兄	啓	圭
233	珪	型	契	形	径	恵	慶	慧	憩	掲
234	携	敬	景	桂	渓	畦	稽	系	経	継
235	繋	罫	茎	荊	蛍	計	詣	警	軽	頚
236	鶏	芸	迎	鯨	劇	戟	撃	激	隙	桁
237	傑	欠	決	潔	穴	結	血	訣	月	件
238	倹	倦	健	兼	券	剣	喧	圏	堅	嫌
239	建	憲	懸	拳	捲					
240		検	権	牽	犬	献	研	硯	絹	県
241	肩	見	謙	賢	軒	遣	鍵	険	顕	験
242	鹸	元	原	厳	幻	弦	減	源	玄	現
243	絃	舷	言	諺	限					
―こ―										
243						乎	個	古	呼	固
244	姑	孤	己	庫	弧	戸	故	枯	湖	狐
245	糊	袴	股	胡	菰	虎	誇	跨	鈷	雇
246	顧	鼓	五	互	伍	午	呉	吾	娯	後
247	御	悟	梧	檎	瑚	碁	語	誤	護	醐
248	乞	鯉	交	佼	侯	候	倖	光	公	功
249	効	勾	厚	口	向					
250		后	喉	坑	垢	好	孔	孝	宏	工
251	巧	巷	幸	広	庚	康	弘	恒	慌	抗
252	拘	控	攻	昂	晃	更	杭	校	梗	構
253	江	洪	浩	港	溝	甲	皇	硬	稿	糠
254	紅	紘	絞	綱	耕	考	肯	肱	腔	膏
255	航	荒	行	衡	講	貢	購	郊	酵	鉱
256	砿	鋼	閤	降	項	香	高	鴻	剛	劫
257	号	合	壕	拷	濠	豪	轟	麹	克	刻
258	告	国	穀	酷	鵠	黒	獄	漉	腰	甑
259	忽	惚	骨	狛	込					
260		此	頃	今	困	坤	墾	婚	恨	懇
261	昏	昆	根	梱	混	痕	紺	艮	魂	
―さ―										
261										些

16 付録

区点1～3桁目	区点4桁目									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
262	佐	叉	唆	嵯	左	差	査	沙	瑳	砂
263	詐	鎖	裟	坐	座	挫	債	催	再	最
264	哉	塞	妻	宰	彩	才	採	栽	歳	済
265	災	采	犀	砕	砦	祭	斎	細	菜	裁
266	載	際	剤	在	材	罪	財	冴	坂	阪
267	堺	榊	肴	咲	崎	埼	碕	鷺	作	削
268	咋	搾	昨	朔	柵	窄	策	索	錯	桜
269	鮭	笹	匙	冊	刷					
270		察	拶	撮	擦	札	殺	薩	雑	皐
271	鯖	捌	錆	鮫	皿	晒	三	傘	参	山
272	惨	撒	散	桟	燦	珊	産	算	纂	蚕
273	讃	賛	酸	餐	斬	暫	残			
	し									
273								仕	仔	伺
274	使	刺	司	史	嗣	四	士	始	姉	姿
275	子	屍	市	師	志	思	指	支	孜	斯
276	施	旨	枝	止	死	氏	獅	祉	私	糸
277	紙	紫	肢	脂	至	視	詞	詩	試	誌
278	諮	資	賜	雌	飼	歯	事	似	侍	児
279	字	寺	慈	持	時					
280		次	滋	治	爾	璽	痔	磁	示	而
281	耳	自	蒔	辞	汐	鹿	式	識	鴫	竺
282	軸	宍	雫	七	叱	執	失	嫉	室	悉
283	湿	漆	疾	質	実	蔀	篠	偲	柴	芝
284	屡	蕊	縞	舎	写	射	捨	赦	斜	煮
285	社	紗	者	謝	車	遮	蛇	邪	借	勺
286	尺	杓	灼	爵	酌	釈	錫	若	寂	弱
287	惹	主	取	守	手	朱	殊	狩	珠	種
288	腫	趣	酒	首	儒	受	呪	寿	授	樹
289	綬	需	囚	収	周					
290		宗	就	州	修	愁	拾	洲	秀	秋
291	終	繍	習	臭	舟	蒐	衆	襲	讐	蹴
292	輯	週	酋	酬	集	醜	什	住	充	十
293	従	戎	柔	汁	渋	獣	縦	重	銃	叔
294	夙	宿	淑	祝	縮	粛	塾	熟	出	術
295	述	俊	峻	春	瞬	竣	舜	駿	准	循
296	旬	楯	殉	淳	準	潤	盾	純	巡	遵
297	醇	順	処	初	所	暑	曙	渚	庶	緒
298	署	書	薯	藷	諸	助	叙	女	序	徐
299	恕	鋤	除	傷	償					
300		勝	匠	升	召	哨	商	唱	嘗	奨
301	妾	娼	宵	将	小	少	尚	庄	床	廠
302	彰	承	抄	招	掌	捷	昇	昌	昭	晶
303	松	梢	樟	樵	沼	消	渉	湘	焼	焦
304	照	症	省	硝	礁	祥	称	章	笑	粧
305	紹	肖	菖	蒋	蕉	衝	裳	訟	証	詔
306	詳	象	賞	醤	鉦	鍾	鐘	障	鞘	上
307	丈	丞	乗	冗	剰	城	場	壌	嬢	常
308	情	擾	条	杖	浄	状	畳	穣	蒸	譲
309	醸	錠	嘱	埴	飾					
310		拭	植	殖	燭	織	職	色	触	食
311	蝕	辱	尻	伸	信	侵	唇	娠	寝	審
312	心	慎	振	新	晋	森	榛	浸	深	申
313	疹	真	神	秦	紳	臣	芯	薪	親	診
314	身	辛	進	針	震	人	仁	刃	塵	壬
315	尋	甚	尽	腎	訊	迅	陣	靭		
	す									
315									笥	諏
316	須	酢	図	厨	逗	吹	垂	帥	推	水
317	炊	睡	粋	翠	衰	遂	酔	錐	錘	随
318	瑞	髄	崇	嵩	数	枢	趨	雛	据	杉
319	椙	菅	頗	雀	裾					
320		澄	摺	寸						
	せ									
320					世	瀬	畝	是	凄	制
321	勢	姓	征	性	成	政	整	星	晴	棲
322	栖	正	清	牲	生	盛	精	聖	声	製
323	西	誠	誓	請	逝	醒	青	静	斉	税
324	脆	隻	席	惜	戚	斥	昔	析	石	積
325	籍	績	脊	責	赤	跡	蹟	碩	切	拙
326	接	摂	折	設	窃	節	説	雪	絶	舌

区点1～3桁目	区点4桁目									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
327	蝉	仙	先	千	占	宣	専	尖	川	戦
328	扇	撰	栓	栴	泉	浅	洗	染	潜	煎
329	煽	旋	穿	箭	線					
330		繊	羨	腺	舛	船	薦	詮	賎	践
331	選	遷	銭	銑	閃	鮮	前	善	漸	然
332	全	禅	繕	膳	糎					
	そ									
332						噌	塑	岨	措	曾
333	曽	楚	狙	疏	疎	礎	祖	租	粗	素
334	組	蘇	訴	阻	遡	鼠	僧	創	双	叢
335	倉	喪	壮	奏	爽	宋	層	匝	惣	想
336	捜	掃	挿	掻	操	早	曹	巣	槍	槽
337	漕	燥	争	痩	相	窓	糟	総	綜	聡
338	草	荘	葬	蒼	藻	装	走	送	遭	鎗
339	霜	騒	像	増	憎					
340		臓	蔵	贈	造	促	側	則	即	息
341	捉	束	測	足	速	俗	属	賊	族	続
342	卒	袖	其	揃	存	孫	尊	損	村	遜
	た									
343	他	多	太	汰	詑	唾	堕	妥	惰	打
344	柁	舵	楕	陀	駄	騨	体	堆	対	耐
345	岱	帯	待	怠	態	戴	替	泰	滞	胎
346	腿	苔	袋	貸	退	逮	隊	黛	鯛	代
347	台	大	第	醍	題	鷹	滝	瀧	卓	啄
348	宅	托	択	拓	沢	濯	琢	託	鐸	濁
349	諾	茸	凧	蛸	只					
350		叩	但	達	辰	奪	脱	巽	竪	辿
351	棚	谷	狸	鱈	樽	誰	丹	単	嘆	坦
352	担	探	旦	歎	淡	湛	炭	短	端	箪
353	綻	耽	胆	蛋	誕	鍛	団	壇	弾	断
354	暖	檀	段	男	談					
	ち									
354						値	知	地	弛	恥
355	智	池	痴	稚	置	致	蜘	遅	馳	築
356	畜	竹	筑	蓄	逐	秩	窒	茶	嫡	着
357	中	仲	宙	忠	抽	昼	柱	注	虫	衷
358	註	酎	鋳	駐	樗	瀦	猪	苧	著	貯
359	丁	兆	凋	喋	寵					
360		帖	帳	庁	弔	張	彫	徴	懲	挑
361	暢	朝	潮	牒	町	眺	聴	脹	腸	蝶
362	調	諜	超	跳	銚	長	頂	鳥	勅	捗
363	直	朕	沈	珍	賃	鎮	陳			
	つ									
363								津	墜	椎
364	槌	追	鎚	痛	通	塚	栂	掴	槻	佃
365	漬	柘	辻	蔦	綴	鍔	椿	潰	坪	壷
366	嬬	紬	爪	吊	釣	鶴				
	て									
366							亭	低	停	偵
367	剃	貞	呈	堤	定	帝	底	庭	廷	弟
368	悌	抵	挺	提	梯	汀	碇	禎	程	締
369	艇	訂	諦	蹄	逓					
370		邸	鄭	釘	鼎	泥	摘	擢	敵	滴
371	的	笛	適	鏑	溺	哲	徹	撤	轍	迭
372	鉄	典	填	天	展	店	添	纏	甜	貼
373	転	顛	点	伝	殿	澱	田	電		
	と									
373									兎	吐
374	堵	塗	妬	屠	徒	斗	杜	渡	登	菟
375	賭	途	都	鍍	砥	砺	努	度	土	奴
376	怒	倒	党	冬	凍	刀	唐	塔	塘	套
377	宕	島	嶋	悼	投	搭	東	桃	梼	棟
378	盗	淘	湯	涛	灯	燈	当	痘	祷	等
379	答	筒	糖	統	到					
380		董	蕩	藤	討	謄	豆	踏	逃	透
381	鐙	陶	頭	騰	闘	働	動	同	堂	導
382	憧	撞	洞	瞳	童	胴	萄	道	銅	峠
383	鴇	匿	得	徳	涜	特	督	禿	篤	毒
384	独	読	栃	橡	凸	突	椴	届	鳶	苫
385	寅	酉	瀞	噸	屯	惇	敦	沌	豚	遁
386	頓	呑	曇	鈍						

区点1～3桁目	区点4桁目									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	な									
386					奈	那	内	乍	凪	薙
387	謎	灘	捺	鍋	楢	馴	縄	畷	南	楠
388	軟	難	汝							
	に									
388				二	尼	弐	迩	匂	賑	肉
389	虹	廿	日	乳	入					
390		如	尿	韮	任	妊	忍	認		
	ぬ～の									
390									濡	禰
391	祢	寧	葱	猫	熱	年	念	捻	撚	燃
392	粘	乃	廼	之	埜	嚢	悩	濃	納	能
393	脳	膿	農	覗	蚤					
	は									
393						巴	把	播	覇	杷
394	波	派	琶	破	婆	罵	芭	馬	俳	廃
395	拝	排	敗	杯	盃	牌	背	肺	輩	配
396	倍	培	媒	梅	楳	煤	狽	買	売	賠
397	陪	這	蝿	秤	矧	萩	伯	剥	博	拍
398	柏	泊	白	箔	粕	舶	薄	迫	曝	漠
399	爆	縛	莫	駁	麦					
400		函	箱	硲	箸	肇	筈	櫨	幡	肌
401	畑	畠	八	鉢	溌	発	醗	髪	伐	罰
402	抜	筏	閥	鳩	噺	塙	蛤	隼	伴	判
403	半	反	叛	帆	搬	斑	板	氾	汎	版
404	犯	班	畔	繁	般	藩	販	範	釆	煩
405	頒	飯	挽	晩	番	盤	磐	蕃	蛮	
	ひ									
405										匪
406	卑	否	妃	庇	彼	悲	扉	批	披	斐
407	比	泌	疲	皮	碑	秘	緋	罷	肥	被
408	誹	費	避	非	飛	樋	簸	備	尾	微
409	枇	毘	琵	眉	美					
410		鼻	柊	稗	匹	疋	髭	彦	膝	菱
411	肘	弼	必	畢	筆	逼	桧	姫	媛	紐
412	百	謬	俵	彪	標	氷	漂	瓢	票	表
413	評	豹	廟	描	病	秒	苗	錨	鋲	蒜
414	蛭	鰭	品	彬	斌	浜	瀕	貧	賓	頻
415	敏	瓶								
	ふ									
415			不	付	埠	夫	婦	富	冨	布
416	府	怖	扶	敷	斧	普	浮	父	符	腐
417	膚	芙	譜	負	賦	赴	阜	附	侮	撫
418	武	舞	葡	蕪	部	封	楓	風	葺	蕗
419	伏	副	復	幅	服					
420		福	腹	複	覆	淵	弗	払	沸	仏
421	物	鮒	分	吻	噴	墳	憤	扮	焚	奮
422	粉	糞	紛	雰	文	聞				
	へ									
422							丙	併	兵	塀
423	幣	平	弊	柄	並	蔽	閉	陛	米	頁
424	僻	壁	癖	碧	別	瞥	蔑	箆	偏	変
425	片	篇	編	辺	返	遍	便	勉	娩	弁
426	鞭									
	ほ									
426		保	舗	鋪	圃	捕	歩	甫	補	輔
427	穂	募	墓	慕	戊	暮	母	簿	菩	倣
428	俸	包	呆	報	奉	宝	峰	峯	崩	庖
429	抱	捧	放	方	朋					
430		法	泡	烹	砲	縫	胞	芳	萌	蓬
431	蜂	褒	訪	豊	邦	鋒	飽	鳳	鵬	乏
432	亡	傍	剖	坊	妨	帽	忘	忙	房	暴
433	望	某	棒	冒	紡	肪	膨	謀	貌	貿
434	鉾	防	吠	頬	北	僕	卜	墨	撲	朴
435	牧	睦	穆	釦	勃	没	殆	堀	幌	奔
436	本	翻	凡	盆						
	ま									
436					摩	磨	魔	麻	埋	妹
437	昧	枚	毎	哩	槙	幕	膜	枕	鮪	柾
438	鱒	桝	亦	俣	又	抹	末	沫	迄	侭
439	繭	麿	万	慢	満					

区点1～3桁目	区点4桁目									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
440		漫	蔓							
	み									
440				味	未	魅	巳	箕	岬	密
441	蜜	湊	蓑	稔	脈	妙	粍	民	眠	
	む									
441										務
442	夢	無	牟	矛	霧	鵡	椋	婿	娘	
	め									
442										冥
443	名	命	明	盟	迷	銘	鳴	姪	牝	滅
444	免	棉	綿	緬	面	麺				
	も									
444							摸	模	茂	妄
445	孟	毛	猛	盲	網	耗	蒙	儲	木	黙
446	目	杢	勿	餅	尤	戻	籾	貰	問	悶
447	紋	門	匁							
	や									
447				也	冶	夜	爺	耶	野	弥
448	矢	厄	役	約	薬	訳	躍	靖	柳	薮
449	鑓									
	ゆ									
449		愉	愈	油	癒					
450		諭	輸	唯	佑	優	勇	友	宥	幽
451	悠	憂	揖	有	柚	湧	涌	猶	猷	由
452	祐	裕	誘	遊	邑	郵	雄	融	夕	
	よ									
452										予
453	余	与	誉	輿	預	傭	幼	妖	容	庸
454	揚	揺	擁	曜	楊	様	洋	溶	熔	用
455	窯	羊	耀	葉	蓉	要	謡	踊	遥	陽
456	養	慾	抑	欲	沃	浴	翌	翼	淀	
	ら									
456										羅
457	螺	裸	来	莱	頼	雷	洛	絡	落	酪
458	乱	卵	嵐	欄	濫	藍	蘭	覧		
	り									
458									利	吏
459	履	李	梨	理	璃					
460		痢	裏	裡	里	離	陸	律	率	立
461	葎	掠	略	劉	流	溜	琉	留	硫	粒
462	隆	竜	龍	侶	慮	旅	虜	了	亮	僚
463	両	凌	寮	料	梁	涼	猟	療	瞭	稜
464	糧	良	諒	遼	量	陵	領	力	緑	倫
465	厘	林	淋	燐	琳	臨	輪	隣	鱗	麟
	る～れ									
466	瑠	塁	涙	累	類	令	伶	例	冷	励
467	嶺	怜	玲	礼	苓	鈴	隷	零	霊	麗
468	齢	暦	歴	列	劣	烈	裂	廉	恋	憐
469	漣	煉	簾	練	聯					
470		蓮	連	錬						
	ろ									
470					呂	魯	櫓	炉	賂	路
471	露	労	婁	廊	弄	朗	楼	榔	浪	漏
472	牢	狼	篭	老	聾	蝋	郎	六	麓	禄
473	肋	録	論							
	わ									
473				倭	和	話	歪	賄	脇	惑
474	枠	鷲	亙	亘	鰐	詫	藁	蕨	椀	湾
475	碗	腕								
476										
477										
478										
479										
480		弌	丐	丕	个	丱	丶	丼	丿	乂
481	乖	乘	亂	亅	豫	亊	舒	弍	于	亞
482	亟	亠	亢	亰	亳	亶	从	仍	仄	仆
483	仂	仗	仞	仭	仟	价	伉	佚	估	佛
484	佝	佗	佇	佶	侈	侏	侘	佻	佩	佰
485	侑	佯	來	侖	儘	俔	俟	俎	俘	俛
486	俑	俚	俐	俤	俥	倚	倨	倔	倪	倥
487	倅	伜	俶	倡	倩	倬	俾	俯	們	倆

区点1～3桁目	区点4桁目									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
488	偃	假	會	偕	偐	偈	做	偖	偬	偸
489	傀	傚	傅	傴	傲					
490		僉	僊	傳	僂	僖	僞	僥	僭	僣
491	僮	價	僵	儉	儁	儂	儖	儕	儔	儚
492	儡	儺	儷	儼	儻	儿	兀	兒	兌	兔
493	兢	竸	兩	兪	兮	冀	冂	囘	册	冉
494	冏	冑	冓	冕	冖	冤	冦	冢	冩	冪
495	冫	决	冱	冲	冰	况	冽	凅	凉	凛
496	几	處	凩	凭	凰	凵	凾	刄	刋	刔
497	刎	刧	刪	刮	刳	剏	剄	剋	剌	剞
498	剔	剪	剴	剩	剳	剿	剽	劍	劔	劒
499	剱	劈	劑	辨						
500		辧	劬	劭	劼	劵	勁	勍	勗	勞
501	勣	勦	飭	勠	勳	勵	勸	勹	匆	匈
502	甸	匍	匐	匏	匕	匚	匣	匯	匱	匳
503	匸	區	卆	卅	丗	卉	卍	凖	卞	卩
504	卮	夘	卻	卷	厂	厖	厠	厦	厥	厮
505	厰	厶	參	簒	雙	叟	曼	燮	叮	叨
506	叭	叺	吁	吽	呀	听	吭	吼	吮	吶
507	吩	吝	呎	咏	呵	咎	呟	呱	呷	呰
508	咒	呻	咀	呶	咄	咐	咆	哇	咢	咸
509	咥	咬	哄	哈	咨					
510		咫	哂	咤	咾	咼	哘	哥	哦	唏
511	唔	哽	哮	哭	哺	哢	唹	啀	啣	啌
512	售	啜	啅	啖	啗	唸	唳	啝	喙	喀
513	咯	喊	喟	啻	啾	喘	喞	單	啼	喃
514	喩	喇	喨	嗚	嗅	嗟	嗄	嗜	嗤	嗔
515	嘔	嗷	嘖	嗾	嗽	嘛	嗹	噎	噐	營
516	嘴	嘶	嘲	嘸	噫	噤	嘯	噬	噪	嚆
517	嚀	嚊	嚠	嚔	嚏	嚥	嚮	嚶	嚴	囂
518	嚼	囁	囃	囀	囈	囎	囑	囓	囗	囮
519	囹	圀	囿	圄	圉					
520		圈	國	圍	圓	團	圖	嗇	圜	圦
521	圷	圸	坎	圻	址	坏	坩	埀	垈	坡
522	坿	垉	垓	垠	垳	垤	垪	垰	埃	埆
523	埔	埒	埓	堊	埖	埣	堋	堙	堝	塲
524	堡	塢	塋	塰	毀	塒	堽	塹	墅	墹
525	墟	墫	墺	壞	墻	墸	墮	壅	壓	壑
526	壗	壙	壘	壥	壜	壤	壟	壯	壺	壹
527	壻	壼	壽	夂	夊	夐	夛	梦	夥	夬
528	夭	夲	夸	夾	竒	奕	奐	奎	奚	奘
529	奢	奠	奧	奬	奩					
530		奸	妁	妝	佞	侫	妣	妲	姆	姨
531	姜	妍	姙	姚	娥	娟	娑	娜	娉	娚
532	婀	婬	婉	娵	娶	婢	婪	媚	媼	媾
533	嫋	嫂	媽	嫣	嫗	嫦	嫩	嫖	嫺	嫻
534	嬌	嬋	嬖	嬲	嫐	嬪	嬶	嬾	孃	孅
535	孀	孑	孕	孚	孛	孥	孩	孰	孳	孵
536	學	斈	孺	宀	它	宦	宸	寃	寇	寉
537	寔	寐	寤	實	寢	寞	寥	寫	寰	寶
538	寳	尅	將	專	對	尓	尠	尢	尨	尸
539	尹	屁	屆	屎	屓					
540		屐	屏	孱	屬	屮	乢	屶	屹	岌
541	岑	岔	妛	岫	岻	岶	岼	岷	峅	岾
542	峇	峙	峩	峽	峺	峭	嶌	峪	崋	崕
543	崗	嵜	崟	崛	崑	崔	崢	崚	崙	崘
544	嵌	嵒	嵎	嵋	嵬	嵳	嵶	嶇	嶄	嶂
545	嶢	嶝	嶬	嶮	嶽	嶐	嶷	嶼	巉	巍
546	巓	巒	巖	巛	巫	已	巵	帋	帚	帙
547	帑	帛	帶	帷	幄	幃	幀	幎	幗	幔
548	幟	幢	幤	幇	幵	并	幺	麼	广	庠
549	廁	廂	廈	廐	廏					
550		廖	廣	廝	廚	廛	廢	廡	廨	廩
551	廬	廱	廳	廰	廴	廸	廾	弃	弉	彝
552	彜	弋	弑	弖	弩	弭	弸	彁	彈	彌
553	彎	弯	彑	彖	彗	彙	彡	彭	彳	彷
554	徃	徂	彿	徊	很	徑	徇	從	徙	徘
555	徠	徨	徭	徼	忖	忻	忤	忸	忱	忝
556	悳	忿	怡	恠	怙	怐	怩	怎	怱	怛
557	怕	怫	怦	怏	怺	恚	恁	恪	恷	恟
558	恊	恆	恍	恣	恃	恤	恂	恬	恫	恙

区点1～3桁目	区点4桁目									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
559	悁	悍	惧	悃	悚					
560		悄	悛	悖	悗	悒	悧	悋	惡	悸
561	惠	惓	悴	忰	悽	惆	悵	惘	慍	愕
562	愆	惶	惷	愀	惴	惺	愃	愡	惻	惱
563	愍	愎	慇	愾	愨	愧	慊	愿	愼	愬
564	愴	愽	慂	慄	慳	慷	慘	慙	慚	慫
565	慴	慯	慥	慱	慟	慝	慓	慵	憙	憖
566	憇	憬	憔	憚	憊	憑	憫	憮	懌	懊
567	應	懷	懈	懃	懆	憺	懋	罹	懍	懦
568	懣	懶	懺	懴	懿	懽	懼	懾	戀	戈
569	戉	戍	戌	戔	戛					
570		戞	戡	截	戮	戰	戲	戳	扁	扎
571	扞	扣	扛	扠	扨	扼	抂	抉	找	抒
572	抓	抖	拔	抃	抔	拗	拑	抻	拏	拿
573	拆	擔	拈	拜	拌	拊	拂	拇	抛	拉
574	挌	拮	拱	挧	挂	挈	拯	拵	捐	挾
575	捍	搜	捏	掖	掎	掀	掫	捶	掣	掏
576	掉	掟	掵	捫	捩	掾	揩	揀	揆	揣
577	揉	插	揶	揄	搖	搴	搆	搓	搦	搶
578	攝	搗	搨	搏	摧	摯	摶	摎	攪	撕
579	撓	撥	撩	撈	撼					
580		據	擒	擅	擇	撻	擘	擂	擱	擧
581	舉	擠	擡	抬	擣	擯	攬	擶	擴	擲
582	擺	攀	擽	攘	攜	攅	攤	攣	攫	攴
583	攵	攷	收	攸	畋	效	敖	敕	敍	敘
584	敞	敝	敲	數	斂	斃	變	斛	斟	斫
585	斷	旃	旆	旁	旄	旌	旒	旛	旙	无
586	旡	旱	杲	昊	昃	旻	杳	昵	昶	昴
587	昜	晏	晄	晉	晁	晞	晝	晤	晧	晨
588	晟	晢	晰	暃	暈	暎	暉	暄	暘	暝
589	曁	暹	曉	暾	暼					
590		曄	暸	曖	曚	曠	昿	曦	曩	曰
591	曵	曷	朏	朖	朞	朦	朧	霸	朮	朿
592	朶	杁	朸	朷	杆	杞	杠	杙	杣	杤
593	枉	杰	枩	杼	杪	枌	枋	枦	枡	枅
594	枷	柯	枴	柬	枳	柩	枸	柤	柞	柝
595	柢	柮	枹	柎	柆	柧	檜	栞	框	栩
596	桀	桍	栲	桎	梳	栫	桙	档	桷	桿
597	梟	梏	梭	梔	條	梛	梃	檮	梹	桴
598	梵	梠	梺	椏	梍	桾	椁	棊	椈	棘
599	椢	椦	棡	椌	棍					
600		棔	棧	棕	椶	椒	椄	棗	棣	椥
601	棹	棠	棯	椨	椪	椚	椣	椡	棆	楹
602	楷	楜	楸	楫	楔	楾	楮	椹	楴	椽
603	楙	椰	楡	楞	楝	榁	楪	榲	榮	槐
604	榿	槁	槓	榾	槎	寨	槊	槝	榻	槃
605	榧	樮	榑	榠	榜	榕	榴	槞	槨	樂
606	樛	槿	權	槹	槲	槧	樅	榱	樞	槭
607	樔	槫	樊	樒	櫁	樣	樓	橄	樌	橲
608	樶	橸	橇	橢	橙	橦	橈	樸	樢	檐
609	檍	檠	檄	檢	檣					
610		檗	蘗	檻	櫃	櫂	檸	檳	檬	櫞
611	櫑	櫟	檪	櫚	櫪	櫻	欅	蘖	櫺	欒
612	欖	鬱	欟	欸	欷	盜	欹	飮	歇	歃
613	歉	歐	歙	歔	歛	歟	歡	歸	歹	歿
614	殀	殄	殃	殍	殘	殕	殞	殤	殪	殫
615	殯	殲	殱	殳	殷	殼	毆	毋	毓	毟
616	毬	毫	毳	毯	麾	氈	氓	气	氛	氤
617	氣	汞	汕	汢	汪	沂	沍	沚	沁	沛
618	汾	汨	汳	沒	沐	泄	泱	泓	沽	泗
619	泅	泝	沮	沱	沾					
620		沺	泛	泯	泙	泪	洟	衍	洶	洫
621	洽	洸	洙	洵	洳	洒	洌	浣	涓	浤
622	浚	浹	浙	涎	涕	濤	涅	淹	渕	渊
623	涵	淇	淦	涸	淆	淬	淞	淌	淨	淒
624	淅	淺	淙	淤	淕	淪	淮	渭	湮	渮
625	渙	湲	湟	渾	渣	湫	渫	湶	湍	渟
626	湃	渺	湎	渤	滿	渝	游	溂	溪	溘
627	滉	溷	滓	溽	溯	滄	溲	滔	滕	溏
628	溥	滂	溟	潁	漑	灌	滬	滸	滾	漿
629	滲	漱	滯	漲	滌					

区点1〜3桁目	区点4桁目									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
630		漾	漓	滷	澆	潺	潸	澁	澀	潯
631	潛	濳	潭	澂	潼	潘	澎	澑	濂	潦
632	澳	澣	澡	澤	澹	濆	澪	濟	濕	濬
633	濔	濘	濱	濮	濛	瀉	瀋	濺	瀑	瀁
634	瀏	濾	瀛	瀚	潴	瀝	瀘	瀟	瀰	瀾
635	瀲	灑	灣	炙	炒	炯	烱	炬	炸	炳
636	炮	烟	烋	烝	烙	焉	烽	焜	焙	煥
637	煕	熈	煦	煢	煌	煖	煬	熏	燻	熄
638	熕	熨	熬	燗	熹	熾	燒	燉	燔	燎
639	燠	燬	燧	燵	燼					
640		燹	燿	爍	爐	爛	爨	爭	爬	爰
641	爲	爻	爼	爿	牀	牆	牋	牘	牴	牾
642	犂	犁	犇	犒	犖	犢	犧	犹	犲	狃
643	狆	狄	狎	狒	狢	狠	狡	狹	狷	倏
644	猗	猊	猜	猖	猝	猴	猯	猩	猥	猾
645	獎	獏	默	獗	獪	獨	獰	獸	獵	獻
646	獺	珈	玳	珎	玻	珀	珥	珮	珞	璢
647	琅	瑯	琥	珸	琲	琺	瑕	琿	瑟	瑙
648	瑁	瑜	瑩	瑰	瑣	瑪	瑶	瑾	璋	璞
649	璧	瓊	瓏	瓔	珱					
650		瓠	瓣	瓧	瓩	瓮	瓲	瓰	瓱	瓸
651	瓷	甄	甃	甅	甌	甎	甍	甕	甓	甞
652	甦	甬	甼	畄	畍	畊	畉	畛	畆	畚
653	畩	畤	畧	畫	畭	畸	當	疆	疇	畴
654	疊	疉	疂	疔	疚	疝	疥	疣	痂	疳
655	痃	疵	疽	疸	疼	疱	痍	痊	痒	痙
656	痣	痞	痾	痿	痼	瘁	痰	痺	痲	痳
657	瘋	瘍	瘉	瘟	瘧	瘠	瘡	瘢	瘤	瘴
658	瘰	瘻	癇	癈	癆	癜	癘	癡	癢	癨
659	癩	癪	癧	癬	癰					
660		癲	癶	癸	發	皀	皃	皈	皋	皎
661	皖	皓	皙	皚	皰	皴	皸	皹	皺	盂
662	盍	盖	盒	盞	盡	盥	盧	盪	蘯	盻
663	眈	眇	眄	眩	眤	眞	眥	眦	眛	眷
664	眸	睇	睚	睨	睫	睛	睥	睿	睾	睹
665	瞎	瞋	瞑	瞠	瞞	瞰	瞶	瞹	瞿	瞼
666	瞽	瞻	矇	矍	矗	矚	矜	矣	矮	矼
667	砌	砒	礦	砠	礪	硅	碎	硴	碆	硼
668	碚	碌	碣	碵	碪	碯	磑	磆	磋	磔
669	碾	碼	磅	磊	磬					
670		磧	磚	磽	磴	礇	礒	礑	礙	礬
671	礫	祀	祠	祗	祟	祚	祕	祓	祺	祿
672	禊	禝	禧	齋	禪	禮	禳	禹	禺	秉
673	秕	秧	秬	秡	秣	稈	稍	稘	稙	稠
674	稟	禀	稱	稻	稾	稷	穃	穗	穉	穡
675	穢	穩	龝	穰	穹	穽	窈	窗	窕	窘
676	窖	窩	竈	窰	窶	竅	竄	窿	邃	竇
677	竊	竍	竏	竕	竓	站	竚	竝	竡	竢
678	竦	竭	竰	笂	笏	笊	笆	笳	笘	笙
679	笞	笵	笨	笶	筐					
680		筺	笄	筍	笋	筌	筅	筵	筥	筴
681	筧	筰	筱	筬	筮	箝	箘	箟	箍	箜
682	箚	箋	箒	箏	筝	箙	篋	篁	篌	篏
683	箴	篆	篝	篩	簑	簔	篦	篥	籠	簀
684	簇	簓	篳	篷	簗	簍	篶	簣	簧	簪
685	簟	簷	簫	簽	籌	籃	籔	籏	籀	籐
686	籘	籟	籤	籖	籥	籬	籵	粃	粐	粤
687	粭	粢	粫	粡	粨	粳	粲	粱	粮	粹
688	粽	糀	糅	糂	糘	糒	糜	糢	鬻	糯
689	糲	糴	糶	糺	紆					
690		紂	紜	紕	紊	絅	絋	紮	紲	紿
691	紵	絆	絳	絖	絎	絲	絨	絮	絏	絣
692	經	綉	絛	綏	絽	綛	綺	綮	綣	綵
693	緇	綽	綫	總	綢	綯	緜	綸	綟	綰
694	緘	緝	緤	緞	緻	緲	緡	縅	縊	縣
695	縡	縒	縱	縟	縉	縋	縢	繆	繦	縻
696	縵	縹	繃	縷	縲	縺	繧	繝	繖	繞
697	繙	繚	繹	繪	繩	繼	繻	纃	緕	繽
698	辮	繿	纈	纉	續	纒	纐	纓	纔	纖
699	纎	纛	纜	缸	缺					
700		罅	罌	罍	罎	罐	网	罕	罔	罘
701	罟	罠	罨	罩	罧	罸	羂	羆	羃	羈
702	羇	羌	羔	羞	羝	羚	羣	羯	羲	羹
703	羮	羶	羸	譱	翅	翆	翊	翕	翔	翡
704	翦	翩	翳	翹	飜	耆	耄	耋	耒	耘
705	耙	耜	耡	耨	耿	耻	聊	聆	聒	聘
706	聚	聟	聢	聨	聳	聲	聰	聶	聹	聽
707	聿	肄	肆	肅	肛	肓	肚	肭	冐	肬
708	胛	胥	胙	胝	胄	胚	胖	脉	胯	胱
709	脛	脩	脣	脯	腋					
710		隋	腆	脾	腓	腑	胼	腱	腮	腥
711	腦	腴	膃	膈	膊	膀	膂	膠	膕	膤
712	膣	腟	膓	膩	膰	膵	膾	膸	膽	臀
713	臂	膺	臉	臍	臑	臙	臘	臈	臚	臟
714	臠	臧	臺	臻	臾	舁	舂	舅	與	舊
715	舍	舐	舖	舩	舫	舸	舳	艀	艙	艘
716	艝	艚	艟	艤	艢	艨	艪	艫	舮	艱
717	艷	艸	艾	芍	芒	芫	芟	芻	芬	苡
718	苣	苟	苒	苴	苳	苺	莓	范	苻	苹
719	苞	茆	苜	茉	苙					
720		茵	茴	茖	茲	茱	荀	茹	荐	荅
721	茯	茫	茗	茘	莅	莚	莪	莟	莢	莖
722	茣	莎	莇	莊	荼	莵	荳	荵	莠	莉
723	莨	菴	萓	菫	菎	菽	萃	菘	萋	菁
724	菷	萇	菠	菲	萍	萢	萠	莽	萸	蔆
725	菻	葭	萪	萼	蕚	蒄	葷	葫	蒭	葮
726	蒂	葩	葆	萬	葯	葹	萵	蓊	葢	蒹
727	蒿	蒟	蓙	蓍	蒻	蓚	蓐	蓁	蓆	蓖
728	蒡	蔡	蓿	蓴	蔗	蔘	蔬	蔟	蔕	蔔
729	蓼	蕀	蕣	蕘	蕈					
730		蕁	蘂	蕋	蕕	薀	薤	薈	薑	薊
731	薨	蕭	薔	薛	藪	薇	薜	蕷	蕾	薐
732	藉	薺	藏	薹	藐	藕	藝	藥	藜	藹
733	蘊	蘓	蘋	藾	藺	蘆	蘢	蘚	蘰	蘿
734	虍	乕	虔	號	虧	虱	蚓	蚣	蚩	蚪
735	蚋	蚌	蚶	蚯	蛄	蛆	蚰	蛉	蠣	蚫
736	蛔	蛞	蛩	蛬	蛟	蛛	蛯	蜒	蜆	蜈
737	蜀	蜃	蛻	蜑	蜉	蜍	蛹	蜊	蜴	蜿
738	蜷	蜻	蜥	蜩	蜚	蝠	蝟	蝸	蝌	蝎
739	蝴	蝗	蝨	蝮	蝙					
740		蝓	蝣	蝪	蠅	螢	螟	螂	螯	蟋
741	螽	蟀	蟐	雖	螫	蟄	螳	蟇	蟆	螻
742	蟯	蟲	蟠	蠏	蠍	蟾	蟶	蟷	蠎	蟒
743	蠑	蠖	蠕	蠢	蠡	蠱	蠶	蠹	蠧	蠻
744	衄	衂	衒	衙	衞	衢	衫	袁	衾	袞
745	衵	衽	袵	衲	袂	袗	袒	袮	袙	袢
746	袍	袤	袰	袿	袱	裃	裄	裔	裘	裙
747	裝	裹	褂	裼	裴	裨	裲	褄	褌	褊
748	褓	襃	褞	褥	褪	褫	襁	襄	褻	褶
749	褸	襌	褝	襠	襞					
750		襦	襤	襭	襪	襯	襴	襷	襾	覃
751	覈	覊	覓	覘	覡	覩	覦	覬	覯	覲
752	覺	覽	覿	觀	觚	觜	觝	觧	觴	觸
753	訃	訖	訐	訌	訛	訝	訥	訶	詁	詛
754	詒	詆	詈	詼	詭	詬	詢	誅	誂	誄
755	誨	誡	誑	誥	誦	誚	誣	諄	諍	諂
756	諚	諫	諳	諧	諤	諱	謔	諠	諢	諷
757	諞	諛	謌	謇	謚	諡	謖	謐	謗	謠
758	謳	鞫	謦	謫	謾	謨	譁	譌	譏	譎
759	證	譖	譛	譚	譫					
760		譟	譬	譯	譴	譽	讀	讌	讎	讒
761	讓	讖	讙	讚	谺	豁	谿	豈	豌	豎
762	豐	豕	豢	豬	豸	豺	貂	貉	貅	貊
763	貍	貎	貔	豼	貘	戝	貭	貪	貽	貲
764	貳	貮	貶	賈	賁	賤	賣	賚	賽	賺
765	賻	贄	贅	贊	贇	贏	贍	贐	齎	贓
766	賍	贔	贖	赧	赭	赱	赳	趁	趙	跂
767	趾	趺	跏	跚	跖	跌	跛	跋	跪	跫
768	跟	跣	跼	踈	踉	跿	踝	踞	踐	踟
769	蹂	踵	踰	踴	蹊					
770		蹇	蹉	蹌	蹐	蹈	蹙	蹤	蹠	踪
771	蹣	蹕	蹶	蹲	蹼	躁	躇	躅	躄	躋
772	躊	躓	躑	躔	躙	躪	躡	躬	躰	軆
773	躱	躾	軅	軈	軋	軛	軣	軼	軻	軫
774	軾	輊	輅	輕	輒	輙	輓	輜	輟	輛
775	輌	輦	輳	輻	輹	轅	轂	輾	轌	轉
776	轆	轎	轗	轜	轢	轣	轤	辜	辟	辣
777	辭	辯	辷	迚	迥	迢	迪	迯	邇	迴
778	逅	迹	迺	逑	逕	逡	逍	逞	逖	逋
779	逧	逶	逵	逹	迸					
780		遏	遐	遑	遒	逎	遉	逾	遖	遘
781	遞	遨	遯	遶	隨	遲	邂	遽	邁	邀
782	邊	邉	邏	邨	邯	邱	邵	郢	郤	扈
783	郛	鄂	鄒	鄙	鄲	鄰	酊	酖	酘	酣
784	酥	酩	酳	酲	醋	醉	醂	醢	醫	醯
785	醪	醵	醴	醺	釀	釁	釉	釋	釐	釖
786	釟	釡	釛	釼	釵	釶	鈞	釿	鈔	鈬
787	鈕	鈑	鉞	鉗	鉅	鉉	鉤	鉈	銕	鈿
788	鉋	鉐	銜	銖	銓	銛	鉚	鋏	銹	銷
789	鋩	錏	鋺	鍄	錮					
790		錙	錢	錚	錣	錺	錵	錻	鍜	鍠
791	鍼	鍮	鍖	鎰	鎬	鎭	鎔	鎹	鏖	鏗
792	鏨	鏥	鏘	鏃	鏝	鏐	鏈	鏤	鐚	鐔
793	鐓	鐃	鐇	鐐	鐶	鐫	鐵	鐡	鐺	鑁
794	鑒	鑄	鑛	鑠	鑢	鑞	鑪	鈩	鑰	鑵
795	鑷	鑽	鑚	鑼	鑾	钁	鑿	閂	閇	閊
796	閔	閖	閘	閙	閠	閨	閧	閭	閼	閻
797	閹	閾	闊	濶	闃	闍	闌	闕	闔	闖
798	關	闡	闥	闢	阡	阨	阮	阯	陂	陌
799	陏	陋	陷	陜	陞					
800		陝	陟	陦	陲	陬	隍	隘	隕	隗
801	險	隧	隱	隲	隰	隴	隶	隸	隹	雎
802	雋	雉	雍	襍	雜	霍	雕	雹	霄	霆
803	霈	霓	霎	霑	霏	霖	霙	霤	霪	霰
804	霹	霽	霾	靄	靆	靈	靂	靉	靜	靠
805	靤	靦	靨	勒	靫	靱	靹	鞅	靼	鞁
806	靺	鞆	鞋	鞏	鞐	鞜	鞨	鞦	鞣	鞳
807	鞴	韃	韆	韈	韋	韜	韭	齏	韲	竟
808	韶	韵	頏	頌	頸	頤	頡	頷	頽	顆
809	顏	顋	顫	顯	顰					
810		顱	顴	顳	颪	颯	颱	颶	飄	飃
811	飆	飩	飫	餃	餉	餒	餔	餘	餡	餝
812	餞	餤	餠	餬	餮	餽	餾	饂	饉	饅
813	饐	饋	饑	饒	饌	饕	馗	馘	馥	馭
814	馮	馼	駟	駛	駝	駘	駑	駭	駮	駱
815	駲	駻	駸	騁	騏	騅	駢	騙	騫	騷
816	驅	驂	驀	驃	騾	驕	驍	驛	驗	驟
817	驢	驥	驤	驩	驫	驪	骭	骰	骼	髀
818	髏	髑	髓	體	髞	髟	髢	髣	髦	髯
819	髫	髮	髴	髱	髷					
820		髻	鬆	鬘	鬚	鬟	鬢	鬣	鬥	鬧
821	鬨	鬩	鬪	鬮	鬯	鬲	魄	魃	魏	魍
822	魎	魑	魘	魴	鮓	鮃	鮑	鮖	鮗	鮟
823	鮠	鮨	鮴	鯀	鯊	鮹	鯆	鯏	鯑	鯒
824	鯣	鯢	鯤	鯔	鯡	鰺	鯲	鯱	鯰	鰕
825	鰔	鰉	鰓	鰌	鰆	鰈	鰒	鰊	鰄	鰮
826	鰛	鰥	鰤	鰡	鰰	鱇	鰲	鱆	鰾	鱚
827	鱠	鱧	鱶	鱸	鳧	鳬	鳰	鴉	鴈	鳫
828	鴃	鴆	鴪	鴦	鶯	鴣	鴟	鵄	鴕	鴒
829	鵁	鴿	鴾	鵆	鵈					
830		鵝	鵞	鵤	鵑	鵐	鵙	鵲	鶉	鶇
831	鶫	鵯	鵺	鶚	鶤	鶩	鶲	鷄	鷁	鶻
832	鶸	鶺	鷆	鷏	鷂	鷙	鷓	鷸	鷦	鷭
833	鷯	鷽	鸚	鸛	鸞	鹵	鹹	鹽	麁	麈
834	麋	麌	麒	麕	麑	麝	麥	麩	麸	麪
835	麭	靡	黌	黎	黏	黐	黔	黜	點	黝
836	黠	黥	黨	黯	黴	黶	黷	黹	黻	黼
837	黽	鼇	鼈	皷	鼕	鼡	鼬	鼾	齊	齒
838	齔	齣	齟	齠	齡	齦	齧	齬	齪	齷
839	齲	齶	龕	龜	龠					
840		堯	槇	遙	瑤	凜	熙			

主な仕様

仕様変更などにより、図や内容が一部異なる場合があります。

■V403SH

項目	仕様
質量	約105 g（電池パック装着時）
連続通話時間	約140分
連続待受時間	約450時間（折りたたみ時）
充電時間 （V403SHの電源を切って充電した場合）	急速充電器：約115分 シガーライター充電器：約115分
サイズ（幅×高さ×奥行）	約46.6×93×21mm （折りたたみ時）
最大出力	0.8 W

- 上記は、電池パック装着時の数値です。
- 連続通話時間とは、充電を満たした新品の電池パックを装着し、最大パワー送信およびバッテリーセーブ機能を「OFF」に設定のうえ、電波が正常に受信できる静止状態から算出した平均的な計算値です。
  連続待受時間とは、充電を満たした新品の電池パックを装着し、V403SHを閉じた状態で通話や操作をせず、電波が正常に受信できる静止状態から算出した平均的な計算値です。電波の届きにくい場所（ビル内、車内、カバンの中など）や、圏外表示状態の待受では、ご利用時間が約半分以下になることがあります。また、使用環境（充電状態、気温など）によっては、ご利用可能時間が変動することがあります。
- 電池パックの利用可能時間は、電波が安定した状態で算出した当社計算値です。電波の弱い場所での通話や圏外表示での待受は電池パックの消耗が多いため、ご利用時間が半分以下になることがあります。
- パネル照明およびキー照明が点灯している状態での利用（ボーダフォンライブ! ご利用時など）が多いときは、連続通話時間および連続待受時間は短くなります。
- Vアプリを起動させた状態では、通話時間および待受時間が短くなる場合があります。
- ステーションでは、情報を自動的に受信するというサービスの特性上、通常よりも電池パックを消耗することがあります。
- 操作や設定状態によっては、通話時間および待受時間が短くなることがあります。
  （☞P.1-11）
- 液晶ディスプレイは非常に精密度の高い技術で作られていますが、画素欠けや常時点灯する画素がありますので、あらかじめご了承ください。

■急速充電器

電源	AC100 V、50/60 Hz共用
消費電力	8 VA
出力電圧／出力電流	DC 5.6 V／500 mA
充電温度範囲	＋5℃～＋35℃
サイズ（幅×高さ×奥行）	約48×17×46 mm（突起部、コード除く）
コードの長さ	約1.5 m

■電池パック

電圧	3.7 V
使用電池	リチウムイオン電池
容量	770 mAh
外形サイズ（幅×高さ×奥行）	約35.8×4.6×47.5 mm（突起部 除く）

16
付録

索引

英数字

あ

か

16
付録

さ

た

な

は

ま

保証書とアフターサービス

■保証書

V403SH本体をお買い上げいただいた場合は、保証書がついています。

- お買い上げ店名、お買い上げ日をご確認ください。
- 内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。
- 保証期間は、保証書に記載しております。

■アフターサービスについて

修理をご依頼になる前に、「**故障かな？と思ったら**」に掲載されている項目をもう一度ご確認ください。（☞P.16-6）
該当する症状がないときや、異常を解決できないときは、ご契約いただいたボーダフォンの故障受付（☞P.16-20）にご相談ください。
その際、できるだけ詳しく異常の状態をお聞かせください。

- 保証期間中は保証書の記載内容に基づいて修理いたします。
- 保証期間後の修理につきましては、修理により機能が維持できる場合は、ご要望により有償修理いたします。

その他アフターサービスの詳細は、お買い上げいただいた「**取扱店**」、最寄りの「**ボーダフォンショップ**」または「**お問い合わせ先**」（☞P.16-20）までご連絡ください。
なお、補修用性能部品（機能維持のために必要な部品）の最低保有期間は、生産打ち切り後６年です。

- 本製品の故障、誤作動または不具合などにより、通話などの機会を逸したために、お客様、または第三者が受けた損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 故障または修理により、お客様が登録／設定した内容が消失／変化する場合がありますので、大切なアドレス帳などは控えをとっておかれることをおすすめします。なお、故障または修理の際にV403SHに登録したデータ（アドレス帳／画像／サウンドなど）や設定した内容が消失／変化した場合の損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本製品を分解／改造すると、電波法にふれることがあります。また、改造された場合は修理をお引き受けできませんので、ご注意ください。

お問い合わせ先一覧

お困りのときや、ご不明な点などがございましたら、お気軽に下記お問い合わせ窓口までご連絡ください。

ボーダフォンお客さまセンター
総合案内　ボーダフォン携帯電話から157（無料）
紛失・故障受付 ボーダフォン携帯電話から113（無料）

■一般電話からおかけの場合

ご契約地域	お問い合わせ内容	電話番号
北海道・青森県・秋田県・岩手県・山形県・宮城県・福島県・新潟県・東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県・茨城県・栃木県・群馬県・山梨県・長野県・富山県・石川県・福井県	総合案内	0088-240-157（無料）
	紛失・故障受付	0088-240-113（無料）
愛知県・岐阜県・三重県・静岡県	総合案内	0088-241-157（無料）
	紛失・故障受付	0088-241-113（無料）
大阪府・兵庫県・京都府・奈良県・滋賀県・和歌山県	総合案内	0088-242-157（無料）
	紛失・故障受付	0088-242-113（無料）
広島県・岡山県・山口県・鳥取県・島根県	総合案内	0088-259-157（無料）
	紛失・故障受付	0088-259-113（無料）
徳島県・香川県・愛媛県・高知県	総合案内	0088-247-157（無料）
	紛失・故障受付	0088-247-113（無料）
福岡県・佐賀県・長崎県・大分県・熊本県・宮崎県・鹿児島県・沖縄県	総合案内	0088-250-157（無料）
	紛失・故障受付	0088-250-113（無料）

MEMO